

平成29年度 病院年報



厚生労働省臨床研修指定病院
地域がん診療連携拠点病院
日本医療機能評価機構認定病院
周産期協力病院
救急告示病院
地域医療支援病院

市立長浜病院

理 念

地域住民の健康を守るため、「人中心の医療」を発展させ、地域完結型の医療を進めます。

基 本 方 針

1. 患者の権利、尊厳を重視した医療を実践します。
2. 地域の医療関係者との連携を深め、地域医療の発展のためにつくします。
3. 高度で良質な医療水準を確保し、安全で信頼される医療を進めます。
4. 快適な療養環境の整備と、質の高いケアに努めます。
5. 医学研究活動を推進し、優れた医療人を育成します。
6. 職員が互いに尊重、協力してチーム医療を実現します。
7. 職員が元気で働きがいのある職場づくりに努めます。

目 次

I	はじめに	1
II	病院の沿革	3
III	病院の概要	
	1 施設概要	
	1 概要	7
	2 職員状況と組織機構.....	12
IV	活動状況	
	1 主要事業の概要	
	1 湖北がんフォーラム2017	14
	2 びわ湖メディカルネットの運用.....	15
	3 回復期リハビリテーション病棟の運営.....	16
	4 病院機能評価の認定更新（3rdG）	17
	2 各科の活動状況	
	総合診療科	18
	内科／血液化学療法	18
	内科／腎臓代謝内科	19
	神経内科	20
	消化器内科	20
	呼吸器内科	21
	循環器内科	22
	リウマチ膠原病内科	22
	緩和ケア外来ところ	23
	小児科&NICU	23
	外 科	24
	呼吸器外科	25
	整形外科	26
	形成外科	27
	脳神経外科	27
	心臓血管外科	29
	皮 膚 科	30
	泌尿器科	31
	産婦人科	32
	眼 科	33
	耳鼻咽喉科	34
	麻 酔 科	35

ICU・CCUセンター	36
放射線科（治療部門）	37
放射線科（診断部門）	38
病理診断科	39
歯科・歯科口腔外科	40
臨床研修医	41
人工透析室	42
救急センター	43
健診センター	44
開放型病棟、開放型病床	45
中央材料室	46
中央手術室	47
薬剤局	48
医療技術局	49
栄養科	50
臨床工学技術科	51
放射線技術科	52
リハビリテーション科／リハビリテーション技術科	54
中央検査技術科	57
歯科・眼科技術室	59
看護局	60
事務局	65
病院機能強化推進室	69
患者総合支援センター	70
訪問看護ステーション	72
がん対策推進室	73
診療情報支援室	75
医療安全管理室	76
3 著書発表記録	78
4 論文発表記録	79
5 学会・研究発表記録	82
6 講習会／研修会への取り組み	
1 患者さん、市民を対象にしたもの	99
2 医療従事者、地域開業医を対象にしたもの	104
7 委員会の状況	107

V 経営状況

平成29年度決算状況

（1）経営収支比較	142
（2）貸借対照表	143
（3）経営状況①	144
経営状況②	144

(4) 資本的収入及び支出	145
VI 各種統計資料	
1 患者状況	
(1) 一般病棟科別入院患者数	146
(2) 療養病棟科別入院患者数	146
(3) 科別外来患者数	147
(4) 入院外来患者数の年次推移（一般病棟）	148
(5) 入院地域別患者数	149
(6) 入院年代別患者数	153
(7) 外来地域別患者数	157
(8) 外来年代別患者数	158
(9) 科別月別入院退院患者数	159
(10) 科別月別入院患者数	160
(11) 科別月別外来患者数	161
(12) 時間内患者数	162
(13) 休日患者数	162
(14) 夜間患者数	162
(15) 救急車利用状況	163
2 ICU・CCU業務状況	164
3 手術業務状況	165
4 健診センター利用状況	166
5 中央材料室業務状況	171
6 薬剤科業務状況	172
7 栄養科業務状況	173
8 放射線科／放射線技術科業務状況	175
9 中央検査技術科業務状況	180
10 リハビリテーション科／リハビリテーション技術科業務状況	182
11 開放型入院患者状況	183
12 訪問看護ステーション業務状況	184
13 疾病別・転帰別退院患者数	185
14 院内がん登録 2017年症例	186
15 医療機器等購入状況	187
16 死亡診断書発行状況	188
17 剖検症例	189
18 院内保育所「あすなろ園」状況	190

I はじめに

今こそ、「チャレンジ精神を忘れることなく、職員一丸となって」前進を！

長浜市病院事業管理者 野 田 秀 樹



理念「人中心の医療」のもと、「地域を支え、導く病院であり続けるため」現在、体制整備のさなかにあります。今年度は、そのうちの一つ患者総合支援センターが、昨年の診療支援棟に続き完成しました。「生活を支える視点」から、入院前～入院中～退院～退院後の患者・家族の生活を総合的に支えられるように、訪問看護ステーション、がん相談支援センターも同部署に集約させ、専門・認定看護師、ソーシャルワーカー、臨床心理士などがチームで活動できるよう多職種で構成されています。平成30年4月承認の地域医療支援病院の機能を支えると共に、向後の病院機能の一翼を担う部門としてスタートしました。

また、長浜市と京都大学大学院医学研究科との間で寄附講座設置に関する協定が結ばれ、結果、平成29年4月に新たに専門医4名を迎え、滋賀県内唯一のリウマチセンターが稼働することになりました。

一方、経営に関しては「新公立病院改革プラン」に基づく中期経営計画初年度からつまづくことになりました。将来への種まきとしての長寿命化計画に基づく大規模改修、診療支援棟の増築、大型機器の整備などは大幅な支出増として覚悟はしていたものの、消費税の負担増や診療報酬のマイナス改定（本体部分は微増とされますが、）は想定以上に重く、加えて一部診療科縮小による減収（なかでも消化器内科、小児科、血液内科の縮小）が状態の厳しい中でさらに大きな打撃となりました。現状打破には更なる人材が必要ですが、一部の職種を除けば依然見通しのたたない状態が続きます。しかし、人材不足の続く中、朗報もありました。当院で研修等で縁を持っていた医師の帰参も見られるようになったほか、平成30年10月からは消化器内科に医師確保のめどが立ち向後は少し期待もしているところです。

こうした中、「限られた医療資源で将来の湖北の医療・福祉を最高の状態で維持する」にはどうすればいいのか、「長浜赤十字病院との連携のあり方」について研究会を立ち上げ検討に入りました。医療を取り巻く環境は一段と厳しく、加速度的変化をしています。目前に突きつけられた「地域医療構想」「専門医制度」「働き方改革」等、出血を伴う制度改革に押し流されないよう早急に根拠的処置対応を考えねばなりません。もはや一つの病院での対応は不可能な状態にあり、他院との一体的連携は避けられません。この急激な制度変革の中では、私達は情報過多に惑わされることなく、しっかりと足元をみつめ、立つ位置を見定めることが、そしてすべての叡智を集め、チャレンジ精神を忘れず、職員一丸となって前進することが求められます。

職員の皆さんにはいろいろとご苦勞をおかけすることになりますが、一層のご助力をお願いしたいと思います。

平成29年度の取り組み

市立長浜病院

院長 神 田 雄 史



平成27年3月に「公立病院改革の推進について（新改革プラン）」が告示されたことを受けて長浜市病院事業中期経営計画を策定しました。計画の期間は平成29年度から平成32年度までの4年間です。この中期計画に基づき経営改善に向けて進んで参ります。

4月1日に滋賀県北東部のリウマチ・膠原病の診療拠点を目指して「リウマチセンター」を開設しました。

同じく4月1日に「患者総合支援センター」を開設しました。患者総合支援センターの基本的概念は「外来受診時から入院後および退院後を見据えたうえで、患者さんを在宅および地域にスムーズにつなげるために、早期に情報収集・情報共有、連携、患者支援を行う体制・組織を整備する」ことです。センターは、「地域医療連携室」と「訪問看護ステーション」で構成されています。5月からは病床管理も開始しました。各病棟の病床利用状況、入院患者の重症度および医療・看護必要度、看護師の勤務状況を把握し、緊急入院を含めた空床利用の調節を行います。患者さんの入院が決定すると、センターで看護師による入院説明、患者基本情報の収集や薬剤師による休薬説明が行われます。同時に、患者さんの不安や疑問に対応するために、患者相談窓口への橋渡しを行います。入院決定時から収集された情報は在宅療養支援に引き継がれます。退院を阻害する要因を分析し、早期に退院できる環境を整備します。地域包括ケア病棟、医療型療養病棟、回復期リハビリテーション病棟の利用の調整も行います。今まで通り、地域医療連携室が中心となり、病診連携、病病連携を引き続き推進します。患者さんに対するかかりつけ医キャンペーンや医療機関への情報提供などの広報活動を行います。

4月に、医師をはじめとした慢性的に不足する人材の確保を強化するために、総務課に病院事業人材確保推進室を設立しました。

5月には、市立長浜病院ホームページをリニューアルしました。市立長浜病院の特徴、機能を一般市民の皆さまや医療介護関係者の皆さまに、そして病院に就職を希望される人にもっと病院を知っていただきたいと思います。日々活躍する職員の活動状況を発信していきます。

9月に医療機能評価を受審しました。平成30年4月6日付で、日本医療機能評価機構から病院機能評価の認定更新を受けることが決まりました。平成10年に滋賀県で最初の認定を受けてから、4回目の更新認定となります。臨床研修指定病院、地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、地域医療支援病院の承認に向けた取り組み、高度医療機器の導入など、「人中心の医療」を理念に、地域完結型の医療を目指してきたことが高く評価されたと思います。

11月に、市立長浜病院広報「市立長浜病院だより」の発行を開始しました。一般市民の皆さま向けの広報紙です。病院のトピックスを分かりやすくお知らせしてまいります。

市立長浜病院は平成30年3月27日に、滋賀県知事から「地域医療支援病院」の名称の承認を受けました。「かかりつけ医を支援し地域医療の充実を図ること」を目的とします。地域における医療の確保のために、市立長浜病院の理念を掲げ、地域住民の健康をまもるため、人中心の医療を発展させ、地域完結型の医療を進めます。

II 病院の沿革

沿革

明治19年4月	(1886)	公立大津病院を県立大津病院に改称され、長浜に出張所が設置される
明治20年8月	(1887)	北船町（現在の公園町）に県立長浜避病院が設置される
明治22年4月	(1889)	町立長浜病院が設立（西本町）
明治26年11月	(1893)	北船町（現在の朝日町）に町立長浜病院を新築移転
明治30年4月	(1897)	町立長浜病院が私立長浜病院となる
昭和19年5月	(1944)	私立長浜病院を買収。市立病院として同年6月開院 診療科：内科、外科、耳鼻科
昭和21年3月	(1946)	市立長浜病院東分院設置（東上坂町字小田976-7） 診療科：内科、小児科（医師3人、薬剤師1人、看護婦5人、その他5人）
昭和22年7月	(1947)	市立長浜病院神田診療所設置（加田町字坂村2356） 診療科：内科、小児科
昭和33年3月	(1958)	病院移転新築工事着工（八幡東町631）
昭和34年4月	(1959)	鉄筋コンクリート3階建開院 一般病棟167床、結核病棟39床、癌治療施設、看護婦寄宿舎完成
昭和34年8月	(1959)	伝染病棟（15床）増設
昭和37年11月	(1962)	一般病棟50床増設
昭和38年1月	(1963)	一般病棟29床増設、病床総数300床
昭和41年9月	(1965)	救急病院の告示
昭和42年1月	(1967)	機能回復訓練室、病床15床増設、伝染病棟15床を一般病棟へ切り替え
昭和50年7月	(1975)	結核病棟39床を廃止し、一般病棟へ切り替え、病床総数315床
昭和55年4月	(1980)	53年度から2ヵ年計画で病棟（西棟）及び放射線部門を増設。 併せて院内保育園新設、病床総数365床
昭和61年4月	(1986)	58年度から3ヵ年計画で中央棟（開放型病室32床含む）の増築 整備をはかり、病床総数415床
平成4年6月	(1992)	病院移転新築基本構想策定
平成6年3月	(1994)	病院新築工事契約の締結
平成6年5月	(1994)	移転新築工事起工（長浜市大戌亥町313）
平成8年5月1日	(1996)	新病院開院（入院患者の移送） 病床総数520床（開放型50床）、外来診療開始（5月7日） 診療科：20科（平成9年1月1日 診療科21科）
平成9年12月5日	(1997)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審
平成10年3月16日	(1998)	病院機能評価における認定証の受理 （平成10年2月9日付け一般病床種別B認定第26号） （認定期間 平成10年2月9日～平成15年2月8日）
平成11年1月8日	(1999)	河野良一名誉院長（昭和57年4月1日就任）が死去
平成11年3月	(1999)	療養型病床群病棟建設設計予算議決
平成11年4月	(1999)	企画情報課に療養型病床群病棟開設準備担当設置

平成11年 8月	(1999)	療養型病床群病棟建設設計本部設置
平成13年 1月	(2001)	療養型病床群病棟建設工事請負契約の締結
平成13年 1月	(2001)	療養型病床群病棟建設工事起工
平成13年 2月	(2001)	トータルオーダーリングシステム等基本計画策定
平成13年 3月	(2001)	秋山泰高院長（平成2年4月1日就任）が退職
平成13年 3月	(2001)	臨床研修病院の指定を受ける
平成13年 4月	(2001)	琴浦良彦院長就任
平成13年 4月15日	(2001)	西川博文副院長（平成8年5月1日就任）が死去
平成14年 3月 1日	(2002)	療養病棟の開設（156床増床）
平成14年 5月	(2002)	トータルオーダーリングシステム更新
平成15年 2月 6日	(2003)	全国自治体病院協議会管理者研修実施
平成15年 2月26日～28日	(2003)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審（ver.4）
平成15年 4月15日	(2003)	アウグスブルク市長病院視察
平成16年 1月26日	(2004)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価認定証受理 （認定期間 平成15年2月9日～平成20年2月8日）
平成16年 4月 1日	(2004)	市立長浜病院組織機構改革
平成16年 4月 1日	(2004)	湖北地域における小児救急支援事業の開始
平成16年 5月 1日	(2004)	臨床研修医制度による研修医の受け入れ開始
平成17年 1月17日	(2005)	地域がん診療拠点病院の指定を受ける
平成17年12月	(2005)	長浜市と京都大学大学院医学研究科との間で「長浜市〇次予防健康づくり推進事業」の計画策定に関する覚書を締結。今後1万人規模の疫学調査に積極的に参加協力。
平成18年 2月 6日	(2006)	人間ドック・健診施設機能評価機構による訪問審査
平成18年 2月13日	(2006)	長浜市・浅井町・びわ町 1市2町合併
平成18年 3月25日	(2006)	社団法人日本病院会、日本人間ドック学会による人間ドック・健診施設機能評価認定証受理 （認定期間 平成18年3月25日～平成23年8月31日）
平成18年 3月	(2006)	平成16年6月の創立60周年を機に、市立長浜病院創立60周年記念誌を発刊
平成18年11月	(2006)	最新鋭の64マルチスライスCTの運用開始
平成19年 4月	(2007)	高精度治療に対応した最新の放射線治療装置（リニアック）の導入に向けたプロジェクトチームを設置
平成19年 6月	(2007)	がん相談支援センターの設置
平成20年 2月	(2008)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver.5）の認定更新 （認定期間 平成20年2月9日～平成25年2月8日）
平成20年 2月	(2008)	地域がん診療連携拠点病院認定更新

平成20年 3月	(2008)	琴浦良彦院長（平成13年4月1日就任）が退職
平成20年 4月	(2008)	野田秀樹院長就任
平成20年 4月	(2008)	最新の放射線治療装置（リニアック）の稼働
平成20年 4月	(2008)	PACS（画像ファイリングシステム）運用開始
平成20年 6月	(2008)	医薬分業の視点から薬品の院外処方箋を発行
平成20年 7月	(2008)	厚生労働省からDPC対象病院に指定
平成20年 7月	(2008)	療養病棟2階介護保険52床休床届
平成21年 3月17日	(2009)	一般病棟5階東51床休床届
平成21年 3月	(2009)	市立長浜病院改革プラン策定
平成21年 4月	(2009)	一般病棟入院基本料看護基準7対1の施設基準を取得
平成21年 4月	(2009)	長浜病院訪問看護ステーションの設置
平成22年 1月1日	(2010)	長浜市・虎姫町・湖北町・高月町・木之本町・余呉町・西浅井町の1市6町合併
平成22年 1月	(2010)	トータルオーダーリングシステム更新
平成22年 4月	(2010)	地方公営企業法全部適用へ移行
平成22年 4月	(2010)	野田秀樹院長が病院事業管理者に就任（院長兼務）
平成22年 4月1日	(2010)	標榜科22科（呼吸器外科を新たに届出）
平成22年 7月1日	(2010)	地域医療事業部及びがん対策推進事業部の新設 （医療社会相談室の廃止）
平成23年 3月31日	(2011)	療養病棟2階介護保険52床を廃止で変更届 総病床数（624床） 一般病棟（520床）うち5階東51床休床 療養病棟（104床）うち医療保険52床、介護保険52床
平成23年 4月	(2011)	社団法人日本病院会 日本人間ドック学会による人間ドック・健診施設 機能評価認定更新（認定期間 平成23年4月1日～平成28年3月31日）
平成23年 7月20日	(2011)	療養病棟2階を医療保険適応病床52床に変更届
平成24年 3月	(2012)	長浜市病院事業基本計画（中期）及び長浜市病院事業改革プラン 【改訂版】を策定
平成24年 4月	(2012)	野田秀樹院長が病院事業管理者を専任及び医療政策監に就任
平成24年 4月	(2012)	多賀俊明院長就任
平成24年 4月	(2012)	経営企画課に診療支援棟建設準備室を設置
平成24年 4月23日	(2012)	療養病棟1階人工透析室40床開設
平成24年 5月31日	(2012)	療養病棟3階介護保険52床を廃止で変更届
平成24年 6月 1日	(2012)	療養病棟3階を医療保険52床で届出し、同時に休床届 総病床数（624床） 一般病棟（520床）うち5階東51床休床 療養病棟（104床）うち医療保険104床
平成24年 9月	(2012)	診療支援棟建設設計補正予算議決
平成24年10月1日～3日	(2012)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審（Ver.6）
平成24年11月	(2012)	3.0テスラMRI装置の導入
平成25年 1月	(2013)	トータルオーダーリングシステム等の電子カルテ化

平成25年 2月	(2013)	公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価 (Ver.6) の認定更新 (認定期間 平成25年2月9日～平成30年2月8日)
平成25年 3月	(2013)	外来化学療法センター開設 (移転増床)
平成25年 3月 1日	(2013)	療養病棟3階医療保険52床再開
平成25年 6月 1日	(2013)	回復期リハビリテーション病棟 (療養病棟) の運用を開始
平成25年 8月 1日	(2013)	脳卒中ケアユニット入院医療管理料の運用を開始
平成26年 3月	(2014)	診療支援棟整備工事設計業務完了
平成26年 4月	(2014)	野田秀樹病院事業管理者が再任
平成26年 6月	(2014)	診療支援棟整備工事着工
平成26年10月 2日	(2014)	標榜科23科 (病理診断科を新たに届出)
平成26年11月 5日	(2014)	5階東病棟51床再開 3階東病棟45床休床
平成27年 1月 1日	(2015)	地域包括ケア病棟の運用を開始
平成27年 3月	(2015)	長浜市病院事業改革プラン【改訂版】を策定
平成27年 4月 1日	(2015)	開設許可病床 (一般病棟) 8床削減 総病床数 (616床) 一般病棟 (512床) うち3階東41床休床 療養病棟 (104床) うち医療保険104床
平成27年10月 4日	(2015)	診療支援棟 竣工式
平成28年 3月	(2016)	多賀俊明院長 (平成24年4月1日就任) が退職
平成28年 4月	(2016)	神田雄史院長就任
平成29年 3月	(2017)	長浜市病院事業中期経営計画 (新改革プラン) を策定
平成29年 4月 1日	(2017)	開設許可病床 (一般病棟) 16床削減 総病床数 (600床) 一般病棟 (496床) うち3階東25床休床 療養病棟 (104床) うち医療保険104床
平成29年 4月	(2017)	患者総合支援センター開設 リウマチセンター開設
平成29年 4月11日	(2017)	7階東病棟50床休床
平成29年10月26～27日	(2017)	公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審 (3rdG)
平成30年 3月27日	(2018)	地域医療支援病院の承認
平成30年 4月	(2018)	野田秀樹病院事業管理者が再任
平成30年 4月	(2018)	公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価 (3rdG) の認定更新 (認定期間 2018年2月9日～2023年2月8日)

Ⅲ 病院の概要

Ⅲ－１ 施設概要

1. 概要

(1) 施設概要

所在地	滋賀県長浜市大戌亥町313番地
施設名	市立長浜病院
開設者	長浜市長 藤井勇治
管理者	院長 神田雄史

敷地面積	70,991.23㎡
建物	本館 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造地上7階 高さ 37.5m 延床面積 32,836.9㎡ 別館 鉄筋コンクリート造地上3階 延床面積 8,212.5㎡ 付属棟 保育園、車庫、医療ガス庫、駐輪場、キャノピー 延床面積 1,078.8㎡ 診療支援棟 鉄骨造4階 5,333.6㎡

(2) 外来

診療科（標榜科 23科）

内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科

診療科（院内標榜）

心療内科、腎臓・代謝内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科

(3) 病棟（平成29年4月11日現在）

病床数	600床（一般 496床、療養104床）
病棟	3階東病棟（25床） 3階西病棟（47床） 3階南病棟（40床） ICU CCU（8床） 4階東病棟（35床） 4階西病棟（39床） （内 PICU 2床） （内 NICU 9床） 5階東病棟（51床） 5階西病棟（50床） 6階東病棟（51床） 6階西病棟（50床） 7階東病棟（50床） 7階西病棟（50床） 療養2階病棟（52床） 医療保険対応 回復期リハビリテーション病棟（52床） 医療保険対応

(4) 認定施設基準一覧 (平成30年6月1日現在)

○基本診療料

初診・再診料

歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準
地域歯科診療支援病院歯科初診料

入院基本料等

一般病棟7:1入院基本料
療養病棟入院基本料2

入院基本料加算

歯科外来診療環境体制加算
歯科診療特別対応連携加算
超急性期脳卒中加算
診療録管理体制加算1
医師事務作業補助体制加算1
急性期看護補助体制加算
看護職員夜間配置加算
療養環境加算
重症者等療養環境特別加算
療養病棟療養環境加算1
無菌治療室管理加算(1と2)
栄養サポートチーム加算
医療安全対策加算1
医療安全対策地域連携加算1
感染防止対策加算1
抗菌薬適正使用支援加算
患者サポート体制充実加算
褥瘡ハイリスク患者ケア加算
ハイリスク妊婦管理加算
ハイリスク分娩管理加算
総合評価加算
呼吸ケアチーム加算
後発医薬品使用体制加算
病棟薬剤業務実施加算(1と2)
データ提出加算2
入退院支援加算
地域歯科診療支援病院入院加算

特定入院料

特定集中治療室管理料3
特定集中治療室管理料の注4に掲げる早期離床・リハビリテーション加算
脳卒中ケアユニット入院医療管理料
小児入院医療管理料5
回復期リハビリテーション病棟入院料3
地域包括ケア病棟入院料

○特掲診療料

糖尿病合併症管理料
がん性疼痛緩和指導管理料

がん患者指導管理料 イ・ロ・ハ
糖尿病透析予防指導管理料
乳腺炎重症化予防ケア・指導料
外来放射線照射診療料
ニコチン依存症管理料
開放型病院共同指導料
がん治療連携計画策定料
肝炎インターフェロン治療計画料
薬剤管理指導料
検査・画像情報提供加算
医療機器安全管理料1
医療機器安全管理料2
総合医療管理加算（歯科疾患管理料）
歯科治療時医療管理料
在宅患者訪問看護・指導料
持続血糖測定器加算
H P V 核酸検出
H P V 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
検体検査管理加算（Ⅳ）
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
時間内歩行試験
胎児心エコー法
ヘッドアップティルト試験
皮下連続式グルコース測定
長期継続頭蓋内脳波検査
神経学的検査
ロービジョン検査判断料
小児食物アレルギー負荷検査
内服・点滴誘発試験
センチネルリンパ節生検（片側）
画像診断管理加算2
C T 撮影及びMR I 撮影
冠動脈C T 撮影加算
心臓MR I 撮影加算
乳房MR I 撮影加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算
外来化学療法加算1
無菌製剤処理料
心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
がん患者リハビリテーション料
歯科口腔リハビリテーション料2
エタノールの局所注入（甲状腺に対するもの）
エタノールの局所注入（副甲状腺に対するもの）
人工腎臓

導入期加算2及び腎代替療法実績加算
 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
 有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算
 組織拡張器による再建手術（一連につき）（乳房（再建手術）の場合に限る。）
 脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術
 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
 仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（過活動膀胱による）
 緑内障手術（水晶体再建術併用眼科内ドレーン挿入術）
 上顎骨形成術、下顎骨形成術（歯科診療に係るもの）
 乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算2）
 ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
 経皮的中隔心筋焼灼術
 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
 大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
 体外衝撃波胆石破碎術
 腹腔鏡下肝切除術
 体外衝撃波膀胱石破碎術
 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
 腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）
 人工尿道括約筋植込・置換術
 胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）
 輸血管管理料Ⅱ
 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
 歯周組織再生誘導手術
 手術時歯根レーザー応用加算
 麻酔管理料（Ⅰ）
 放射線治療専任加算
 外来放射線治療加算
 高エネルギー放射線治療
 1回線量増加加算（全乳房照射・前立腺照射）
 強度変調放射線治療（IMRT）
 画像誘導放射線治療加算（IGRT）
 体外照射呼吸性移動対策加算
 定位放射線治療
 定位放射線治療呼吸移動対策加算
 病理診断管理加算
 悪性腫瘍病理組織標本加算
 クラウン・ブリッジ維持管理料
 歯科矯正診断料

○入院時食事療養等の基準

入院時食事療養Ⅰ
 特別の療養環境の提供
 病院（200床以上）の初診
 入院期間が180日を超える入院

(5) 学会等の教育病院指定一覧

平成29年4月現在

施設名	施設名
日本内科学会認定医制度教育病院	日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
日本血液学会認定血液研修施設	日本放射線腫瘍学会認定施設
日本胸部外科学会指定施設	日本病理学会認定病院B
日本呼吸器外科学会専門医制度認定施設	日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本呼吸器外科学会指導医制度認定施設	日本脳卒中学会認定研修教育病院
呼吸器外科専門医合同委員会認定関連施設	日本老年医学会認定老年病専門医制度認定施設
日本呼吸器学会認定施設	日本臨床腫瘍学会認定研修施設
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡認定施設	日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設	日本高血圧学会専門医認定施設
日本消化器病学会専門医制度認定施設	日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	日本リウマチ学会教育施設
心臓血管外科専門医認定機構認定基幹施設	胸部ステントグラフト実施施設
日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設	腹部ステントグラフト実施施設
日本小児科学会専門医制度研修施設	日本腎臓学会研修施設
日本外科学会専門医制度修練施設	日本透析学会教育関連施設
日本乳癌学会関連施設	マンモグラフィ検診施設画像評価認定施設
日本胆道学会指導施設	日本緩和医療学会認定研修施設
日本整形外科学会専門医研修施設	日本口腔外科学会准研修施設
日本脳神経外科学会専門医指定施設	日本小児口腔外科学会認定制度研修施設
日本泌尿器科学会専門医基幹教育施設	日本糖尿病学会教育関連施設
日本周産期・新生児医学会暫定研修施設	下枝静脈瘤に対する血管内灼術の実施基準による実施施設
日本眼科学会専門医制度研修施設	地域包括医療・ケア認定施設
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設	人間ドック健診専門医研修施設
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設	

(6) 病院配置図

平成29年4月現在

本館		病棟		7 F	手術室	
		病棟		6 F		
		病棟		5 F		
		病棟		4 F		
病棟		病棟		3 F		
外来診察 中央検査科		看護局・診療情報支援室他 看護学生室・総務課 2 F			中央材料室 機器センター	電気室
外来診察 放射線科 リハビリテーション科 健診センター	待合 ホール	薬剤科・栄養科・医事課 患者総合支援センター がん対策推進室 1 F			コンビニ	レストラン

別館		病棟		3 F		
		病棟		2 F	経営企画課	
		人工透析センター		1 F		訪問看護 ステーション

支援棟		3 F		手術室、ICU・CCU	血管撮影室	
		2 F		医局・当直室		
		1 F		救急センター	放射線科	

2. 職員状況と組織機構

(1) 職員状況

(単位：人)

	平成27年4月 (27.4.1現在)	平成28年4月 (28.4.1現在)	平成29年4月 (29.4.1現在)
医 師	86	84	90
歯 科 医 師	4	4	4
薬 剤 師	19	19	17
看 護 師	520	517	518
看 護 助 手	51	50	53
助 産 師	20	18	19
栄 養 士	5	7	8
放 射 線 技 師	23	23	22
検 査 技 師	27	26	29
臨床工学技士	8	9	10
理 学 療 法 士	25	25	26
作 業 療 法 士	11	11	11
視 能 訓 練 士	4	4	4
歯 科 衛 生 士	4	4	4
歯 科 技 工 士	1	1	1
言 語 聴 覚 士	5	5	5
事 務 職	56	57	58
介 護 士	31	29	26
そ の 他	133	122	130
合 計	1,033	1,015	1,035

IV 活動状況

IV－1 主要事業の概要

1. 湖北がんフォーラム2017

1. 開催目的

湖北地域では、どこに住んでいても安心して適切な医療を受けていただけるよう、病院と地域が連携を深めながら、それぞれの強みを活かしたサービスを提供する取り組みを進めています。いま病院と地域で実際に行われている取り組みを紹介し、市民のみなさんと湖北の医療とともに考えることを目的に開催しました。

2. 開催日 平成29年7月23日（日） 午後1時30分～午後4時30分（午後1時から受付）

3. 参加費 無料

4. 場 所 長浜文化芸術会館 ホール（滋賀県長浜市大島町37番地）

5. 内 容

第1部 シンポジウム「みんなで支える湖北の医療」

座 長	当院がん対策推進室管理監	伏木 雅人
	長浜赤十字病院副院長	楠井 隆
シンポジスト	患者家族	池田 朱美
	当院がん対策推進室管理監	伏木 雅人
	長浜赤十字病院第一外科部長	塩見 尚礼
	橋本医院理事長	橋本 修
	訪問看護ステーションりぷる	小倉 敦子
	どんぐり薬局	増田 登美子

第2部 講 演「生活の中の死」

講 師	野の花診療所院長	徳永 進
-----	----------	------

音 楽 演 奏	病院ボランティア	古家後 裕子
---------	----------	--------

6. 主 催 市立長浜病院

共 催 長浜赤十字病院

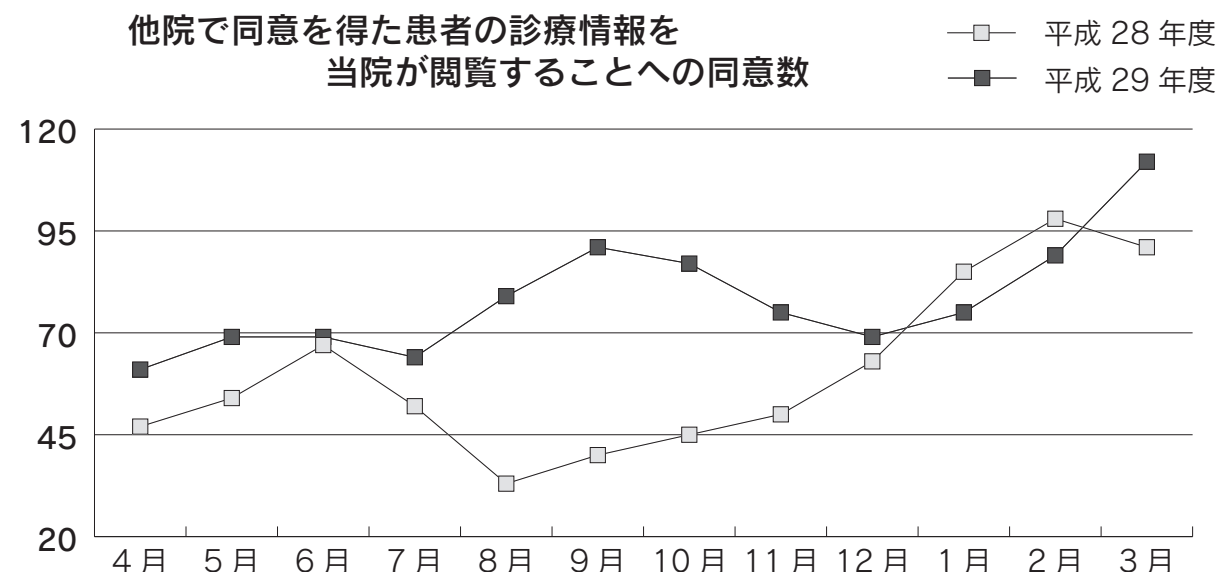
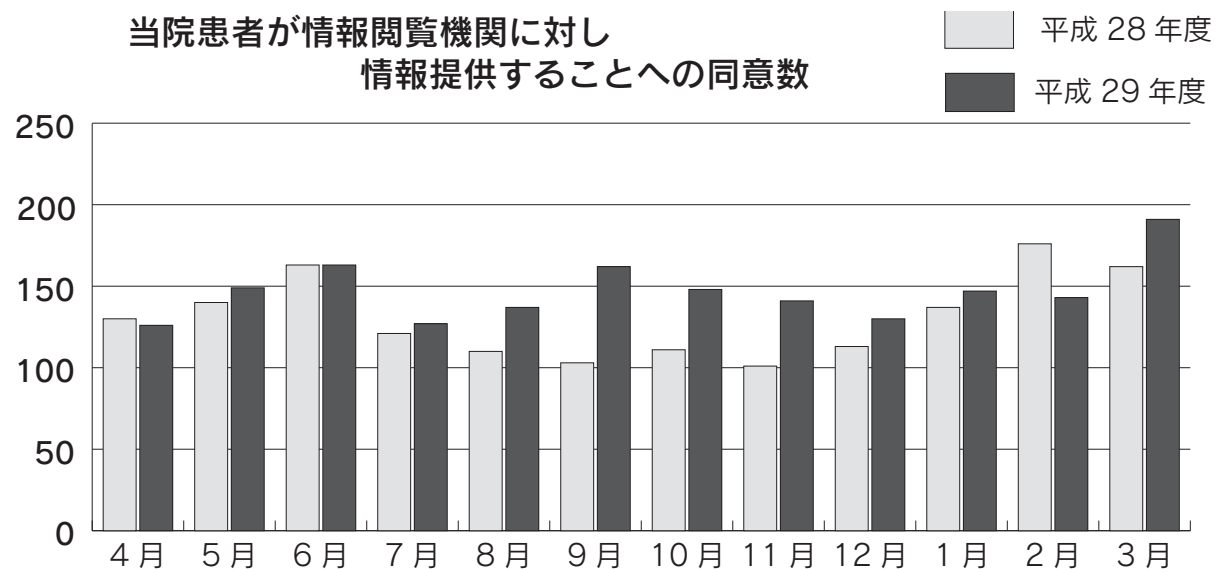
後 援 湖北保健医療圏地域がん予防診療推進協議会（湖北医師会、湖北歯科医師会、湖北薬剤師会、セフィロト病院、長浜市立湖北病院、滋賀県健康福祉事務所、米原市、長浜市）、滋賀県看護協会、滋賀県訪問看護ステーション連絡協議会、滋賀県がん患者団体連絡協議会、滋賀県がん診療連携協議会、滋賀県放射線治療連絡協議会、湖北地域介護サービス事業者協議会、湖北介護支援専門員連絡協議会（順不同）

7. 参加者数 399 名

2. びわ湖メディカルネットの運用

平成26年7月28日から滋賀県全域を結ぶ地域医療連携ネットワークであるびわ湖メディカルネットに移行して3年目となります。湖北圏域における情報提供病院である市立長浜病院・長浜赤十字病院・長浜市立湖北病院の3病院と、情報閲覧機関である診療所、薬局等の医療機関がITネットワークの専用回線で結ばれています。患者の同意に基づき、診療情報の共有化をはかることで、専門医とかかりつけ医の役割分担を進め、地域住民への良質な医療の提供につなげることができました。各医療機関を結ぶオンライン回線は、厚生労働省が認めた非常に高いセキュリティを確保しています。

平成29年度に、当院患者が情報閲覧機関に対して情報提供することへの同意数は1,764人（前年度比200人増）、他の情報提供病院で同意を得た患者の診療情報を当院が閲覧することへの同意者数は940人（前年度比215人増）となっています。



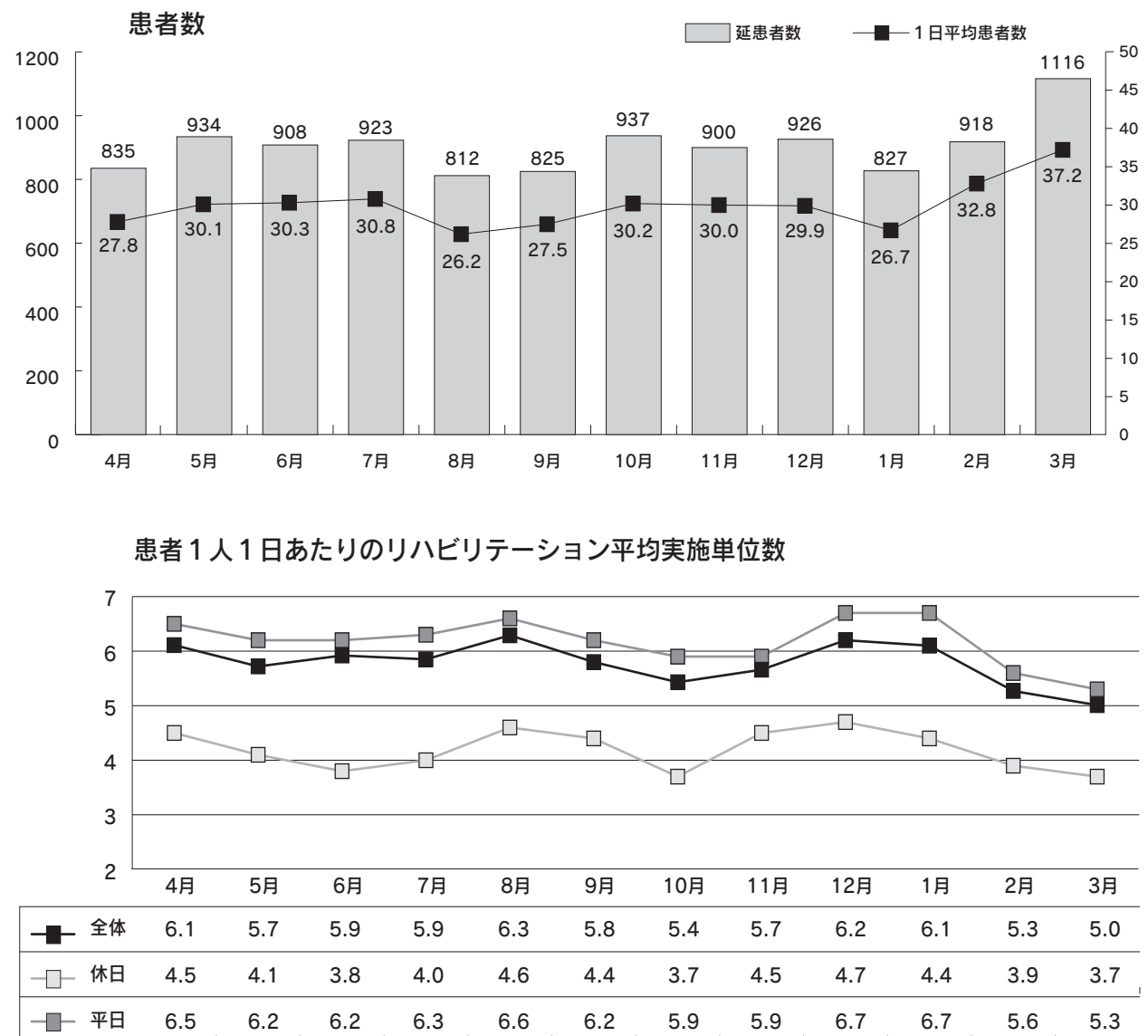
3. 回復期リハビリテーション病棟の運営

回復期リハビリテーション病棟（52床）は、平成26年9月に入院料2の施設基準を取得し運営しております。

湖北保健医療圏で唯一の回復期リハビリテーション病床として、急性期から回復期そして維持期（在宅療養）への切れ目のない医療の提供に努めています。

平成29年度は、一日平均入院患者数32.7人での運営となりました。

平成29年度運営状況



4. 病院機能評価の認定更新 (機能種別版評価項目 3rdG : Ver.1.1)

平成30年4月6日付けで、公益財団法人 日本医療機能評価機構から病院機能評価（機能種別版評価項目 3rdG : Ver.1.1）の認定証（更新）の交付を受けました。

■病院機能評価

病院機能評価は、(財) 日本医療機能評価機構が実施している医療機関を対象とした第三者評価のことで、『患者中心の医療の推進（第1領域）』、『良質な医療の実践1・2（第2、3領域）』、『理念達成に向けた組織運営（第4領域）』で構成され、医療機関の質を高めるために必要な病院機能の「現況調査」、自己評価調査による「書面審査」及びサーベイヤー(評価調査者)が第三者の立場で、それぞれの専門的見地から各領域を評価する2日間の「訪問審査」により詳細な審査が行われました。

各評価項目が認定基準に達していると判断された場合は、認定され、病院機能評価認定証を受けることができます。

■当院の認定

当院は、平成10年に県内で初めて認定を受けて以来、5年毎に認定更新審査を受けてきました。

今回は、主機能（一般病院2）と副機能（慢性期病棟・リハビリテーション病棟）における病院機能評価（機能種別版評価項目 3rdG : Ver.1.1）を受審し、認定されました。

認定期間は、平成30年(2018年)2月9日から平成35年(2023年)2月8日までの5年間です。

1 訪問審査までの主な経過

・平成28年9月16日	病院医療機能評価受審フォーラム受講
・平成28年10月20日	病院機能評価受審準備会発足
・平成28年11月19日	病院機能改善支援セミナー受講（web研修会）
・平成29年4月24日	第1回病院機能評価受審準備会開催
・平成29年7月10日	第2回病院機能評価受審準備会開催
・平成29年7月19日	ケアプロセス調査模擬サーベイ実施
・平成29年7月25日	機能評価受審セミナー参加
・平成29年8月23日	病棟概要確認模擬サーベイ実施
・平成29年9月28日	病院医療機能評価受審フォーラム受講
・平成29年10月6日	第3回病院機能評価受審準備会開催
・平成29年10月26・27日	病院機能評価 訪問審査
・平成30年1～2月	補充的な審査
・平成30年4月	病院機能評価 認定更新

2 訪問審査

- 1日目：平成29年10月26日 病院概要説明、書類確認、面接調査、病棟概要確認、
ケアプロセス調査、外来訪問、面接調査（事務）・部署訪問
- 2日目：平成29年10月27日 チーム別部署訪問、合議会議、講評および意見交換

Ⅳ－２ 各科の活動状況



総合診療科

勤務医師

大野 暢宏	部 長	平成18年2月～	日本外科学会認定医、日本呼吸器外科学会評議員 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 I C D制度協議会認定医、日本医師会認定産業医
上津 昌広	部 長	平成18年7月～	日本医師会認定産業医



内科／血液化学療法

勤務医師

亀崎 洋	副院長兼診療局長	平成16年8月～	日本血液学会指導医・専門医
		平成29年9月	日本内科学会認定内科医 日本臨床腫瘍学会暫定指導医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本リウマチ学会リウマチ専門医

カンファレンス等

・カンファレンス 毎週1回



内科／腎臓代謝内科

勤務医師

森田 善方 診療局長補佐兼責任部長

平成26年4月～ 日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定内科医
日本透析医学会透析専門医、日本腎臓学会専門医
日本糖尿病学会専門医、日本医師会認定産業医

潮 正輝 部長 平成24年6月～ 日本内科学会認定内科医

田中 裕紀 部長 平成28年4月～ 日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医
平成30年4月 日本腎臓学会専門医、日本透析医学会透析専門医

上田 久巳 部長 平成25年4月～ 日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医
日本腎臓学会専門医、日本循環器学会循環器専門医
日本透析医学会透析専門医

島本 綾子 平成29年4月～

霍田 裕明 平成29年4月～

平井 太郎 平成29年4月～

平成30年3月

清水 真也 非常勤 日本医師会認定産業医

業務実績

外来診療：糖尿病を中心とした代謝内分泌疾患、腎疾患（急性・慢性腎不全や腎炎など）の患者の外来診療を行っており、平均80～100人の方の診察を行っております。CKD地域連携パスを使用してかかりつけ医との連携を進めております。

入院診療：外来と同じく糖尿病、腎疾患の急性期・慢性期の診療を行っております。また、救急から入院となった一般内科的疾患（肺炎、腎盂腎炎など）に対して平均20～30人の入院患者について診療をしております。約100人もの血液透析患者の外来・入院診療も当科で行っております。9月から慢性腎不全1週間教育入院を開始しました。11月から腹膜透析を導入しました。

評価

湖北地域唯一の腎臓学会認定施設として地域の腎疾患診療に貢献しております。腎炎に対する経皮的腎生検、またごく初期から透析導入に至るまでCKD診療を進めております。健診で発見された初期の糖尿病から、インスリンの自己注射が必要な重症例、妊娠糖尿病まで幅広く担当しています。最新の薬剤であるインクレチン製剤（DPP4阻害薬・GLP-1作動薬）にも精通し、実際の臨床にも効果的に使用しております。



神経内科

勤務医師

小川 雅文 責任部長 平成25年 4 月 日本内科学会認定医
日本神経学会神経内科専門医

非常勤 (外来のみ担当)

南山 素三雄 玉木 良高 澤村 正典 音成 秀一郎 谷岡 洸介

今年度のトピックス

平成25年4月1日から常勤医 1 名となった。それに伴い平日すべての曜日に外来を担当するようになった。

業務実績

入院患者数 延べ159例
神経内科外来 月曜から金曜まで毎日
SCU 日当直、日勤帯救急当番なども担当した。

評価

常勤 2 名になり患者数なども増加した。



消化器内科

勤務医師

村上 善基	外来担当	非常勤
中村 文保	外来担当	
	内視鏡検査担当	非常勤
富樫 弘一	内視鏡検査担当	非常勤
熊谷 健	内視鏡検査担当	非常勤
藤本 剛英	内視鏡検査担当	非常勤
山之内義尚	内視鏡検査担当	非常勤
山内 淳一	内視鏡検査担当	非常勤
塚田 良彦	消化管造影読影担当	非常勤



呼吸器内科

勤務医師

野口 哲男	平成9年4月～	日本内科学会指導医・総合内科専門医 日本呼吸器学会指導医・専門医 日本人間ドック学会指導医・専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本医師会認定産業医
高木 順平	平成22年4月～	日本内科学会認定医 日本呼吸器学会専門医 日本人間ドック学会専門医
中川 雅登	平成25年4月～	日本内科学会認定医
上林 憲司	平成25年4月～	
平山 陽子	平成29年4月～	日本内科学会認定医

今年度のトピックス

呼吸器内科は4人体制から5人体制に拡大。平成29年4月より滋賀医大から平山陽子先生が加わりパワーアップした。呼吸器外科と連携し、湖北地域唯一の呼吸器センターとして活動している。

おもな疾患に対する治療方針は以下のとおり。

1. 肺がん：初診から、化学療法、放射線療法、手術、緩和ケアまで、各領域の専門家と密接に連携しながら全人的医療をこころがけている。
2. COPD：呼吸器内科の重点疾患としている。吸入指導については、薬剤師会とも連携し、多職種による指導をこころがけている。ガイドラインを参考にしながらも、全身併存症の発見にも留意している。
3. 気管支喘息：COPDと同様に薬剤師と連携した吸入指導をこころがけている。アドヒアランスの向上により普通の生活を過ごせることが目標である。
4. 間質性肺炎：特発性肺線維症（IPF）は予後不良の難病であり、ステロイドや免疫抑制剤の投与の可否、終末期医療など、多職種連携で治療にあたっている。
5. 肺炎：特に高齢者の誤嚥性肺炎はとみに増加している。入院直後から、リハビリ、嚥下機能チェックの計画をたて、できる限り短期間の入院として寝たきりをつくらないように努力している。退院には地域医療連携室と密接に連携し、カンファレンスを行っている。

カンファレンス

呼吸器外科、放射線科、薬剤局、看護局と合同で呼吸器カンファを毎週水曜日に開催。



循環器内科

勤務医師

高島 弘行 診療局長兼責任部長

平成22年4月～

日本内科学会認定内科医

日本循環器学会専門医

日本心血管インターベンション治療学会代議員・
認定医・指導医

日本内科学会指導医

國友 健生 部長 平成25年4月～

山科 聡 部長 平成21年4月～

日本内科学会認定内科医、日本心血管インターベ
ンション治療学会認定医

児玉 浩志 平成24年11月～

日本内科学会認定内科医、日本心血管インターベ
ンション治療学会認定医

肥後 洋祐 平成27年4月～

日本内科学会認定内科医

小林 勇介 平成29年4月～

濱谷 朋和 非常勤 平成24年9月～平成29年7月

野里 佳孝 非常勤

カンファレンス等

症例検討会及びカンファレンス 毎週火・金曜日



リウマチ膠原病内科

勤務医師

梅原 久範 診療局理事 平成29年1月～

川中 紀邦 部長 平成29年2月～平成30年2月

中村 拓路 部長 平成29年1月～

宮本 茂輝 非常勤 平成29年1月～

佐藤 智美 平成29年1月～

今年度のトピックス

- ・平成29年1月からリウマチ膠原病内科新設。
- ・平成29年4月から「ながはまRAコホート」を開設し、当院通院中のリウマチ膠原病患者さんのデータ収集中。
- ・リウマチ市民公開講座 平成29年9月10日 ホテルグラッツェで開催

カンファレンス等

- ・平成29年度湖北医師会 病診連携交流会講演
「温故知新—IgG4関連疾患—（21世紀に日本から発信された新疾患）」

緩和ケア外来ところ

勤務医師

森田 幸代 非常勤 平成21年4月～ 滋賀医科大学附属病院 腫瘍センター
日本臨床精神神経薬理学会指導医・専門医
日本精神神経学会専門医・指導医
精神保健指定医、日本医師会認定産業医

診療：毎週火曜日（午後）

カンファレンス等

緩和ケアチーム回診 毎週火曜午後（診療終了後）

小児科 & NICU

勤務医師

橋本 和幸 責任部長 平成17年10月～平成30年3月 日本小児科学会専門医
日本小児神経学会専門医
日本体育協会公認スポーツドクター
日本小児科医会「こどもの心」相談医
多賀 俊明 顧問（非常勤） 平成28年4月～ 日本小児科学会専門医・指導医
日本小児神経学会専門医
日本小児心身医学会認定医
子どものころ専門医機構専門医
日本小児科医会「こどもの心」相談医

今年度のトピックス

平成29年3月に安江志保先生が岐阜大学に、村本健翔先生が九州大学にそれぞれ戻られました。しかしながら後任が得られずに常勤医は橋本和幸先生お一人だけになりました。また多賀俊明先生は院長を退任されましたが、そのまま非常勤で小児科外来を担当していただいています。

業務実績

外来診療：一般外来とともに、慢性疾患、予防接種、新生児・発達、循環器、夜尿症、心身症の各専門外来を行っています。湖北地区の輪番病院として、小児救急医療にも貢献しています。平成29年度の1日外来患者数は平均26.15人で前年度の44.81人に比して18.46人の減少です（4人でしていたのが2人になって外来患者数も約半分です）。

入院診療：感染症症例が中心ですが、新生児医療や各種精査入院も受け入れています。平成29年度の1日平均入院患者数は5.29人で前年度の14.00人に比して8.71人の減少です（入院は3人でしていたのが1人になって入院患者数も約1/3になっています）。

NICU：平成29年度の1日平均入院患者数は4.75人でした。重症になると予測がつく場合には早めの母体搬送をお願いしています。2000～2500g程度の低出生体重児、一過性新生

児多呼吸（TTN）、高ビリルビン血症など1人でも対応可能と思われる新生児のみの対応とさせていただきます。

評価

小児科担当医の減少に比して外来も入院も患者数の減少が見られています。しかしながら産科新生児（健康な新生児は外来患者でも入院患者でもない）の回診や病児保育（投薬がなければ外来患者数にも把握されない）、他科入院でのMR検査時の鎮静など、数字に出ない取り組みもしています。

カンファランス状況

2人での短時間のディスカッションはありますが、カンファランス、抄読会、小児科全体回診などは休止中です。



外 科

勤務医師

野田 秀樹	事業管理者 平成7年4月～	日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会指導医・専門医・消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会認定医、日本消化器病学会指導医・専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、ICD制度協議会認定ICD、日本医師会認定産業医
神田 雄史	院 長 平成7年6月～	日本外科学会専門医・認定医、日本消化器外科学会認定医・消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医・がん治療認定医、厚生労働省死体解剖資格認定医
東出 俊一	責任部長 平成8年4月～	日本外科学会専門医・認定医、日本消化器外科学会認定医・消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会認定医、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会認定検診マンモグラフィ読影医師、日本消化器病学会指導医・専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本体育協会公認スポーツドクター、京都大学臨床教授
川島 和彦	部 長 平成28年4月～	日本外科学会専門医・認定医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、マンモグラフィ読影認定医、日本静脈経腸栄養学会NST医師、近畿外科学会評議員、京都大学医学部臨床准教授
平良 薫	部 長 平成28年4月～	日本外科学会専門医・認定医、日本消化器外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本肝胆膵外科学会高度技能指導医、日本胆道学会指導医、日本肝臓学会専門医、日本移植学会移植認定医、日本消化器病学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本肝胆膵外科学会評議員、近畿外科学会評議員
坂本万里華	非常勤 平成28年11月～	

今年度のトピックス

消化器の腹腔鏡下手術が大きく増えました。乳線手術がさらに増えてきました。

業務実績：今年度の手術室での主要な手術の件数

乳癌の手術	62件（乳房温存術	43件）
食道癌の手術	3件	
胃癌の手術	24件（腹腔鏡下手術	12件）
大腸癌の手術	39件（腹腔鏡下手術	22件）
肝癌の手術	6件	
胆道癌の手術	8件	
膵癌の手術	7件	
胆石症の手術	42件（腹腔鏡下手術	39件）
ヘルニアの手術	93件（腹腔鏡下手術	58件）

評価

腹腔鏡視下手術の適応拡大中です。

カンファレンス等

外科・消化器内科・放射線科・泌尿器科・婦人科・看護部・病理部合同カンファレンス：毎週月曜日に癌疾患症例を中心に、診断、治療方針の検討、病理診断を含めた総括等を総合的に行っています。（カンサーボード）



呼吸器外科

勤務医師

田久保康隆	部長	平成23年4月～	呼吸器外科専門医認定機構呼吸器外科専門医、 日本胸部外科認定医、日本外科学会専門医
小松 輝也	部長	平成29年4月～ 平成30年3月	呼吸器外科専門医認定機構呼吸器外科専門医、 日本外科学会専門医、気管支鏡専門医、 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
武智 浩子		平成26年4月～平成29年7月	
藤本 遼		平成29年7月～	

今年度のトピックス

当院呼吸器外科スタッフの変動としては、平成29年3月、阪本部長が転出し、平成29年4月、小松部長が転入した。

業務実績

平成29年1月から12月までの1年間で年間全身麻酔下手術件数は137例であり、そのうち原発性肺がんは、例年並みであった。

評価

引き続き湖北での呼吸器診療の中心機関としての任務を果たしていきたいと考えている。



整形外科

勤務医師

廣瀬 伸次	責任部長	日本整形外科学会専門医、認定リウマチ医、日本リウマチ学会専門医
杉本 正幸	診療局理事	日本整形外科学会専門医、脊椎脊髄病医、 運動器リハビリテーション医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医、 日本がん治療認定医機構暫定教育医、 日本整形外科骨粗鬆症学会認定医 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医、義肢装具適合判定医、 中部日本整形災害外科評議員
江藤 謹司	部 長	日本整形外科学会専門医、認定リウマチ医、 運動器リハビリテーション医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医
尾田 和広	部 長	日本整形外科学会専門医、日本リウマチ学会専門医 日本骨粗鬆症学会認定医
田中 淳		日本整形外科学会専門医
琴浦 良彦	非常勤	日本整形外科学会専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医
後藤 公志	非常勤	日本整形外科学会専門医、運動器リハビリテーション医
青山 直樹	非常勤	日本整形外科学会専門医
日根野 翔		日本整形外科学会専門医、日本整形外科脊椎脊髄病医
山口 晶		
辻本 和之		
領木 勇人		

今年度のトピックス

人工関節センターを平成23年からスタートさせて以降、人工関節手術が増加しており、人工股関節置換術と人工膝関節置換術を合わせた手術件数は年間270例程度となっています。骨粗鬆症外来も2000年（平成20年）から開設しています。

本年度は開設10年目となり、看護師、理学療法士からなる骨粗マネージャー8名を加えて骨粗鬆症の啓蒙活動も開始しています。

業務実績

整形外科年間手術件数 1,098例
 （人工股関節 132例、人工膝関節 140例、脊椎 166例）
 1日平均入院患者数 66人
 1日平均外来患者数 145人

カンファレンス等

ミニカンファレンス	月曜日 朝
手術カンファレンス	火曜日 夕
抄読会	木曜日 朝
部長総回診	木曜日 午前
手術	毎日

形成外科

勤務医師

藤林 久輝 部長 平成18年9月～ 学会認定医・専門医等 日本形成外科学会専門医

今年度のトピックス

診療体制に変更ないが、平成29年度末をもって京都大学形成外科鈴木教授が退官される。

評価 人員・手術枠・病床数などの制限の範囲内で有効に活動できている。

カンファレンス等

中央手術室での手術 毎週火・水曜日

褥瘡回診 第2・4水曜日15時

京都大学鈴木教授外来 年2回

業務実績

平成29年形成外科新患・手術件数			
新患数			657
(1) 新鮮熱傷	0	(7) 悪性腫瘍とその再建	9
(2) 顔面骨折、顔面軟部組織損傷	42	(8) 瘢痕拘縮・ケロイド	1
(3) 唇裂・口蓋裂	3	(9) 褥瘡・難治性潰瘍	11
(4) 手足の先天異常・外傷	61	(10) 美容外科	0
(5) その他の先天異常	0	(11) その他	26
(6) 母斑・血管腫・良性腫瘍	74		

脳神経外科

勤務医師

小林 映 顧問 平成6年4月～ 日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医・評議員

小室 太郎 責任部長 平成23年4月～ 日本脳神経外科学会指導医
日本脳卒中学会専門医
日本脳卒中の外科学会技術指導医
日本脳神経血管内治療学会専門医
京都大学医学部附属病院脳神経外科非常勤講師

佐藤 岳史 部長 平成24年8月～ 日本脳神経外科学会指導医
日本脳卒中学会専門医
日本脳神経血管内治療学会専門医
日本神経内視鏡学会技術認定医
日本定位機能神経外科学会技術認定医
日本リハビリテーション医学会臨床認定医

嘱託医師 1名（住吉壮介、服部悦子、山本 優、松川 爽）

京都大学大学院医学研究科

小林 雅子 専攻医 嘱託医

業務実績

1) 手術件数・入院件数

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	7年間合計
頭蓋内腫瘍の治療								
腫瘍摘出・生検術	17	16	24	12	3	16	12	110
経蝶形骨洞手術(主に脳下垂体腫瘍)	3	6	4	1	0	2	4	20
定位的放射線治療	11	12	4	12	5	3	16	63
脳動脈瘤の治療								
開頭術（クリッピング術）	7	10	8	15	6	8	6	60
脳血管内治療（コイル塞栓術）	7	6	3	15	16	15	3	65
脳内出血の手術	10	6	10	4	4	6	12	52
血管形成術								
頸動脈内膜剥離術	1	4	0	1	2	3	1	12
頭蓋内外バイパス術	2	1	0	1	0	0	0	4
頸動脈ステント留置術、血管拡張術	14	9	3	8	5	14	10	63
神経内視鏡治療	3	3	6	4	1	6	9	32
脊椎手術・脊髄腫瘍摘出術	2	6	2	2	1	0	1	14
シャント術	12	5	6	8	9	11	10	61
慢性硬膜下血腫	33	44	40	28	43	35	42	265
脳血管内治療 ※	—	—	12	31	34	40	26	131
入院件数	415	491	551	552	518	536	563	3626

※脳血管内治療は5年間の合計

2) 維持リハビリテーションを開始しました

佐藤の調査によれば、退院後に復職することのない患者さんの場合には悉く日常生活機能の低下を起こしていることがわかりました。

また、後遺症のある患者さんにとって物理療法が唯一の救いであることも少なくありません。最近の急性期診療の枠にとらわれず、こういった事態にも対応することが必要だと考え、リハビリテーション科・地域包括ケア病棟・脳神経外科外来との協力の下で8日間1クルールの慢性期維持リハビリテーション（または物理療法）の入院を始めました。



心臓血管外科

勤務医師

曾我 欣治	責任部長	平成24年6月～	日本心臓血管外科専門医認定機構専門医 日本胸部外科学会指導医・認定医 日本外科学会指導医・外科専門医・認定医
洞井 和彦	部長	平成19年5月～	日本心臓血管外科専門医認定機構専門医 日本胸部外科学会認定医 日本外科学会指導医・外科専門医・認定医
鄒 貴光		平成25年6月～	
吉良 浩勝		平成27年1月～	外科専門医 腹部ステントグラフト実施医

今年度のトピックス

大動脈弁形成術と大動脈瘤破裂に対する緊急ステントグラフト留置術の本格的導入に向け準備を進めました。

- 取り組み方針
1. 患者第一、誠心誠意
 2. 地域に信頼される病院づくり
 3. 地域完結型の医療体系構築

業務実績

総手術件数	355例
心臓・胸部大動脈手術	87例（ステントグラフト手術 6例）
腹部大動脈手術	45例（ステントグラフト手術 22例）
末梢血管手術	205例

評価

地域に真っ先に選択していただける病院とならねばなりません。
チームとして医療サービスの質の向上に努める必要があります。

カンファレンス等

毎朝	08：00～：全入院患者カンファレンス
火曜	15：30～：総回診
金曜	16：00～：術前カンファレンス



皮膚科

勤務医師

井階 幸一	責任部長	平成26年4月～	日本皮膚科学会皮膚科専門医
澤井 孝之	非常勤	平成26年4月～	

今年度のトピックス

平成26年4月より、井階幸一が責任部長として着任しております。その他、澤井孝之医師が非常勤医師として、皮膚科診療に携わっています。

業務実績

皮膚科では、外来診療を中心とし、「日本皮膚科学会の診療ガイドライン」に準拠した皮膚疾患の標準的な診断、治療を行っています。

評価

特に力を入れたいと考えているのが、褥瘡、老人性湿疹、足病変などの高齢者の皮膚トラブルです。湖北地域では、日本の将来を先取りする超高齢化社会が到達しつつあります。高齢者の増加に伴い、褥瘡や陰部の皮膚トラブル、足の病変の患者さんが急増しています。院内では褥瘡対策委員会などで適切に処理されていますが、さらに、形成外科、「皮膚・排泄ケア認定看護師（いわゆるWOCナース）」と共同して、高齢者の皮膚トラブル、スキンケアに対応していきたいと思っています。現在のところ、一人部長なので、皮膚科で入院患者をとる事は困難ですが、内科などの科で入院されたときには、主治医と協力して皮膚疾患、皮膚トラブルの処理に当たりたいと考えています。今後、地域の医療機関、スタッフの方々と協力して、高齢者の皮膚トラブル、スキンケアさらにフットケアの処理に当たりたいと思っています。

カンファレンス等

毎月、第4木曜午後5時より、長浜赤十字病院皮膚科と臨床カンファレンスを行っています。ときに京都大学附属病院皮膚科の医師が臨床カンファレンスに参加しています。



泌尿器科

勤務医師

村中 幸二	副院長	平成 8 年 3 月～ 平成30年 3 月	日本泌尿器科学会専門医、指導医 日本臨床検査管理医
塚 晴俊	責任部長	平成14年10月～ 平成30年 2 月	日本泌尿器科学会専門医、指導医
横川 竜生	部 長	平成27年 4 月～	日本泌尿器科学会専門医、指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本排尿機能学会認定医、日本性感染症学会認定医
村元 暁文		平成28年 4 月～	

今年度のトピックス

常勤医 4 人体制を維持することができ、初診患者さんや病診連携を通じての紹介患者さんを極力制限することなく診療することが出来ました。

業務実績

手術件数は年々増加傾向を示しております。

特に尿路結石に対する手術件数は滋賀県内有数であり治療成績も良好です。

評 価

病状の安定している患者さんを病診連携を通じて積極的に逆紹介させていただくことで、新患者さんをこれまでのように制限することなく診療することが可能となりました。これに伴い手術件数も増加しており、これまで以上に急性期病院としての役割を果たしているのではないかと考えています。

カンファレンス等

入院患者カンファレンス：毎日

カンサーボード：毎週月曜日

手術カンファレンス：毎週金曜日

論文抄読会：毎週金曜日



産婦人科

勤務医師

林 嘉彦	理事	平成19年2月～	滋賀医科大学臨床教授、日本産科婦人科学会指導医
	兼責任部長		日本産科婦人科学会専門医、母体保護法指定医
高橋 顕雅	部長	平成28年4月～	日本産科婦人科学会指導医
			日本産科婦人科学会専門医
			日本癌治療認定医機構癌治療認定医
			日本臨床細胞学会細胞診専門医
			日本内視鏡外科学会技術認定医
			日本産婦人科内視鏡学会技術認定医
			臨床遺伝専門医
北澤 純		平成26年3月～	日本産科婦人科学会専門医
上村 真央		平成29年4月～	日本産婦人科学会
野田 洋一	顧問	平成19年3月～	滋賀医科大学名誉教授、日本産科婦人科学会専門医
			日本産婦人科学会名誉会員
中多 真理	部長	平成19年3月～	
		平成29年6月	

今年度のトピックス

長年女性医師として地域の産婦人科診療に尽力いただいた中多真理医師が転勤となりました。
4月から上村真央医師が着任となり毎日明るく元気に働いております。
悪性腫瘍の症例が増えているのが最近の特徴です。引き続き高度な悪性腫瘍治療を行えるよう
他診療科とも協力して努力していきます。

業務実績

症 例	件 数	症 例	件 数
総分娩数	192	子宮頸癌	9
帝王切開術	55	子宮体癌	15
腔式子宮摘出術	18	卵巣癌	9
腹式子宮全摘術	33	良性卵巣腫瘍手術	58
性器脱手術	18	放射線治療（患者数）	4
子宮頸部円錐切除術	27	抗癌剤化学療法（患者数）	22
子宮外妊娠手術	2	腹腔鏡手術	150

評 価

滋賀県湖東・湖北地域での中核医療施設として、大学病院と連携をとり最高水準の産婦人科医療が提供できるように努めています。外科、泌尿器科、麻酔科、病理診断科などと連携をとり高度の手術治療ができるよう努力しています。

カンファレンス等

カンファレンス、手術症例検討会	毎週水曜日
病棟回診	毎日



眼 科

勤務医師

清水 久雄	責任部長	平成27年5月～	日本眼科学会専門医
西村 宗作		平成23年4月～	日本眼科学会専門医
西村 初夏		平成26年2月～平成29年9月	

今年度のトピックス

常勤医師は2名のままです。

非常勤医師の西村初夏先生が平成29年9月末に退職されました。

業務実績

総手術件数	976件	
主な手術件数		
白内障手術	482件	(単独および他の手術との併用含む)
緑内障手術	16件	(白内障手術併用含む)
硝子体手術	90件	(白内障手術併用含む)
経強膜網膜復位術	2件	
その他	41件	
硝子体内薬物注射	405件	

評 価

湖北地域の中核病院としての機能は維持できていると考えており、今後も難治性白内障、網膜硝子体疾患、緑内障治療に力を注ぎたいと思います。

カンファレンス等

術前・術後カンファレンス	毎週月・水曜日
斜視・弱視カンファレンス	毎週金曜日



耳鼻咽喉科

勤務医師

糟谷 憲邦 責任部長 平成18年10月～ 日本耳鼻咽喉科学会専門医
中村 圭吾 平成28年 5月～

今年度のトピックス

研修医2年目の堀井翔平先生が6月より耳鼻咽喉科のローテートを希望され、外来、病棟の診療にあたってもらいました。しばらくして当科関連施設である滋賀医科大学耳鼻咽喉科の入局を希望され、翌年3月まで研修を行いました。

導入された手術用ナビゲーションシステムは、主に鼻副鼻腔内視鏡下手術に用いていますが、難易度の高い手術でも危険領域を評価して安全な手術を行うことができおり、合併症を起こさず手術しております。

業務実績

鼓室形成術：7例
鼓膜形成術：8例
内視鏡下副鼻腔手術：31例
鼻中隔矯正術：5例
口蓋扁桃摘出術：30例
甲状腺腫瘍手術：13例
副甲状腺腫瘍手術：1例
唾液腺腫瘍手術：9例（耳下腺6例・顎下腺3例）
頸部郭清術：2例
喉頭全摘出：1例
ラリngoマイクro：9例
気管切開術：6例
頸部リンパ節生検術：5例

評価

1年間の手術件数は154例で昨年度と変わりありません。
今後も入院・手術症例の増加に勤めていく必要があります。

カンファレンス等

症例検討会（外来・手術症例）・術前カンファレンス： 毎週火曜日 第1, 3, 5金曜日



麻酔科

勤務医師

嶋田 文彦	副院長	平成28年4月～	日本麻酔科学会専門医・指導医 麻酔科標榜医
柳田 豊伸	部長	平成21年4月～	日本麻酔科学会麻酔科認定医・専門医 麻酔科標榜医
和田 佳子		平成27年8月～	日本麻酔科学会認定医・専門医 麻酔科標榜医
岩崎 愛		平成29年4月～	日本麻酔科学会認定医 麻酔科標榜医

今年度のトピックス

和田医長が産休から復帰するとともに、岩崎医員が赴任し、常勤4人体制となった。また昨年度は学会発表は皆無であったが、この面でも2題発表した。

業務実績

手術室麻酔

麻酔科管理件数は、前年度とほぼ横ばいの1,783件であった。

麻酔科外来（麻酔前コンサルト）

水曜日午前に1単位。

評価

ようやく一時期の人員不足からは脱却できた。

カンファレンス等

平日毎日 8時30分から麻酔前症例検討

2週に1回火曜日早朝 定期学習会



ICU・CCUセンター

勤務医師

嶋田 文彦 平成28年4月～

今年度のトピックス

RSTや理学療法士の協力により、早期からのリハビリが定着しています。

業務実績

本年度の入室症例は432例（昨年度も417例）と少しの増加でした。一般病棟からの転入は313例（昨年度は298例）、直接入院が119例（昨年度は119例）であり、前者が増加しています。平均在室日数は3.4日で昨年度と変化はありません。科別内訳は心臓血管外科172例（40%）、循環器内科77例（18%）、脳神経外科60例（14%）、呼吸器外科46例（11%）、が主だったところです。

入室患者の早期離床やリハビリテーションの取り組み、また、一般病棟との連携に努めながらベッドコントロールをおこなっていますが、重症患者受け入れ困難状況（いわゆる救急ストップ）もかなりの頻度（計38回／年）で発生しました。

評価

今年度は、8・9月は平均3床／日稼働と入室症例が減少しました。10月以降は平均5～6床／日とほぼ満床状況が続きました。

夏期時に病床数が減少する傾向にあるため、手術後患者や救急外来患者の1泊入室など受入れ基準を再考する余地はあると思われます。特に平成30年度からは占床率アップに努力を要します。

カンファレンス等

平日毎朝 心臓血管外科症例カンファレンス

火曜日 心臓血管外科回診 RST回診

金曜日 心臓血管外科術前カンファレンス

適宜 主治医と看護師、必要に応じて他コメディカルとともにカンファレンス開催



放射線科（治療部門）

勤務医師

伏木 雅人	責任部長	平成13年～	日本放射線腫瘍学会および日本医学放射線学会放射線治療専門医 日本医学放射線学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本緩和医療学会暫定指導医
安永 敏美	特任部長	平成26年9月～	
藤井 康太	非常勤	平成28年4月～	

放射線治療部門

最新の高精度照射についてさらに検証と実践を進め、日常業務として定着させています。

滋賀県で湖南・大津地域を除くと唯一、常勤の治療専従医が2名勤務しており、IMRTを含む高精度治療が行える施設であることから、連携と集約化による地域の放射線治療の質を保つ責務を負っています。

一方で放射線治療、特に最新の高精度治療について、まだ十分理解いただけていない医療者の方々や一般の方々にも、十分にご理解の上、活用していただけるよう、患者会、市民公開講座、出前講座などの啓蒙活動も行っています。また、平成26年度より引き続き、中学生に向けたがん教育授業も行っています。

本年度の放射線治療につきまして、高精度治療の数がさらに増加しています。脳定位照射は18名に、体幹部定位照射は肺病変に13例、肝病変に2例を施行し、強度変調放射線治療（IMRT）は24名に実施しています。

他院からの紹介も、湖北や湖東のみならず滋賀県内全体、京都府、岐阜県からのご紹介もいただいて選択と集中に貢献しています。

平成29年度実績 原発部位別照射新患数（転移の治療も原発部位で分類）

原 発 部 位	脳	頭頸部	乳腺	肺 縦隔 胸膜	食道	胃 大腸 直腸	肝 胆膵	女性 生殖器	泌尿器	血液 骨髄	皮膚 骨軟部	原発 不明	良性	合計
照 射 件 数	5	13	45	112	3	12	0	5	37	7	2	3	0	245

脳定位照射数 18件 体幹部定位照射数 15件 画像誘導照射 2128件 IMRT 24件（前立腺 17件）

カンファレンス等

放射線治療科ミニミーティング	毎朝8:50
放射線治療科QA会議	毎火曜日 夕
放射線治療科画像カンファレンス	毎火曜日 夕
呼吸器科がんカンサード	毎水曜日
消化器がんカンサード	毎月曜日



放射線科（診断部門）

勤務医師

若宮 誠	責任部長	平成22年4月～	日本医学放射線学会放射線診断専門医 日本IVR学会IVR専門医 腹部ステントグラフト指導医 胸部ステントグラフト実施医 検診マンモグラフィ読影認定医
宮川 善浩	部 長	平成24年4月～	日本医学放射線学会放射線診断専門医 検診マンモグラフィ読影認定医
上村 諒		平成29年4月～	
高木 海	非常勤	平成28年4月～	

今年度のトピックス

平成27年1月より日本IVR学会専門医修練施設として認定されました。

業務実績

読影については至急読影の依頼に可能な限り対応しつつ、各科にできるだけ早く所見を返すようにしています。他院からの紹介患者についても至急読影を行っており、患者および開業医のニーズに対応しています。IVRについてはCVポート造設、肝細胞癌のTACEや非血管系のIVRのほか、緊急のIVRも行っています。心臓血管外科の大動脈ステントグラフト内挿術にも参加しています。

評 価

CT2台、MRI2台で常勤医3人(診断専門医2人)はかなり少なく、非常勤の先生にも助けられながら朝から夕方まで間断なく業務をこなしています。画像診断管理加算2を維持しながら標準レベルもしくはそれ以上の診断レベルは保てていると思います。IVRについても増加傾向にあり、診療に貢献していると思われます。

カンファレンス等

消化器癌カンサーボード 毎週月曜日



病理診断科

勤務医師

黒澤 学	責任部長	平成25年4月～	日本病理学会認定病理専門医 病理専門医研修指導医
沢田 真治	部 長	平成10年4月～	日本臨床細胞学会細胞診専門医 日本病理学会認定病理専門医 病理専門医研修指導医 死体解剖資格認定医

今年度のトピックス

がんサージカルボードを継続して実施した。臨床各科の発表等へは積極的に関与した。

業務実績

組織診断：約3300件／年、細胞診断：約6500件／年、病理解剖：6件／年

評 価

非常に稀な症例を数例経験し、貴重な知識を得る機会を得た。この経験を生かし、診断精度の向上に向けた努力をしていきたい。

カンファレンス等

がんサージカルボード 毎週月曜日
細胞診カンファレンス 2回／週
病院CPC 5回／年



歯科・歯科口腔外科

勤務医師

家森 正志	平成26年4月～ 平成30年5月	日本口腔外科学会認定口腔外科専門医 日本小児口腔外科学会指導医・歯科医師臨床研修指導医 日本口腔科学会認定医
北本 幸恵	平成27年8月～	日本口腔外科学会認定口腔外科認定医 日本小児口腔外科学会認定医 歯科医師臨床研修指導医
佐藤 舞	平成27年4月～	日本アンチエイジング歯科学会認定医
杉藤 雅孝	平成29年4月～	
飯塚 忠彦	非常勤 火曜日のみ	日本口腔外科学会認定口腔外科専門医・指導医

今年度のトピックス

平成30年5月に家森正志先生が滋賀医科大学付属病院へ異動され、10月より近藤正彦先生が常勤医として着任を予定しています。

市立長浜病院に歯科が新設されたのは、1957年11月で、歯科口腔外科は1997年1月に新設されました。発足当初は、歯科医師一名体制でしたが、現在は歯科医師四名で診療を行っています。これまで多くの先生方やスタッフの皆さんに支えられ、湖北地域の歯科・歯科口腔外科医療の基幹病院の一つとして診療を行ってまいりました。これからも地域の患者さまや先生方のご期待に添えるようにスタッフ一同、精進してまいります。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

市立長浜病院歯科・歯科口腔外科の主な外来

歯科口腔外科外来：初診(火曜日以外の平日) すべての歯科口腔外科疾患（顎口腔領域の炎症・腫瘍・外傷・粘膜疾患・顎関節疾患・顎変形症など）

口腔腫瘍専門外来：毎週火曜日

障害者歯科専門外来：毎月第1、3水曜日の14：30～16：30

嚥下機能の評価および訓練：初診(火曜日以外の平日)、VF、VE検査（毎週月曜日、水曜日）

閉塞性睡眠時無呼吸の口腔内装置の作製：初診(火曜日以外の平日)

周術期口腔機能管理（口腔ケアセンター）：初診（月曜日～金曜日）

市立長浜病院における歯科口腔外科に関連した主な施設基準

日本口腔外科学会認定准研修施設・がん診療連携拠点病院加算・歯科外来診療環境体制加算・歯科外来診療環境体制加算歯科診療特別対応連携加算・地域歯科診療支援病院入院加算・歯科治療総合医療管理料・歯科口腔リハビリテーション料2・上顎骨形成術、下顎骨形成術（歯科診療によるもの）・歯周組織再生誘導手術・歯科矯正診断料・歯科技工加算 など



臨床研修医

研修医名

田代 裕介 平成28年4月～平成30年3月
 廣坂 雄介 平成28年4月～
 堀井 翔平 平成28年4月～平成30年3月

平成29年度 市立長浜病院 臨床研修医 診療科ローテーション表

2 年 目	氏 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	田代 裕介	脳神経 外科	リウマチ膠原病内科		産婦人科	腎臓代謝 内科	病理診断科	循環器内科	地域医療 (浅井東)	リウマチ 膠原病内科	皮膚科 (滋賀医)	神経内科 (滋賀医)	小児科
	廣坂 雄介	小児科	腎臓代謝内科			脳神経外科	泌尿器科	地域医療 (浅井東)	外科	循環器内科	腎臓代謝内科		
	堀井 翔平	リウマチ膠原病内科	耳鼻咽喉科						地域医療 (雨森)	耳鼻咽喉科			

当院の臨床研修について

1年目は基本研修科目として、内科（6ヶ月）、救急（3ヶ月）、選択必修（3ヶ月）の研修を行います。

2年目は、湖北医療圏域の診療所を中心に研修先を選択する地域医療（1ヶ月）の他、残り11ヶ月を選択期間にしており、研修医の自主性と志向に応じた自由度の高いプログラム設定をしています。

また、週1回程度の宿日直研修を通して、プライマリケアの習得に十分配慮しており、基礎的研修項目は、厚生労働省の指針に準拠して設定した行動目標および経験目標に沿って、一般臨床医としての基本を研修し、指導医から評価を受けることとなります。



人工透析センター

勤務医師

森田 善方 センター長
潮 正輝
田中 裕紀
上田 久巳
島本 綾子
霍田 裕明
平井 太郎

今年度のトピックス

平成29年11月から医師より腎代替療法を必要と告げられた保存期腎不全の患者・家族を対象に治療選択外来を透析センターにて開始しました。医師、看護師ともに患者・家族へ意思決定支援を行っています。

業務実績

外来透析部門では、糖尿病性腎症を中心とした新規HD導入患者が年々増加しており、現在約120名の患者が血液透析を受けています。また、それ以外にも腹水、胸水合併患者に対しての濃縮再静注療法や、白血球除去療法(LCAP)、血漿交換、骨髄幹細胞移植（血液内科主導）なども施行しております。

入院透析部門では腎不全患者に対する血液浄化療法への対応をしておりますが、他にも多臓器不全、敗血症性ショックや術後腎不全などの重症患者に対して、CHDFやエンドトキシン吸着、血漿交換などの急性血液浄化療法をICUにて施行しております。

また、循環器内科や消化器内科など様々な検査や治療、一般外科、心臓血管外科、整形外科、眼科などでの手術目的で他院からの紹介患者も多く、常に受け入れができるような体制を整えています。

評価

透析導入に加え検査や治療目的の維持透析患者の受け入れ、地域医療にしています。透析患者全員に対して月2回の血液検査や、心エコー、CTなどを施行し状態の評価を行っています。月1回のカンファレンスにて至適透析をめざして治療を進めています。よりよい透析生活につながるように患者教育、勉強会を行っています。

救急センター

東出 俊一 救急センター長

今年度のトピックス

- ①救急ミニ講座の定期開催
- ②ICLSコースの定期開催（年2回） 平成29年6月10日、平成29年12月2日
- ③原子力防災実働訓練 平成29年11月20日実施（9月23日・10月20日(土)予行訓練）

研 修

救急ミニ講座の開催

開催期日		テーマ	講 師		参加者
第1回	6月22日(木)	当院救急センターの現状と課題	呼吸器内科	中川 雅登	35
第2回	7月27日(木)	腎不全と救急疾患	腎臓代謝内科	霍田 裕明	22
第3回	8月24日(木)	救急における内分泌代謝疾患	腎臓代謝内科	平井 太郎	28
第4回	9月28日(木)	救急でみる呼吸器疾患	呼吸器内科	平山 陽子	23
第5回	12月21日(木)	循環器領域の救急疾患	循環器内科	小林 勇介	39
第6回	2月22日(木)	当院における院内C P A症例の検討	呼吸器内科	中川 雅登	30
第7回	3月 9日(金)	産婦人科救急の外せないポイント	産婦人科	上村 真央	49

業務実績

(単位：人)

	平成28年度	平成29年度	前年対比
救急受診患者総数	16,913	15,005	－1,908
救急車搬送数	2,668	2,886	218
入院患者数	2,296	2,205	－91
救急車入院数	984	1,016	32
病診患者数	794	658	－136
一般紹介患者数	302	277	－25



健診センター

野口 哲男 健診センター長兼呼吸器内科部長
日本人間ドック学会 人間ドック指導医・専門医

当健診センター運営に関しましては、日頃から各方面（内科，外科，呼吸器科，循環器内科，婦人科，泌尿器科，脳外科，眼科，看護科，検査科，放射線科，栄養，病棟他）より多大なるご協力をいただいております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

今年度のトピックス

大口契約（ヤンマー）が決まり、健診人数が大幅に増加しました。胃カメラの需要も強く、病院には引き続き胃カメラ枠の維持をお願いします。

業務実績

当センター利用者数の推移は、平成20年度3,346人，平成21年度3,250人，平成22年度3,190人，平成23年度3,257人，平成24年度2,990人，平成25年度2,961人，平成26年度2,881人，平成27年度2,882人，平成28年度2,790人でしたが、平成29年度は2,944人と大幅に増加しました。

今後の展望

引き続き、受診者に満足してもらえる健診センターをめざしてがんばります。



開放型病棟、開放型病床

特徴

- ①平成27年1月から今まで開放型病棟として運用してきました7東病棟は、平成29年の病床編成のため閉鎖となり6東病棟に移転し診療報酬上で地域包括ケア病棟を算定する病棟としました。しかしながら開放型病床は登録医の先生方と共同指導をするための病床ですので、この地域包括ケア病棟の中に開放病床30床を持つことにしました。そのほかの病棟にも2～4床程度の開放病床を設けていますので病院全体としての開放病床は今までどおりの50床を確保しています。
- ②平成24年4月からは開放入院の制度は残し、入院の決定は登録医の先生から病院の医師が行うこととなり6年が経過しております。
- ③登録医の先生が地域医療連携室に来ていただいた時に、地域医療連携室に担当者が開放入院の患者さんのいらっしゃる病棟までご案内するようにしています。

業務実績

平成29年度の入院のべ患者数は637人で平成28年度に比べると100人以上増えています。しかし最大利用時（平成8年の約14,970人）の4.3%と低迷しています。さらに開放病床利用率は昨年の2.9%から3.5%とほんの少し増えた。また、開放入院の基本である共同診療の回数は9件と落ち込んでいます。平均在院日数は平成元年度で45.3日、平成29年度は61.0日とやや延長している傾向にあります。

評価

- ①地域包括ケア病棟の中に開放病床を設けています。地域包括ケア病棟は主として在宅で看取いただいていた患者さんが高度急性期で対応するような疾患でなく、短期間の入院加療を行いその後再び在宅医療を目指すような場合に利用する病棟と認識しており、今までの開放型病棟の趣旨に沿った病棟と理解してよいと考えています。そういった意味で今後とも大きく変わることなく開放病床の運営は継続していきます。
- ②開放入院でも診療科がはっきりしている場合は担当の診療科に主治医をお願いしていますが、内科で紹介いただいた患者さんは、平成24年4月から院内の医師がトリアージして、各診療科にお願いする体制に変更しました。しかしながら「開放入院で」といわれる患者さんは、入院の決定は登録医の先生から病院の医師が行うことに変更しましたが、極力登録医の先生のご意思に沿えるようにしています。
- ③共同指導は開放型入院の基本です。しかし、在院日数の減少やびわ湖メディカルネットの普及による情報提供の進歩、退院支援の推進による登録医の先生方との情報交換が進むことで共同指導の減少が予測できます。登録医の先生方に少しでも共同診療に来院していただけるようなシステムの構築に努力したいと考えています。



中央材料室

川島 和彦 室長

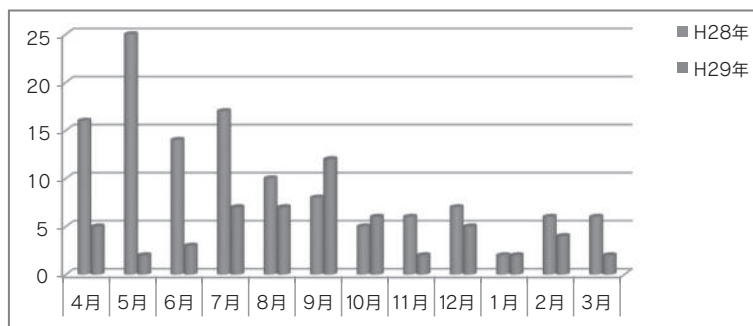
今年度のトピックス

1. 中央材料室災害研修参加や、アクションカードを活用しての災害シュミレーションを実施し、大規模災害に対する実践能力を高める事が出来ました。
2. 研修会に参加し、専門性を高め情報の共有に努めています。
京滋滅菌業務研究会参加 2名
中材業務及び感染対策研究会参加 4名
災害研修会参加 1名
3. 洗浄・滅菌における学習会の開催、手術室の手術見学を通して、洗浄技術及び機械点検能力を養う事が出来ました。

業務実績

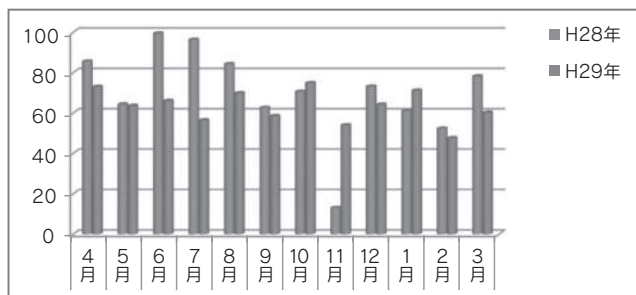
1. 居残り業務の業務量に伴う超過勤務時間の増加を受けて、日勤勤務内の洗浄器械（手術室）の片付け業務を居残り業務に残さない様に、昨年度からフリー業務による器械セットの応援を行っている。今年度は、夏季休暇の期間は器械の残数が増加したが全体としては減少しており、応援業務が定着してきていると考える。

居残り時間帯の手術器械セット数

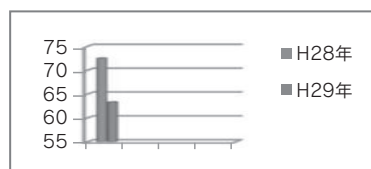


2. 居残り業務における業務量の削減の為に器械片付け業務応援については、居残り時間で比較すると、平均9時間の減少となり、応援業務の定着が行えています。

居残り業務超過勤務時間



居残り業務超過勤務時間平均比較



評価

中央材料室は、良質な滅菌器材を提供できる事を基本方針としています。様々な業務に対応する為に、前年度からの人材活用（業務改善）の定着を目指す1年でした。超過時間の削減にはつながりましたが、今後も環境の変化に対応し中央材料室業務が行えるようにしていきたいと思えます。



中央手術室

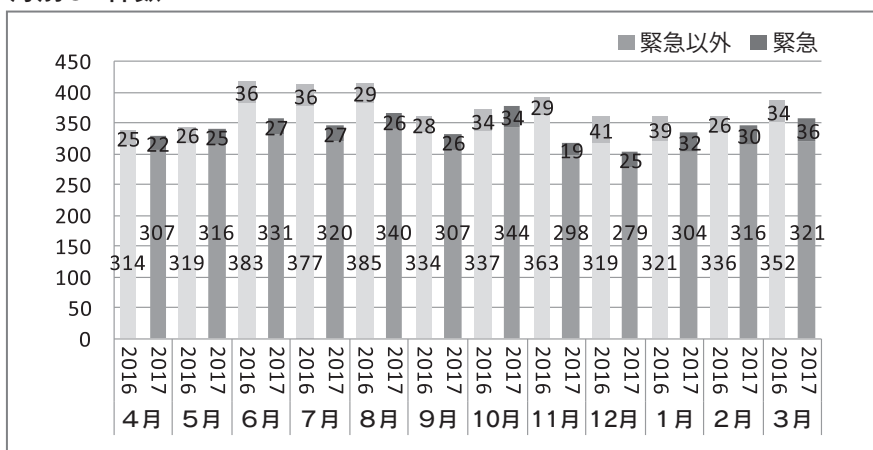
林 嘉彦 中央手術室部長

今年度のトピックス

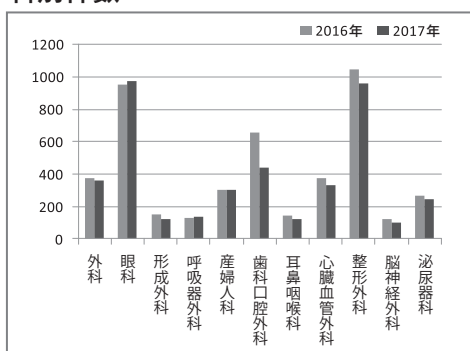
- ①麻酔科常勤医師が3名に増員となり、滋賀医大からの応援医師と合わせて麻酔科OPが午前、午後共に4～5列体制を維持できています。
- ②手術室認定看護師が活動を広げ、周術期看護に対する実践・指導・相談が充実しました。
- ③特定行為研修受講者が誕生し、麻酔科医師の指示のもと手術器管理の向上を目指す土台作りができました。
- ④周術期の患者さんを対象に患者総合支援センターでの手術室看護師による術前情報収集が可能となり、術前からの患者さんへの関わりが充実しました。
- ⑤材料管理専門の委託業者による診療材料管理体制ができ、業務分担がより専門的になりました。

業務実績

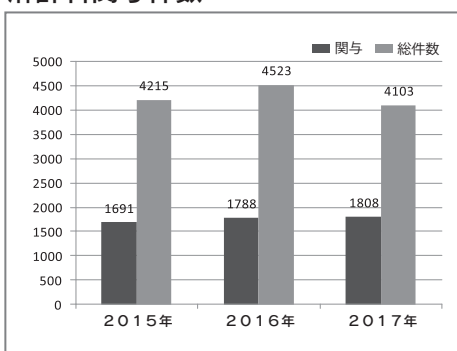
月別OP件数



科別件数



麻酔科関与件数



評価

麻酔科体制の安定や、委託業者による診療材料の管理が軌道に乗りましたが、手術年間総数では420件の減少という結果になりました。しかし、患者総合支援センターでの手術室看護師による支援外来を行うことにより、入院前から情報収集を行うことができ周術期看護の充実につなげることができました。



薬剤部

神田 雄史 院長兼薬剤部長

野淵 孝二 副参事

今年度のトピックス

- ・ 全病棟緊急注射薬払出の開始
- ・ 人材育成：認定薬剤師の充実
- ・ 薬学6年制実務実習生の受け入れ 8名
- ・ 医薬品研修の充実

業務実績

●中央業務

注射薬自動払出機更新に伴い、全病棟への緊急注射薬払出を開始しました。従来は緊急に指示される注射薬の準備は、看護師がその都度請求・部署備蓄薬を使用し、患者ラベルは手書き対応でしたが、今回の更新により、ほぼ24時間、薬剤師がセットした注射薬と認証バーコード付患者ラベルで、注射を施行することが可能になりました。医薬品安全管理はもちろんのこと医療安全や業務効率化で大きな効果があり、病棟備蓄注射薬の大幅な削減に成功しました。院内採用医薬品を積極的に後発品に変更し、後発医薬品の使用割合は年間平均90%を超えており、DPC係数増と薬品購入費減に貢献しました。継続して90%以上を維持するように取り組んでいきます。

●人材育成

地域がん診療連携拠点病院として、がん化学療法に精通した薬剤師の育成を進め、がん薬物療法認定薬剤師2名・緩和薬物療法認定薬剤師1名で連携し、外来～終末期まで薬剤師が切れ目なく薬物療法に関わる体制を整えました。より安全で適正ながん薬物療法が行えるように取り組んでおります。がん関連以外の資格として、感染制御認定薬剤師、腎臓病薬物療法認定薬剤師が誕生しました。各専門分野の学術大会、研究会への参加を推奨しており、11演題を発表しました。薬学5年次の長期実務実習生を8名受け入れ、次世代の薬剤師育成に努めました。

●多職種連携・病棟業務

チーム医療では、病棟カンファレンスや回診のみならず、医師をはじめ、コ・メディカルスタッフと連携し医療を提供できるよう取り組みました。化学療法委員会、糖尿病教室、緩和ケア、ICT、NST、認知症対策委員会、ハートケアカンファレンスに継続して参加しており、今年度から、骨粗しょう症リエゾンチームにも参加しています。病棟業務の中で発見した重篤な副作用を厚生労働省へ2件報告し、副作用救済制度申請の患者支援を行いました。積極的に日本病院薬剤師会プレアボイド（副作用回避）を44件報告しました。また、患者総合支援センターに1名の薬剤師を配置し、抗凝固薬・抗血小板薬の術前休薬指導を開始しました。

●医薬品安全管理

医薬品安全管理研修会では、大阪市立大学准教授で消化器内科非常勤医師の村上善基先生に「B型肝炎の再活性化対策について」、呼吸器内科責任部長の野口哲男先生に「免疫チェックポイント阻害薬の使用と副作用マネジメント」をテーマに2回開催しました。多数の医師や保険薬局薬剤師の参加があり、関心の高い内容で研修会を開催することができました。看護局教育委員会と共同で危険薬に関する研修会を開催し、「麻薬・向精神薬の特徴と安全な取り扱い」

と「抗凝固薬・抗血小板薬・カリウム製剤」について研修を行い、危険薬の知識を深めました。

●地域連携

湖北吸入療法研究会（KKR）の事務局を担当し、春と秋に全体研修会を開催し、湖北地域の薬・薬連携を進めました。

評価

地域がん診療連携拠点病院として、体制が充実し、積極的に指導を行ったことで結果的にがん患者指導管理料3の算定が増加しました。注射薬自動払出機を更新したことで、薬剤師確保が困難な状況の中、看護師の注射薬に関わる時間を削減するとともに、医療安全面・経営面に寄与することが出来ました。

医療技術局

村上 義和 局長
新川 由基 理事

今年度は、中央検査技術科新川技師長が理事へと昇格し、部局内の取り決めや方向性、他部局との連携等組織の充実が図れたと考えています。

また、例年の通り医療技術局の組織強化と連携を密にするため、月1回の医療技術局技師長責任者会議を開催し、各科の問題点及び情報の共有を図りました。

医療技術局の事業として、今回で4回目の開催となります、新人紹介を兼ねた研修会及び親睦を目的とする「絆プロジェクト」を、平成29年6月30日（金）に開催し、86名の職員参加の下、医療技術局のチーム力向上、組織強化が図れたと考えています。

第4回の医療技術局研修会は、「～入職して経験したこと。取り組んできたこと。発信したいこと。～」をテーマとし、平成29年10月4日（水）長浜市立湖北病院医療技術局からも27名が参加していただき、院内医療技術局職員と合わせ112名の参加の下開催することができました。

今回はテーマの通り若い技師たちの発表が多く、長浜市立湖北病院医療技術局からも一演題の発表があり、他科が取り組んでいることが理解でき大変有意義な研修会となりました。この経験を生かし各々の職能団体での学会発表に繋がれば良いと考えています。

また、昨年の研修会後眼科入院の患者さんにとって分かりやすい自助食器の購入が決定しましたが、栄養委員会で協議を重ね、手の不自由な方の自助食器も購入することが決まり、今年度運用を開始いたしました。患者さんからも大変わかりやすく、使いやすいと高い評価をいただき研修会の大きな成果だと考えています。

今後も、二つの事業を中心に取り組み、互いの専門技術を尊重し、連携を密にとりチーム医療の一員として、高度医療に対応する専門知識や技術を身につけた人材育成を行い、地域医療に貢献できる医療技術局を目指します。



栄養科

藤田 新一 栄養科専門員
中川 太郎 次 長

栄養科基本方針 安心、安全でおいしい食事の提供を目指します。
思いやりの心のかよう栄養管理に努めます。

組 織

栄養科専門員 1 名、管理栄養士 7 名、栄養士 1 名、調理師 16 名、炊事員 2 名
炊事員（食器洗浄パート職員 9 名）（合計 36 名）

今年度のトピックス

今年度は、当科の目標を「栄養科職員の連携を深め、組織の強化を図る」とし、管理栄養士は「給食管理及び栄養管理体制を改善し、業務の合理化・効率化を図る」、調理師は「調理業務の衛生管理を徹底し、安心安全な食事の提供をする」を目標とし業務改善に取り組みました。トピックスは次のとおりです。

▶給食管理

- ・ロービジョン食器の開始
目の不自由な患者及び、手の不自由な患者へ専用の食器で食事の提供を開始しました。
- ・きざみ食の形態の改善
「つぶせる程度のやわらかい料理」に変更しました。
- ・特別メニュー食の見直し
入院患者の嗜好調査結果を参考にして、ラーメン、日本そば、小田巻き蒸し等のバラエティーのとんだ内容に変更しました。

▶厨房施設

- ・手動式配膳車 48 膳 4 台の更新
- ・食器消毒保管庫の 5 台更新

業務実績 詳細は各種統計資料参照

給食業務状況（患者給食延べ数） 334,050 食／年（305 食／1 回平均）
栄養指導件数（個別指導） 1,295 件／年

評 価

今年度は、上記トピックスのとおり積極的に業務改善に取り組んだ年度でした。今後も課題解決に向けて努力いたします。



臨床工学技術科

新川 由基 技師長
辻 克信 次長
藤田 忠夫 専門員

今年度のトピックス

今年度は臨床工学技術科の職員が1名増員され計10名となりました。主に透析室業務、手術・ICU業務、循環器業務、人工呼吸業務、機器管理業務を中心にして各業務の拡充を図ってきました。病院機能評価の更新年度により再評価を受け、医療機器の貸出業務並びに機器点検等良好の評価を頂きました。また、電気メステスタの購入により手術室内のほとんどの電気メスの院内点検を臨床工学技士が実施できるようになりました。今後も他の機器の院内点検を進め、医療安全の確保に努めていきます。

業務実績

① 臨床技術提供業務

血液浄化

・持続的血液濾過透析	191回 (33症例)	・エンドトキシン吸着	12回 (8症例)
・血漿交換	17回 (3症例)	・血漿吸着	19回 (3症例)
・ビリルビン吸着	5回 (1症例)	・LDL吸着	3回 (1症例)

手術室

・人工心肺装置使用手術	77症例
-------------	------

その他

・経皮的心肺補助装置使用(PCPS)	7症例	・大動脈内バルーンパンピング(IABP)	16症例
--------------------	-----	----------------------	------

② 医療機器点検業務

院内定期点検

・輸液ポンプ定期点検	110件	・シリンジポンプ定期点検	100件
・除細動器定期点検	45件		

貸出回数

・輸液ポンプ	2,256回	・シリンジポンプ	983回
・人工呼吸器	129回	・逐次型空気圧式マッサージ器	180回
・経腸栄養ポンプ	17回	・離床センサー	417回
・酸素濃縮器	31回		

③ 教育研修

・輸液ポンプ研修	4回	参加人数	37人
・生体情報モニター研修	3回	参加人数	43人
・人工呼吸器研修	13回	参加人数	185人
・透析、血液浄化研修	4回	参加人数	25人
・補助循環研修	3回	参加人数	36人

放射線技術科

村上 義和 技師長

古山 忠宏 参 事

富田 聡 次 長

宮川 孝史 次長

田邊 啓太 次長

今年度のトピックス

放射線技術科の機器更新として、平成30年3月に全脊椎・下肢全長撮影専用のFPD搭載X線撮影装置（デジタルラジオグラフィ FUJIFILM DR CALNEO GL）を導入いたしました。主に整形外科領域において使用し、股関節・膝関節の人工関節置換術、及び脊椎の術前撮影に使用します。以前使用していた長尺IPカセットに比べ、煩雑な処理、画像のつながり目の誤差も改善されより画像が鮮明になりました。また、時間の短縮もでき、患者さんにも優しく、術者の負担も軽減されました。

循環器科医師・放射線科医師・看護師・臨床工学技士と協議を重ね、当院で挿入しましたMRI対応ペースメーカー挿入患者さんのMRI撮影のフローチャート、及びマニュアルを作成し平成30年1月より撮影可能となりました。

今年度は乳房撮影装置の施設認定更新を行い、デジタル画像として初めての受審となりましたが、検診精度管理の線質・画質基準を満たし、日本乳がん検診精度管理中央機構よりマンモグラフィ検診施設画像認定証をいただき無事更新することができました。

放射線治療部門では、年2回開催している放射線治療品質保証委員会、毎週開催のQA会議及び症例カンファレンスにより、年間を通して治療の質の維持・向上及び安全管理体制を実現しています。

業務実績

放射線診断部門の平成29年度検査件数は、患者数減少の中、昨年度を上回るか同等の件数となりました。特に骨密度検査（DEXA）は前年度比113%と件数を伸ばしました。

また、CT・MRI検査については術前ナビゲーション用及び3D画像の再構築依頼も多くあり、ワークステーション業務が増大しています。さらに紹介患者さんの持ち込み画像のPACSへの取り込み、逆紹介患者さんの画像CDの作製等、画像管理業務も増えています。

血管撮影についても、血管内治療の割合が増えており業務量は大幅に増大かつ、多様化、複雑化しています。

放射線治療部門において、IMRTや定位放射線治療等の高精度放射線治療に関して、湖北地域では当院でのみ実施可能という状況は変わっておりません。総患者件数は前年度の240件から今年度は212件となり、約12%減となりました。ただし、高精度放射線治療に限っては前年度の45件から今年度は53件となり、約17%増加しています。

各検査数については、別掲の「放射線科／放射線技術科業務状況」をご参照ください。

各委員会については、放射線安全委員会、放射線治療品質保証委員会を開催し、職員の被ばく防止、放射線治療に関する精度及び安全管理について協議いたしました。

また、院内職員及び近隣の開業医さんを対象とする放射線安全研修会を11月28日（火）に開催し、「RI検査、MRI検査の注意点及び当院の放射線治療の実際」、「放射線治療における副作用について」講義を行い、終了後MRI検査室にて実際の磁場強度を体験してもらい、安全意識の啓発活動を行いました。

評 価

今年度も「見える診療放射線技師」を目指し、院内職員に対しMRI対応ペースメーカー挿入患者さんのMRI撮影のフローチャート、及びマニュアルの案内、各機器の運用、チェックリストの変更、個人被ばく線量計の話題等、数々の情報を「Radiation Information」として6回発信することが出来ました。

また、「業務拡大に伴う統一講習会」に平成29年度5名が受講し、15名の技師が受講を終了しました。大学等授業のカリキュラムに含まれている学生が卒業するまでには、すべての技師が受講出来るよう考えています。

学会等の参加については、日本放射線技術学会及び日本診療放射線技師会、腫瘍学会を始め近畿、県内の勉強会、研究会等へ積極的に参加し、多数の発表を行うなど自己研鑽に努めて参りました。

今後も、チーム医療に貢献できるよう優れた人材の育成に努め、診療に最適な画像情報の提供を目指します。



リハビリテーション科

江藤 謹司 部長 平成13年6月～

日本整形外科学会専門医

日本整形外科学会認定リウマチ医

日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医

日本リハビリテーション医学会認定臨床医

日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

業務実績

リハビリテーション科対診件数 523件

回復期リハビリテーション入院患者数 363人

カンファレンス等

回復期リハビリテーション病棟入院判定会議 2回/週

回復期リハビリテーション病棟回診 1回/週 木曜日



リハビリテーション技術科

音居 玲子 技師長

今年度のトピックス

病院機能評価受審に伴い、特にアウトカム評価と病棟との情報交換の強化を図りました。また、カンファレンス件数の把握やリハビリテーション評価や治療内容の見直しを行いました。当日の部署訪問では、カンファレンスや病棟回診に積極的に参加していることを評価していただき、取り組んできた方向性が間違っていないことを確認できました。

訪問看護ステーションへ理学療法士1名を専従として派遣しました。当院における訪問リハビリテーションの礎を築くことができました。

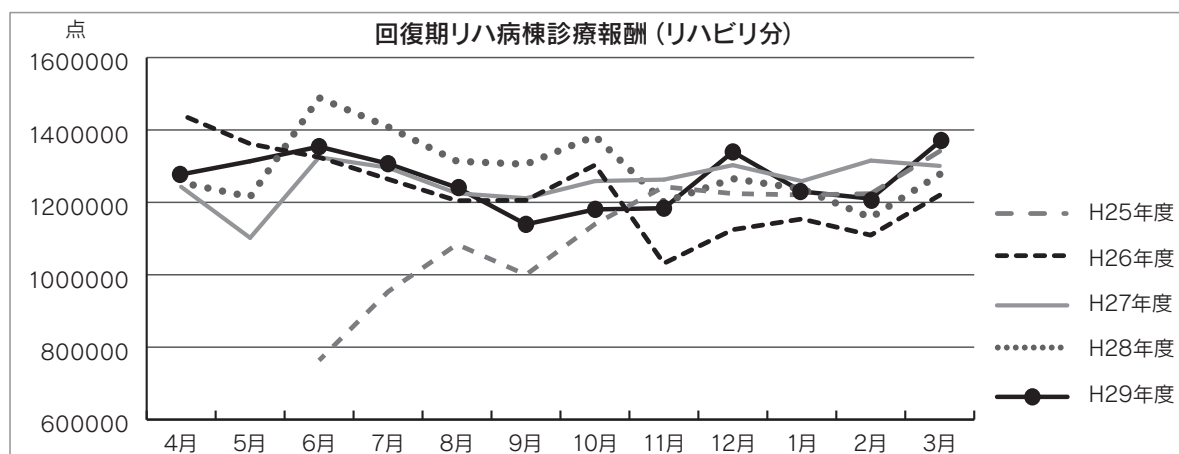
業務実績

【診療報酬】

	理学療法	作業療法	言語聴覚療法	科合計
診療報酬（点）	25,067,408	9,911,424	5,442,863	42,624,125
昨年度比較（点）	+967,347	-1,046,855	-49,658	+78,039

* 但し、地域包括ケア病棟の包括分の点数を含む

【回復期リハ病棟診療報酬】



【病棟回診への参加】

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 6西の部長回診 (1回/2週) | ・回復期病棟部長回診 (1回/週) |
| 地域包括ケア病棟回診 (1回/2週)) | ・廃用症候群回診 (1回/月) |
| 嚥下回診 (2回/週) | ・心臓血管外科回診 (1回/週) |
| 呼吸器内科回診 (1回/週) | ・緩和ケアチーム回診 (1回/週) |
| NST (1回/週) | |

【カンファレンスへの参加】

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 整形外科レントゲンカンファレンス (1回/週) | ・脳外科カンファレンス (1回/週) |
| ICU・CCUミーティング (毎朝) | ・心臓血管外科術前カンファレンス (1回/週) |
| ハートケアチームカンファレンス (1回/週) | ・拡大カンファレンス (適宜) |
| 骨粗鬆症リエゾンチームカンファレンス (1回/月) | |

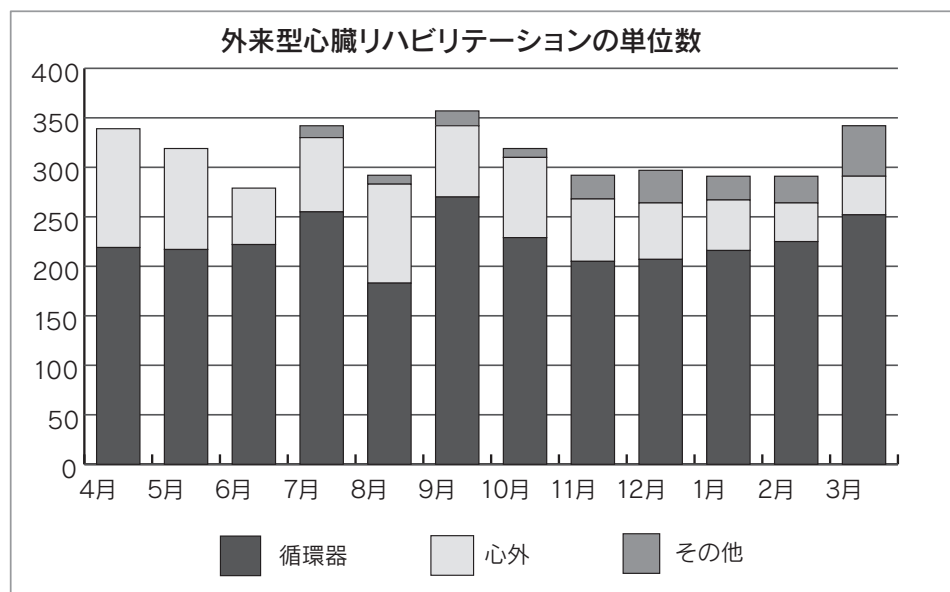
【臨床実習受け入れ】

理学療法 5名 作業療法 4名 言語聴覚療法 2名

【資格・認定修得状況】

がんリハビリテーション研修会修了者	17名	3学会合同呼吸療法認定士	8名
心臓リハビリテーション指導士	4名	認定理学療法士 (徒手)	2名
認定理学療法士 (運動器)	1名	認定理学療法士 (脳卒中)	1名
認定理学療法士 (循環)	1名	認定理学療法士 (代謝)	1名
日本糖尿病療養指導士	2名	介護支援専門員	2名
福祉用具プランナー	5名	住環境コーディネーター2級	7名
日本救急医学会認定ICLSコースアシスタントインストラクター	2名		
日本救急医学会認定ICLSインストラクター	1名		
日本救急医学会認定ICLSコース修了	17名		
日本救急医学会認定ISLSコース修了	2名	国際側弯シュロスセラピスト	1名
ゴルフフィジオトレーナー・セラピスト	1名	入谷式足底板上級編コース修了	1名
骨粗鬆症マネージャー	3名	認知症ライフパートナー1級	2名
認知症ライフパートナー2級	3名		

【外来型心臓リハビリテーションの実績】



評 価

平成29年度の診療報酬は、前年度と比べ入院部門が減、外来部門が増となり、トータルでは78,039点の増となりました。これは外来型心臓リハビリテーションが軌道に乗ってきたことが要因と分析しています。

回復期リハビリテーション病棟は、目標入院患者数の達成が難しい現状ですが、リハビリテーション提供単位数を調整しながら実績指数39～34を維持しています。

外来型心臓リハビリテーションは、前年度よりも業績を伸ばしましたが、目標単位数（360単位／月）に達することができませんでした。患者数の増加が今後の課題です。



中央検査技術科

新川 由基	技師長	坪井 房幸	次長
藤田 忠夫	参事	宮元 伸篤	次長
		岡本 明子	次長

今年度のトピックス

生化・免疫検査部門

- ・ 正確で迅速な検査結果を報告する為に、自動分析装置の較正・メンテナンス等を実施しました。ヘモグロビンA1c自動分析装置の更新とプロカルシトニン定量検査を院内実施しました。また、不採算検査であるペプシノゲンⅠ・ⅡおよびフリーPSAを外注検査としました。今後も検査試薬の収益の見直し、診療に有用な検査の新規検査の取り込みについて検討していきます。

血液検査部門

- ・ プロトロンビン時間（PT）試薬を補正誤差が少なく経口抗凝固薬療法に適したより高感度な試薬に変更しました。
- ・ 骨髓像診断加算240点が新たに算定できるようになりました。

輸血検査部門

- ・ 病院機能評価受審で求められていた「輸血後感染症検査」を実行するために、輸血療法委員会を中心にマニュアルの作製・院内への周知等を行いました。手術後に未使用の血液製剤を手術室へ検査技師が回収に行く取り組みについて、輸血検査室と関連病棟師長で会議を行い、来年度からの運用を行う合意を得ました。安全で適正な院内輸血推進の為に、来年度も改革を行いたいと思います。
- ・ 血液製剤の廃棄金額率は0.92%（昨年度0.62%）でした。

一般検査部門

- ・ 尿が採取困難な場合や採取量が少ない場合は受付に申し出ていただくよう、トイレや通路に貼り紙をするなどして患者様とのコミュニケーションをふやせるよう努力しています。これにより、検体不足により検査不能となる件数はほとんど無くなりました。

細菌検査部門

- ・ 薬用冷蔵ショーケースを購入しました
- ・ 抗酸菌の前処理を、ニチビー法からTB-Beads法へと変更し、より多くの抗酸菌を回収し汚染菌の除去を行うことができるようになりました。
- ・ 培地等の滅菌用に、高圧蒸気滅菌器（HV-85）を導入しました。
- ・ 細菌検査自動分析装置をマイクロスキャン WalkAway40Siから、WalkAway DXMに変更しました。
- ・ 年に2回、当院の抗菌薬の効き目を示す薬剤感受性スペクトラム表を作成しドクターへ配信しました。同時に、ネットフォルダに掲載し、誰でも閲覧できるようにしました。
- ・ 厚生労働省の院内感染対策サーベイランス事業（JANIS）の還元情報をネットフォルダに掲載

し、誰でも閲覧できるようにしました。

- ・週別の病棟別・材料別菌検出数を院内メールで配信し、同時に、ネットフォルダに掲載し、誰でも閲覧できるようにしました。

病理・細胞診検査部門

- ・病理医の充実：常勤の黒澤学先生、非常勤の沢田真治先生（月・火・水・金曜日）、2人体制で業務を行いました。
- ・自動特殊染色装置の導入：腎生検標本で行うPAM染色、マッソントリクローム染色などの自動化により、安定した染色性の標本作製が可能となりました。
- ・特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者の技能講習を1名修了しました。（科内2人目）
- ・外注検査のALK融合タンパク免疫染色病理組織標本作製を平成30年3月より、院内での実施を開始しました。

生理検査部門

- ・昨年度に引き続きエコー検査の充実に向け、新人技師の育成に力をいれてきました。また、再現性の高い超音波診断装置の導入を計画し、より高度化する医師からの要求にも対応できるよう努力していきたいと考えます。
- ・外来心臓リハビリテーションのため、心肺運動負荷試験（CPX検査）を開始し、軌道にのせることができました。
- ・リウマチ科の要望により、関節超音波検査の習得のため研修を開始しました。

評 価

- ・平成29年度の総検査件数は2,848,160件、総点数は54,886,206点で、前年度と比較して件数は約4%の増、点数は約2%の増となりました。生化・免疫部門や生理部門での検体数増加が目立ちました。
- ・生化学や免疫、血算などの自動分析装置が老朽化する中、できる限りのメンテナンスを行い、精度を保つ努力をしています。日本臨床検査技師会の精度管理調査でも良好な結果を納めることができ、今回、精度保証施設認定に申請を行いました。
- ・より質の高い技術と知識を習得するため、資格取得にも努力し、細胞検査士1名、二級臨床検査士（臨床化学）1名、特定化学物質及び四アルキル鉛作業主任者1名が合格しました。

今後も、チーム医療の一員として、精確、かつ信頼性のある検査結果を迅速に臨床側に提供できるよう努力していきます。

歯科・眼科技術室

村上 義和 医療技術局長兼技師長

歯科衛生士 4名 歯科技工士 1名 歯科助手 1名 視能訓練士 4名

今年度のトピックス

- ・周術期の口腔機能管理においては昨年に続いて年間1300件を超える周術期口腔ケアを実施することができました。
- ・眼科入院患者対象にロービジョン対応として、自助食器の導入を栄養科と連携して行いました。
- ・日本医療マネジメント学会第15回京滋支部学術集会において、演題「院内でのロービジョン啓発活動とその効果」を口演発表しました。

業務実績

周術期における口腔ケア実施件数・・・年間1,355件

挿管時歯牙損傷防止マウスガード製作数・・・年間112件

第3回 院内ロービジョン展示体験会開催

病棟看護師対象ロービジョン学習会開催（年間2回）

第2回 目の愛護デーパネル展示開催

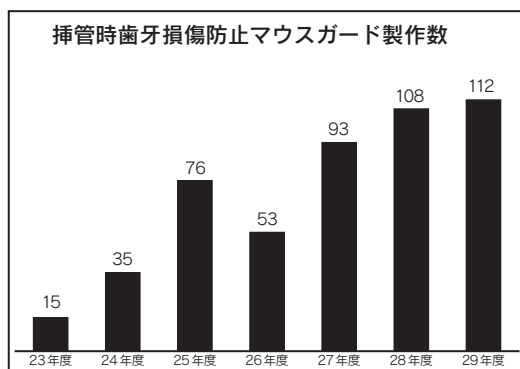
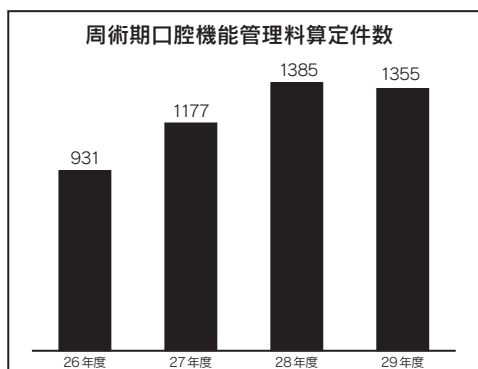
自助食器使用件数・・・年間124名=全体の42.3%（平成29年7月から平成30年3月末）

臨床実習受け入れ・・・歯科衛生士学科学生 8名、視能訓練士学科学生 3名

評価

周術期口腔機能管理料の算定においては歯科衛生士が中心となり、歯科医師はもとより他職種と連携を強化しながら実施したことによって昨年同様の算定件数となりました。歯科技工士も挿管による歯牙損傷を防止するマウスガードの製作依頼に対して迅速な対応ができ、結果として昨年以上の年間製作数となりました。今後も医科との連携を強化して、周術期口腔機能管理の充実に努めたいと考えます。一方、歯科助手による環境整備と適切な機材管理を基盤として外来診察室および技工室の感染対策の取り組み強化を実践し、各職員が意識を高めて安全な診療環境を提供することもできました。

視能訓練士は昨年に引き続き院内ロービジョン体験展示会や学習会、パネル展示に加えて、他職種との連携のもと自助食器導入開始というロービジョン啓発に力を入れた活動ができました。今後もこのような活動を継続し、入院患者のQOV向上をはかりながら、院内職員へのロービジョンに関する周知活動にも努めたいと考えます。



看護局

看護局長 松田 和子
看護局理事 梅本 範子
看護科長 弓削 悦子、織田 頼子、土川 陽子

I トピックス

＜平成29年度の看護局目標管理（戦略 活用・実践・つなげる）◎重点目標＞

◎1. 生活を支える視点を持った個別性のある看護展開ができる

担当：各部署、記録委員会、基準委員会、固定リーダー会、継続看護検討会

- * アンケートでは個別性のある看護展開が「非常に高められた、かなり高められた」が54%であった。
- ・ 各部署のカンファレンス開催数は目標達成100%実施がほとんどであった。カンファレンスの持ち方の話し合い、ウォーキングカンファレンスなど取り入れるなどの工夫をされていた。看護過程課題シートを活用し、事例検討の発表は60～100%の達成が多かった。
- ・ 記録委員会では記録監査は部署格差はあるが定期的に出来た。
- ・ 基準委員会では標準看護計画に関して現状調査を実施し、看護展開が見える記録の仕方について学習会を開催した。看護基準、検査手順、看護手順見直しを実施し周知した。
- ・ 固定リーダー会では各部署の取り組み状況について情報共有することで、自部署のチーム活動に活かすことが出来た。固定リーダーが看護局目標を展開しているという意識を高めることに繋がった。
- ・ 継続看護検討会では患者総合支援センター開設での入院支援業務開始により、病棟や多職種と情報共有が出来た。継続看護患者情報交換用紙運用手順の見直しを行い、「継続看護マニュアル～入院決定時から退院まで～」を作成し活用。外来・病棟・入院支援・退院支援が連携し、地域へ繋げるようにしていく。

◎2. よりよい看護提供のための人材活用ができる。

（看護補助者（病棟・外来）クラーク・介護士・リリーフ体制）

担当：各部署、主任会、介護士会

- * アンケートでは職員間の協力が「非常に高められた、かなり高められた」が57%であった。
- ・ 各部署では、看護補助者が朝のミーティングやミニカンファレンスに参加できるような調整ができた。しかし、スタッフの理解不足もあった。看護師と看護補助者が情報交換を行ったり、清潔面のケアを実施される機会は増えた。
- ・ 主任会ではリリーフ業務のタイムスケジュール表、看護補助者リリーフ指針案を作成した。今後、現場担当者の確立とリリーフ運用のためのグループ化することが課題である。
- ・ 介護士会はICFを取り入れどの病棟でも使用できる介護計画様式を作成し、ほぼ運用できた。

◎3. 看護師として経営に参画する（病床管理・看護必要度・時間管理）

担当：各部署

- * アンケートでは経営参画する意識が「非常に高められた、かなり高められた」が35%であった。
- ・ 各部署では経営参画ではスタッフの意識の低さがみられた。病床管理で他科の緊急入院を前向

きに受け入れるため他科疾患に関する学習会の開催や研修に参加する等、努力している病棟もあった。重症度医療・看護必要度は、正しい記録と評価について「非常に高められた、かなり高められた」が54%以上であった。引き続きチェックを行い、学習会などを通してのスタッフ教育が必要である。正しい記録と評価が実施出来ているのは54%に留まった。次年度施設基準がきびしくなるなか、更に経営への意識改革が必要である。

◎4. 認知症ケアが実践できる。

担当：各部署、認知症対策委員会

- * アンケートでは認知症・せん妄への療養環境整備が「非常に高められた、かなり高められた」が43%であった。
- ・ 各部署では、認知症・せん妄アセスメントシートの入力はできているが、それを活かしていない今年度取り組み報告は5部署であった。外部認知症研修会の伝達実施できた。
- ・ 認知症対策委員会では事例検討や講義にて、認知症患者の関わり方やケアについて学ぶ事ができた。チームラウンドは依頼患者も少なかった。アピールをしていきラウンド件数増加で1人でも多くの認知症患者の対応が適切に実践出来るよう活動計画するのが課題である。院内ディに向けての検討とラウンドの定着に取り組む。

◎5. 大規模災害に対する実践能力を高める

担当：各部署、大規模災害等防災対策計画策定合同会議

- * アンケートでは災害時の対応・実践能力が「非常に高められた、かなり高められた」が43%であった。
 - ・ 各部署は机上シミュレーション、アクションカードの作成、原子力災害時の研修参加はほぼ実施できている。取り組み報告は4部署あった。
- 大規模災害等防災対策計画策定合同会議では、火災アクションカードの作成、机上シミュレーションの実施は各部署で実施出来てきている。運用方法を文章化し周知していくこととその他の災害のアクションカードの作成が今後の課題である。

<病院機能評価受審>

病院機能評価としては5回目の受審であるが、今回は新たな枠組みのなかで内容がバージョンアップしていることから、職員の中でどのように対応していけばいいのか不安の声があった。看護局では、病院機能評価プロジェクトの立ち上げを行い、病院のスケジュールにあわせながら、リーダーシップを発揮して準備から実施まで行っていた。ケアプロセスの実施では、日頃行っているプロセスを改めて検討でき、また他職種との連携が深まったよいプレゼンテーションができた。また各部署の視察においては、マニュアルの整備、環境整備に始まり、紹介の中で日頃の業務内容や、看護の質を上げるために努力していることなどを盛り込んだアピールは、部署の特徴や機能を再認識する場になった。

<病床再編成>

病院大規模改修工事に伴い、病床再編成を病院機能強化推進室とともに行った。

それに併せて、新たな病棟の機能を十分に発揮できるように、人員配置を行い、疾患の理解、看護援助の実際を学び、業務に活かせるように計画を立て実施した。異動後もスムーズに業務を遂行できたのは、まさに職員一同の努力の賜である。

第1回目の移動として、平成28年度末から29年度初めにかけて6東病棟の閉鎖、7東地域包

括ケア病棟が6東病棟へ移動を行った。年度末と年度初めの慌ただしい中、職員の協力のもと、無事行えた。また第2回目の移動として、平成29年度末に4西病棟閉鎖、5東病棟への移動も職員の協力のもと、無事行えた。

<患者総合支援センター開設、入院支援業務開始>

患者総合支援センター開設に伴い、新たな入院支援業務が円滑にできるように、平成28年度から準備してきた。業務に携わる人材を確保し、配置した。まずは手術予定患者を対象に他職種との連携を図り、業務の遂行ができた。外来、病棟との連携をより強くするために、継続看護検討会で、協議を重ねた。また退院支援業務においても湖北ルールが浸透してきており、定期的な周知を図ることで効率的な運用ができつつある。

<県看護協会主催看護師長研修実習・セカンドレベル研修実習受け入れ>

滋賀県看護協会の看護管理者研修の一環として行われた看護師長研修に4名が参加した。また、実習受け入れを5名行った。受け入れ病棟の看護師長の協力を得て双方が実習を通して学んでいける環境作りはでき、一定の成果は得られている。看護管理者会にて、研修参加者の伝達講習を行なった。参加できていない管理者への動機付けになったと感じている。

またセカンドレベル研修実習は、県内の副看護部長クラスの対象を受け入れ、病院間での課題共有の工夫していることの情報共有ができ、有意義な研修受け入れであった。

II 看護局の組織体制

看護係長3名、看護主幹3名、看護主査4名、介護士主査1名昇格した。新人看護師は21名就職した。患者総合支援センターの入院支援業務担当に看護師4名配置した。

新任看護管理者育成のために管理ラダーの使用、研修などを実施した。各部署担当科長制は昨年同様継続した。以上の組織体制で、看護局運営の効率化をはかるために定例会議・委員会、目標管理推進G、看護師確保P、病院機能評価Pを設置して活動をした。

III 看護局業務実績

*事業計画の進捗状況

<看護体制の充実―看護師確保と定着>正規看護師採用者21人。新人離職率0%

正規看護師離職率8.6% 各入院基本料に付随する看護師配置維持。

<外来看護の充実>外来グループ体制の確立・入院支援業務のシステム化

<助産師離職率低下・助産師定着>助産師ラダー認証者2名。産後ケア入院実施

<助産師出向支援事業参加継続>出向者なし

<専門領域の指導的看護師・看護管理者の育成>ファーストレベル研修4名、臨床実習者講習会4名受講、認知症看護認定看護師研修受講1名、特定行為研修受講1名

<海外医療視察>参加者なし

<看護業務改善①看護補助者確保・定着>急性期看護補助者加算25対1（50%未満）維持

<看護業務改善②介護士の確保・定着>続行

<看護業務改善③看護管理者>勤務管理システム更新（次回システム更新時）

<採血管のシステム器機の保守、点検業務>続行

<ナースング・スキル日本語版導入>インターネット配信教育システム継続

＊改革プランの進捗状況

＜ICUの充実＞特定集中治療管理加算3取得・維持－A達成

＜外来化学療法の充実＞外来化学療法加算1取得・維持－B達成

＜人工透析環境の充実人工透析延べ回数＞－A達成

＜地域包括ケア病棟の運営＞1日あたり入院患者数－B達成

＜脳卒中ケアユニット入院医療管理料算定件数＞－A達成

＜手術体制の充実－手術件数＞4950件／2035件（6ヶ月）－B達成

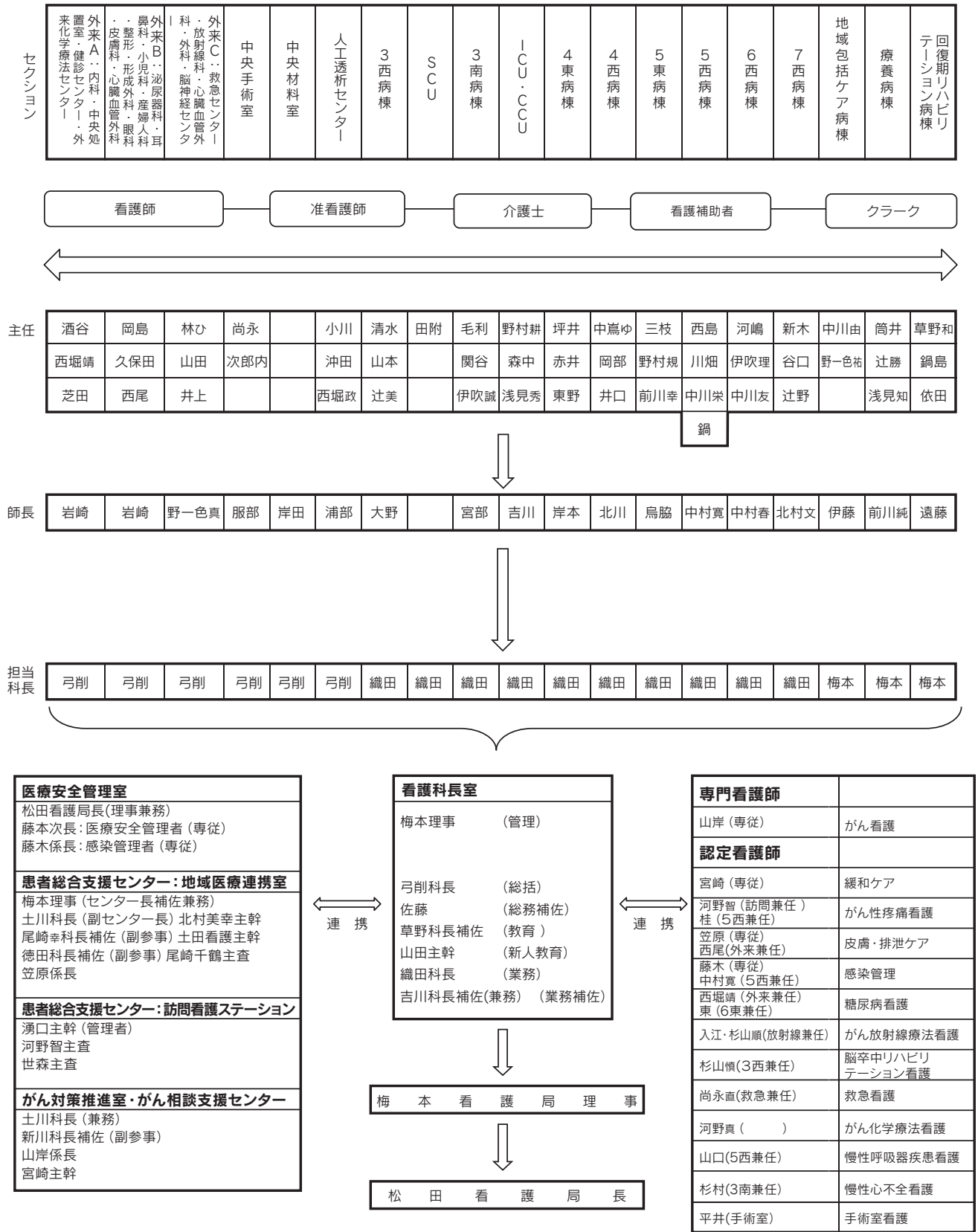
＜平均在院日数の維持（一般病棟）平均在院日数＞－A達成

A：達成率 100%以上 B：達成率 80～100%

IV. 評価

今年度は、病院機能評価の受審で、ケアプロセスで高評価を得られたことは、今後のチーム医療の推進する自信につながると考える。病院改修工事に伴う病床編成によって、各部署の特徴、機能を明確に打ち出すとともに、多職種連携により患者サービスが切れ間なく支援ができるよう、さらに医療・看護をチーム医療として充実させていきたい。

看護局組織機能図(平成29年度)



事務局

事務局

小川 幸男	事務局長
福永 武浩	事務局理事兼総務課長
田中 正樹	事務局理事兼経営企画課長
嶋 吉夫	医事課長
松宮 喜明	経営企画課担当課長
佐野 勝治	総務課参事

総務課

総務グループ

1. 臨床研修医（初期研修）の採用について

臨床研修医の採用については、病院合同説明会への参加、医学部の学外臨床実習生や病院見学の受け入れ、ホームページや電子メールによる情報発信に取り組みました。

その結果、平成30年4月採用の臨床研修医採用試験には12人の受験があり、4人の採用決定を行いました。

今後も、①指導体制の整備、②症例研究に対する積極的な支援、③やりたいことができる研修環境等に配慮しながら、初期研修から後期研修まで継続して当院に勤務いただける魅力ある病院づくりをめざしてまいります。

2. 診療体制強化に向けた医師採用について

医師数が不足する診療科の医師確保が喫緊の課題となる中、大学医局への派遣依頼や病院独自採用により診療体制の充実に努めました。

3. 看護師・助産師の確保について

看護師等の採用は、看護配置基準7対1を維持するため、定期採用試験3回の実施により、32名を採用しました。

また、看護師等の確保対策としては、看護大学や専門学校の訪問、病院見学やインターンシップの受け入れ、奨学金制度による支援、採用内定者を対象とした国家試験対策講座の開講等を実施しました。

新人看護師等の養成では、院内教育や院外教育により、公務員・専門職としての自覚と責任を育むとともに、安全な看護業務を提供できるよう、教育体制やメンタルサポート体制を整え支援してきました。

また、看護師等の離職率は、看護配置基準7対1の維持による看護師1人あたりの受持ち患者数の減少や、負担軽減対策の実施により8%程度に留めることができました。

今後とも看護師等の確保と養成については、仕事のやりがいと充実した私生活が両立できるよう当院独自の創意工夫を重ねながら、職場環境の整備に向けて継続的に取り組んでまいります。

施設グループ

【滋賀県原子力防災実動訓練】

平成29年11月19日（日）午前6時30分に若狭湾沖を震源とする地震が発生したため、関西電力(株)美浜発電所3号機の炉心が損傷し、放射性物質が放出したとの想定による滋賀県原子力防災実動訓練が実施されました。

当院も初期被ばく医療機関として、避難中継所（スクリーニング会場）からの被ばく傷病者を受け入れて、適切な医療が提供できるよう訓練を実施しました。

この訓練にあたり、院内に災害対応チームを立ち上げて、メンバーの行動内容を把握、確認するために綿密な打合せと事前の実動訓練を幾度となく繰り返し、当日は、医師、看護師、放射線技師および事務が一丸となって被ばく傷病者への医療に対処でき、大変有意義な訓練となりました。

今後も、このような訓練を継続的に実施して、常に対処方法の見直しを図りたいと考えているところです。

経営企画課

経営企画グループ

（1）経営

4月には、医療相談の拠点として「患者総合支援センター」や、リウマチ膠原病の診療拠点となる「リウマチセンター」を開設し、3月には地域医療支援病院の承認を受けるなど、地域に必要な医療を安定的かつ継続的に提供できるよう診療体制の充実に努めました。

しかし、収益面においては、消化器内科をはじめとする特定の診療科における深刻な医師不足に伴う入院患者数の減により、医業収益が11,480百万円となり、前年度と比較し310百万円の減となりました。支出面では、材料費などの経費削減に努めましたが、給与費や経年劣化する施設設備更新への対応などの影響により減価償却費が増加し、1,053百万円の純損失を計上することとなりました。

（2）企画

本年度は、新公立病院改革ガイドラインや滋賀県地域医療構想を踏まえ新たに策定した「長浜市病院事業 中期経営計画」（平成29から32年度まで）の1年目として、設定した事業目標の進捗管理を行い、地域住民の健康保持に必要な医療の提供に取り組みしました。

病院医療情報システムは、老朽化等による更新時期を迎えており、平成31年1月に新システムを稼働させることとし、更新仕様の策定、更新事業者の選定を行い、更新作業を開始しました。また、現行システムの診療報酬改訂対応、安定稼働のための定期的なシステム再起動などの管理業務を行いました。

広報業務では、昨年度リニューアルしたホームページの更新を随時実施し、当院の医療提供体制の紹介や公開講座・研修会などを発信しています。

病院機能評価は、今年度が認定更新の受審時期となっており、10月26、27日の訪問審査などを通じて、機能種別「一般病院2」および副機能種別「リハビリテーション病院」・「慢性期病院」の機能にて認定（3rdG）を受けました。

用度グループ

医薬品の購入に関しては、納入業者の見直しや価格交渉を薬剤科と協調して粘り強く実施し、経費の削減を図ることができました。

診療材料については、血糖測定器、手術用手袋、ガーゼやエプロンの切替を実施しました。年2回の単価契約の更改にあたっては納入価格の交渉を行い、更なる経費削減に取り組みました。

医療機器の整備については、薬剤科に注射薬払出システム、カテ室にエキシマレーザー血管形成装置、放射線科に長尺専用X線撮影装置を導入し、業務の負担軽減や先進医療への取り組み、患者負担の軽減を図りました。全体的には必要最小限の機器の更新に努めました。

湖北病院との物品調達にかかる契約事務の連携については、スケールメリットを意識した効率的な購入を進めました。具体的には、PPC用紙やナースシューズの一括入札のほか、酸素濃縮器の賃貸借業務を両院一括で契約しました。

医 事 課

(1) 診療報酬に関する事務

- ・DPC対象病院として、厚生労働省が実施する「DPC導入の影響評価に係る調査」に準拠したデータを継続して提出しました。
- ・厚生労働省が実施する「病床機能報告制度」に基づき、電子レセプトにより診療報酬請求を行っている病院として、各病棟の病床において担っている医療機能の現状について、データを作成し報告しました。
- ・診療報酬の請求に関した情報を院内職員で共有するために、医事通信を毎月発行しました。
- ・診療報酬の請求に関して、年間を通して必要に応じて院内関係者との調整を図り、正確な診療報酬の算定に努めました。
- ・厚生労働省臨床研修指定病院として、全職種の職員を対象とした「保険診療に関する講習会」を2回開催しました。
- ・医事業務の委託に関して、業務精度の向上を目的に、4ヶ月に1回委託業務の院内評価委員会を開催して、常に委託業務の点検と精度の向上に努めました。

(2) 窓口業務

- ・院内における各外来と連携を図り、指定難病や小児慢性特定疾患、更生医療等の公費申請の説明を患者さんに実施しました。

また、妊産婦さんやご家族の方に、産科医療補償制度や出産一時金の医療機関への直接支払制度のご案内をしました。

上記の説明や案内によって、窓口における患者さんの負担額を軽減することができました。

- ・各自治体や医師会と協議を行い、健診事業や予防接種等の契約を締結することによって、各種健診や予防接種等を受けていただくことが出来ました。

(3) 個人情報の開示

- ・個人情報の開示（カルテ開示）につきましては、毎年増加の傾向にあり、平成29年度の実績として27件の開示を行いました。

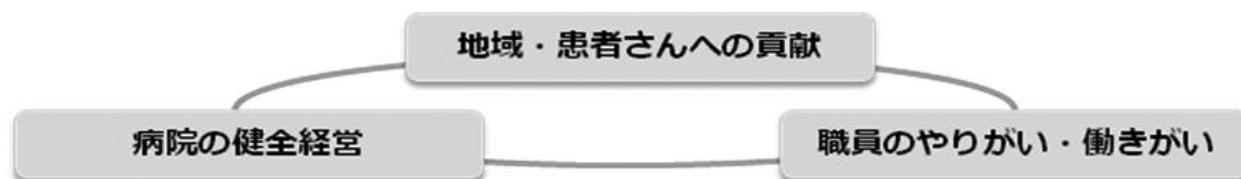
(4) 医療費の未収金

- ・ 当院では、平成21年度より回収困難な案件を弁護士法人へ委託しています。
平成29年度も、未収発生からわずか4ヵ月後の早い段階における委託を継続し、確実な未収金回収に努め、悪質な未収患者には差押えも実施しました。
また、上記未収金の回収とあわせて、限度額適用認定証等の社会保障制度ならびに公費申請の周知案内に力を入れ、患者さんの個人負担額を減らすことによって、未収金を発生させない取組にも力を入れました。
- ・ 深夜時間帯における救急外来の患者さんや、遠方患者さんの診断書料金支払等、来院による支払いが困難な場合には、コンビニ払込票による支払いサービスを利用することにより、患者さんへの利便性を図ることができました。

(5) 診断書窓口

- ・ 患者さんからの診断書作成依頼を受け、医師や医師事務作業補助等との連絡調整を行い、迅速な交付の事務に努め、平成29年度の実績として6,847件（7,629枚）の交付を行いました。

病院機能強化推進室



中期経営計画との整合性を図りながら、経営戦略ビジョン、病院保全計画、また既に実施されている計画・事業を推進し、中長期にわたる病院最適化を行います。

【全体運営方針】

1. 病院機能の強化
2. 患者サービスの向上
3. 経営基盤の強化

【重点取り組み事項】

■病棟再編検討プロジェクト

1. プロジェクト実施背景
 - ①本館部分の設備老朽化への対応が必要
 - ②本館病棟部分の機能的諸問題への対応が必要
 - ③中長期的な医療環境変化を見据え、適正な病床規模への移行が必要
2. プロジェクト基本方針
 - ①本館病棟改修
 - ②稼働病床数（病棟数）見直しによる病床稼働率向上・職員配置見直し・順次改修工事への準備
 - ③病床管理体制・方針の見直し
3. 改修予定：2カ年度

■外来運用の見直し

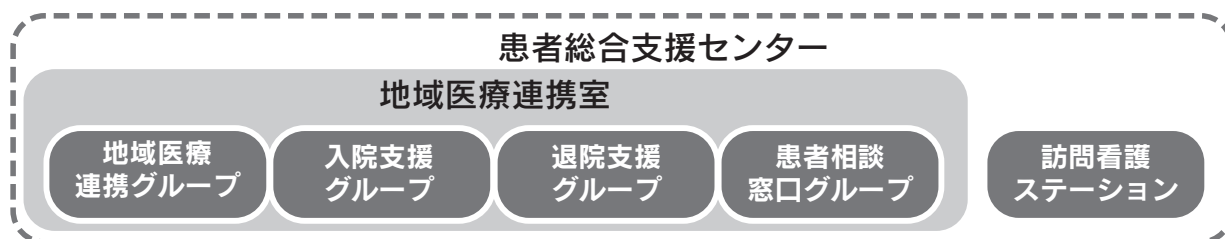
1. 目的
 - ①外来患者さんの待ち時間を抑制することを目標とする
 - ②外来スタッフの業務・役割分担を見直し、スタッフ人数の適正化・委託仕様の適正化を図る
 - ③紹介患者が受診しやすい外来をつくる
2. 基本方針
 - ①外来計算業務について
 - ・現在配置している「オペレーター」については、次回システム・委託更新を機会に廃止する
 - ・計算業務は医事課事務室内へ集約化し、医事委託職員配置の適正化を図る
 - ・医師入力補佐
 - ⇒電子カルテ等の更新により入力支援、オーダーリングと医事会計の連携確保
 - ⇒外来サポートが必要な医師に対して、D Aがサポート
 - ・D Aの育成
 - ②診察後の業務について
 - ・現在診察後に行われている業務を見直すとともに、システム・運用の改善を図ることで、患者さんが診察後にすぐに次の場所へ移動できる外来を目指す
3. 実施予定：平成31年度

患者総合支援センター

神田 雄史 センター長
川島 和彦 副センター長
藤田 一弥 副センター長

梅本 範子 センター長補佐
土川 陽子 副センター長

患者総合支援センターは、外来受診時から入院後および退院後を見据えたうえで、患者さんを在宅および地域にスムーズにつなげるため、早期に情報収集・情報共有・連携・患者支援を行う体制組織として4月から開設され各グループが連携しながら患者さんの生活を切らないよう関わっています。



地域医療連携室

地域医療連携室では、病院理念の「地域完結型医療」の推進に向け取り組みを進めています。

平成29年度も、地域の医療福祉機関との連携を密にすることに主眼を置き事業を展開した。病診・病病連携においては、湖北4病院の地域連携室担当者会議で昨年来の目標として、かかりつけ医の紹介に役立てるように分担して作成した「開業医のチラシ」を掲示することでアピールしています。いきいき健康フェスティバルではかかりつけ医のちらしの配布を行いました。

地域の医療機関に対しては、昨年発行した「病院のご案内2016」での紹介部門を増やし「病院のご案内2017」として発行しました。従来から発行している「地域医療連携だより」は、昨年よりも配布先を407カ所に増やす事ができた。

湖北医師会主催での医療に興味を持ってもらう体験型実習の開催

◎医師体験ワークショップの開催：平成29年7月30日（日）13：00～16：00

当院講堂 小児科外来他 参加者 23名

市民講座として、昨年同様に下記講座を開催し好評を得ました。

◎世界腎臓デー市民講座の開催：平成30年3月11日（日）10：00～11：35

「慢性腎臓病あなたは大丈夫？」 場所：北ビワコホテルグラツェ

参加者176名

1.地域医療連携グループ

病診連携、病病連携を担当している地域医療連携グループでは、地域医療支援病院承認にむけ紹介率・逆紹介率の上昇につながるよう院内および院外である地域の医療機関との連携を進めてきました。その結果平成30年3月に地域医療支援病院の認証を滋賀県知事よりいただきました。平成29年度の紹介率は58.08%、逆紹介率は90.01%となっています。

紹介率あげるために、各診療科の先生方の協力をもらったこと。救急患者の受け入れの強化により前年度に比較しよい結果となっています。

逆紹介率を上げるための取り組みとして、今年度は診療情報提供書の記載強化のため督促を強

化し先生方の協力により大幅な数値アップとなりました。

2. 退院支援グループ

退院される患者家族の支援を、湖北ルールに則って地域の医療資源、介護保険サービスと連携し住みなれた地域で在宅等での療養が続けられることを支援しました。29年度は介護保険の新規導入212件、かかりつけ医紹介55件、訪問看護の新規導入110件を調整しました。更に在宅での療養の質向上、患者家族の安心、更には在宅療養チームやかかりつけ医の支援に繋がるべく当院の専門的知識技術を持つ看護職（認定看護師等）が患者宅まで訪問して指導を実施しています。地域包括ケアシステムを担う地域の病院としての役割をしっかりと果たすことを第一の目標に一方で在宅療養者のリハビリ機能、レスパイト機能にも着目し出来る事から着手することとしています。生活者としての住民の生活を分断しない医療、看護、病院を目指しています。

3. 入院支援グループ

予定入院の患者を対象に、入院前から入院に関する説明を開始しました。当初は5診療科から開始し、徐々に8診療科まで拡大することができました。

看護師による説明に加え、手術室看護師・医事課・薬剤師などがそれぞれの専門性を発揮し、多職種が連携した入院支援を行いました。また、入院や手術・検査に対する不安や意向について入院前に確認し、病棟や各専門分野への情報提供やそれぞれの分野から支援を受けられるように調整できました。

入院支援に関わる件数は1日平均20件と目標値は到達できませんでしたが院内全体の予定入院患者の40%程度の患者に入院支援で介入することが出来てきました。

4. 患者相談窓口グループ

2月から患者サポート体制充実加算の算定が可能となり、午前は玄関ホールで午後は患者総合支援センターで相談業務を行っています。患者総合支援センターの入り口機能として、看護師を配置し各種相談を受けています。

平成29年度の相談件数は、4,241件となり、その多くが受診に関する相談で82.5%を占めています。その他、退院調整に関する相談や在宅医療に関する相談、医療費に関する相談、がんの相談、ご意見など様々な相談があります。また、専門的な内容については各専門の職員が対応しています。相談対応の質の向上に向けて毎週カンファレンスを開き、患者支援に係る取組の評価等を行い、適切な相談対応ができるよう取り組んでいます。

訪問看護ステーション

係長 湧口 朋子

訪問看護ステーションは、看護師10名（常勤換算8.8）、理学療法士1名、事務職1名が、病院内と連携できる特性を十分に活かし、医療依存の高い中重度者のケア、在宅緩和ケア、在宅看取りの療養者の受け皿として事業を継続しています。

当ステーションは、「地域住民が住み慣れた場所で、人生の最後の時期まで幸せに暮らせるために、どのような方々でも支えていく」理念に掲げ、市民の多様なニーズに対応できる看護サービスの提供を目指しています。

今年度の業務実績・トピックス

- ・平成29年度の延べ訪問件数は9,245件（介護保険 7,224件、医療保険 2,021件）平成28年度に比し、1,391件の伸びとなりました。
- ・平成29年度の在宅看取り率は、33%となりました（平成28年 39%）。地域の連携により、単身療養者2名の在宅看取りにつなげることもできました。ステーション配属のがん性疼痛認定看護師を中心に、終末期の療養者様・家族様の思いを尊重し、意志決定を支え、その人らしく最期を迎えることができるように支援しています。
- ・今年度は、地域からの要望が多かった在宅リハビリテーションをリハビリテーション技術科の連携により、理学療法士1名が常勤配置となり、介護・医療保険両方の療養者様にリハビリを開始することができました。がんリハビリ、呼吸器・循環器リハビリ等を中心に、日常生活に即したリハビリテーションを看護と連携しながら提供しています。
- ・がん、呼吸器疾患、循環器疾患の療養者様の依頼が年々増えています。院内の様々な専門職にコンサルテーションをかけ、必要時同行訪問を依頼し、療養者・家族様に合った専門性の高いケアを提供しています。
- ・皮膚・排泄ケア認定看護師による、週1回の「皮膚・排泄ケアカンファレンス」が定着し、訪問看護師のフィジカルアセスメント能力が高まり、充実した皮膚・排泄ケアを行っています。



がん対策推進室

伏木 雅人	がん対策推進室管理監兼がん相談支援センター長
田久保康隆	がん対策推進室副管理監兼室長
土川 陽子	がん対策推進室参事
藤田 一弥	がん対策推進室参事
堀 一郎	がん対策推進室副参事
新川 君代	がん対策推進室副参事兼がん相談支援センター副参事

がん対策推進室

がん対策推進室では、湖北地域における地域がん診療連携拠点病院としての役割を担うため、次の取り組みを進めてきた。

7月には、みんなで支える湖北の医療をテーマに「湖北がんフォーラム2017」を開催し、399名の参加者に、どこに住んでいても安心して適切なサービスを受けていただくための取り組みを紹介した。

緩和ケアの取り組みとしては、7月と10月に緩和ケア講演会を開催し、がん患者と家族の意志決定支援について多職種での活発な意見交換を行った。11月には、滋賀県緩和ケア研修会を開催し、当院におけるがん診療に携わる医師の研修受講率は93.3%となった。その他、10月には世界ホスピス緩和ケアデー、2月にはがん向き合う週間に併せ、各々1週間の展示イベントを正面玄関ロビーで開催し好評を得た。

地域へのがんの啓発活動としては、中学校等へのがん教育の講演会や老人クラブ等への出前講座を延べ19回実施した。他にも、がんに関する研修会を開催した。

患者団体等のイベントへの協力支援としては、「ピンクリボンinながはま」、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017滋賀医大」への後援名義協力や開催当日への職員参加を行った。

がん相談支援センター

平成29年度の相談件数は1,759件で、相談形式としては、約7割が対面相談となっている。

相談内容では、症状・副作用・後遺症についての相談が最も多く、次いで、不安などのこころの問題や、がんの治療に関することの相談が多い。

その他、学業や就労に関する相談、脱毛などアピアランスに関する相談も各々200件近くあり、働く世代におけるがん患者からの相談の増加によるものと考ええる。このため平成30年2月からは、滋賀産業保健総合支援センターの両立支援促進員による、「仕事と治療の個別相談会」を毎月開催している。

がん患者サロン兼図書室「i・りんぐ」では、がんに関する書籍の貸し出しも行っており、年間1,614名の利用があった。がん患者、ご家族の方を対象とした、公開教室や個別相談会を年間16回開催し、51名の参加者があった。また、がん患者サロン「きらめき長浜」を始め様々な患者団体への支援を実施している。

その他、相談体制を充実させるために、国立がん研究センター主催の、「がん相談支援センター相談員指導者スキルアップ研修」と「がん患者の外見ケアに関する教育研修 基礎編」にそれぞれ1名ずつ参加した。

音楽療法活動

昨年度に引き続き、同志社女子大学音楽学部特任教授濱谷紀子先生を中心とするMTQ（Music Therapy Quartet）による音楽セッションを、病棟デイルームや透析室など院内各所で開催していただき好評であった。

開催日は毎週金曜日の午後で、年間44回来院いただき、集団と個人を合わせ156回（昨年より33回増加）の音楽セッションを提供いただいた。



診療情報支援室

診療情報支援室では、診療情報管理部門と医師事務作業補助部門(DA(Doctor's Assistant))とDPC部門の3つが1つの部署で業務を行っています。

★診療情報支援室の業務として

- 1) 電子カルテの運用および入院分における電子カルテの点検、整備
- 2) 情報の登録と提供、統計の作成等、データの管理
- 3) DPC業務
- 4) 院内がん登録
- 5) NCD (National Clinical Database) の登録
- 6) 各種学会関連の症例登録業務
- 7) 電子カルテ帳票の管理
- 8) スキャンセンターの運営
- 9) 診断書類下書き作成
- 10) 外来支援、医局業務
- 11) 図書室の業務

など、医師をはじめとする病院職員の縁の下の力持ちとなれるよう、日々努力を惜しまず励んでおります。延いては病院の質の向上につながり、患者サービスの一環になればと考えているからです。

その他にも、図書室では、洋書、和書ともに、主に電子ジャーナルを購読し、さらに、Up to dateや文献検索機能を充実させています。

地域の医療機関の方々の利用も促し、教育サポートの面においても充実しています。



医療安全管理室

医療安全管理室では、医療安全室内協議として、インシデント検討会・コンフリクト調整会を毎週火曜日に開催しています。各局責任者、室員、医療機器安全・医薬品安全・医療安全・院内感染防止の各管理責任者によるタイムリーな情報共有と対処方針の検討、協議を行っています。

また、医療安全管理委員会、感染管理委員会は月1回の会議を開催し、医療の安全に関する企画や指導を行い、現場での活動推進を図るために医療安全対策委員会、感染対策担当者会議と連携しています。

事故発生時対応として、関連職員間の事例共有、分析、再発防止策の策定、定期巡視での決定事項の啓発・評価、リスクめぐるや医療安全ニュース、院内感染防止対策ニュースによる広報など、一連の活動をPDCAサイクルで実施しています。

<医療安全活動>

1. スタッフハンドブックは、医療安全領域、感染防止対策はもとより、各委員会、関連部署マニュアルを掲載しており、2年毎の改訂を行い、平成29年度は第4版を発行しました。
2. 医療事故調査制度の関連より、平成28年12月より院長へ院内全死亡事例の報告体制を整え、死亡診断書の記載、検視の必要性について医師、看護師に啓発しています。全職員対象研修では、「検視の必要性和事故現場遭遇時の留意点について」長浜警察署署員による講演を開催しました。
3. チームコミュニケーションエラー防止のため、平成26年度から「SBAR」推進活動を継続しています。今年度は専門的知識を元に、患者の病態、患者状態や状況に対する自分の考え（予測される問題や課題、緊急性）をタイミングを逃さず、相手が理解しやすい内容で報告することを主に活動を行いました。インシデント報告事例を元に演習を作成し、リスクマネージャー、対策委員が中心となり、看護局各部署対象に実践研修を実施しました。
4. 急変事象から、AED設置に向け看護師向けに救急コードブルー発令、BLS、AED使用の実践研修を1月～3月まで毎週実施し、また、8部署264人が受講。5台のAEDを設置しました。
5. インシデント報告に伴う改善事項
 - (1) 離院、外来トイレ死亡事象
監視カメラの増設、玄関口運用の見直しと施錠、出入り制限
 - (2) カリウム製剤アンブル型現場備蓄廃止：手術室、ICUの運用整備
 - (3) 透析室におけるライントラブル時の出血事象：血液漏出検知器導入
 - (4) 点滴異物混入事象における発見時の運用、保管状況の指導、施錠付きカートの整備
 - (5) 抗凝固薬使用中における転倒転落事象の再考
 - (6) 払い出し輸血の適正管理：未使用血の回収について、払い出し方法と回収方法の再考
 - (7) AED、呼気二酸化炭素検知器の導入
 - (8) マニュアル作成・更新について：医療安全管理指針、輸血マニュアル、抗がん薬血管外漏出対応マニュアル、自殺事故発生時の対応（新規）
6. 全職員対象研修会・医療安全情報提供
 - (1) 「免疫抑制剤・化学療法剤使用によるB型肝炎再活性化について」
大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学 村上善基准教授
 - (2) 「検視の必要性和事故現場遭遇時の留意点について」 長浜警察署 山内刑事係長
「事故発生時のロールプレイングを用いた自殺事故対策」
 - (3) 平成28年度医療安全取り組み報告

※研修参加の推進として、参加できない職員に対してeラーニングの実施と未受講者への通知
(4) 医療安全ニュース(院外情報)47回、リスクめぐる(院内情報)40回発行

<感染防止活動>

1. 職業感染対策

- (1)昨年度、針刺し損傷防止機構付きペン型注入器用注射針と安全機構付ヒューバー針を採用しました。それらに関連した針刺し事象はなくなりました。
- (2)静脈留置針は、安全装置付きであるにも関わらず4人の職員が使用中に針刺し損傷を起こしました。原因として2段階装置操作が不十分であったため、2月より1回操作で安全装置が作動する静脈留置針に変更し、その後の針刺し事象は発生していません。
- (3)ワクチンプログラム推進後の経過として、今年度は針刺し事象を起こした職員全員がB型肝炎抗体の確立ができました。

2. たんぱく分解酵素スプレーの採用

現場での滅菌器材一時洗浄をなくし、粘膜曝露予防目的からスプレー型のたんぱく分解酵素を採用しました。採用にあたり器械洗浄方法の現状把握と問題抽出を行い、採用後は職員への周知、使用状況の確認を行い使用の定着に繋がりました。

3. 感染制御チーム (ICT) の活動

活動内容については、手指衛生推進、抗菌薬適正使用のための特定抗菌薬使用状況の確認、環境ラウンドを行っています。特定抗菌薬については届出状況や適正使用について確認と通知を行っています。環境ラウンドはラウンドを行い、直後に責任者に結果と報告し、集約したラウンド結果についてはリンクナースにフィードバックをしました。

4. インフルエンザ

院内職員には、インフルエンザ予防のためにワクチン接種の推進を行い、ワクチン接種率は95.5%でした。職員のインフルエンザ発症は61人、院内感染を疑うインフルエンザ患者は19人でした。疑い段階からの感染対策対応を行い、アウトブレイクには至りませんでした。

5. 他病院との合同感染活動

湖北地域3病院(長浜赤十字病院、長浜市立湖北病院、市立長浜病院)合同カンファレンスを合計8回実施しました。そのうち2回のカンファレンスでは長浜保健所の感染担当者を交えての実施となり、市中での流行感染症の発生状況や情報共有することができました。

6. 全職員対象研修会・感染情報提供

- (1)職業感染対策「貴方を感染から守るための(針刺し対策・ワクチン)について」
中村寛子感染管理認定看護師(当院ICT)
- (2)「医療関連感染防止のための環境浄化(環境整備)について」
公立甲賀病院 感染制御部 木下桂感染管理認定看護師
- (3)院内感染対策ニュースを3回発行しました。

<相談業務>

患者や患者家族から寄せられた医療に関する苦情や相談について面談等を行い、関連部署と連携し安全で安心な医療を提供できるように対応しました。平成29年度の医療相談・苦情件数は35件で、大幅に減少しました。その約5割近くは、医師・看護師などの職員に関するものでした。

“意見箱”の意見回収を毎週実施し、各部署と調整して必要に応じて患者家族への直接回答・掲示板・HPへの回答掲載を行いました。

IV－3 著書発表記録

リウマチ膠原病内科

梅原久範、佐藤智美、中村拓路

IgG4関連疾患診断（日米の取り組みを中心に）

リウマチ科 第60巻 4 特集/IgG4関連疾患の最近の知見

梅原久範、佐藤智美、中村拓路

唾液腺疾患

内科学書 改訂第9版 中山書店

梅原久範、佐藤智美、中村拓路

好酸球性筋膜炎（eosinophilic fascitis）

内科学書 改訂第9版 中山書店

看護局

杉山慎太郎

じっくり考えたいケアに悩んだケースとその対応

せん妄のある患者とその家族の生活の再構築に苦渋したケース

BRAIN NURSING vol.33(5)p521-515 2017

杉山慎太郎

超急性期から行う、手紙を利用した早期からの退院調整

BRAIN NURSING vol.34(2)p162-165 2017

杉山慎太郎

ケーススタディー 脳卒中急性期看護

呼吸管理中の合併症予防と異常の早期発見のカギとは

日総研 vol.3(6)p67-76 2018

リハビリテーション技術科

西村圭二

人工股関節全置換術施行後患者の歩容改善エクササイズ

新ブラッシュアップ理学療法-新たな技術を創造する臨床家88の挑戦-

ヒューマンプレス 2017年10月 p 49-52

IV－4 論文発表記録

リウマチ膠原病内科

Umehara H, Kawano M.

Response to ‘Serum complement factor C5a in IgG4-related disease’ by Fukui et al.
Ann Rheum Dis. 2018. DOI 10.1136/annrheumdis-2018:213729

Tanaka Y, Takeuchi T, Umehara H, Nanki T, Yasuda N, Tago F, et al.

Safety, pharmacokinetics, and efficacy of E6011, an antitractalkine monoclonal antibody, in a first - in - patient phase 1/2 study on rheumatoid arthritis.
Mod Rheumatol. 2017 Jul 6:1-8.

Shiboski CH, Shiboski SC, Seror R, Criswell LA, Labetoulle M, Lietman TM, et al.

2016 American College of Rheumatology/European League
Against Rheumatism classification criteria for primary Sjogren’s syndrome: A consensus and data, driven methodology involving three international patient cohorts.
Ann Rheum Dis. 2017 Jan ; 76(1): 9-16

Al Mahtab M, Mn Alam S, A LM, Raihan R, M AA, MAR, et al.

Therapy Targeting Stem Cell in Patients with Decompensated
Cirrhosis of Liver in a Tertiary Treatment Care Center of Bangladesh. Euroasian J
Hepatogastroenterol. 2017 Jan -Jun ; 7(1): 113-115

Shiboski CH, Baer AN, Shiboski SC, Lam M, Challacombe S, Lanfranchi HE, et al.

Natural history and Predictors of Progression to Sjogren’s Syndrome Among
Participants of the SICCA registry. Arthritis Care Res (Hoboken). 2017 Apr.

脳神経外科

佐藤岳史、浅井麻未、小室太郎、小林映、宮川孝史、木村拓美、麻生俊彦、美馬達哉
多発性脳梗塞による重度の発動低下に対して経頭蓋直流刺激を施行した一例
脳卒中39: 391-395, 2017.

Satow T, Suzuki M, Komuro T, Ogawa M, Kobayashi A, Nishida S.

Spontaneous resolution of cerebral pial arteriovenous fistula after angiography: report of two cases.
World Neurosurg 2017 <http://dx.doi.org/10.1016/j.wneu.2017.04.0155>

Satow T, Aso T, Nishida S, Komuro T, Ueno T, Nakagami Y, Odagiri M, Kikuchi T, Yoshida K, Ueda K, Kunieda T, Murai T, Miyamoto S, Fukuyama H.

Alteration of venous drainage route in idiopathic normal pressure hydrocephalus and normal aging.
Frontiers in Aging Neuroscience 2017; 9: 387. doi: 10.3389/fnagi.2017.00387

産婦人科

林嘉彦、中多真理、北澤純、高橋顕雅、野田洋一

硫酸マグネシウム急速所静脈内投与による子宮内胎児蘇生が有効であった胎児機能不全の1症例

滋賀県産婦人科雑誌 9:33-35,2017 (平成29年12月)

Takahashi A, Kanao H, Takeshima N

Small-Diameter Hysteroscopic Metroplasty for a Septate Uterus after Open-Assisted Laparoscopic Radical Trachelectomy.

J Minim Invasive Gynecol. 2017 Nov 13.pii: S1553-4650(17)31277-3.doi: 10.1016/j.jmig. 2017.11.004 [Epub ahead of print]

Takahashi A, Kato K, Matsuura M, Katsuda T, Matoda M, Nomura H,

Okamoto S, Kanao H, Kondo E, Omatus K, Utsugi K, Takeshima N

Comparison of secondary cytoreductive surgery plus chemotherapy with chemotherapy alone for recurrent epithelial ovarian, tubal, or peritoneal carcinoma:

A propensity score-matched analysis of 112 consecutive patients

Medicine.2017 Sep 6(37):e8006

Takahashi A, Matsuura M, Matoda M, Nomura H, Okamoto S, Kanao H, Kondo E,

Omatus K, Kato K, Utsugi K, Takeshima N

Clinicopathological Features of Early and Late Recurrence of Endometrial Carcinoma After Surgical Resection.

Int J Gynecol Cancer. 2017 May; 27(5):967-972

北澤純、高橋顕雅、中多真理、林嘉彦

腹式子宮全摘出術5か月後に腔断端離開を発症した1例：症例報告と自験例8例の検討

滋賀県産婦人科雑誌 9:43-46,2017 (平成29年12月)

上村真央、辻俊一郎、山田一貴、林香里、桂大輔、小野哲男、石河顕子、木村文則、高橋健太郎、村上節

出生前に診断し得た四腔断面像の描出が可能であったCriss Cross Heartの一例

滋賀県産婦人科雑誌 (9:61-65・2017)

歯科口腔外科

太田舞、北本幸恵、青井陽子、家森正志
市立長浜病院歯科・歯科口腔外科における初診患者の臨床統計
滋賀県歯科医師会雑誌 (5), 17-21, 2017

家森正志
小児口腔軟組織外傷
西日本小児口腔外科学会 9: 18-21, 2017.

看護局

阪東美加、平山知沙、池田由比乃、木野美月、富田悠、磯実幸、林美希、田附容子
杉山慎太郎、佐藤岳史、小室太郎、小川雅文、小林映
地域病院における脳卒中ケアユニット併設前後の脳卒中臨床指標に関する検討
脳卒中 J-STAGE 12月28日公開 2017年

歯科眼科技術室

長尾祥奈、澤田園、長篤志
遮光レンズが固視へ及ぼす年齢差の影響
日本視能訓練士協会誌 46:63-70,2017 (平成30年3月)

Ⅳ－5 学会・研究発表記録

リウマチ膠原病内科

田代裕介、佐藤智美、中村拓路、梅原久範

「トシリズマブ（抗IL-6抗体）」からカナキヌマブ（IL-17抗体）に変更した自己炎症症候群2症例の検討

第115回日本内科学会総会・講演会 平成30年4月13～15日（京都）

梅原久範

IgG4関連疾患診断の日米の取り組み

第61回日本リウマチ学会総会・学術集会 平成29年4月20日（福岡）

佐藤智美

シェーグレン症候群国際統一(ACR/EULAR)分類基準制定の経緯と意義

第61回日本リウマチ学会総会・学術集会 平成29年4月20日（福岡）

梅原久範

IgG4関連疾患－概念確立から国際統一分類基準に向けて－

検査と臨床、関西フォーラム（特別講演） 平成29年7月22日（大阪）

梅原久範

リウマチ薬物治療の進化

長浜市リウマチ・膠原病治療セミナー 平成29年7月26日（長浜）

梅原久範

リウマチ薬物治療の進化

第190回滋賀県薬剤師会湖南西支部会員研修会 平成29年8月1日（草津）

梅原久範

関節リウマチの克服に向けて

長浜市リウマチ市民公開講座 平成29年9月10日（長浜）

梅原久範

膠原病とうまく付き合っていくには～最新治療も含めて

難病相談事業講演会 平成29年10月31日（福井）

呼吸器内科

高木順平: パネリスト

ALK陽性肺がんの検体検査、治療戦略について 平成29年4月14日（大津）

野口哲男、高木順平、中川雅登、上林憲司、平山陽子、藤本 遼、小松輝也、田久保康隆
アキシチニブ投与中に空洞陰影拡大をきたした1例

第57回日本呼吸器学会学術講演会 平成29年4月23日（東京）

中川雅登、堀井翔平、上林憲司、高木順平、野口哲男、武智浩子
腹膜浸潤により麻痺性イレウスを繰り返した悪性胸膜中皮腫の一部検症例
第57回日本呼吸器学会学術講演会 平成29年4月23日（東京）

野口哲男：挨拶
第13回湖北吸入療法病薬連携研究会 平成29年5月18日（長浜）

野口哲男
LAMA/LABA戦国時代 ～薬剤選択の決め手はこれだ！
CareNet WEB LIVE講演会 平成29年5月19日（東京）

野口哲男：Q&A Discussion司会
これからのCOPD治療とLAMA/LABA配合剤について
MEET THE EXPERT in 滋賀 平成29年6月1日（草津）

野口哲男：パネリスト
オフ会座談会（IPFの早期治療と薬物療法の意義） 平成29年6月20日（京都）

野口哲男：座長
心不全の地域包括連携を考える
～地域包括ケア時代の多職種連携 平成29年6月22日（長浜）

野口哲男
肺炎は予防から ～肺炎球菌ワクチンの有用性
湖北医師会学術講演会 平成29年6月29日（長浜）

野口哲男
外来で経口抗がん剤投与されている肺がん患者さんへの指導 ～薬剤師に知っておいてもらいたいこと
湖北薬剤師会講演会 平成29年7月12日（長浜）

上林憲司
健康診断でみつける慢性気道感染とは
第44回病診連携Wドクターの会 平成29年7月21日（長浜）

平山陽子、上林憲司、高木順平、中川雅登、藤本遼、小松輝也、田久保康隆、野口哲男
当院におけるRamucirumabの使用経験
肺癌学術講習会inびわ湖2017 平成29年9月6日（草津）

中川雅登、上林憲司、高木順平、野口哲男、喜多村次郎、武智浩子、田久保康隆
長期にわたるPEM+BEV維持療法中に明らかな頭部病変がなく発症した癌性髄膜炎
第58回日本肺癌学会学術講演 平成29年10月14日（横浜）

野口哲男：座長

湖北・湖東肺癌セミナー 平成29年10月30日（草津）

野口哲男：Q&A Discussion司会

これからのCOPD治療とLAMA/LABA配合剤について

MEET THE EXPERT in 滋賀 平成29年11月1日（草津）

野口哲男：総合司会

解決コンコン懇話会 in 湖北 平成29年11月2日（長浜）

中川雅登

咳喘息を含む慢性咳嗽の診断におけるFeNOの有用性

解決コンコン懇話会 in 湖北 平成29年11月2日（長浜）

野口哲男：総合司会

第3回滋賀肺癌Round Table Meeting 平成29年11月9日（草津）

野口哲男、高木順平

滋賀県肺がんチーム医療ワークショップ 平成29年11月11日（草津）

野口哲男：講師

M5-オピオイドを開始する時

第5回滋賀県緩和ケア研修会 平成29年11月12日（長浜）

野口哲男：司会

湖北がん免疫医療連携セミナー 平成29年11月15日（米原）

野口哲男：挨拶

第14回湖北吸入療法病薬連携研究会 平成29年11月16日（長浜）

中川雅登、草野信悟、石橋孝、清水悠、尚永直哉、山口清香、野村耕一郎、浅見秀治、杉山慎太郎、田邊和也

間質性肺炎急性増悪にPMX-DHP療法を使用した9例の検討

第27回日本呼吸ケア・リハビリ学会 平成29年11月17日（仙台）

上林憲司

当院におけるPembrolizumabの使用経験 ～1st lineでの使用を中心に～

Lung Cancer Meeting in Kyoto 平成29年11月24日（京都）

野口哲男

NPPVのデモンストレーション

第13回滋賀COPD管理講習会 平成29年11月26日（大津）

高木順平

当院における抗線維化薬の使用経験

第8回滋賀IPF研究会 平成29年12月7日（大津）

野口哲男、高木順平、中川雅登、上林憲司、平山陽子、藤本遼、小松輝也、田久保康隆
両側すりガラス陰影を呈し、ステロイドパルス療法の効果がなかった症例

第90回日本呼吸器学会近畿地方会 平成29年12月16日（大阪）

平山陽子、上林憲司、高木順平、中川雅登、藤本遼、小松輝也、田久保康隆、野口哲男
当院におけるRamucirumabの使用経験

第90回日本呼吸器学会近畿地方会 平成29年12月16日（大阪）

野口哲男

吸入支援ファシリテーター

福井吸入セミナー 平成29年12月23日（福井）

野口哲男

成人肺炎診療GLをふまえた治療戦略～肺炎は老人の友である～

高齢者トータルセミナー 平成30年1月11日（長浜）

野口哲男

免疫チェックポイント阻害薬の副作用マネジメント～チームNiCEの取り組み

平成29年度第2回医薬品安全管理研修会 平成30年2月15日（長浜）

野口哲男：座長

肺がんに対する免疫チェックポイント阻害薬の治療戦略

第28回滋賀癌化学療法研究会 平成30年2月24日（草津）

中川雅登、平山陽子、上林憲司、高木順平、野口哲男、藤本遼、小松輝也、田久保康隆
長期にわたるPEM+BEV維持療法中に明らかな頭部病変がなく発症した癌性髄膜炎

第28回滋賀癌化学療法研究会 平成30年2月24日（草津）

野口哲男：座長

湖北東irAE Management Seminar 平成30年3月2日（米原）

高木順平

免疫チェックポイント阻害薬にて間質性肺炎を発症した症例について

湖北東irAE Management Seminar 平成30年3月2日（米原）

脳神経外科

佐藤岳史

てんかん発作で入院となった患者に対するリハビリテーション処方

第54回日本リハビリテーション医学会学術集会 平成29年6月8日（岡山）

佐藤岳史

INTRATHECAL BACLOFEN THERAPY FOR LESCH-NYHAN DISEASE: A CASE REPORT

WSSFN2017 平成29年6月26日～29日 (Berlin)

小室太郎

心房粘液腫の転移によると思われる多発性・緩徐増大性脳内血腫の1例

第8回金沢京都フレンドシップカンファレンス 平成29年7月8日 (福井)

佐藤岳史

Predictors of discharge destination following hospitalization by seizure

#32 IEC 平成29年9月3日 (Barcelona)

佐藤岳史

経頭蓋直流刺激により改善したPusher現象の一例

第47回日本臨床神経生理学会 平成29年11月 (横浜)

佐藤岳史

もやもや病を合併した症候性内頸動脈狭窄症に対して頸動脈ステント留置術を施行した1例

第43回日本脳卒中学会学術総会 平成30年3月16日 (福岡)

心臓血管外科

吉良浩勝、洞井和彦、鄒貴光、下司徹、中野顕、日村好宏、曾我欣治

嚢状動脈瘤を伴った左右冠動脈肺動脈瘻の一例

第123回日本循環器学会近畿地方会 平成29年6月24日 (大阪)

吉良浩勝、洞井和彦、鄒貴光、曾我欣治

TEVAR待機中に再解離を来たし、手術機会を逸したDeBakeyⅢ型解離の1例

第3回Leading Edge Conference on Endovascular Therapy 平成29年9月2日 (京都)

吉良浩勝、洞井和彦、鄒貴光、曾我欣治

急性下壁心筋梗塞に合併した右室破裂の一例

第52回京滋心臓血管外科研究会 平成29年9月16日 (京都)

鄒貴光、洞井和彦、吉良浩勝、曾我欣治、梶本晶、中野顕、日村好宏

Trousseau 症候群の1症例

第124回日本循環器学会近畿地方会 平成29年11月25日 (大阪)

吉良浩勝、鄒貴光、洞井和彦、曾我欣治

ハイブリッド治療を施行した右鎖骨下動脈瘤の1例

第53回京滋心臓血管外科研究会 平成30年2月10日 (京都)

吉良浩勝、洞井和彦、鄒貴光、曾我欣治

下大静脈に迷入した静脈石の一例

第48回日本血管外科学会学術総会 平成30年2月19日（津）

泌尿器科

横川竜生、村元暁文、塚晴俊、村中幸二

当院における経尿道的膀胱腫瘍一塊切除術(TURBO)の初期経験

第105回日本泌尿器科学会総会 平成29年4月21日（鹿児島）

村元暁文、横川竜生、塚晴俊、村中幸二

Urothelial Carcinoma with Chordoid Featuresの2例

第105回日本泌尿器科学会総会 平成29年4月23日（鹿児島）

村元暁文、黒川哲之、小林久人、岡田昌裕、多賀峰克、伊藤秀明、横山修

福井大学病院と関連施設における二分脊椎症に伴う神経因性膀胱患者の下部尿路管理についての検討

第105回日本泌尿器科学会総会 平成29年4月23日（鹿児島）

村元暁文

f-TULの疑問

f-URS Panel Discussion 平成29年7月29日（大阪）

横川竜生

結石治療に対する各施設の取り組み方の共有

EndUrology Meeting II 平成29年9月9日（大阪）

村元暁文、横川竜生、塚晴俊、村中幸二

アビラテロンの当院使用経験と福井県下での使用状況

第3回Shiga Prostate Cancer Forum 平成29年10月13日（大津）

横川竜生

Nerve growth factor release from the urothelium increases via activation of bladder C-fiber in rats with cerebral infarction（脳梗塞ラットにおける尿路上皮由来の神経成長因子は膀胱知覚C線維の活性化によって増加する）

福井大学泌尿器科越水会 平成29年10月21日（福井）

横川竜生、村元暁文、塚晴俊、村中幸二

当科におけるLithoVue™単回使用デジタルフレキシブルウレテロレノスコープの使用経験

第34回滋賀泌尿器科集談会 平成29年10月28日（草津）

横川竜生、村元暁文、塚晴俊、村中幸二

市立長浜病院におけるLithoVue™単回使用デジタルフレキシブルウレテロレノスコープの使用経験

第69回西日本泌尿器科学会総会 平成29年11月10日（大分）

横川竜生、村元暁文、塚晴俊、村中幸二

LithoVue™単回使用デジタルフレキシブルウレテロレノスコープの使用経験

第31回日本泌尿器内視鏡学会総会 平成29年11月18日（徳島）

村元暁文、横川竜生、塚晴俊、村中幸二

当院におけるf-TULでの尿管狭窄による中止症例の検討

第67回日本泌尿器科学会中部総会 平成29年11月26日（大阪）

村元暁文、横川竜生、塚晴俊、村中幸二

陰茎に嵌頓した尿道異物の1例

第458回日本泌尿器科学会北陸地方会 平成29年12月3日（金沢）

横川竜生

腎癌でのニボルマブ選択 ～市立長浜病院泌尿器科からの提案～

Bristol-Myers社内講演会 平成29年12月20日（京都）

産婦人科

Takahachi A, Kitazawa J, nakata M, Hayashi Y

Trends of routes of hysterectomy performed for benign indications; A single-center, retrospective study

第69回日本産科婦人科学会学術講演会 平成29年4月12日（広島）

北澤純

帝王切開術後鎮痛における静注用アセトアミノフェンの定期的投与の鎮静効果と児への影響についての検討

第69回日本産科婦人科学会学術講演会 平成29年4月14日（広島）

林嘉彦：座長

平成29年度第1回滋賀県産科婦人科医会学術集会 平成29年6月4日（大津）

上村真央、高橋顕雅、北澤純、中多真理、林嘉彦

当院における子宮脱に対する治療の現状

平成29年第1回滋賀県産科婦人科医会学術集会 平成29年6月4日（大津）

北澤純

当院における高度肥満患者に対する腹腔鏡下手術の工夫

第136回近畿産科婦人科学会学術集会 平成29年6月17日（大阪）

高橋顕雅

チームで取り組む婦人科がんの化学療法（卵巣がんの化学療法）

北琵琶湖メディカルスタッフカンファレンス 平成29年6月20日（長浜）

高橋顕雅、北澤純、中多真理、林嘉彦

胸水貯留を契機に発見された卵巣粘液性境界悪性腫瘍の2例

第59回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 平成29年7月20日（熊本）

北澤純

精神疾患合併妊娠の新生児予後についての検討

第46回日本女性心身医学会学術集会 平成29年7月30日

Uemura M, Takahachi A, Kitazawa J, nakata M, Hayashi Y

A case of laparoscopic adnexectomy for torsion of ovarian tumor in an extremely elderly patient, a 94 -year-old with an abdominal aortic aneurysm

18th APAGE Annual Congress 2017 平成29年9月7日（岡山）

北澤純

初回治療4年後に卵巣転移を認めた小細胞肺癌の一例

第57回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 平成29年9月8日（岡山）

上村真央、高橋顕雅、北澤純、中多真理、林嘉彦

腹部大動脈瘤を伴った超高齢者（94歳）の卵巣腫瘍茎捻転に対し行った腹腔鏡下付属器摘出術の1例

第57回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 平成29年9月8日（岡山）

北澤純

Small cell lung cancer with ovarian metastasis 4 years after first - line treatment: A case report

18th APAGE Annual Congress 2017 平成29年9月9日（岡山）

高橋顕雅、上村真央、北澤純、中多真理、林嘉彦

単孔式腹腔鏡手術＋1ポートにより急性虫垂炎と卵巣腫瘍を同時手術し得た肢帯型筋ジストロフィーの一例

第57回日本産科婦人科内視鏡学会学術集会 平成29年9月9日（岡山）

高橋顕雅、上村真央、北澤純、林嘉彦

当院における卵巣がんに対するBevacizumabの使用経験

婦人科癌講演会 in Shiga 平成29年10月13日（大津）

Takahachi A, Uemura M, Kitazawa J, Hayashi Y

A rare case of inflammatory myofibroblastic tumor in uterus

ESMO Asia 2017 平成29年11月18日（Singapore）

上村真央、高橋顕雅、北澤純、西野万由美、岡本明子、宮元伸篤、新川由基、黒澤学
外陰部基底細胞癌の1例

第56回日本臨床細胞学会秋季大会 平成29年11月18日（福岡）

上村真央、高橋顕雅、北澤純、林嘉彦

当院におけるHBOCカウンセリングの現状

平成29年第3回滋賀県産科婦人科医会学術集会 平成29年12月10日（大津）

林嘉彦：座長

第28回滋賀癌化学療法研究会 平成30年2月（草津）

麻酔科

嶋田文彦

異なる地域における救急救命士気管挿管実習経験の比較

第20回日本臨床救急医学会総会・学術集会 平成29年5月27日（東京）

岩崎愛、上野裕美、北川裕利

ラリンジアルマスクclassic(R)を用いた気管支鏡下肉芽焼灼術の麻酔経験

日本臨床麻酔学会第37回大会 平成29年11月4日（東京）

歯科口腔外科

杉藤雅孝

パノラマX線写真にて増大過程を観察しえた単純性骨嚢胞の1例

第28回西日本臨床小児口腔外科学会 平成29年10月1日（京都）

家森正志

小児口腔軟組織障害の対応について

第28回西日本臨床小児口腔外科学会 平成29年10月1日（京都）

家森正志

市立長浜病院における終末期がん患者の口腔機能管理～口腔有害事象の現状と今後の課題～
終末期がん患者の口腔環境を考える ワークショップin京都医療センター

簡便で非侵襲的な客観的口腔アセスメントを目指して 平成29年10月7日（京都）

太田舞、杉藤雅孝、北本幸恵、家森正志

病巣感染の除去を目的に歯根端切除術を施行したIgA腎症の1例

第62回日本口腔外科学会総会・学術大会 平成29年10月20日（京都）

杉藤雅孝、太田舞、北本幸恵、家森正志

長浜病院におけるデノスマブ使用による薬剤関連顎骨壊死の臨床的検討

第62回日本口腔外科学会総会・学術大会 平成29年10月21日（京都）

家森正志

助けて!! どうして私のアゴは壊死してしまったの!? ～骨吸収抑制薬の功罪～
第20回湖北緩和ケア・在宅医療研究会 平成29年7月12日（長浜）

看護局

中村寛子、藤本智美

感染防止加算における取り組み報告

第6回日本感染管理ネットワーク学術集会 平成29年5月19～20日（函館）

藤本智美、中村寛子

速乾性手指消毒剤使用量アップに向けた取り組み

第6回日本感染管理ネットワーク学術集会 平成29年5月19～20日（函館）

北村裕子、吉川敬子

抜歯後蜂窩織炎から縦隔炎を併発した長期人工呼吸管理を経て自宅退院した一例
～ICUにおける多職種連携～

日本集中医療学会 第1回東海北陸支部学術集会 平成29年6月24日（名古屋）

杉山慎太郎、山口清香、浅見秀治、尚永直哉、野村耕一郎、毛利由布子、清水悠、石橋孝、草野信悟、中川雅登

人工呼吸器を装着した脳卒中患者に対するRSTによるリハビリテーション

第39回日本呼吸療法医学会学術集会 平成29年7月15～16日（東京）

八田頼卓

固定チームリーダーとしての取り組み

H29年度固定チームナースング全国研究集会 平成29年10月9日（神戸）

宮川都

カンファレンスを活用した退院支援

H29年度固定チームナースング全国研究集会 平成29年10月9日（神戸）

杉村隆幸

無職となった心不全患者への疾病管理から得られた課題

第14回日本循環器看護学会学術集会 平成29年9月9～10日（徳島）

河野智一、一色京子、湧口朋子

長浜病院訪問看護ステーションにおけるがん性疼痛看護認定看護師の役割の考察
～同行訪問3事例を通して～

第38回日本在宅医療学会学術集会 平成29年9月9～10日（東京）

筒井寛一、沖田小百合、伊吹英代、赤尾真樹子

外来維持血液透析患者の体重増加が栄養状態に及ぼす影響と食事への関心との関連
第38回滋賀腎・透析研究会 平成29年9月10日（大津）

杉山慎太郎、日比野比佐子

NO！卒中隊活動報告

第44回日本脳神経看護研究学会 平成29年10月13日（名古屋）

入江桃花、杉山順哉、野口哲男、高木順平、中川雅登、上林憲司、田久保康隆、伏木雅人
肺がん関連の緊急照射におけるがん放射線療法看護認定看護師の役割

第58回日本肺癌学会学術集会 平成29年10月14～15日（横浜）

杉村隆幸

無職となった心不全患者への疾病管理から得られた課題

西日本心不全医療研究会 平成29年10月21日（大阪）

杉山慎太郎

脳卒中患者に対するメンテナン斯里ハビリテーションの効果

第13回国際脳卒中外科学会 平成29年10月28～29日（名古屋）

平井義一、小尾野恵実

腹腔鏡下腎臓全摘出術を受ける高度肥満患者への体位工夫を実施した一例

第31回日本手術看護学会 平成29年11月3～4日（東京）

杉村隆幸

ミトコンドリア心筋症を抱える心不全患者 症状に着目したセルフモニタリング支援
エンボディメントケア看護研究会 平成29年11月11日（神戸）

山口清香、中村寛子、尾崎幸子、間塚摩美、河野智一、浅井拓真、野口哲男

続発性気胸に伴う長期入院患者の自宅退院に向けた他職種の間わり

第27回日本呼吸ケアリハビリテーション学会 平成29年11月17～18日（仙台）

野一色祐美子、小野千鶴、新井桃子、石田久美子

地域包括ケア病棟での退院支援が家族にとって効果的になる支援や思い

平成29年度滋賀県看護学会 平成29年12月7日（大津）

杉山慎太郎

人工呼吸器を装着した脳卒中患者に対するリハビリテーション看護

第1回市立長浜病院 脳神経医療研究報告会 平成30年2月9日（長浜）

富田悠

当院SCULPTUREにおける退院支援の一環

日本医療マネジメント学会第15回京滋支部学術集会 平成30年2月17日（京都）

宮川可奈絵

チームナーシングへのアプローチ～患者参画型看護導入の取り組み～

日本医療マネジメント学会第15回京滋支部学術集会 平成30年2月17日（京都）

薬剤科

酒井彩乃、野洵孝二、大岡千寿子、久保田理恵、池田遼太、神田雄史

帝王切開術後鎮痛における静注用アセトアミノフェンの定期投与の鎮痛効果調査

滋賀県病院薬剤師会第38回学術大会 平成29年8月1日（草津）

大岡千寿子、野洵孝二、中村俊之、藤田忠夫、平良薫、堀江智美、神田雄史

多職種連携によるB型肝炎再活性化対策への取り組み

第27回日本医療薬学会年会 平成29年11月3～5日（幕張）

酒井彩乃、野洵孝二、大岡千寿子、久保田理恵、池田遼太、神田雄史

帝王切開術後鎮痛における静注用アセトアミノフェンの定期投与の鎮痛効果調査

第27回日本医療薬学会年会 平成29年11月3～5日（幕張）

大岡千寿子、野洵孝二、中村俊之、藤田忠夫、平良薫、堀江智美、神田雄史

多職種連携によるB型肝炎再活性化対策への取り組み

日本医療マネジメント学会第15回京滋支部学術大会 平成30年2月17日（京都）

西嶋友梨、野洵孝二、大岡千寿子、中村俊之、神田雄史

市立長浜病院における免疫チェックポイント阻害薬の使用実態調査

近畿薬剤師合同学術大会2018 平成30年2月3～4日（京都）

桑原千裕、野洵孝二、大岡千寿子、高山直樹、久保田理恵

患者総合支援センターでの薬剤師の関わり

近畿薬剤師合同学術大会2018 平成30年2月3～4日（京都）

竹越靖晃、池田遼太、大岡千寿子、野洵孝二、神田雄史

整形外科病棟における腎機能と鎮痛薬の使用状況調査

近畿薬剤師合同学術大会2018 平成30年2月3～4日（京都）

高山直樹、田中祐輔、中川太郎、赤尾真樹子、伊吹英代、井階幸一、川島和彦、潮正輝

当院NST活動が脂肪乳剤の使用状況に与えた変化

第33回日本静脈経腸栄養学会学術集会 平成30年2月22～23日（横浜）

中村俊之

StageⅣ 胃がん患者への介入

第17回滋賀県がん薬物療法conference 平成30年3月7日（守山）

西増春佳、高山直樹、大岡千寿子、野淵孝二、東昌代、西堀靖子、潮正輝、森田善方
糖尿病教室 薬物療法の現状と課題～受講者へのアンケート調査より～
第36回 滋賀県インスリン治療懇話会 平成30年3月17日（大津）

中村俊之、竹越靖晃、大岡千寿子、野淵孝二、神田雄史
血管新生阻害薬投与時の尿蛋白検査プロトコル作成と今後の課題について
日本臨床腫瘍薬学会2018平成30年度 平成30年3月17～18日（横浜）

栄養科

赤尾真樹子
胃全摘、膵島十二指腸切除後の高度栄養障害患者に対してNST介入が奏功した一例
第9回日本静脈経腸栄養学会近畿支部学術集会 平成29年6月24日（京都）

古株陽子
理解・意欲良好に見えるもカーボカウント導入で血糖改善が見られない1型糖尿病患者例
第54回日本糖尿病学会近畿地方会 平成29年11月11日（大阪）

古株陽子
糖尿病の食事療法
第4回CDE滋賀認定講習会 平成29年12月3日（大津）

古株陽子
高血圧の食事 ～だしをきかせておいしく減塩～
平成29年度「世界腎臓デー」市民公開講座 平成30年3月11日（長浜）

放射線技術科

村澤優樹、辻雅之、村上義和
前立腺照射用固定具の違いによる患者回転成分の固定精度の検討
滋賀県放射線技師会第31回学術研究発表会 平成29年5月21日（大津）

守矢千春
トモバイオブシーの活用
FUJIFILM MEDICAL SEMINAR 2017 in 京都 平成29年9月9日（京都）

川上正邦、伊良皆拓、平島英明、田邊啓太、西村正明、辰己裕和、辻雅之、村澤優樹、安永敏美、伏木雅人
Evaluation of fixation accuracy with couch rotation during Brain SRT using two immobilization devices
日本放射線腫瘍学会第30回学術大会 平成29年11月17日（大阪）

田邊啓太
前立腺がんに対する放射線治療
滋賀県放射線技師会第3回学術研修会 平成30年1月27日（大津）

川上正邦、潮正輝、前川純子、清水義典、町本高章、近藤昭仁、川崎悦子、藤本とき江、村中幸二

マグネットシートを用いた離床センサー電源入れ忘れ対策に関する検討

日本医療マネジメント学会第15回京滋支部学術集会 平成30年2月17日（京都）

木村拓美

大動脈解離 施設発表：当院でのプロトコール

京滋CTアカデミー 平成30年3月14日（京都）

リハビリテーション技術科

西村圭二、南部利明、杉本正幸、後藤公志

変形性股関節症患者における人工股関節全置換術施行前後の歩行動揺変化の検討

第52回日本理学療法学術大会 平成29年5月12日（千葉）

清水悠、石橋孝、川瀬智隆、尚永直哉、中川雅登

コメディカルスタッフのImmediate Cardiac Life Support (ICLS) コース受講の必要性

第54回日本リハビリテーション医学会学術集会 平成29年6月9日（岡山）

川瀬智隆、阪東美加、田附容子、佐藤岳史、小室太郎

脳卒中ケアユニットにおける心不全の把握とリハビリテーションの必要性

第54回日本リハビリテーション医学会学術集会 平成29年6月9日（岡山）

中川円香、田邊信彦、持田純至、藤田侑子、中川寛一、佐藤岳史

左視床出血による失語症に軽度語聲を合併した一症例

第18回日本言語聴覚学会 平成29年6月24日（島根）

川瀬智隆、清水悠、石橋孝、阪東美加、田附容子、佐藤岳史、小室太郎

当院、脳卒中ケアユニット入室患者の心疾患からみた特性

第23回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 平成29年7月15日（岐阜）

清水悠、石橋孝、川瀬智隆

Immediate Cardiac Life Support (ICLS) コース受講の必要性

第23回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 平成29年7月15日（岐阜）

藤田侑子、家森正志、中村圭吾、田邊信彦、持田純至、中川寛一、中川円香、大野暢宏

急性発症脳血管疾患を除く嚥下障害患者における予後予測因子の検討

第23回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 平成29年9月15日（千葉）

川瀬智隆、阪東美加、田附容子、佐藤岳史、小室太郎

当院、脳卒中ケアユニットにおける心疾患からみた患者の特性

-脳性ナトリウム利尿ペプチドに着目して-

第51回日本作業療学会 平成29年9月22日（東京）

清水悠、石橋孝、川瀬智隆、尚永直哉、中川雅登、東出俊一

医療技術局内のImmediate Cardiac Life Support (ICLS) コース受講の現状と課題
第56回全国自治体病院学会 平成29年10月19日 (千葉)

西村圭二、南部利明、杉本正幸、後藤公志

加速度・角速度センサを用いた人工股関節全置換術施行前後の歩行動揺変化の検討
第44回日本股関節学会学術集会 平成29年10月21日 (東京)

山口卓也、佐藤岳史、美馬達也

経頭蓋直流電気刺激によりPusher現象改善と座位保持姿勢の安定のみられた一症例
第41回日本高次脳機能障害学会学術総会 平成29年12月15日 (埼玉)

田邊信彦、持田純至、藤田侑子、中川寛一、中川円香、佐藤岳史

左前頭葉と脳梁の損傷により右手のみの利用行動と過書を呈した症例
第41回日本高次脳機能障害学会学術総会 平成29年12月15日 (埼玉)

南部利明、中川寛一、岩根隆宏、音居玲子、杉山慎太郎、佐藤岳史

脳卒中地域連携クリティカルパス運用における回復期リハビリテーション病棟退院1～2年後評価の検討
第2回滋賀県多職種連携学会研究大会 平成30年2月16日 (栗東)

川瀬智隆、富田悠、阪東美加、田附容子、佐藤岳史、小室太郎

当院、脳卒中ケアユニットにおけるHeart Failure with preserved Ejection Fraction患者の特徴
第43回日本脳卒中学会学術集会 平成30年3月17日 (福岡)

中央検査技術科

岡本明子

術中迅速検査の適正な標本作製「対応と工夫」

滋賀県臨床検査技師会第5回病理細胞部門研修会 (大津)

岡本明子、新川由基、宮元伸篤、西野万由美、古賀一也、黒澤学、沢田眞治

らせん腺腫を疑った一例

滋賀県臨床細胞学会平成29年度第1回疑問症例検討会 平成29年10月14日 (長浜)

宮元伸篤、新川由基、岡本明子、西野万由美、古賀一也、黒澤学、沢田眞治

小腸穿孔を来した食餌性イレウスの原因食物検索を試みた1例

平成29年度日臨技近畿支部医学検査学会 (第57回) 平成29年10月28～29日 (京都)

西野万由美、新川由基、宮元伸篤、岡本明子、古賀一也、黒澤学、沢田眞治

乳腺穿刺吸引細胞診で組織型推定に苦慮した一例

滋賀県臨床細胞学会平成29年度第2回疑問症例検討会 平成30年1月27日 (大津)

三上はづき、笠井晴生、吉田名緒、藤田忠夫、新川由基
当院で経験した高頻度抗原に対する抗体陽性の症例
第40回滋賀県医学検査学会 平成30年2月25日（草津）

歯科眼科技術室

澤田園
IOL度数計算式の基本構造と精度管理
第7回近畿眼科検査オープンカンファ 平成29年5月27日（大阪）

長谷川博美
切れ目のない口腔ケア
第20回湖北緩和ケア・在宅医療研究会 平成29年7月12日（長浜）

長尾祥奈、澤田園、長篤志
遮光レンズがコントラスト感度へ与える影響の検討
日本視覚学会2017年夏季大会 平成29年9月6日（松江）

澤田園
視覚障害認定基準改定における視野評価
第14回京滋ロービジョン研究会 平成29年9月24日（京都）

澤田園
市立長浜病院におけるロービジョン外来と院内啓発活動
第2回滋賀県ロービジョンネットワーク勉強会 平成29年10月26日（大津）

長尾祥奈、澤田園、長篤志
遮光レンズの瞳孔径と固視に対する色系統別の影響
第58回日本視能矯正学会 平成29年10月28日（仙台）

澤田園
視能訓練士が行うロービジョンケアの実践
岡山県視覚障害を考える会研修会 平成30年2月4日（倉敷）

澤田園、新田朋美、北川由貴
院内でのロービジョン啓発活動とその効果
日本医療マネジメント学会第15回京滋支部学術集会 平成30年2月17日（京都）

地域医療連携室

徳田敏子、尾崎千鶴
患者総合支援センターにおける入院支援業務
日本医療マネジメント学会第15回京滋支部学術集会 平成30年2月17日（京都）

医療安全管理室

近藤昭仁、塚口昌文、新田朋美、山田耕士、越石由紀子、藤本とき江、川崎悦子、曾我欣治、村中幸二

当院におけるSBAR推進活動の経過と直面する課題

第12回医療の質・安全学会学術集会 平成29年11月25～26日（幕張）

藤本とき江、近藤昭仁、川崎悦子、橋本寿、村中幸二

当院における医療安全対策委員会グループ活動の活性化に向けて

日本医療マネジメント学会第15回京滋支部学術集会 平成30年2月17日（京都）

近藤昭仁、藤本とき江、川崎悦子、橋本寿、村中幸二

臨床で活かすことのできるSBAR報告を目指して

日本医療マネジメント学会第15回京滋支部学術集会 平成30年2月17日（京都）

川上正邦、潮正輝、前川純子、清水義典、町本高章、近藤昭仁、川崎悦子、藤本とき江、村中幸二

マグネットシートを用いた離床センサー電源入れ忘れ対策に関する検討

日本医療マネジメント学会第15回京滋支部学術集会 平成30年2月17日（京都）

藤木智美、中村寛子、塚晴俊、坪井房幸、野淵孝二、湯月英里加、渋谷紀美子、大野暢宏

当院のClostridium difficile(クロストリジウム・ディフィシル)の現状と手指衛生の効果

日本医療マネジメント学会第15回京滋支部学術集会 平成30年2月17日（京都）

IV－6 講習会／研修会への取り組み

1. 患者さん・市民を対象にしたもの

健康教室

婦人科化学療法患者会「ももの会」（担当：4階東病棟）

患者同士ふれ合う中で、告知を受けた時の思いや病気と生活の話、治療の辛さ、不安などを共有してもらうことができた。我々スタッフもそのような患者の思いを聞くことができ、貴重な会であった。

がん患者は常に再発に対する不安があるため、入院中や治療中の患者だけではなく、その後のフォローとして、何かあった時の相談先を明確にすることで不安の軽減にもつながることが会の中で改めて分かった。新たに治療中の患者の参加もあり、治療後の患者から得たことがあったという声も聞かれた。今後も効果的な交流の場となるよう、患者のニーズに合わせて支援していく。しかし、最近では患者同士がSNSなどを使って情報交換をされ、不安の共感などをされている状況である。

日時：3ヶ月に1回程度 土曜日 14時～16時 場所：当院本館2階 講義室

平成29年度活動内容と参加

6月10日 （参加者患者3名・スタッフ2名+医師1名）

体験談のお話し、折り紙工作

9月9日 （参加者患者3名・スタッフ2名）

体験談のお話し、毛糸のコサージュ作り

12月9日 （参加者患者2名・スタッフ1名）

体験談のお話し、オーナメント作り

妊婦教室（担当：4階東病棟）

本院受診中の妊婦を対象に、妊娠中の生活や出産準備について助産師が説明。

日時：第1水曜日 13時より約3時間 妊娠前期（妊娠8～11週対象）

第2・4水曜日 13時より約3時間 妊娠後期（妊娠28週頃対象）

場所：当院本館2階 講義室

平成29年度参加者 前期 28名 後期 63名

育児教室（担当：4階東病棟）

本院で出産予定の妊婦とその夫を対象に、出産の流れや入院後の過ごし方を説明し、分娩入院の際のイメージをつけることを目的に助産師が説明。また、沐浴体験やご主人の妊婦体験などを実施。

月2回実施 1回につき、6組のご夫婦を対象とし、産婦人科外来にての予約制

日時：第3水曜日 13時より約3時間 妊娠後期（妊娠28週以降対象）

場所：当院本館2階 講義室

平成29年度参加者 58組

糖尿病患者会「いぶき会」（担当：内科外来）

会員数：18名（患者会員：10名 スタッフ会員：8名）（H29.6月現在）

1. 定期総会：平成29年6月24日（土） 10時～11時

場 所：当院本館2階 講義室

内 容：昨年度活動報告、今年度活動計画立案

参加者：17名（会員4名、スタッフ9名）

平成29年8月をもって、当院いぶき会は、日本糖尿病協会より脱退した。

以降は『市立長浜病院 いぶき会』として継続。年会費の徴収はなしとなる。

*会員数：8名、当院の滋賀CDEは、滋賀県糖尿病協会の会員となる（H29.8月以降）

2. 運動療法研修会：平成29年11月18日（土） 10時～12時

場 所：当院本館1階 リハビリテーション室

内 容：体力測定、運動療法説明、体操とストレッチの実施、体組成計での測定

参加者：25名（会員4名、会員以外13名、スタッフ8名）

3. 食事療法研修会：平成30年2月24日（土）11時30分～13時

場 所：長浜市虎姫町五村 和食『見付屋（みつけや）』

内 容：本日の献立のカロリー、献立の工夫、食事に関するクイズ（10問）

参加者：10名（会員4名、会員以外1名、スタッフ5名）

糖尿病教室

担当：腎臓代謝内科医師、7階西病棟、内科外来、薬剤局、栄養科、リハビリテーション技術科
各専門分野別に担当者が、糖尿病の病態、治療、予防について資料や板書を利用して分かりやすく説明します。また、日常生活指導においては日常生活の注意点およびフットケアについて指導しています。

日時：毎週第1～第4火曜日 13時～14時30分

場所：当院本館2階 講義室

対象：外来通院、入院中の糖尿病患者及びその家族、糖尿病に興味のある方

年間参加者：137名＋α

オストメイトの会「ひまわり会」

1. 通常総会

日時：平成29年6月18日（日）10時～11時

場所：当院本館2階 講堂

内容：平成28年度事業報告、決算報告

平成29年度事業計画案、予算案

2. ストーマ勉強会

日時：平成29年6月18日（日）11時～12時

場所：当院本館2階 講堂

内容：日常生活の工夫、夏の対策

広報ながはま

～市立病院通信～

掲載年月	題 名	診療科	医師名
平成29年4月	リュウマチ膠原病って？	リュウマチ膠原病内科	梅原 久範
平成29年6月	緩和ケア	緩和ケアチーム 呼吸器外科 泌尿器科	田久保 康隆 横川 竜生
平成29年7月	骨粗しょう症検診について	リハビリテーション科	江藤 謹司
平成29年9月	ご家庭での療養生活を支援します	訪問看護ステーション	湧口 朋子
平成29年10月	本当に怖い閉塞性動脈硬化症	循環器内科	高島 弘行
平成29年12月	緑内障を知っていますか	眼科	清水 久雄
平成30年1月	お口のケアはできていますか？	歯科口腔外科	家森 正志
平成30年2月	「滋賀県がんと向き合う週間」	—	—
平成30年3月	「血尿≡尿潜血」が出た人に知ってほしいこと	腎臓代謝内科	森田 善方

中日新聞

“お元気ですか”

- 1) リュウマチ若い世代にも発病
梅原 久範 リウマチ・膠原病内科 平成29年4月5日
- 2) 歩くと足が痛くなる
杉本 正幸 整形外科 平成29年5月17日
- 3) 乳がん自己検診のすすめ
東出 俊一 外科 平成29年5月31日
- 4) 狭心症と心筋梗塞
高島 弘行 循環器内科 平成29年9月13日
- 5) 病状の潜む膵がんの怖さ
平良 薫 外科 平成29年10月11日
- 6) がん治療に放射線活用を
伏木 雅人 放射線治療科 平成29年11月22日
- 7) 血液透析と腹膜透析
森田 善方 腎臓代謝内科 平成29年12月13日
- 8) 最近の尿路結石の治療
横川 竜生 泌尿器科 平成30年2月14日

がん対策推進室

*がんフォーラム2017

平成29年 7月23日 「みんなで支える湖北の医療」

399名

※詳細は主要事業の概要をご覧ください。

*がん教育

日 時	開催場所	参加人数
平成29年 7月11日	平成29年度滋賀県学校保健研修会（シンポジスト） 対象：養護教諭、保健体育担当者、教育委員会等	238名
平成29年 7月18日	甲良中学校3年生	60名
平成29年 8月 2日	米原市養護教諭部会・がん教育に関する講演会 対象：米原市内の小・中学校の養護教諭、学校関係者	17名
平成29年 8月29日	愛荘町立秦荘中学校3年生	230名
平成29年11月 2日	長浜市立木之本中学校3年生	60名
平成29年11月16日	長浜市立浅井中学校2年生	154名
平成29年12月 8日	長浜市立北中学校2年生	203名
平成29年12月14日	長浜市立杉野小・中学校（小学5年生～中学3年生）	15名
平成30年 1月23日	米原市立河南中学校3年生	43名
平成30年 1月25日	長浜市立鏡岡中学校（中学1年生～中学3年生）	79名
平成30年 2月15日	東近江市立玉園中学校3年生	101名
平成30年 2月22日	長浜市立西中学校1年生	182名
平成30年 2月27日	犬上郡学校保健関係者対象・講演会	25名

上記、講師：がん対策推進室管理監 伏木 雅人

平成29年12月 7日	長浜市立東中学校3年生	68名
平成30年 1月18日	長浜市立湖北中学校1・2年生	192名

上記、講師：がん対策推進室副管理監 田久保 康隆

*出前講座

日 時	開催場所・演題	参加人数
平成29年 6月15日	長浜市老人クラブ連合会木之本支部 「納得できる人生をおくるために」	137名
平成29年 7月24日	長浜ロータリークラブ 「納得できるがん治療を」ー放射線治療も選択肢に	55名
平成29年 9月21日	サロンよほろの 「納得できる人生をおくるために」	50名
平成29年10月 7日	十里町いきいきサロン 「本当は怖くないがんのお話」	40名

上記、講師：がん対策推進室管理監 伏木 雅人

日 時	開催場所・演題	参加人数
平成29年11月29日	筆工房つくし「リンパ浮腫」	12名

上記、講師：がん対策推進室 緩和ケア認定看護師 宮崎 恵子

*** 公開教室・個別相談会**

テーマ	開催回数	参加者
頭皮ケアとウィッグ	6回	19名
家族性乳がん・卵巣がん	1回	2名
リンパ浮腫	1回	5名
ケア帽子製作	1回	7名
アロマ Therapie	1回	3名
就労に関する個別相談	1回	1名
乳がんの放射線治療	1回	4名
抗がん剤とスキンケア	1回	3名
手編みパット製作	1回	2名
がん治療にかかる医療費	1回	1名
がん患者さんの口腔ケア	1回	4名

*** 心のケアを考える会例会（主催：心のケアを考える会）**

平成29年 6 月25日 参加者： 39名、平成29年12月10日 参加者： 26名

*** あけぼのハウス（主催：あけぼの滋賀）**

平成29年 7 月 6 日 参加者：約20名、平成29年10月 5 日 参加者：約20名

*** がん患者遺族のためのグリーフケア講座（主催：セルフケアグループ「きらら会」）**

平成29年 8 月 8 日 参加者：20名、平成29年11月 9 日 参加者： 28名

*** 2017年ホスピス緩和ケア週間・展示イベント【世界ホスピス緩和ケアデー:10/8】**

平成29年 9 月25日（月）～9月29日（金）（当院 正面玄関ロビー）

*** 滋賀県がんと向き合う週間・展示イベント/相談窓口設置【滋賀県がんと向き合う週間：2/4～2/10】**

平成30年 2 月 5 日（月）～2月 9 日（金）（当院 正面玄関ロビー）

*** がんを知ろう展示会（主催：長浜市）**

平成30年 2 月 3 日（土）～2月13日（火）（長浜市立高月図書館）

2. 医療従事者・地域開業医を対象にしたもの

がん対策推進室

* 滋賀県緩和ケア研修会

修了者：8名

平成29年11月11日、11月12日 企画責任者：横川 竜生、江藤 謹司、田久保 康隆

* 緩和ケア講演会

平成29年 7月6日（第1回） 50名

「がん患者・家族の意志決定支援」～コミュニケーションの実際～

第1部 講師：市立大津市民病院 緩和ケア科 臨床心理士 笹田 侑子 先生

第2部 グループワーク

平成29年10月5日（第2回） 22名

「がん患者・家族の意志決定支援」～コミュニケーションの実際～

第1部 講師：市立大津市民病院 緩和ケア科 臨床心理士 笹田 侑子 先生

第2部 グループワーク

* 化学療法研修会

平成29年12月7日（木） 82名

「がん診療における感染症対応」 講師：がん研究会有明病院 感染症科部長 原田 壮平 先生

* 医科歯科連携に関する研修会

平成30年 2月1日（木） 83名

第1部 講演「緩和ケア病棟における歯科的リアルワールド」

講師：京都医療センター歯科口腔外科 下郷 麻衣子 先生

第2部 パネルディスカッション「終末期に歯科はどうかかわるか」

パネリスト：下郷 麻衣子 先生、澤 秀樹 先生、松井 善典 先生、
川島 和彦 先生、横川 竜生 先生

* がん看護研修

平成29年 8月19日（土）「肺がん治療に対する看護とセルフケア支援」 受講者:23名

内 容	講 師
最近の肺がん治療について（概論）	呼吸器外科責任部長 田久保 康隆
肺がん治療に対するセルフケア支援（概論）	がん看護専門看護師 山岸 美紀
セルフケア支援① ～術後呼吸機能のアセスメント	慢性呼吸器疾患看護認定看護師 山口 清香
セルフケア支援② ～経口抗がん剤投与中のケア（TKIを中心に）	がん看護専門看護師 山岸 美紀
セルフケア支援③ ～緊急照射の適応と照射に伴うケア	がん放射線療法看護認定看護師 入江 桃好
明日から自部署でできることは？	がん看護専門看護師 山岸 美紀

診療局 CPC

開催日時	演者	参加者数
平成29年 6月 8日	臨床研修医 廣坂 雄介 先生 「救急搬送直後に急激な経過をたどった背部痛・呼吸困難の一例」	12名
平成29年 7月13日	呼吸器内科 中川 雅登 先生 「診断に難渋した右大量胸水の一例」	12名
平成29年10月12日	産婦人科 上村 真央 先生 「多発骨融解性病変を呈した子宮頸癌術後放射線療法後の一例」	26名
平成29年12月14日	腎臓代謝内科 森田 善方 先生 「感染性肝嚢胞を認めた多発性嚢胞腎の一例」	18名
平成30年 1月18日	呼吸器外科 田久保 康隆 先生 「前立腺癌との鑑別を要した多発転移性大腿部腫瘍の一例」	12名

地域医療連携室

* 開放型病床生涯教育研修会・医療従事者研修

平成29年 4月 6日	リウマチ膠原病についてー希望を明日にー 当院 リウマチ科 梅原 久範 先生	108名
平成29年 6月1日	最新の胃がん治療～高度進行胃がんの一症例をとおして～ 当院 外科 川島 和彦 先生	135名
平成29年 7月6日	がん患者・家族の意志決定支援～コミュニケーションの実際～ 市立大津市民病院 緩和ケア科 臨床心理士 笹田 郁子 先生	50名
平成29年 9月 7日	慢性呼吸器疾患～吸入療法について～ 当院 呼吸器内科 野口 哲男 先生	70名
平成29年10月5日	がん患者・家族の意志決定支援～コミュニケーションの実際～ 市立大津市民病院 緩和ケア科 臨床心理士 笹田 郁子 先生	22名
平成29年11月 2日	地域包括ケアについて～介護福祉士の役割～ 藤田保健衛生大学七栗記念病院 介護福祉士 船橋 亮平 先生	58名

平成29年12月7日 82名
がん診療における感染症対策
公益社団法人 がん研究会有明病院 感染症科 原田 壮平 先生

平成30年2月1日 83名
講演 緩和ケア病棟の歯科的リアルワールド
第2部 パネルディスカッション
国立病院機構京都医療センター 歯科口腔外科 下郷 麻衣子 先生

IV－7 委員会の状況

院内委員会組織図

平成29年度

病院事業管理部
健診センター
薬剤科

臨床工学技術科

栄養科

放射線技術科

中央検査技術科

リハビリ

歯科・歯科口腔外科

看護局

総務課

経営企画課

医事課

診療情報支援室

医療安全管理室

地域医療連携室

がん対策推進室

病院事業運営調整会議
健診センター管理運営委員会
薬事委員会
医薬品安全管理委員会
レジメン登録審査委員会（がん対策：化学療法委員会）

医療機器安全管理委員会
呼吸ケアサポートチーム（RST委員会）
透析機器安全管理委員会

栄養委員会
N S T 委員会

放射線安全委員会
放射線治療品質保証委員会

臨床検査運営委員会
輸血療法委員会

嚥下委員会

歯科口腔外科医療関連感染防止対策委員会

褥瘡対策委員会
認知症対策委員会
中央手術室運営委員会

病院運営会議
診療局運営会議
企画運営会議
運営協議会
大規模災害等対策計画策定合同会議
職員研修委員会
人権対策推進委員会
合同・臨床研修委員会
プログラム委員会
職員安全衛生委員会
集中治療室運営委員会
診療業務等役割分担推進委員会
治験審査委員会
医療ガス安全管理委員会
防火・防災管理委員会

病院管理運営会議
コメディカル連絡会議
改革プラン推進会議
医療評価委員会
クリニカルパス・IC専門部会
倫理委員会
I T 推進会議
情報セキュリティ専門委員会
長浜市病院事業改革プラン評価委員会
医療機器等選定委員会
S P D 運営委員会
契約審査委員会
放射線治療装置更新検討委員会

保険審査委員会
未収金対策検討委員会
救急体制検討委員会
救急運営委員会
救急救命士・消防士等病院実習カリキュラム委員会
救急症例検討委員会

診療情報・図書室管理運営委員会
院内がん登録委員会
D P C 委員会

医療安全管理委員会
医療安全対策委員会
感染管理委員会
感染対策担当者会議
内部事故調査委員会

開放型病床運営委員会
医療型療養病床入院患者判定委員会
回復期リハビリテーション病床運営委員会
回復期リハビリテーション病床入院判定委員会
地域医療連携委員会

湖北保健医療圏域地域がん予防診療推進協議会
がん対策推進委員会
緩和ケア推進委員会
化学療法委員会（小委員会は薬剤科）

野 田 秀 樹

野 口 哲 男

神 田 雄 史
野 淵 孝 二
東 出 俊 一

藤 田 忠 夫
中 川 雅 登
森 田 善 方

森 田 善 方
潮 正 輝

伏 木 雅 人
伏 木 雅 人

小 室 太 郎
中 村 拓 路

家 森 正 志

家 森 正 志

藤 林 久 輝
小 川 雅 文
林 嘉 彦

-
-
-
-

嶋 田 文 彦
神 田 雄 史
神 田 雄 史
梅 原 久 範
梅 原 久 範
村 中 幸 二
嶋 田 文 彦
林 嘉 彦
林 嘉 彦
柳 田 豊 伸
廣 瀬 伸 次

副 院 長
小 川 幸 男
神 田 雄 史
嶋 田 文 彦
清 水 久 雄
村 中 幸 二
神 田 雄 史
東 出 俊 一
-
嶋 田 文 彦
嶋 田 文 彦
嶋 田 文 彦
嶋 田 文 彦

洞 井 和 彦
村 中 幸 二
東 出 俊 一
東 出 俊 一
嶋 田 文 彦
東 出 俊 一

平 良 薫
平 良 薫
村 中 幸 二

村 中 幸 二
村 中 幸 二
大 野 暢 宏
塚 晴 俊
神 田 雄 史

神 田 雄 史
大 野 暢 宏
江 藤 謹 司
江 藤 謹 司
神 田 雄 史

神 田 雄 史
伏 木 雅 人
田 久 保 康 隆
東 出 俊 一

院内設置会議

会 議 名	設 置 目 的	事務局
病院運営会議	病院運営の基本方針に係る病院事業管理者及び院長の意思決定に必要な事項の協議を行い、もって各部局間の総合的な調整と病院の円滑な運営を図るため	総務課
診療局運営会議	病院の経営・運営に関する重要な事項について審議を行うとともに、診療局幹部の経営参画を促すため	総務部
企画運営会議	病院の運営に関する重要な課題について審議を行うとともに、病院幹部の意思の疎通を図るため	総務課
運営協議会	病院の運営について、広く意見を求め、住民のニーズに添った病院運営に努めるとともに、相互理解を深め、地域の基幹病院として地元に根ざした病院事業を推進するため	総務課
病院管理運営会議	病院の経営の安定とスムーズな運用を目指し、病棟・外来の管理運営等について協議検討するため	経企
コメディカル連絡会議	院内のコメディカル間の連携を密にし、円滑な運用を図るため	経企
改革プラン推進会議	改革プランの着実な実行と進捗管理を行うため会議の開催に必要な事項を定める	経企
病院事業運営調整会議	長浜市病院事業の適正かつ円滑な推進と運営を図るため	事業管理部

院内設置委員会

会 議 名	設 置 目 的	事務局
健診センター管理運営委員会	健診センターの管理運営について、適正な執行を図るため	健診
化学療法委員会	化学療法を安全に実施する体制等の整備を図るとともに、化学療法に用いる抗悪性腫瘍剤（化学療法薬、ホルモン剤、分子標的治療剤など）の適正使用に関する評価、院内外での安全な施行を推進するための教育及び啓発活動を行うこと	がん対策
レジメン登録審査委員会	院内で実施される化学療法のレジメン（治療内容）の安全性及び妥当性についての評価、承認、削除及び運用に関する事項を審議すること	薬剤
薬事委員会	病院の薬剤に関する基本方針を定め、その方針に従い院内薬剤業務を円滑に遂行するため	薬剤
医薬品安全管理委員会	病院で使用される医薬品に係る安全管理体制の確保を図るため	薬剤
医療機器安全管理委員会	病院で使用される医療機器に係る安全管理体制の確保を図るため	臨床工学
呼吸ケアサポートチーム（RST）委員会	市長立浜病院で使用される人工呼吸器などの呼吸療法に係る安全管理体制の確保を図るため、また、医療の質向上を図るため	臨床工学
透析機器安全管理委員会	病院で使用される透析装置および透析液水質にかかる安全管理体制の確保を図るため	臨床工学
栄養委員会	病院における給食及び栄養業務を合理的かつ効果的に運営するため、必要な事項の審議を行い、もって栄養業務の向上、改善を図ることを目的とする	栄養
N S T 委員会	患者の栄養状態を管理するため、N S T（栄養サポートチーム）を結成し、著しく栄養状態が悪い患者に適切な栄養療法を選択し実施することにより栄養状態の改善を図り、治療効果を高め、感染症、褥瘡等の予防及び在院日数の短縮や医療費の削減等に貢献し、患者の生活の質の向上を図るため	栄養
放射線安全委員会	職員の放射線被爆防止、健康ならびに放射線発生装置に関する諸事項を検討し、これらの事故防止対策にかかる必要な事項を企画審議するため	放射線
放射線治療品質保証委員会	放射線治療における安全の向上、並びに品質管理及び保証又、職員の教育・研修に関する諸事情を検討し、必要な事項を企画審議するため	放射線
臨床検査運営委員会	臨床検査の適正化、検査機器の精度管理、検査業務の円滑化、効率化を図る	中検
輸血療法委員会	輸血療法を安全かつ適正に遂行するため	中検
嚥下委員会	患者の摂食嚥下機能と栄養状態の改善を図り、誤嚥を予防し、在院日数の短縮や在宅医療の連携に貢献し、患者のQOL向上を図ること。看護師による摂食機能療法の算定が適切に実施できるよう支援し、摂食機能療法の算定数増加を目指す	リハビリ

会 議 名	設 置 目 的	事務局
歯科口腔外科医療関連感染防止対策委員会	市立長浜病院歯科口腔外科における医療関連感染の防止等を図るため	歯科
褥瘡対策委員会	院内の褥創対策を検討・立案し、その効率的な推進を図るため	看護局
手術室運営委員会	手術室の適性かつ効率的な運用を図るため	看護局
職員研修委員会	職員ひとり一人に、公務員や医療人として必要な知識や技術を習得させることによって、人間性豊かで有為な人材を育成し、病院綱領に定める病院づくりを推進するため、職員に院内外の幅広い研修機会を計画的に提供するため	総務
人権対策推進委員会	院内の人権対策を総合的に推進し、基本方針に基づき同和問題を初めとする人権問題の解決に積極的に取り組むため	総務
合同・臨床研修委員会	病院群臨床研修病院における研修医の臨床研修を円滑かつ十分に行われること	総務
プログラム委員会	臨床研修に係る専門的事項を審議するため	総務
職員安全衛生委員会	長浜市病院事業職員安全衛生管理規程に基づき、病院職員の職場における安全と健康を確保するとともに、快適な作業環境の形成を図ること	総務
集中治療室運営委員会	集中治療室の管理運営についての協議	総務
治験審査委員会	治験に関する厚生省令等に基づき、院内における治験（臨床研究・臨床試験）の実施の可否および倫理性や科学的妥当性を審査するため	総務
診療業務等役割分担推進委員会	医師の厳しい勤務環境を改善し、良質な医療の提供をはじめ、快適な職場環境の形成や効率的な業務運営等について協議を行う。	総務
医療ガス安全・管理委員会	医療ガス（診療の用に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医用圧縮空気、窒素等をいう。）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保するため	総務
防火・防災管理委員会	市立長浜病院における防火・防災管理委員会の運営に関し、必要な事項を定めることにより、火災の予防及び火災・大規模地震、その他による人命の安全、被害の軽減、二次的災害発生の防止等を目的とする	総務
大規模災害等対策計画策定合同会議	大規模災害発生時に、災害レベルに応じて病院が採るべき災害対策に内容を明確にし、また、その災害対策に応じて個々の職員が果たすべき役割と具体的な行動を定める大規模災害等対策計画を策定することを目的とする	総務
医療評価委員会	患者さん主役の信頼ある医療を育み、地域完結型の医療を目指して、地域住民がより一層適切で質の高い医療を安心して受けられる病院を確保するため	経企
倫理委員会	市立長浜病院で行われる人間を対象とした医学研究、医療行為が、ヘルシンキ宣言の趣旨に沿った倫理的、社会的配慮のもとに行われるために、医の倫理に関する事項を審議する	経企
I T 推進会議	情報化施策を総合的かつ体系的に推進するため	経企
情報セキュリティ専門委員会	情報セキュリティ対策に関する専門的事項を検討するため	
長浜市病院事業改革プラン評価委員会	改革プランの着実な実行と進捗管理について、評価と点検の客観性を確保するため	経企
医療機器等選定委員会	市病院事業において使用する医療機器の調達（修繕）および診療材料の購入等について必要な事項を定め、機種選定の適正かつ円滑な運営を図ることを目的とする	経企 (用度)
S P D 運営委員会	病院の経営の安定を目指し、院内の効率的な物品供給および在庫物品の適正化を図り、S P D システム運用等に関し必要な事項を定める	経企 (用度)
契約審査委員会	「長浜市が発注する物品調達（修繕）についての契約に係る競争入札に参加する者に必要な資格等に関する要綱」及び「長浜市が発注する建設工事等についての契約に係る競争入札に参加する者に必要な資格等に関する要綱」に規定する物品の調達（修繕）契約及び工事契約の適正な締結について必要な事項を定め、もって市病院事業全体の医療機器等調達（修繕）及び工事の公正妥当で円滑な執行を図ることを目的とする	経企 (用度)
放射線治療装置更新検討委員会	放射線治療装置の更新について総合的に推進するため	経企 (用度)
保険審査委員会	診療報酬請求等に関連する請求もれ、原点内容のチェック及び再審査請求の徹底を図るとともに、保険医療の適正化に努める	医事

会 議 名	設 置 目 的	事務局
長浜市病院事業未収金 対策検討委員会	市立長浜病院及び市立湖北病院における未収金に関する事務の適正を図り、 収入（診療費等）の不納欠損処分並びにこれらに関連する事務の適正な執行 を図るため	医事
救急体制検討委員会	救急体制、宿直体制、呼び出し体制、研修医指導体制等、救急に関する諸問 題を検討し、救急業務の効率化を図る	医事
D P C 委員会	D P C 請求（適切なコーディング、DPC請求の運用、その他D）に関連する 事務の適正な執行を図るため。また、調査・検討を行い、関係者に周知また は必要な助言及び指導を行う	診療情報
診療情報・図書室管理 運営委員会	病院における診療録の管理運営および図書の管理運営について、関係部署の 連携調整を図るため	診療情報
院内がん登録委員会	病院がん登録の実施に必要な事項を定め、がん登録業務の適正な企画、管理 及び運用を図るため	診療情報
医療安全管理委員会	病院における良質な医療を提供する体制の確立を図るため、医療安全、医療 機器安全管理、医薬品安全管理の対策を総合的に企画、実施することを目的 に設置する	医安全
医療安全対策委員会	病院における安全管理のため、医療・医学の諸問題を検討し、基本的な基準 について定める	医安全
感染管理委員会	院内感染防止対策の総合的な企画、立案、評価や、院内感染が発生した場合 の病院としての方針を決定するため	医安全
感染対策担当者会議	院内における院内感染の防止対策や、啓蒙等を推進し、院内感染の防止等を 図る	医安全
内部事故調査委員会	院内で極めて重大な医療事故が発生した場合、医療事故内容を正確に把握 し、原因の分析を行い、適切な対応を取るため	医安全
開放型病床運営委員会	開放型病床を効率的にかつ円滑に運営すること	地域医
医療型療養病棟入院患者 判定委員会	医療型療養病棟への入退院にあたり適正な審査・判定を期すること	地域医
回復期リハビリテーション 病棟入院判定委員会	回復期リハビリテーション病棟への入院（転入含む）にあたり、入院適応基 準に基づく入院の判定を行う	地域医
回復期リハビリテーション 病棟運営委員会	回復期リハビリテーション病棟の運営を効率的かつ円滑に行う	地域医
地域医療連携委員会	地域の医師、歯科医師等からの要請に適切に対応し、地域における医療の確 保に必要な支援を行うため	地域医
湖北保健医療圏域地域 がん予防診療推進協議会	湖北保健医療圏域におけるがん予防、がん診療に携わる保健医療従事者に対 する研修の実施、がん診療情報の収集および提供、関係機関への連携を進 め、圏域のがん予防、がん診療の水準の向上に貢献するとともに、圏域住民 へのがん予防の啓発事業等に関する協議を行うこと	がん対策
がん対策推進委員会	がん診療および診療科を超えたチーム医療の推進、院内関連委員会との連 携、がん診療情報の発信およびがん登録に関する協議を行うこと	がん対策
緩和ケア推進委員会	がん対策推進基本計画に基づく緩和ケアの推進および患者・家族の生活の質 （QOL）を維持向上させること	がん対策
認知症対策委員会	現状システムを振り返り、課題や新たなニーズを整理し、今後を見据えた更 なる医療・介護及び地域のネットワークの形成を図り、認知症疾患支援の充 実を図る	看護局

健診センター管理運営会議	市立長浜病院健診センターの管理運営について、適正な執行を図る	
委員長 野口哲男	委員 野口哲男、平良 薫、上津昌広、高橋顕雅、 若宮 誠、村上義和、山村有希、岩崎まゆみ、 中村友佳里	事務局 健診センター
活動内容 運営委員会を平成29年6月、平成30年1月と2回開催しました。 委員会への報告内容は健診センターの受診者数、利用料金等についてです。また協議内容といたしましては、健診センターの予算関連、機器整備等に関係したものです。		

薬事委員会	病院の薬剤に関する基本方針を定め、その方針に従い院内薬剤業務を円滑に遂行するため。					
委員長 神田雄史	委員 高島弘行、森田善方、曾我欣治、平良 薫、吉川敬子、 松宮喜明、川越ゆき、野淵孝二、大岡千寿子			事務局 薬剤局		
活動内容						
		新規採用薬剤		中止薬剤	院外→院内	院内→院外
		正規採用	院外専用			
第1回（平成29年 4 月12日）		8	1	0	1	0
第2回（平成29年 6 月14日）		10	1	2	1	0
第3回（平成29年 8 月30日）		3	1	0	0	0
第4回（平成29年11月 8日）		4	3	2	1	0
第5回（平成29年12月13日）		6	2	4	1	0
第6回（平成30年 2 月 7日）		6	5	5	1	0
平成29年度 後発品切り替え 後発医薬品係数・・・0.911 （2017.10～2018.3 ベンチマーク0.854） 院内採用薬品数・・・1626品目 後発医薬品・・・412品目 先発医薬品・・・1191品目（うち後発品のあるもの 238品目） その他・・・23品目						

医薬品安全管理委員会	病院で使用される医薬品に関わる安全管理体制の確保を図るため	
委員長 野淵孝二	委員 高島弘行、森田善方、曾我欣治、平良 薫、 藤本とき江、吉川敬子、川越ゆき、大岡千寿子	事務局 薬剤局
活動内容 〔研修会〕 1回目 日 時：平成29年7月18日 対 象：医師・看護師 内 容：B型肝炎再活性化対策について 講 師：大阪市立大学大学院医学研究科 准教授 村上善基先生 参加者：127名 2回目 日 時：平成30年2月15日 対 象：医師・看護師 内 容：免疫チェックポイント阻害薬の使用と副作用マネジメントについて 講 師：呼吸器内科責任部長 野口哲男先生、河野看護師、中村薬剤師 参加者：65名 〔委員会〕 1回目 日 時：平成29年12月27日 内 容：カリウム剤取扱手順の変更 2回目 日 時：平成30年2月7日 内 容：カリウム剤取扱手順の変更 腎機能保護を目的としたNSAIDsに対する処方監査のフローチャート		

医療機器安全管理委員会	病院で使用する医療機器に関わる安全管理体制の確保を図るため	
委員長 藤田忠夫	委員 洞井和彦、小松輝也、松宮喜明、吉川敬子、佐野勝治 富田 聡、辻 克信、草野信悟	事務局 臨床工学技術科
活動内容 平成29年度第1回医療機器安全管理委員会 10月2日（月） 午後4時 講義室 議事 ・医療機器安全管理委員会の体制確認 ・事例発生から情報が伝達される流れと取扱事例の選別について ・メーカー2社からの安全情報（2017年7月度、8月度）について ・自主回収・自主改修案内の取扱いについて		

RST（呼吸ケアサポートチーム）	市立長浜病院で使用する人工呼吸器などの呼吸療法に係わる安全管理体制の確保のため、また、医療の質向上を図るため	
委員長 呼吸器内科医長 中川雅登	委員 草野信悟、山口清香、野村耕一郎、浅見秀治、 田邊和也、山本 徹、杉山慎太郎、毛利由布子、 石橋 孝、清水 悠、（平山陽子）	事務局 臨床工学技術科
活動内容 1回／週（火曜日ラウンド） 院内研修11月15日開催 日本呼吸療法医学会、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会演題発表 RSTが介入した対象者（患者数）：53人 RSTが介入した回数（延べ回数）：92回 RSTが介入し人工呼吸器離脱に至った患者数：20人 人工呼吸器装着日数：平均7.94日 RST加算算定人数：16人 RST加算算定件数(延べ件数)：21件（150点/件） 1. 介入延べ人数：92人 脳神経病棟（2）、呼吸器科病棟（6）、消化器科病棟（1）、ICU（44）、その他（15） 循環器科病棟（24） 2. 介入内容 人工呼吸器関連（36）、気管切開チューブ関連（27）、NHF関連（1）、NPPV（23）その他（5）		

透析機器安全管理委員会	病院で使用される透析装置および透析液水質にかかる安全管理体制の確保を図るため	
委員長 透析液安全管理者 腎臓内科 森田善方	委員 西田泰人、塚口昌文、辻 克信、浦部紀子	事務局 臨床工学技術科
活動内容		
委員会開催日	協議内容	
平成29年 7 月 5 日	第1回 透析機器安全管理委員会会議	
平成29年11月22日	第2回 透析機器安全管理委員会会議	
平成30年 3 月26日	第3回 透析機器安全管理委員会会議 平成29年度エンドトキシン・生菌数測定結果の報告説明 前回委員会からの透析関係装置について 透析治療のインシデント・安全対策について 透析装置の更新について 平成30年度の診療報酬改定による当院の透析について 改定を受けて今後の透析について	
委員会予算概要		
①透析液水質基準確保のための検査費用：エンドトキシン測定、培地による生菌数測定 ※概算として年間のランニングコストは244,860円で、透析液水質加算 1 による収益は1,140,000円となり、年間収益は、895,140円となっている		
②透析関係機器・装置の安全管理のためのメーカーへの研修費用：NIPRO（南草津）への研修 ※メーカーとの協議により研修費は発生せず、交通費のみ予算請求、概算として年間4万以下		
③透析液の水質管理のための研修費用：透析液安全管理者セミナー（東京）への参加 ※年1回開催されるセミナーに参加し、最新の透析液水質管理を行う概算として51,900円を計上する		

市立長浜病院 NST委員会	当院における患者の栄養状態を管理するため、NST（栄養サポートチーム）を結成し、著しく栄養状態が悪い患者に適切な栄養療法を選択し実施することにより栄養状態の改善を図り、治療効果を高め、感染症、褥瘡等の予防及び在院日数の短縮や医療費の削減等に貢献し、患者の生活の質の向上を図ることを目的とする。	
委員長 内科部長 潮 正輝	委員 井階幸一、川島和彦、森田善方、北川真由美、鍋 里実、片岡英代、伊藤亮子、八田亜希子、笠原みすず、田中祐輔、高山直樹、酒井彩乃、吉田名緒、居川愛子、藤田侑子、浅井麻未、中川太郎、赤尾真樹子、中村友佳里、田邊 学	事務局 栄養科
活動内容 - 委員会の開催 合計12回開催（4月から3月の間、毎月1回を目安に第4水曜日に開催） ・前年度（平成28年度）の実績報告 ・平成29年度NST委員会の取り組み協議 ・近畿厚生局適時調査結果に関わる対応（栄養管理手順および栄養管理計画書の一部変更） ・NST病棟回診件数の増加への取り組み ・回診委員の強化（今年度より言語聴覚士・理学療法士が回診に参加） ・経腸栄養開始時のスケジュールの作成 ・経腸栄養バックの導入検討について ・濃厚流動食（RTH）の見直し（アイソカルサポートバッグの新規導入） ・経腸栄養ポンプ2台を追加導入 ・経腸栄養ポンプのデモンストレーションの実施 ・パワー全粥の検討 ・チーム医療関連システムデモの実施 - NST病棟回診の実施 週1回（毎週水曜日） 496件／年 - 学会発表 ・JSPEN学術集会での発表 「当院NST活動が脂肪乳剤の使用状況に与えた影響」 高山 直樹（薬剤師） ・JSPEN近畿支部学術集会での発表 「胃全摘・脾頭十二指腸切除後の高度栄養障害患者に対してNST介入が奏効した一例」 赤尾 真樹子（管理栄養士） - 各種研修への参加 ・40時間実地修練（愛生会 山科病院） 八田 亜希子（看護師）、藤田 侑子（言語聴覚士） ・JSPEN臨床栄養セミナー（大阪） 八田 亜希子（看護師） ・JSPEN更新セミナー（京都） 田中 祐輔（薬剤師） - NST勉強会の開催 4回／年開催 - 第1回 勉強会 演 題 患者さんを元気にするための栄養管理について 講 師 5階東病棟 片岡 英代 看護師（NST専門療法士） - 第2回 勉強会 演 題 経口摂取について 講 師 栄養科 赤尾 真樹子 管理栄養士（NST専門療法士） - 第3回 勉強会 演 題 経管栄養管理について 講 師 栄養科 中川 太郎 管理栄養士（NST専門療法士） - 第4回 勉強会 演 題 静脈栄養管理と簡易懸濁について 講 師 薬剤部 田中 祐輔 薬剤師（NST専門療法士）		

市立長浜病院栄養委員会	当院における給食及び栄養業務を合理的かつ効果的に運営するため、必要な事項の審議を行い、もって栄養業務の向上、改善を図ることを目的とする。	
委員長 内科部長 森田 善方	委員 川島和彦、村上義和、織田頼子、嶋 吉夫、藤田新一	事務局 栄養科
活動内容 第1回委員会 平成29年8月30日 開催 1. 報告事項 (1) 平成28年度 栄養管理業務について ・給食業務状況（食数等） ・栄養指導業務状況（指導件数等） 等 (2) きざみ食の食形態の変更について (3) 自助食器の対応について 2. 協議事項 (1) ラーメンの試食 (2) 平成29年度 第1回 嗜好調査結果について (3) 医師検食について (4) パワーライスについて (5) きざみ食・ミキサー食の選択方法について 3. その他 ・栄養関連文書ファイルのデータ化について 第2回委員会 平成30年2月28日 開催 1. 報告事項 (1) 医師検食について (2) 自助食器の対応について (3) ラーメンについて 2. 協議事項 (1) 平成29年度 第3回 嗜好調査結果について (2) 遅延食の一部見直しについて (3) 市立長浜病院 栄養委員会規程の一部変更について		

放射線安全委員会	職員の放射線被ばく防止、健康ならびに放射線発生装置に関する諸事項を検討し、これらの事故防止対策にかかる必要な事項を企画審議するため	
委員長 放射線科部長 伏木雅人	委員 若宮 誠、村上義和、家森正志、松宮喜明、 佐野勝治、弓削悦子、宮川孝史	事務局 放射線技術科
活動内容 【委員会の開催】 ○平成29年9月7日（木） 午後4時45分より5時35分まで 議事内容：平成28年度放射線安全委員会報告 平成29年度放射線安全教育研修会の開催について 例年の内容を一部変更：放射線全般、MRI検査・MRI対応デバイス、RI検査を含め一本化 放射線認定ナースの講演は従来通り 研修会参加者数の増加をはかり、新卒やMRI出入りスタッフの参加を是非 MRI吸着実験実習の開催 被ばく線量測定バッチ（ルミネスバッチ）の着用について 啓蒙活動 これまで同様、管理運営会議などでアナウンス 着用についての問い合わせなどあれば放射線科、総務課などへ連絡もありと伝える Cessメールだけでなく、MegaOakメールでの配信やRadiation infoなどでもアナウンスを行う 各部門（ANGIO室、TV室など）において担当スタッフが着用を促す 返却率の悪さが目立ち、クイクセルバッチの未返却出費も相当ある 返却率の恒常的に悪い整形外科・形成外科は伏木委員長が個別で問い合わせ指導する サーベイメータ校正 原子力防災用に数年前に滋賀県より補助金にて購入したサーベイメータについて 原子力防災訓練（11月19日）後に校正する予定 【放射線安全研修会】 ○平成29年11月28日（火） 17時30分から18時45分まで 当院2階講堂、および支援棟、放射線科MRI検査室にて開催 講演 ・ RI検査、MRI検査の注意点および当院の放射線治療の実際 辻 雅之 ・ 放射線治療における副作用について 入江 桃好 実習 ・ MRI検査室にて吸着体験実習 参加者 97人（診療局5人、看護局55人、医療技術局25人、薬剤局0人、事務局12人）		

放射線治療 品質保証委員会	放射線治療における安全の向上 並びに品質管理及び保証又、職員の教育・研修に関する諸事項を検討し、必要な事項を企画審議するため。	
委員長 放射線科部長（治療部門） 伏木雅人	委員 村上義和、田辺啓太、川上正邦、西村正明、 辻 雅之、入江桃好、杉山順哉、 伊良皆拓（外部委員）、平島英明（外部委員）	事務局 放射線技術科
活動内容 【委員会の開催】 ○第1回 平成29年6月29日（木） 第2回 平成30年3月1日（火） 議事内容：各種マニュアル、手順書の確認 安全の向上に関すること 教育、研修に関すること その他 【QA会議の開催】 ○原則毎週火曜日業務終了後、QA会議を開催し、放射線治療に関する機器の精度管理、安全管理および運用等について検討した。 【研修会の開催】 ○医療事故防止対策委員会、放射線安全委員会との共催で一般にも公開 日時 平成29年11月28日（火）17:30～ 当委員会と関係する内容 ・ 「RI検査、MR検査の注意点および当院の放射線治療の実際」 辻 雅之 ・ 「放射線治療における副作用について」 入江桃好		

臨床検査運営委員会	臨床検査の適正化、検査機器の精度管理、検査業務の円滑化・効率化を図る	
委員長 脳神経外科 小室太郎	委員 黒澤 学、横川竜生、田中裕紀、織田頼子、 福永武浩、松宮喜明、細川功二、新川由基、 藤田忠夫	事務局 中央検査技術科
活動内容 ○平成29年度第1回臨床検査運営委員会 日時 平成29年9月22日 協議事項 1. 委員の変更について 2. 平成28年度検査実績について 3. 平成29年度目標実施計画・人員適正化について 4. 外部委託検査について 5. 輸血後感染症検査について 6. 新規試薬・資材の購入について ○平成29年度第1回臨床検査運営委員会 日時 平成29年11月11日 協議事項 1. 外部委託業者の選定について 2. 病院機能評価での指摘項目の対応について 3. 新規試薬購入について 4. 日本臨床検査技師会精度保証施設認定の申請について		

輸血療法委員会	安全で適正な院内輸血の推進	
委員長 中村拓路	委員 吉良浩勝、尾田和広、中村俊之、服部直美、 北村文代、橋本 寿、笠井晴生、三上はづき	事務局 中央検査技術科
活動内容 第1回：平成29年 7月12日 委員の変更について、血液製剤廃棄状況、血液廻及調査について 第2回：平成29年 8月30日 輸血後感染症検査について、機能評価模擬サーベイ研修会について、など 第3回：平成29年11月 1日 手術後の未使用血液製剤を検査技師が回収に行く取り組みについて、など 第4回：平成30年 1月17日 病院機能評価（中間報告）について、新人看護師研修会について、など 第5回：平成30年 3月15日 産科手術中の超緊急輸血を経験後の反省点について、 検査技師による手術後の未使用血液回収に関する運用第2回検討会議結果、など 看護科主催研修会：「輸血の基礎、再確認」 平成29年6月28日、平成29年7月7日 新人看護師対象輸血研修会：「輸血の基礎について」 平成29年11月		

嚥下委員会	摂食嚥下障害を有する患者に適正な嚥下機能訓練方法を選択し実施することにより、患者の摂食嚥下機能と栄養状態の改善を図り、誤嚥を予防し、在院日数の短縮や在宅医療との連携に貢献し、患者のQOL向上を図る	
委員長 歯科口腔外科 責任部長 家森正志	委員 北本幸恵、糟谷憲邦、大野暢宏、江藤謹司、 田邊信彦、外村匡康、八木真子、北川真由美、 松井亜希子、秋吉英市、鹿野雄大、安東恵美、 長谷川博美	事務局 リハビリテーション技術科
活動内容 1. 毎月第2・4月曜日に嚥下委員会を開催し、症例検討を実施している。 2. 毎週火・木曜日に嚥下回診を実施し、適切な摂食嚥下リハビリテーション方法の指導、伝達と共に、病棟での摂食機能療算法算定率の拡大に取り組んでいる。 3. 毎週月・水曜日に嚥下造影検査（VF）と嚥下内視鏡検査（VE）を実施している。 4. 6月に病棟嚥下委員に対して摂食機能療算法算定に関する勉強会を実施した。 5. 嚥下出前講座として、病棟毎個別に年間2回の勉強会を開催し、院内における摂食嚥下リハビリテーションの周知、および技術の向上に取り組んでいる。 6. 嚥下障害患者にとって安全な病院食の検討を行い、きざみ食のゲル状での提供を開始した。 7. 委員が、第22回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会において、急性期脳血管障害を除く嚥下障害患者の予後予測因子について検討し発表をおこなった。		

歯科口腔外科医療関連 感染防止対策委員会	歯科口腔外科における特殊器材使用時の医療関連院内感染防止等を図る	
委員長 歯科口腔外科責任部長 家森正志	委員 北本幸恵、藤木智美、長谷川博美、居川愛子、 近藤昭仁	事務局 歯科口腔外科
活動内容 平成29年 4月23日 ・オートクレーブのメインテナンスと故障時の対応について 平成29年 8月10日 ・針刺し事象について 平成29年10月19日 ・患者基本情報の確認について ・エプロンの着用について 平成30年 2月 6日 ・インフルエンザの流行状況について		

看護局 看護管理者会		中間管理者として病院の経営・看護局方針をよく理解して業務の改善向上に努めると共に看護業務を円滑に進めていくために補佐・係長と主任間のコミュニケーションと他部門との意見調整を図る
委員長 看護局長 松田和子		委員 係長級以上の者
		事務局 看護局
月	日	活 動 内 容
4月	13日	・看護局長挨拶（新年度の所感）・昇格者挨拶・今年度の抱負（全員） 議案1 看護局組織機能図・介護士主査の職務について：資料1 ・患者総合支援センター・がん対策推進室組織図について：資料2 議案2 業務分掌Ⅰ・Ⅱ・Ⅲについて：資料3 議案3 看護局管理者会計画について：資料4 看護局事業計画について：資料5 看護管理者における職務・管理ラダー・目標管理に関する書類：資料6 各種会議及び委員会目的について：資料7 報告・連絡シートについて：資料8 会議の持ち方について：資料9 看護管理者会当番表について：資料10 医療安全報告体制について：資料11 夜間看護日誌について：資料12 議案4 目標管理（職満足度項目追加）について：資料13 議案5 教育委員会年間教育計画について：資料14 学研ビジュアルナースングメソッド利用について：資料15 院外研修参加状況まとめ：資料16 議題6 臨床実習年間計画について：資料17 議題7 看護局緊急連絡網・緊急体制：資料18・19 その他 X線・CT MRI検査時のお願いについて PDA 使用状況調査 がん看護に関する看護師対象院外研修（出張）のご案内
4月	25日	議題1：PDA使用状況について 議題2：病院機能評価について 議題3：人事考課制度について 議題4：夜間看護管理日誌について 議題5：喫煙者調査について 議題6：師長会報告について
5月	10日	*管理事例発表 議題1：年次休暇取得について各セクションの取り組み予定 議題2：超過勤務について 議題3：湖北パスについて 議題4：会議・委員会の報告・連絡について
5月	24日	議題1：平成29年度目標管理取り組み計画発表・各セクションの取り組み予定 ・委員会・会議・プロジェクトの取組み予定 議題2：教育研修費について 議題3：病床管理について
6月	14日	*薬剤局からの連絡 議題1：機能評価について 議題2：パワハラ伝達講習 議題3：救急事例より 議題4：年次・超過勤務時間について 議題5：6月～の会議・委員会連絡
6月	28日	議題1：3病棟（地域包括ケア病棟、療養病棟、回復期リハビリテーション病棟）マニュアル案について説明 議題2：白衣室施錠管理の件 議題3：接遇に関する資料の修正について 議題4：看護補助者用アンケートについて
7月	12日	*管理事例発表 議題1：超過勤務入力について 議題2：病床管理の現状と課題について 議題3：機能評価準備会からの報告と課題について 7月の委員会・会議連絡
7月	26日	議題1：超過勤務入力について（GWからの対応策） 議題2：病床管理について（GWからの対応策） 議題3：機能評価準備会からの報告と課題について（模擬サーベイを終えて）伝達講習議題4：失踪事例について その他：管理運営会議報告 認知症対策委員会から連絡 教育マニュアルについて
8月	9日	議題1：「看護過程の展開ができ、記録に残せる」について①「看護診断及び標準看護計画を用いた看護過程の展開、目標管理重点目標1」の再レクチャー②記録検討会・基準検討会のアンケート結果③グループワーク・発表④標準看護計画の運用について⑤機能評価P、記録、基準委員会の今後のスケジュール 議題2：改修工事に伴う病棟内工事に関する要望について
8月	23日	議題1：改修工事に伴う病棟内工事に関する要望について 議題2：機能評価について 模擬サーベイについて機能評価プロジェクトからの報告
9月	13日	*模擬サーベイ（5東病棟） 議題1：模擬サーベイの結果から統一事項についてGW 議題2：記録監査報告(宮部) 議題3:ホームページについて
9月	27日	議題1：機能評価についてプロジェクトより連絡9月29日模擬サーベイ連絡機能評価に関するQ&A 議題2：看護局マニュアルについて(目次説明 看護局管理規定Ⅰ・Ⅱ 業務マニュアルⅠ・Ⅱ 継続看護マニュアル 救急マニュアル
10月	4日	議題1：病院運営会議報告 議題2：夜間の解剖希望者のご遺体について 議題3：看護局管理規定Ⅰ・Ⅱの説明 その他：がん看護研修、看護管理者研修、情報整理など
10月	11日	議題1：薬剤局からのおしらせ 議題2：機能評価サーベイ結果からの報告 その他：潤滑油の件、看護管理規定
10月	18日	議題1：環境サーベイ 評価用紙提出 時間外調査の結果について業務マニュアル配布
11月	8日	*管理事例議題1：機能評価について 議題2：個室料金について適正な個室料免除をするためにどうしたらいいか個室免除の理由のみなおしなどその他
11月	22日	*管理事例議題1：災害机上シュミレーション
12月	2日	*管理事例議題1：クリニカルラダー改訂作業の進捗状況について クリニカルラダー改訂の経過報告グループワーク
12月	20日	*管理事例議題1：病床管理について経営企画課伊吹副参事による「病院経営状況」報告スケジュール表参照
1月	10日	*管理事例議題1：目標管理について 議題2：医療安全対策について～レベル4の事例より～
1月	17日	保健所立ち入り検査
1月	24日	*管理事例議題1：教育ラダー改訂について 議題2：目標管理について
1月	31日	*管理事例議題1：県看護協会主催看護師長研修病院見学発表議題2：目標管理について
2月	7日	*管理事例議題1：目標管理について
2月	14日	*管理事例議題1：目標管理について
2月	21日	議題1：平成30年度新人教育について 議題2：目標管理最終確認 組合定期大会日程
3月	7日	看護管理者発表会
3月	14日	目標管理・人事評価説明会一師長・主任合同研修*朝礼 月曜日 時間：11：00～11：15（現場からの情報一共有が必要なもの、その他報告、連絡）
*朝礼 月曜日 時間：11：00～11：30（現場からの情報一共有が必要なもの、その他報告、連絡）		

看護局 看護基準検討会	提供する看護を一定の基準に保障するために、看護基準・看護手順の作成や見直しを行う。また、個々の職員が活用し実践しているか監査し指導する。	
委員長 看護科長補佐 大野佐代子	委員 田中悠美、山本 徹、庄 珠実、長谷川 歩、 北村裕美子、阪東美加、呉竹 晶、遠藤美希、 西島好子、林 文子、森田静香、筒井由起、 三澤律子、江原千尋、中村友香、久保田才紀子	事務局 看護局
活動内容 活動計画： 看護局目標：生活を支える視点を持った個別性のある看護展開ができる。 1. 標準看護計画の運用 展開についての周知 2. 機能評価に向けてのマニュアル、様式使用の整備、活用方法の統一 3. 看護基準、手順の修正追加 活用状況 会議開催日： 5月23日 7月25日 9月26日 11月28日 1月23日 標準看護計画は14計画新規に作成し112計画となった。標準看護計画の運用記録の方法について現状調査より、看護展開が見えない、わかりづらい状況が判明した。機能評価プロジェクト、記録委員会と協議を「行い、看護展開が見える記録の仕方について表記の方法の曖昧な部分を修正し、各セクションで学習会にて周知を行った。 機能評価受審により、ケアプロセスについて理解が深まった。看護基準検査手順の看護手順の見直しを行った。 看護基準、検査手順については差し替えができた。		

看護局 教育委員会	看護の質の向上をめざして、看護職員が専門職業人として生涯にわたる能力開発とキャリア開発を支援するために教育研修の企画・運営・評価を行う	
委員長 看護科長補佐 草野美樹	委員 阪東美加、杉山慎太郎、毛利由布子、森中かおり、 東野千佳、竹野真由美、西村亜矢子、川瀬智代、 伊吹理子、野一色祐美子、辻野裕美子、筒井由起、 依田百代、上田あかね、芝田美里、西堀正樹	事務局 看護局
活動方針 1) スタッフが継続看護に関する課題を通して、生活を支える視点をもった個別性のある看護展開ができるよう、教育的支援を行うことができる。 2) 病棟教育委員は、病棟スタッフが各レベルの課題を達成できるよう、進捗状況の確認や動機づけを目的とした面接を計画的に実施することができる。 3) 企画委員は、各レベルの課題や研修が、対象者にとって看護実践に活かせる効果的な学習機会になるよう、研修の計画・実施・評価だけでなく、ツール全体の課題の抽出や評価も行うことができる。		
活動内容 5月12日【全体会】H29年度委員会の活動方針、組織、各役割について説明。レベルⅡ～Ⅳのツールの説明。各レベルの企画会議 6月2日【中央委員会】6、7月の予定研修企画の報告協議。ケーススタディ、日勤・夜勤L研修の協議。各部署の年間活動計画表の課題の共有。各レベルの企画会議。 7月7日【全体会】5、6月研修報告。7～9月予定研修企画の協議。病棟教育委員活動と初回面接状況報告、課題の共有。レベルⅡ習得技術の把握と協力要請について。 9月1日【全体会】7月研修報告。9～11月予定研修企画の協議。病棟教育委員活動と中間面接に向けた課題の共有。各レベルの企画会議。 10月6日【中央委員会】5～9月実施した中央研修の全体評価。ナースングメゾット活用状況の把握。継続看護など中央研修以外の受講状況の把握。上半期に向けた計画評価・修正。 11月10日【全体会】9、10月研修報告。11～1月予定研修企画関連の協議。病棟教育委員活動と中間面接での課題の共有。ケーススタディ・リーダー研修後の課題の協議。各レベルの企画会議。 12月1日【中央委員会】10、11月実施した中央研修の全体評価。次年度のクリニカルラダーの協議。現ラダーの評価予定と方法に関する協議。 1月5日【全体会】11、12月研修報告。病棟教育委員活動と最終面接に向けた課題の共有。レベルの企画会議。 2月13日レベルⅡツール評価、20日レベルⅣツール評価、26日レベルⅢツール評価 3月2日【全体会】ツール評価の結果報告。新クリニカルラダーについて説明。今年度の振り返りと次年度に向けた課題の共有。		

看護局 看護師定着・確保 プロジェクト	①職員のモラル効用を目的に、身だしなみや接遇改善をする ②職員の満足度向上を目的に、勤務体制を見直し長時間労働の改善を図る ③職員確保を目的に、情報システムの見直しをする	
委員長 看護主幹 山田みか	委員 宮部 竜、中川恵里奈、滝澤絵理、西村香織、 小竹真琴、田中篤司、田川有祐、鹿野雄大、 杉山加奈、外池真澄、宮部名美、伊吹絵理、 能勢景子、松川久美子、中川由香里、新川君代	事務局 看護局
活動方針 1) 職場における接遇・身だしなみの必要性を理解して、主体的に接遇・身だしなみの改善に取り組める 2) 超過勤務の削減に向けて一人一人が意識的に行動できる 3) 職員確保に繋がるように看護局に関する情報を効果的な媒体によって発信できる 活動内容 6月8日 平成29年度活動方針・計画の説明、部署現状の共有、接遇チェックリストの修正案検討 8月10日 7月接遇チェック結果より身だしなみ・応対マナーの課題明確化 接遇の改善強化項目に基づく部署ラウンドと注意喚起、部署での接遇改善活動開始 ホームページ更新に関わる手続き等の整理 10月12日 部署での接遇改善活動の共有、部署ラウンドと注意喚起、接遇研修企画・運営 12月14日 11月接遇チェック結果の共有、部署改善活動の共有、部署ラウンドと注意喚起 2月9日 1月接遇チェック結果および部署改善活動の結果の共有、超過勤務に関する現状調査と情報共有 平成30年度の課題の明確化 その他 病院見学&説明会の開催（4月5月6月計3回） インターンシップの受け入れ ホームページ看護局ページ5月公開 接遇研修 10月18日		

看護局 新人看護職員研修 委員会	新人看護職員の安全な臨床実践能力の獲得、専門職業人としての成長、生涯に わたり自己研鑽の姿勢を習得できる体制と研修評価を協議する	
委員長 看護主幹 山田みか	委員 大西里美、堀江 恵、山口未来人、小川景子、 高山由貴、高木陽平、廣部佐太則	事務局 看護局
活動方針 4月20日 新人指導状況の共有、新人担当者からの新人状況の報告、指導上困っていることについて検討 5月18日 指導上の困難点・課題についての検討、事例検討、6月研修指導案の確認、5月指導者研修実施報告 5月研修（多重課題シミュレーション）テストラン 6月15日 指導上の困難点・課題についての検討、夜勤進捗状況の確認と課題の検討、 5月研修（多重課題シミュレーション）実施報告・次年度課題、7月指導者研修計画共有 7月20日 指導上の困難点・課題についての検討、新人3ヶ月の到達状況と実施指導者状況の共有、 6月研修実施報告・9月研修指導案の確認、7月指導者研修実施報告 9月21日 指導上の困難点・課題についての検討、年間計画進捗状況の確認 7月研修実施報告・10月研修指導案の確認、配薬業務でのリスク予防対策共有 10月19日 リスクの共有と対策についての検討、9月研修実施報告・11月研修指導案の確認、 11月指導者研修計画共有、教育担当者活動6ヶ月の振り返り共有 11月16日 夜勤合格状況の共有・課題と指導方法の検討、10月研修実施報告・12月研修指導案の確認、 11月指導者研修実施報告、外部研修の伝達学習 12月21日 次年度の中央企画に関する検討、11月研修実施報告・1月研修指導案の確認 1月18日 12月研修実施報告・1月研修に関する連絡・進行調整、 2月指導者研修計画共有、教育担当者活動9ヶ月の振り返り共有、指導者研修のあり方に関する検討 2月15日 レベルⅠツール評価の実施		

看護局 看護記録検討会	1. 実践した看護を記録に反映させるために、記録の書式検討や省略化を推進し、記録の有効な活用をはかる。 2. 記録マニュアルを活用し、院内ルールに沿って正しく記載されているか監査をし、記録の質の向上をめざす。	
委員長 看護科長補佐 宮部照美	委員 平山知沙、池田彩乃、福原優子、北村裕子、 棕田悦子、八尾さおり、寺居美穂、川畑 泉、 江原千尋、林 舞、北川清子、玉井恵美、 岩佐由里子、吉井利香、松川久美子、酒谷ひろみ、 尾崎千鶴	事務局 看護局
活動内容： 活動計画： 看護局目標：生活を支える視点を持った個別性のある看護展開ができる。 1. 看護診断を学び、看護過程を進めるアセスメント能力・実践能力を高める 2. 事例検討を通して個別性をとらえた看護過程の展開と実施ができる。また、実践した看護が記録に反映できる →監査を通して個別の看護問題がある人に看護診断が適切に使用され展開できているか 3. 重症度、医療・看護必要度にみあった記録の定着ができる 会議開催日： 5月13日 7月31日 9月25日 11月20日 1月15日 外来とOP室の記録監査用紙修正版で監査を開始できてきている。昨年度に比してA評価がわずかに増えている。 できていない項目が各部署で明らかたため、指導を強化して取り組めた。機能評価受審をきっかけに記録監査成績は非常に伸びた。記録委員の協力体制もできてきた。また目標管理にそって「地域につなげる記録とは」をテーマにして委員が主体的に動き研修を開催できたことは今後に繋がると感じた。また参加者の反応もよく記録に対する意識は高いと感じている。 研修 2月8日 看護過程に関する研修会		

看護局 固定リーダー会	チームリーダー業務および役割を通して問題を提起し、解決を図る共にスタッフの質の向上とリーダーの自己啓発を推進する	
委員長 看護科長補佐 中村寛子	委員 宮川可奈絵、庄 珠実、村田理恵子、堀居祥代、 富田 悠、杉山 愛、斎藤敬子、高山千穂美、 牧野 茜、片岡英代、種田美穂、藤井美保子、 井上実由起、藤居 紋、古川 妙、平山由佳、 杉山順哉	事務局 看護局
活動内容： 6月6日 委員会の目的・目標、コテリ評価表について説明。チーム目標や取り組みについて情報共有 8月1日 各チームでの活動について情報共有 特に多職種を交えたカンファレンスの持ち方について 10月3日 各チーム活動の中間評価について情報共有。患者総合支援センターとの連携について 12月5日 各チームの後半期の取り組み状況について情報共有 最終評価に向けた取り組みなど 2月6日 成果発表会の開催		

看護局 継続看護検討会	入院時から患者家族が安心して在宅へ移行できるよう支援し、円滑な地域連携を目指す	
委員長 看護科長補佐 徳田敏子	委員 清水満子、伊吹誠子、岡本弓子、難波玲子、 久保田哲子、中川栄子、伊吹理子、中川由紀、 居川真弓、野崎有美、小野ひとみ、西川研吾、 中井小百合、林ひろこ	事務局 看護局
活動方針 生活を支える視点を持った個性のある看護展開ができる 1. 入院支援業務の確立（患者総合支援センターの運営） 2. 退院支援業務の確立（湖北ルール）		
活動内容 1. 入院支援業務の確立（患者総合支援センターの運営） 1) 継続看護マニュアルの作成 「継続看護マニュアル」～入院決定時～退院まで～ 10月の病院医療機能評価受審までに完成した。 2) 患者総合支援センターでの入院支援業務は、各科外来と病棟が連携し、入院前から、入院中・退院後の経過を説明できるもの（パスの見直しも含め）を作成した。 入院支援実施診療科は4月：5診療科、5月：6診療科、6月：7診療科、12月：8診療科に拡大し実施できた。 2. 退院支援業務の確立（湖北ルール） 1) 湖北ルールの内容について、各部署で前半期・後半期に周知期間を設け、チーム会や病棟会などで読み合わせなどを実施し、スタッフ全員に周知した。 2) 湖北圏域看護連携会議で主催されてる看看連携事例検討会やそのほか継続看護に関する研修会などに各部署から自主的に参加できるよう働きかけ、参加者から各部署にチーム会やなどを利用して伝達し、共有できた。		

看護局主任会	1. 看護補助者の企画・運営を行い現場への連携を図る 2. より良い看護提供のための人材活用ができるよう、補助者・クラーク教育と業務改善を行う 3. 新看護必要度の研修に参加し、各セクションの記録監査ができ、正しい評価・記録ができる	
委員長 看護主幹 尚永亜希子	委員 田附容子、清水満子、関谷洋子、浅見秀治、 坪井和子、中島ゆき、前川幸代、川畑 泉、 野一色祐美子、河嶋智子、新木貴枝、浅見知春、 草野和美、小川由美子、久保田照己、井上弘美、 北村美幸、山田みか	事務局 看護局
活動内容： 5月16日 補助者研修グループ・看護必要度グループ・リリーフ体制グループごとに年間活動計画・成果目標立案・看護補助者研修指導案の企画 7月18日 看護補助者活用について学習会：草野科長補佐 補助者研修内容報告・看護必要度の監査実施 問題点抽出 強化月間へ・ リリーフ補助者の業務内容提案 びわ湖メディカルネットについて説明：北村主幹 9月29日 看護必要度ついて当院の現状と今後の課題 学習会：草野科長補佐 補助者研修内容報告および問題点抽出・看護必要度「誤入力削減」活動実施 各部署リリーフタイムスケジュール作成 11月21日 リフレクションによる看護管理者のリーダー開発について研修報告：尚永 補助者研修 次回の研修企画準備・看護必要度問題点抽出 次年度課題確認・ リリーフ体制タイムスケジュール管理者会議へ報告 1月16日 看護補助者活用のための看護管理者研修報告：中島主幹・坪井主査・尚永 今年度活動の振り返りと次年度への課題抽出 看護補助者研修 7月14日 今年度の補助者研修の目的 補助者業務の理解(草野科長補佐)・ 移動のお世話・歩行介助(e-ランニング視聴) 9月14日 感染管理について 環境整備について(講師：藤木係長) 1月10日 医療安全 KYT研修（講師：藤本次長）		

看護局 病院機能評価 プロジェクト	病院が組織的に医療を提供するための基本的活動が適切に実施できるかについて第三者の立場から評価する仕組みであり、更新受審に向けて院内全体が一丸となって準備に取り組み、認定を更新する。	
委員長 看護係長 岸本尚子	委員 梅本範子、岸本尚子、大野佐代子、服部直美、野一色真弓、田附容子、関谷洋子、岡部奈緒、三枝弘美、西島好子、河嶋智子、中川由紀、沖田小百合、辻 勝彦、鍋島みゆき、湧口朋子、野村耕一郎、土田由美子、新木貴枝	事務局 看護局
活動内容 5月19日 病院機能評価の現状と動向、受審のスケジュールの概要について説明。解説集の読み合わせの実施。 6月13日 病院機能評価の日程と進行表の説明。作成した評価表の内容を検討。 7月11日 1回目の病棟ラウンド実施。7月10日に実施された模擬サーベイの結果報告。 8月8日 2回目の病棟ラウンド実施。病院機能評価受審に向けての各病棟の取り組み確認。病院機能評価改善支援セミナー研修の伝達講習。 9月12日 病棟概要模擬サーベイ1回目の実施報告と内容検討 10月3・17・24日 臨時のプロジェクト会議を開催。受審病棟の模擬サーベイを実施し、病棟間調整を行った。 11月14日 各自感想と課題を発表。		

人権対策 推進委員会	院内の人権対策を総合的に推進し、基本方針に基づき同和問題をはじめとする人権問題の解決に積極的に取り組むため	
委員長 院長 神田雄史	委員 村中幸二、村上義和、松田和子、土川陽子、小川幸男	事務局 総務課総務グループ
活動内容 1. 内容 平成29年10月17日 人権研修会の実施計画について ・人権対策推進体制を整備し、院内の人権対策について総合的に推進するための方策を検討する。 ・同和問題をはじめとする人権問題の正しい理解と認識を深めるため職員の研修計画の策定と推進を行う。 ・人権問題解決のため市長部局や市の他の部門との積極的な連携を図る。		

合同・臨床研修 委員会	病院群臨床研修病院における研修医の臨床研修が円滑かつ十分に行われるよう、臨床プログラムの管理を行う。	
委員長 診療局理事 梅原久範	副委員長 社会福祉法人青祥会セフィロト病院院長代行 松岡俊樹 副院長 嶋田文彦 委員 太田直也、村中幸二、高島弘行、田久保康隆、森田善方、松田和子、小川幸男、手繰忠善、松井善典、雨森正洋、奥田哲也、七里源正、湯本義一、畑野秀樹、橋本修、布施隆治、花戸貴司、小泉俊三、高橋文雄	事務局 総務課総務グループ
活動内容 1. 委員会の内容 臨床研修医の研修プログラムの管理、教育等の実施、臨床研修終了にかかる臨床研修医の評価について審議する。なお、プログラムの作成、運営調整は、同委員会小委員会（プログラム委員会）にて、内科担当、外科担当、プライマリケア担当の責任者を中心に各々の科の指導医と協議の上、研修医の希望を考慮しながら行う。 2. 委員会の開催 第1回 平成30年3月22日（木） 1. 臨床研修終了認定について 2. 次年度のスケジュールについて 3. その他		

職員安全衛生委員会	長浜市病院事業職員安全衛生管理規程に基づき、病院職員の職場における安全と健康を確保するとともに、快適な作業環境の形成を図ること	
委員長 副院長 村中幸二	委員 村上義和、小川幸男、大野暢宏、野洲孝二、 松田和子、西沢政隆、岩崎昌子、草野信悟、 辰巳裕和、中川友香、南部利明	事務局 総務課総務グループ
活動内容 1. 内容 (1) 職場における職員の安全と健康の確保 (2) 快適な作業環境の形成、健康管理事業の適正運営の確保 (3) 危険防止のための基本的対策、労働災害の原因、再発防止対策 2. 協議事項 (1) 職場巡視 (2) 時間外勤務について (3) 年次休暇・夏季休暇の取得状況について (4) 感染予防について (5) 禁煙対策について (6) 健康診断受診状況について (7) ストレスチェックの実施 (8) メンタルヘルス対策 (9) 年間活動総括 委員会開催月日 4月27日、5月25日、6月21日、7月27日、9月1日、9月28日、10月30日、11月30日、1月26日、 2月22日、3月22日		

集中治療室運営委員会	集中治療室の管理運営についての協議	
委員長 副院長 嶋田文彦	委員 佐藤岳史、國友健生、吉良浩勝、上津昌広、 小川幸男、松田和子、織田頼子、吉川敬子、宮部照子	事務局 総務課総務グループ
活動内容 1. 業務 ICUの運営について次のことを審議する。 (1) 各診療科、病棟との連絡調整 (2) 施設の管理および設備の整備計画 (3) 業務の管理手順 (4) その他運営に関する必要事項		

診療業務等役割分担推進委員会	医師の厳しい勤務環境を改善し、良質な医療の提供をはじめ、快適な職場環境の形成や効率的な業務運営等について協議を行う。	
委員長 診療局理事 林 嘉彦	委員 平良 薫、土川陽子、弓削悦子、赤尾真樹子、 野洲孝二、宮川孝史、近藤昭仁、宮元伸篤、 草野信悟、吉田洋次郎、廣瀬朋子、大橋依子	事務局 総務課総務グループ
活動内容 1. 業務 (1) 診療業務の役割分担に関し、現状把握、問題点抽出、課題整理等を行う。 (2) 役割分担に関し必要な見直しや新たな役割分担の必要性等について協議する。 2. 活動状況 平成28年4月22日（金） 平成28年度医師の負担軽減計画について		

治験審査委員会	院内で行われる治験等がヘルシンキ宣言に基づく倫理的原則及び新GCP省令等関連法規を遵守した上で実施されるために、倫理的、科学的及び医学的見地からの妥当性を審議し、その可否を決定するため設置するもの	
委員長 診療局理事 林 嘉彦	委員 宮本香代子、荒木まつる、小室太郎、小川雅文、小松輝也、松田和子、藤田忠夫、野淵孝二、小川幸男、福永武浩	事務局 総務課総務グループ 薬剤部 薬剤科
活動内容 1. 目的 当院の医薬品・医療機器等にかかる治験等の実施について審議し、病院全体の医療の質の向上を図る。 2. 委員会の開催 第1回 平成29年7月 7日（金） 第2回 平成30年3月19日（水）		

職員研修委員会	職員ひとり一人に、公務員や医療人として必要な知識や技術を習得させることによって、人間性豊かで有為な人材を育成し、病院綱領に定める病院づくりを推進するため、職員に院内・外の幅広い研修機会を計画的に提供するため	
委員長 院長 神田雄史	委員 村上義和、松田和子、土川陽子、小川幸男	事務局 総務課総務グループ
活動内容 公務員や医療人として必要な知識や技術を習得させ、人間性豊かで有為な人材の育成を図るため、職員に院内・外の幅広い研修機会が提供できるように設置。 1. 業務 （1）人材育成支援計画の策定等 （2）各所属の年間研修計画および年間研修実績のとりまとめ （3）研修に対する評価のとりまとめ		

防火・防災管理委員会	市立長浜病院における防火・防災管理委員会の運営に関し、必要な事項を定めることにより、火災の予防及び火災・大規模地震、その他災害による人命の安全、被害の軽減、二次的災害発生の防止を目的とする。	
委員長 整形外科責任部長 廣瀬伸次	委員 村上義和、織田頼子、小川幸男	事務局 総務課施設グループ
活動内容 1. 委員会 ①開催日時 平成29年8月29日（火） ②議事内容 ・消防訓練実施要領（案）について 2. 消防訓練（消防検証）の実施 ①実施日 平成29年11月27日（月） ②参加者 75名 ③実施場所 別館3階回復期リハビリテーション病棟及び診療支援棟北側屋外付近 ④訓練目的 病院消防計画に基づく防火教育の一環として、夜間に火災が発生した場合を想定して、万一の際、被害を最小限に抑えられるよう消防訓練を実施しました。		

医療ガス安全・管理委員会	医療ガス（診療の用に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医用圧縮空気、窒素等をいう。）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。	
委員長 麻酔科部長 柳田豊伸	委員 松田和子、田中祐輔、辻 克信、加藤一尚、 松宮喜明、福永武浩	事務局 総務課施設グループ
活動内容 1. 点検内容 ①日常点検：各部署で毎週実施し、月1回委員会に報告 ②定期点検：専門業者により年4回実施し、結果を委員会に報告		

大規模災害等対策計画策定合同会議	大規模災害発生時に、災害レベルに応じて当院が採るべき災害対策に内容を明確にし、また、その災害対策に応じて個々の職員が果たすべき役割と具体的な行動を定める大規模災害等対策計画を策定することを目的とする。	
委員長 副院長 嶋田文彦 副統括 診療局理事兼外科責任部長 東出俊一	委員 廣瀬伸次、松田和子、織田頼子、浦部紀子、 藤木智美、山田真納美、山崎英雄、奥井のぞみ、 野洲孝二、大岡千寿子、村上義和、古山忠宏、 中川太郎、小川幸男、橋本 寿、福永武浩、 村上義幸、今村大志	事務局 総務課施設グループ
活動内容 【参加した主な訓練】 10月15日（日） 長浜市総合防災訓練参加（余呉町） 11月19日（日） 滋賀県原子力防災実動訓練（被ばく負傷者受入れ訓練） 11月19日（日） 災害対策本部参集訓練（2階第2会議室）		

医療評価委員会	患者さん主役の信頼ある医療を育み、地域完結型の医療を目指して、地域住民がより一層適切で質の高い医療を安心して受けられる病院とするため	
委員長 副院長 嶋田文彦	委員 杉本正幸、清水久雄、糟谷憲邦、村上義和、古山忠宏、音居玲子、新川由基、藤田忠夫、中川太郎、松田和子、織田頼子、吉川敬子、田中正樹、福永武浩、嶋 吉夫、土川陽子、藤田一弥、堀江智美、橋本 寿、野瀬孝二	事務局 経営企画課 経営企画グループ
委員会の業務 1. クリニカルパスの作成に関するルールづくりとその導入に関すること 2. インフォームドコンセントのルール作りに関すること 3. インフォームドコンセントの実践状況を把握すること 4. その他医療の質の向上等に関して、病院全体に影響するもので、緊急対応の必要のあるもの 開催月日・協議事項など ○第1回医療評価委員会（平成29年10月5日（木）16：30～17：30 第2会議室） ・「説明と同意（インフォームドコンセント）に関する院内指針」の変更について ・「説明と同意（インフォームドコンセント）に関する院内指針」に「がん告知は、原則として本人に対して行うこと」を明記することについて ・説明書・同意書の標準様式変更について ○第2回医療評価委員会（平成30年2月9日（金）16：00～16：30 第2会議室） ・「説明と同意（インフォームドコンセント）に関する院内指針」に「がん告知は、原則として本人に対して行うこと」を明記することについて ※平成29年度 第15回病院医療機能評価受審フォーラム 当院参加10人（平成29年9月28日（木）） ※「説明と同意（インフォームドコンセント）に関する院内指針」に「がん告知は、原則として本人に対して行うこと」を明記することの是非についてのアンケート（平成30年1月実施） 発出文書 ◎患者権利章典等の掲示について（依頼）（平成29年8月16日付け） ◎説明と同意（インフォームドコンセント）に関する院内指針の一部改訂について（通知）（平成30年2月27日付け） <クリニカルパス・I C専門部会> ※平成29年度より、クリニカルパス専門部会とインフォームドコンセント専門部会を集約した。 活動内容 クリニカルパスおよび説明と同意について、円滑な運用を図るため、新規作成や修正に関する対応を行いました。 開催月日・協議事項など ○第1回クリニカルパス・I C専門部会（平成29年6月16日（金）16：30～17：45 2階講義室） ・「説明と同意（インフォームドコンセント）に関する院内指針」の確認について ・説明書・同意書の標準様式について ・院内のインフォームドコンセントの実践状況の把握について ・「2016退院患者 パス使用状況」について ※説明書・同意書チェック・・・新規1件、修正2件 ※クリニカルパスチェック・・・修正3件		

倫理委員会	市立長浜病院で行われる人を対象とした医学研究及び医療行為が、ヘルシンキ宣言の趣旨に沿った倫理的かつ社会的配慮のもとに行われるために、医の倫理に関する事項を審議する。	
委員長 副院長 村中幸二	委員 清水久雄、川島和彦、松田和子、村上義和、 野洲孝二、小川幸男、桐山郁雄（院外）、 澤崎恭子（院外）	事務局 経営企画課 経営企画グループ
活動内容 1. 病院で行われる医学研究及び医療行為に関し、実施責任者から申請された実施計画の内容及びその成果の発表に関する事項を審議する。 2. 病院における医学研究及び医療行為に関する倫理的かつ社会的配慮についての基本的な事項の調査検討を行う。 3. その他委員長が必要と認めた事項を審議する。 開催月日・協議事項など ○第1回倫理委員会（平成29年7月14日（金）16：30～18：20 2階講義室） ・審議3件、報告6件 ○第2回倫理委員会（平成29年11月8日（水）16：30～18：15 別館2階 控室） ・審議3件、報告9件 ・「臨床倫理に関する協議」の方向性について ○第3回倫理委員会（平成30年3月16日（金）16：30～18：15 別館2階 控室） ・審議2件、報告26件 ・倫理委員会承認案件実施状況報告 ・臨床倫理規程の見直しについて ・「市立長浜病院臨床倫理専門部会規程（案）」について 発出文書 ◎倫理委員会に審議をかける基準の一部改正について（通知）（平成29年9月25日付け）		

IT推進会議	市立長浜病院の情報化施策を総合的かつ体系的に推進するため	
委員長 院長 神田雄史	委員 東出俊一、高島弘行、田中 淳、小川幸男、 吉川敬子、岩崎まゆみ、平井法恵、次郎内 茂、 筒井寛一、大岡千寿子、古山忠宏、笠井晴生、 田邊信彦、古株陽子、新田朋美、辻 克信、 田中正樹、伊吹定浩、三田久容、堀江智美、 三原了導、土川陽子、堀 一郎、藤本とき江、 山口高明	事務局 経営企画課 経営企画グループ
※平成29年度より、IT推進会議とIT推進専門委員会を集約した。		
活動内容 ○IT推進会議 ・IT推進計画の策定、IT推進計画の実施及び進行管理、コンピューターシステムの情報セキュリティなどについて協議します。 ○情報セキュリティ専門委員会 ・コンピューターシステムのセキュリティ対策に関する基本ルール及び緊急時の対応に関することについて協議します。		
開催月日・協議事項など IT推進会議 ○第1回委員会（平成29年6月13日（火）16：00～16：55 2階講堂） ・病院情報システムの更新について ・電子カルテシステムの設定（カルテ記事タイトルのピン留め）について ・情報セキュリティポリシーについて ○第2回委員会（平成29年9月4日（月）17：30～18：55 第2会議室） ・病院情報システムの更新について ・情報セキュリティポリシー及び院内掲示の改正について ○第3回委員会（平成30年1月26日（金）16：00～17：30 第2会議室） ・電子カルテシステム機器等更新業務プロポーザル実施要綱及びスケジュール（案）について ・電子カルテシステム機器等更新業務プロポーザルの企画提案書等の評価基準（案）および選定方法について ・電子カルテシステム機器等更新業務仕様書（案）について 発出文書 ◎休日・夜間等の緊急時におけるHRの患者ロック解除について（修正通知）（平成29年5月8日付け） ◎部門システムの機能（仕様）のレベル分けについて（平成29年12月1日付け） ◎電子カルテシステム機器等更新業務仕様書の事前確認について（平成30年1月24日付け） 情報セキュリティ専門委員会 ◎情報セキュリティに関する研修会 ・情報セキュリティ研修会 （平成29年4月18日（火）、20日（木） 17：30～18：15 2階講堂） 情報セキュリティポリシーについて、院内全職員を対象に研修会を実施 参加者：2日間合計 185人 ・情報セキュリティ研修会 （平成30年1月12日（金） 17：30～19：00 2階講堂） 講師：中川総合法務オフィス 代表 中川恒信氏 演 題：改正個人情報保護法（医療機関向け）研修 参加者：76人 ・平成30年度新規採用予定者事前研修（情報セキュリティについて） （平成30年3月8日（木） 2階講堂） 発出文書 ◎情報セキュリティポリシーの一部改正について（通知）（平成29年9月5日）		

医療機器等選定委員会 (長浜病院関係)	市病院事業において使用する医療機器の調達（修繕）および診療材料の購入等について必要な事項を定め、機種選定の適正かつ円滑な運用を図ることを目的とする。	
委員長 副院長 嶋田文彦	委員 小室太郎、廣瀬伸次、高島弘行、森田善方、松田和子、村上義和、小川幸男	事務局 経営企画課 用度グループ
活動内容 1. 内容 医療機器等購入にかかる機種選定の審査ならびに協議、高額診療材料購入にかかる審議を行った。 2. 開催日（全5回） 平成29年6月22日、10月16日、10月20日 平成30年1月23日、3月2日		

SPD運営委員会	経営の安定を目指し、院内の効率的な物品供給および在庫物品の適正化を図り、SPDシステム運用等に関し必要な事項を定める。	
委員長 副院長 嶋田文彦	委員 織田頼子、井上弘美、中畠ゆき、河嶋智子、寺村郁子、三浦浩之、久保田理恵、佃 義則、呉竹めぐみ、長谷川博美、田中優子、窪田美好、松山桂士	事務局 経営企画課 用度グループ
活動内容 1. 内容 院内の効率的な物品供給や適正な在庫管理のあり方等の検討を行った。また、適正な物品管理と無駄の抑制を図るため実施した。 診療材料滅菌切れチェック及び診療材料定数見直しの内容について、報告を行った。 2. 開催日（全2回） 平成29年11月28日、平成30年3月22日 3. 主な内容 ①各部署における診療材料滅菌期限切れチェックの実施報告 ②診療材料定数見直しの実施報告 ③救急カート運用の変更報告 ④病棟の移転スケジュール ⑤次期SPD業務委託更新について		

契約審査委員会	「長浜市が発注する物品調達（修繕）についての契約に係る競争入札に参加する者に必要な資格等に関する要綱」及び「長浜市が発注する建設工事等についての契約に係る競争入札に参加する者に必要な資格等に関する要綱」に規定する物品の調達（修繕）契約及び工事契約の適正な締結について必要な事項を定め、もって市病院事業全体の医療機器等調達（修繕）及び工事の公正妥当で円滑な執行を図ることを目的とする。	
委員長 副院長 嶋田文彦	委員 寺村治彦、馬場博行、下司一文※、水上憲一※、小川幸男、西川 昇、福永武浩、田中正樹 ※長浜市病院事業工事契約審査委員会のみ所掌	事務局 経営企画課 用度グループ
活動内容 1. 内容 医療機器等の購入及び建設工事等における契約方法及び指名競争入札の参加者または随意契約の相手方の選定について、審査を行った。 2. 開催日（全9回） 平成29年5月18日、7月28日、8月24日、10月19日、11月16日、12月21日 平成30年1月18日、2月23日、3月29日		

放射線治療装置更新検討委員会		放射線治療装置の更新について総合的に推進することを目的とする。	
委員長 副院長 嶋田文彦		委員 田久保康隆、神田雄史、伏木雅人、清水久雄、村上義和、古山忠宏、野一色真弓、佐野勝治、田中正樹、三原了導、奥長隆敏	事務局 放射線治療センター 経営企画課用度グループ
活動内容 開催月日・協議事項など 1. 開催日（全〇回） 開催なし			

未収金対策検討委員会		未収金に関する事務の適正な執行を図るため	
委員長 副院長 村中幸二		委員 高島弘行、小川幸男、村上義和、松田和子、 田中正樹、福永武治、藤田一弥、嶋 吉夫、 寺村治彦(市会計管理者)	事務局 医事課 医事業務グループ
活動内容 平成29年11月22日		未収金対策検討委員会開催。未収金の推移と回収実績・対策検討、診療費等債権の放棄審査について協議を行いました。	

保険審査委員会		請求もれ、減点内容のチェック及び再審査請求の徹底を図るとともに、保険医療の適正化に努める	
委員長 心臓血管外科部長 洞井和彦		委員 廣瀬伸次、山科 聡、梅本範子、野淵孝二、 藤田忠夫、吉田洋次郎、堀江智美、嶋 吉夫	事務局 医事課 診療報酬グループ
活動内容 平成29年度は、当院が開催する診療報酬研修会の中で平成30年度診療報酬改定に関する概要を説明しました。			

救急体制検討委員会		救急体制、宿直体制、呼び出し体制、研修医指導体制等、救急に関する諸問題を検討し、救急業務の効率化を図る	
委員長 診療局理事 東出俊一		委員 國友健生、中川雅登、橋本和幸、尾田和広、 嶋田文彦、古山忠宏、野淵孝二、新川由基、 松田和子、野一色真弓、福永武浩、三原了導、 橋本 寿	事務局 医事課 医事業務グループ
活動内容			
【委員会の開催】			
○第1回救急体制検討委員会（平成29年4月18日（火）18：00～19：00 第2会議室） 委員会組織について、救急ミニ講座について、GW連休中の救急診療体制について、その他			
○第2回救急体制検討委員会（平成29年8月1日（火）18：00～19：15 第2会議室） 委員会組織について、各科からの救急関係問題点について			
○第3回救急体制検討委員会（平成29年12月19日（火）18：00～19：00 講義室） 年末年始の救急診療体制について、各科からの救急関係問題点について、その他			
【実施事業等】			
○5月連休中、年末年始の救急における点滴患者の対応について通知（平成29年4月26日、平成29年12月20日）			
○救急ミニ講座開催：全7回、参加者計226人			
○OLSA－ICLS長浜曳山コース実施：全2回：第19回…平成29年6月10日／参加者58人 第20回…平成29年12月2日／参加者51人			
○救急救命士病院実習（通常実習）受入れ：平成29年6月～平成30年3月			
○救急救命士病院実習（就業前実習）受入れ：平成29年5月29日～6月16日			
○救急救命士病院実習（気管挿管）受入れ：平成29年7月3日～9月8日			

診療情報・図書室 管理運営委員会	当院における診療録の管理運営および図書の管理運営について、関係部署の連携調整を図るため	
委員長 外科 平良 薫	委員 清水久雄、田中裕紀、廣坂雄介、中村俊之、北村淳、 桐畑千尋、弓削悦子、吉川敬子、松山桂士、 土川陽子、川越ゆき、佐々木香織、番野晶子、 安藤美子	事務局 診療情報支援室
活動内容 第1回 平成29年7月31日（月） ○ 協議事項 ①診療情報管理規程の変更について ②入院診療録の監査について ③サマリ改善プロジェクト経過報告 ④図書について 第2回 平成29年12月7日（木） ○ 協議事項 ①入院診療録院内監査実施報告（平成29年8実施分） ②患者間違い時のカルテ記事入力対応について ③図書関連 第3回 平成30年2月19日（月） ○ 協議事項 ①入院基本料等に係る診療録への記載項目や様式等について ②入院診療録の監査について ③図書について		

DPC委員会	当院におけるDPC請求に関連する事務の適正な執行を図るため	
委員長 副院長 村中 幸二	委員 潮正輝、洞井和彦、平良薫、宮部照美、中村寛子、 中村春美、野淵孝二、松山桂士、松宮喜明、 土川陽子、川越ゆき、四塚京子、佐々木香織	事務局 診療情報支援室
活動内容 第1回 平成29年7月24日（月） ○ 協議事項 ①適切なコーディングに関すること ②その他 設置要項の改訂について 部位不明・詳細不明コードの使用率 厚労省が定める高額薬剤 医療機関別係数（医事課資料） 第2回 平成29年10月11日（水） ○ 協議事項 ①適切なコーディングに関すること ②その他 厚労省が定める高額薬剤 DPC運用フローの改訂について 第3回 平成30年12月13日（水） ○ 協議事項 ①適切なコーディングに関すること ②その他 適切なコーディングに関しての症例数について 厚労省が定める高額薬剤 DPCプロジェクトチームの発足について 第4回 平成30年12月13日（水） ○ 協議事項 ①適切なコーディングに関すること ②その他 診療報酬改定について DPCプロジェクトチームについて		

医療安全対策委員会	医療の安全確保と医療事故防止のため各種事業を行う。 ①リスクマネージャーの育成②K Y Tが職場改善に活かせる。③現場巡視を通じて、マニュアルの啓発や業務改善に繋げる。	
委員長 副院長 村中幸二	委員 曾我欣治、橋本和幸、潮 正輝、平良 薫、町本高章、 宮元伸篤、川上正邦、山田耕士、新田朋美、塚口昌文、 池田遼太、烏脇富子、前川純子、次郎内圭子、 谷口智子、宮崎恵子、堀江智美、清水義典、下村哲也、 川村裕彦、近藤昭仁、藤本とき江、川崎悦子	事務局 医療安全管理室
活動内容 1 医療安全対策委員会の開催：毎月第2木曜日開催 11回 委員会開催毎にコードブルー発令練習実施。 2 リスクマネージャーの育成：各職場内の危険を察知し改善案を提案、KYTの実践、事例分析の実施、部署インシデント統計分析ができるよう支援する。 (1) 前期リスクマネージャー会 平成29年5月30日開催 内容：①医療安全管理体制について②リスクマネージャーの役割③K Y T研修 (2) 後期リスクマネージャー会 平成29年10月3日開催 内容：①リスクマネージャーの役割の認識②後期リスクマネージャーの取り組み確認③RCA分析グループ演習。 (3) 管理者責任者対象「チームステップス」研修会 平成29年6月27日開催 講師：SOMPOリスクアマネジメント株式会社 橋本 勝 先生 内容：マシュマロチャレンジ(グループ演習)とSBAR講義 (4) 各部署KYT実践 実施率：看護局100%、医療技術局93%、薬剤局100%、事務局30% 医療技術局では、医療技術局医療安全推進担当が各部署のKYT開催に参加し、KYTの目的や基本的な手法を指導、支援できた。また、看護局では、各RM、受講者へアンケートを行った。KYTの手法、普段の業務の中にある危険を予知することが不十分であった。今後の課題であり、看護局への支援が必要。 (5) RCA分析実践：看護局のみ (6) インシデント統計分析実践 看護局・医療技術局の全部署にて実施 3 医療安全対策委員会グループ活動報告：現場巡視を通じて、マニュアルの啓発や業務改善に繋げる。 (1) 患者誤認防止・・・患者誤認防止グループ ・指差し呼称強化週間の取り組み 診療局、事務局一部の部署以外実施。前後に患者誤認に対する意識の向上を図るアンケート実施。 「ヒヤリハットの経験がない」と回答した職員が予想以上に多く、危機意識が低いと感じた。 ・救急診察場面における医師等に患者確認の周知ポスターを貼り啓発した。各外来にも同様に行った。 (2) 転倒転落防止・・・転倒転落防止グループ ・離床センサーの安全対策：離床センサーシート運用に関するアンケート調査を実施し、問題点の抽出と対策の立案を行い、離床センサーシートの運用手順書を改訂し、これを用いた周知活動を実施した。 ・転倒転落危険度シールチェックシート・運用手順の作成を行い、実施に向けて関係部署への提案を行った。 ・院内危険箇所および病棟内の環境巡視を行い、問題点の抽出と提言ができた。 (3) アレルギー情報管理・・・アレルギー情報管理グループ ・患者受診問診票のアレルギーに関する項目を集計し、傾向を確認。薬剤アレルギーの薬剤名称が不明確であった。 患者と医療者のアレルギー情報の共有を図るために、お薬手帳の運用を検討。 患者からのアレルギー情報の報告推進のため、医事課電光掲示板を活用。 (4) 医療チームによるコミュニケーションエラー防止・・・コミュニケーション推進グループ ・看護局SBAR演習を作成し、各部署全員が参加できるように計画立案し、RM、班員がレクチャーを実施。 本来のSBARの目的に沿った報告のタイミング、情報収集などの要素も加え実施。 ・院内チームステップス情報誌「SBAR新聞」年2回発行 (5) リスクナース検討部会 ・対策委員会班活動の現場推進についてはできた。 ・輸血、採血、注射時のPDA使用の推進活動について、使用率は77%→90%に上昇。 ・薬剤指示受けによる問題、課題の分析。RMと共有し、業務分担表の運用強化を図り、定着してきている。 ・生体情報モニター、自己管理薬実施状況の把握については、アラーム設定・確認はできている。中断の対応不十分、危機管理の認識が必要。今後問題提示していく。 ・KYT・RCA全部署実施できた。		

医療安全管理委員会	院内における医療安全対策、医薬品安全管理、医療機器安全管理、医療相談業務を総合的に企画実施し、また、事故対策を講じるために必要な事項を審議し、意思決定する。	
委員長 副院長 村中幸二	委員 野田秀樹、神田雄史、嶋田文彦、大野暢宏、高島弘行、家森正志、曾我欣治、松田和子、村上義和、小川幸男、藤田忠夫、福永武浩、野淵孝二、橋本 寿、藤本とき江、藤木智美、川崎悦子	事務局 医療安全管理室
活動内容 1. 内 容 ・ 病院全体の医療安全対策の方針について協議決定を行っています。 2. 医療安全管理委員会開催 毎月第2火曜日開催 12回 1) 各委員会等報告と協議 ・ 医療機器安全管理に関する事項 関連機関注意喚起事項や当院発生事象についての対策取り組み ・ 医薬品安全管理 関連機関注意喚起事項や当院発生事象についての対策取り組み ・ 医療安全管理に関する事項 インシデント報告事象の共有（患者誤認・レベル3b以上の事象） 関連機関注意喚起事項や当院発生事象についての対策取り組み ・ 各委員会活動方針の合議 ・ 各委員会研修会開催報告 2) その他 各委員会マニュアルの周知・決定 ・ 医療安全管理指針(見直し) ・ 輸血マニュアル ・ 抗がん薬使用マニュアル ・ 抗がん薬血管外漏出対応マニュアル ・ 自殺事故発生時の対応（新規） 3) 委員会主催による研修会開催(3回)(当日参加人数のみ記載) ・ 平成28年度医療安全取り組み報告会 平成29年5月18日 参加人数192人 ・ 医療安全・医薬品安全合同研修会 平成29年7月18日 参加人数127人 「免疫抑制剤・化学療法剤使用によるB型肝炎再活性化について」 講師：大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学 村上善基 准教授 ・ 「第1部：検視の必要性和事故現場遭遇時の留意点について」 講師：長浜警察署 山内刑事係長 「第2部：事故発生時のロールプレイングを用いた自殺事故対策」 平成29年12月12日 参加人数229人 3. 報告事項 ・ 平成29年度医療事故報告分析結果（全体・部署別） ・ 平成29年度各委員会活動評価 ・ 医療相談・苦情についての報告など		

感染対策担当者会議	院内における医療関連感染の防止対策を推進し、啓蒙活動を行う。	
委員長 泌尿器科責任部長 塚 晴俊	委員 大野暢宏、家森正志、坪井房幸、杉江加代子、 岩崎昌子、辻 賢、佃 義則、高山直樹、 湯月英里加、中村寛子、岸田智恵子、嘉村真幸、 北村美幸、川越ゆき、伊吹定浩、久保田武次、 藤本智美	事務局 医療安全管理室
活動内容 内 容 各感染症に対する専門知識と感染予防策の普及 標準予防策・経路別予防策に基づく院内感染防止対策の推進 ・手指消毒剤の個人携帯の推進と手指衛生タイミング確認と推進 ・個人防護具（アイシールド、ガウン・エプロン）の遵守 職業感染対策の推進 感染防止対策研修会の参加推進 感染対策関連サーベイランスの実施 ○感染対策担当者会議 隔月第3木曜日開催 年4回（8月除く） 編集委員による啓発リーフレット「院内感染防止対策ニュース」の発行 ・56号「適正に抗菌薬を使用するために」 平成29年7月14日発行 ・57号「手指消毒剤の使用量増加を目指して」 平成29年12月5日発行 ・58号「クロストリジウム・ディフィシル感染症の治療について」 平成30年3月22日発行 手指消毒剤使用の推進 サーベイランス結果の協議 ・医療器具使用状況(血管留置カテーテル・尿道留置カテーテル) 職業感染対策の推進 ○感染制御チーム検討会（ICT）：週1回毎週木曜日 環境ラウンド ラウンド回数（44回） 抗菌薬適正使用の確認と推進 菌血症患者、血液培養結果の確認と評価 サーベイランス協議：データ分析・評価を実施 ・耐性菌発生状況、手術部位感染（SSI）サーベイランス 職業感染対策の推進 ・安全装置付き器材の導入（ペン型注入器用注射針・CVポート穿刺針）、血管留置針の変更 ・B型肝炎に対する抗体価獲得に向けてのワクチンプログラムの実施 ・流行性ウイルス疾患（麻疹・風疹・ムンプス・水痘）のワクチンプログラムの実施・感染対策の協議 感染防止対策加算による合同カンファレンス開催 年8回 ・湖北地域3病院(長浜赤十字病院、長浜市立湖北病院、市立長浜病院)と長浜保健所 流行している疾患など厚生労働省や県・保健所の通知および情報収集と対策		

感染管理委員会	医療関連感染防止対策の総合的な企画、立案、評価や、医療関連感染が発生した場合の病院としての方針を決定するために設置する	
委員長 総合診療科責任部長 大野暢宏	委員 野田秀樹、神田雄史、村中幸二、嶋田文彦、高島弘行、家森正志、曾我欣治、松田和子、村上義和、小川幸男、藤田忠夫、福永武浩、野洲孝二、橋本 寿、藤本とき江、藤本智美、川崎悦子	事務局 医療安全管理室
活動内容 1. 内 容 ・医療関連感染の防止対策や、院内全体の感染対策の方針について協議決定を行っています。 2. 感染管理委員会開催 毎月第2火曜日開催 12回 1) 各委員会等報告 ・院内感染防止対策取り組み ・耐性菌・インフルエンザの院内発生動向の報告 ・特定抗菌薬の使用状況と届出の提出状況の報告 ・歯科口腔外科院内感染防止対策取り組み ・研修会開催報告 2) その他 マニュアルの周知・決定 ・医療関連感染防止対策のための指針(見直し) ・結核対応マニュアル ・SSI予防対策マニュアル ・インフルエンザ対応マニュアル ・感染性胃腸炎(ノロウイルス・O-157等)対応マニュアル ・大規模集団食中毒発生時対応マニュアル ・流行性ウイルス疾患対応マニュアル ・抗菌薬使用指針 ・アウトブレイク対応マニュアル ・ワクチンプログラム(新規) 3) 委員会主催による研修会開催(2回)(当日参加人数のみ記載) ・「貴方を感染から守るために・・・～針刺し対策・ワクチン接種～」 平成29年9月6日 参加人数154人 講師：ICN 中村寛子感染管理認定看護師 ・「医療関連感染防止のための環境浄化(環境整備)について」 平成30年3月5日 参加人数120人 講師：公立甲賀病院感染制御部 感染認定看護師 木下 桂 先生		

褥瘡対策委員会	院内での褥瘡対策を検討・立案し、その効率的な推進を図る	
委員長 形成外科責任部長 藤林久輝	委員 井階幸一、田中裕輔、安東恵美、中川彩子、植松 渚、宮田鈴子、齋藤友恵、西尾多恵、笠原みすず	事務局 地域医療連携室
活動内容： 1. 褥瘡回診の実施：褥瘡回診を定期的に行っている ・第2、4木曜日 計24回 延べ266名 2. 褥瘡に関するデータ集約 ・褥瘡患者数 137名(入院前保有55名、入院後発生82名) 3. 褥瘡対策備品の整備 ・車いすクッション、介助グローブ購入 4. 看護局褥瘡対策検討会活動 ・褥瘡回診 ・eラーニング受講の啓発		

開放型病床運営委員会	開放型病床を効率的にかつ円滑に運営すること	
委員長 院長 神田雄史	委員 上松貞彦、湯本義一、小林清亮、華房順子、 工藤 寛、畑野秀樹、七里源正、廣田光前、 雨森正洋、塚本隆弘、中村義則、澤渡新太郎、 小川雅文、家森正志、堀川佳孝	事務局 地域医療連携室
活動内容 年1回開催 平成30年2月22日（木） 開放病床の運営について （1）開放型病床利用状況について （2）病診連携運用状況について （3）開放型病床病棟別病床数 （4）その他		

医療型療養病棟入院患者判定委員会	医療型療養病棟への入退院にあたり適正な審査・判定を期すること	
委員長 療養病棟担当医師 大野暢宏	委員 田中宏明、梅本範子、前川純子、尾崎幸子、 間塚摩美、後藤智彦	事務局 地域医療連携室
活動内容 平成29年4月4日～9月8日の原則火曜日に（延べ 7回）開催し、レスパイト入院20人の方を審査・判定した。 院内からの転棟については、毎週2回（原則 火曜日と金曜日）に開催し、68人の方を審査・判定した。 9月8日以降については、病床管理会議で判定を行った。		

病床管理会議	一般病棟入院患者の療養型・地域包括ケアまたは回復期の転棟について審査・判定する。レスパイト入院（開放病床利用を含む）予定患者の病棟決定について審査・判定する。	
委員長 患者総合支援センター センター長 神田雄史	委員 大野暢宏、川島和彦、江藤謹司、中川雅登、 梅本範子、前川純子、伊藤雅子、遠藤邦枝、 音居玲子、三田久容、徳田敏子、尾崎幸子、 間塚摩美、土川陽子	事務局 地域医療連携室
活動内容 平成29年9月5日から、毎週火曜日に実施（22回）しました。病床の空床状況により適宜病棟師長間での調整も行った。		

回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会	回復期リハビリテーション病棟への入院（転入含む）にあたり、入院適応基準に基づく入院の判定を行う。	
委員長 リハビリテーション科部長兼 回復期リハビリテーション病棟長 江藤謹司	委員 小川雅文、北村 淳、杉江加代子、後藤智彦、 遠藤邦枝、尾崎幸子、今庄 悠、梅本範子	事務局 地域医療連携室
活動内容 平成29年4月5日に第1回目を開催し、その後、毎週火・木曜日に（延べ44回）開催し、院内66人、院外73人、計139人の方を審査・判定した。		

回復期リハビリテーション病棟運営委員会	回復期リハビリテーション病棟の運営を効率的かつ円滑に行う	
〔運営委員会〕 委員長： リハビリテーション科部長兼 回復期リハビリテーション病棟長 江藤謹司 〔運営検討部会〕 部会長： リハビリテーション科部長兼 回復期リハビリテーション病棟長 江藤謹司	委員 奥井貴子、雨森正洋、伊藤仁文、中川 勝、 夏原さゆり、福永幸代、齋藤 晃、雑賀正明、 海津千津子、林ゆう子、安達良子、永田かおり、 小川幸男 委員 小室太郎、北村 淳、梅本範子、田中正樹、 嶋 吉夫、土川陽子、尾崎幸子、今莊 悠、 遠藤邦枝、中村春美、大野佐代子	事務局 地域医療連携室
活動内容 〔運営委員会〕 平成29年度第1回委員会 平成29年8月31日（木） (1)回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会の状況について (2)回復期リハビリテーション病棟の運営状況について (3)リハビリテーションの実施状況について (4)リハビリテーションの質的評価について 〔運営検討部会〕 平成29年度第1回部会 平成29年8月3日（木） (1)事業報告 ・回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会報告 ・回復期リハビリテーション病棟運営報告 ・リハビリテーション実施報告 ・回復期リハビリテーション病棟収支報告 (2)リハビリテーションの質的評価 (3)平成29年度回復期リハビリテーション病棟運営について		

がん対策推進委員会	がん治療および診療科を超えたチーム医療の推進、院内関連委員会との連携、がん診療情報の発信およびがん登録に関する協議を行うこと	
委員長： がん対策推進室 管理監 伏木雅人	委員 田久保康隆、東出俊一、平良 薫、塚 晴俊、 大岡千寿子、村上義和、梅本範子、小川幸男、 土川陽子、新川君代、山岸美紀、宮崎恵子、橋本祥子、 大橋依子	事務局 がん対策推進室
活動内容 【委員会の開催】（3回） 第1回 平成29年6月29日（木） ・PDCAサイクルの実施について ・湖北がんフォーラム2017について ・がん診療連携拠点病院更新に向けた作業部会について ・緩和ケアに関する研修会について ・第2期滋賀県がん対策推進計画の評価について ・今年度の予定について 第2回 平成29年10月17日（火） ・PDCAサイクルの中間評価について ・がんフォーラム2018について ・地域がん診療連携拠点病院現況届について 第3回 平成30年3月2日（金） ・PDCAの最終評価について ・湖北がんフォーラム2018について ・がんに関する研修・啓発活動について ・がん診療連携拠点病院指定更新について ・県協議会各部会の最終報告について ・緩和ケア研修会新指針、治療と仕事の両立に関する個別相談会の開催について（報告） ◆湖北がんフォーラム2018開催に向けた長浜赤十字病院との協議 平成30年1月30日（火） 開催テーマ、開催概要および講師について		

化学療法委員会	化学療法を安全に実施する体制等の整備を図るとともに、化学療法を用いる抗悪性腫瘍剤(化学療法薬、ホルモン剤、分子標的治療薬など)の適正使用に関する評価、院内外での安全な施行を推進するための教育及び啓発活動を行うこと	
委員長： 外科責任部長 東出俊一	委員 亀崎 洋、野口哲男、塚 晴俊、高橋顕雅、中川雅登、 中村拓路、大岡千寿子、中村俊之、吉川敬子、 酒谷ひろみ、山岸美紀	事務局 がん対策推進室
活動内容 1. 委員会の開催（2回） 第1回 平成29年8月4日（金） 第2回 平成30年3月22日（木） 2. 化学療法研修会の開催 平成29年12月7日（木） 参加者：82名 テーマ：「がん診療における感染症対応」 講師：がん研究会有明病院 感染症科部長 原田 壮平 先生 3. 抗がん剤曝露予防対策の推進（CSTDの使用範囲拡大／投与時のPPEとしてガウン導入） 4. 免疫抑制剤・化学療法薬使用に伴うB型肝炎再活性化対策の推進 5. レジメン登録審査小委員会が審査したレジメンの確認		

レジメン登録審査委員会	院内で実施される化学療法のレジメン(治療内容)の安全性及び妥当性についての評価、承認、削除及び運用に関する事項を審議すること	
委員長： 外科責任部長 東出俊一	委員 亀崎洋、野口哲男、塚晴俊、糟谷憲邦、中多真理、 中村拓路、大岡千寿子、中村俊之、酒谷ひろみ、 山岸美紀	事務局 薬剤科
活動内容 1. 小委員会設置（化学療法委員会設置要綱第7条） 2. レジメン登録数 平成29年度 18件 4月：0件 5月：1件 6月：0件 7月：0件 8月：3件 9月：0件 10月：0件 11月：2件 12月：4件 1月：4件 2月：0件 3月：4件 うち、添付文書通りの登録 11件 患者限定 5件 倫理委員会へ申請後登録 2件		

緩和ケア推進委員会	がん対策推進基本計画に基づく緩和ケアの推進および患者・家族の生活の質（QOL）を維持向上させること	
委員長： がん対策推進室 副管理監兼室長 田久保康隆	委員 伏木雅人、野口哲男、江藤謹司、家森正志、横川竜生、 川島和彦、高橋顕雅、梅本範子、久保田理恵、 藤井三和子、長谷川博美、宮元菜摘、土川陽子、 河野智一、新川君代、山岸美紀、宮崎恵子、 橋本祥子、金武李佳 准委員 森田幸代	事務局 がん対策推進室
活動内容 1. 緩和ケアチーム回診の実施（毎週火曜日：チーム回診、毎週金曜日：チーム看護師回診） 2. 委員会の開催（1回）平成29年7月29日 3. 緩和ケア研修会、緩和ケア講演会等の開催 ○緩和ケア研修会：平成29年11月11日、12日 修了者8名 ○緩和ケア講演会 平成29年度第1回緩和ケア講演会：平成29年7月6日（木）17:30～19:00 市立長浜病院 本館2階 講堂 テーマ：「がん患者・家族の意志決定支援」～コミュニケーションの実際～ 講師：市立大津市民病院 臨床心理士 笹田 侑子氏 参加者：院内37名 院外13名 アンケート回収36名 研修会の満足度：36名中33名が満足と回答 平成29年度第2回緩和ケア講演会：平成29年10月5日（木）17:30～19:00 市立長浜病院 本館 2階 講堂 テーマ：「がん患者・家族の意志決定支援」～コミュニケーションの実際～ 講師：市立大津市民病院 臨床心理士 笹田 侑子氏 参加者：院内19名 院外3名 アンケート回収16名 研修会の満足度：16名中16名が満足と回答 ○2017年ホスピス緩和ケア週間（世界ホスピス緩和ケアデー:10/14）展示イベント開催 平成29年9月25日（月）～9月27日（金）（病院 エスカレーター横） 4. 緩和ケア総合外来 診療数延べ：17件（8名） 5. がんリハビリテーション 介入件数延べ：5,292単位		

V 経営状況

1. 平成29年度決算状況

(1) 経営収支比較

(単位：千円)

区 分		平成29年度	平成28年度	増 減	増減率
収 入	1 入 院 収 益	7,667,619	8,016,335	△348,716	95.6
	入 院 診 療 収 入	7,446,637	7,787,514	△340,877	95.6
	給 食 料 収 入	220,982	228,821	△7,839	96.6
	2 外 来 収 益	3,631,942	3,590,556	41,386	101.2
	3 そ の 他 医 業 収 益	180,796	183,366	△2,570	98.6
	4 受 取 利 息 配 当 金	19,931	20,421	△490	97.6
	5 補 助 金	23,450	32,811	△9,361	71.5
	6 一 般 会 計 負 担 金	827,356	481,595	345,761	171.8
	7 患 者 外 給 食 収 益	0	296	△296	皆減
	8 院 内 保 育 所 収 益	4,405	4,919	△514	89.6
	9 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 収 益	74,523	71,662	2,861	104.0
	10 長 期 前 受 金 戻 入	61,613	63,111	△1,498	97.6
	11 そ の 他 医 業 外 収 益	106,586	103,174	3,412	103.3
	収 入 合 計	12,598,221	12,568,246	29,975	100.2
支 出	12 給 与 費	7,001,285	6,834,349	166,936	102.4
	給 料	2,409,981	2,409,102	879	100.0
	諸 手 当	1,880,677	1,846,582	34,095	101.8
	賃 金	1,119,080	1,083,219	35,861	103.3
	そ の 他	1,591,547	1,495,446	96,101	106.4
	13 材 料 費	3,287,139	3,317,606	△30,467	99.1
	薬 品 費	1,649,179	1,695,940	△46,761	97.2
	診 療 材 料 費	1,521,956	1,491,481	30,475	102.0
	給 食 材 料 費	94,910	96,118	△1,208	98.7
	医 療 消 耗 備 品 費	21,094	34,067	△12,973	61.9
	14 経 費	1,509,374	1,529,742	△20,368	98.7
	15 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	236,433	259,204	△22,771	91.2
	16 長 期 前 払 消 費 税 償 却	23,518	23,518	0	100.0
	17 患 者 外 給 食 材 料 費	0	49	△49	皆減
	18 院 内 保 育 所 費	39,408	37,564	1,844	104.9
	19 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 費	64,609	64,135	474	100.7
	20 そ の 他 の 支 出	1,490,071	1,490,653	△582	100.0
	21 特 別 損 失	0	79,964	△79,964	皆減
	支 出 合 計	13,651,837	13,636,784	15,053	100.1

(2) 貸借対照表

(平成30年3月31日)

借 方			貸 方	
科 目	金 額		科 目	金 額
		円		円
固 定 資 産		12,983,755,774	固 定 負 債	11,541,453,386
有形固定資産		12,660,434,421	企 業 債	8,896,276,145
土 地		2,975,507,175	引 当 金	2,645,177,241
建 物	17,909,530,201		退職給与引当金	2,474,236,709
建物 減価償却累計額	△ 10,090,149,576	7,819,380,625	修繕引当金	170,940,532
構 築 物	669,081,006		流 動 負 債	2,592,467,268
構築物 減価償却累計額	△ 371,119,115	297,961,891	企 業 債	994,505,235
器械及び備品	6,501,578,145		未 払 金	1,143,835,024
器械及び備品 減価償却累計額	△ 4,949,286,760	1,552,291,385	引 当 金	402,250,649
車 両	27,547,225		その他流動負債	51,876,360
車両 減価償却累計額	△ 21,462,523	6,084,702	繰 延 収 益	576,818,297
建設仮勘定		9,208,643	長 期 前 受 金	1,379,912,761
投 資		323,321,353	収益化累計額	△ 803,094,464
長期貸付金		121,146,054	資 本 金	8,487,698,390
長期前払消費税		176,231,299	剰 余 金	△ 4,025,945,451
その他投資		25,944,000	資 本 剰 余 金	68,688,152
流 動 資 産		6,188,736,116	欠 損 金	4,094,633,603
現 金 預 金		2,076,112,462	減 債 積 立 金	168,300,000
未 収 金		2,195,603,237	建設改良積立金	1,313,000,000
貸倒引当金		△ 14,931,328	当年度未処理 欠 損 金	5,575,933,603
有 価 証 券		1,899,360,000		
貯 蔵 品		32,591,745		
合 計		19,172,491,890	合 計	19,172,491,890

(3) 経営状況①

(単位：千円)

決 算 状 況	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
総 収 益	12,598,221	12,568,246	12,684,022	12,840,304	12,207,809	11,907,860
經常収益	12,598,221	12,568,246	12,684,022	12,840,304	12,207,809	11,907,860
医業収益	11,480,357	11,790,257	11,809,909	11,875,096	11,265,816	10,910,243
料金収入	11,299,561	11,606,891	11,610,119	11,660,546	11,043,255	10,664,373
他会計繰入金	827,356	481,595	493,145	565,604	580,362	577,849
特別利益	-	-	-	-	-	-
総 費 用	13,651,837	13,636,784	13,646,898	15,392,378	12,290,100	12,005,320
經常費用	13,651,837	13,556,820	13,509,737	13,158,577	12,277,266	11,996,127
医業費用	12,865,366	12,696,420	12,598,775	12,212,413	11,517,107	11,173,910
職員給与費	7,001,285	6,834,349	6,881,184	6,538,828	6,272,176	6,322,182
材料費	3,287,139	3,317,606	3,368,663	3,337,115	2,957,873	2,760,745
減価償却費	1,027,568	968,225	759,617	871,347	815,568	590,558
支払利息	236,433	259,204	277,612	297,472	317,658	334,230
特別損失	0	79,964	137,161	2,233,801	12,834	9,193
純 損 益	△ 1,053,616	△ 1,068,538	△ 962,876	△ 2,552,074	△ 82,291	△ 97,460
累積欠損金	5,575,933	4,522,317	3,453,779	2,490,904	0	0

経営状況②

経 営 指 標			平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
総 収 支 比 率 %			92.28	92.16	92.94	83.42	99.33	99.19
経常収支比率%			92.28	92.71	93.89	97.58	99.43	99.26
医業収支比率%			89.23	92.86	93.74	97.24	97.82	97.64
他会計繰入金対医業収益比率%			7.21	4.08	4.18	4.76	5.15	5.30
職員給与費対医業収益比率%			60.98	57.97	58.27	55.06	55.67	57.95
材料費対医業収益比率%			28.63	28.14	28.52	28.10	26.26	25.30
病床数 (年度末現在)	一 般		600	616	616	624	624	624
	結核精神伝染							
	計		600	616	616	624	624	624
病 床 利 用 率 %			61.5	63.9	65.0	63.9	63.4	61.6
入院患者数 (人)	年 延 数		134,642	143,639	146,568	145,606	144,426	140,258
	1日平均		369	394	400	399	396	384
外来患者数 (人)	年 延 数		238,871	251,136	262,439	271,703	275,051	297,823
	1日平均		979	1,033	1,080	1,114	1,127	1,216
外来入院比率%			177.41	174.84	179.06	186.60	190.44	212.34
職員1人 1日当たり 患者数(人)	医 師	入 院	4.2	4.3	4.5	4.3	4.3	4.5
		外 来	11.3	11.2	12.3	12.0	12.1	14.1
	看 護 師	入 院	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7
		外 来	1.9	2.0	2.1	2.1	2.1	2.3
患者1人1日 当たり診療収入 (円)	入 院		56,948	55,809	54,726	55,390	53,969	53,768
	外 来		15,205	14,297	13,676	13,233	11,812	10,486
100床当たり 職 員 数 (人)	医 師		14.5	14.9	14.3	14.9	14.9	13.8
	看護部門		86.5	84.9	84.1	84.0	84.1	83.0
	全職員		167.5	165.9	163.0	163.1	161.5	157.4
診療収入 (千円)	入 院		7,667,619	8,016,335	8,021,068	8,065,161	7,794,477	7,541,421
	外 来		3,631,942	3,590,556	3,589,051	3,595,385	3,248,778	3,122,952

(4) 資本的収入及び支出 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

収 入

区 分	予 算 額					
	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	継続費通次繰越額に係る財源充当額	合 計
長浜病院	円	円	円	円	円	円
第1款 資本的収入	1,480,268,000	0	1,480,268,000	0	0	1,480,268,000
第1項 企業債	1,017,100,000	0	1,017,100,000	0	0	1,017,100,000
第2項 出資金	458,578,000	0	458,578,000	0	0	458,578,000
第3項 補助金	1,700,000	0	1,700,000	0	0	1,700,000
第4項 寄付金	10,000	0	10,000	0	0	10,000
第5項 投資返戻金	2,880,000	0	2,880,000	0	0	2,880,000

決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
円	円	
742,363,000	△ 737,905,000	
276,800,000	△ 740,300,000	
458,578,000	0	
0	△ 1,700,000	
0	△ 10,000	
6,985,000	4,105,000	

支 出

区 分	予 算 額						
	当初予算額	補正予算額	流 用 増減額	小 計	地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額	継続費 通次繰越額	合 計
長浜病院	円	円	円	円	円	円	円
第 1 款 資本的支出	2,377,813,000	0	0	2,377,813,000	0	0	2,377,813,000
第 1 項 建設改良費	1,044,731,000	0	0	1,044,731,000	0	0	1,044,731,000
第 2 項 企業債償還金	1,294,792,000	0	0	1,294,792,000	0	0	1,294,792,000
第 3 項 投 資	38,280,000	0	0	38,280,000	0	0	38,280,000
第 4 項 補助金消費税返還金	10,000	0	0	10,000	0	0	10,000

資本的収入額が資本的支出額に不足する額877,958,201円は、損益勘定留保資金で補てんした。

決 算 額	翌 年 度 繰 越 額			不 用 額	備 考
	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費通次繰越額	合 計		
円	円	円	円	円	円
1,620,321,201	0	0	0	757,491,799	
307,154,825	0	0	0	737,576,175	(22,739,615)
1,294,791,271	0	0	0	729	
18,375,105	0	0	0	19,904,895	
0	0	0	0	10,000	

() は、仮払消費税

VI 各種統計資料

1. 患者状況

(1) 一般病棟科別入院患者数

診療科名	29年度初 人	入院 人	転科増減 人	退 院 人	29年度末 人	延患者数 人	一日平均 人	比 率 %	在院日数 日
内 科	37	786	-24	760	39	13,689	37.5	12.8	17.7
神 経 内 科	9	94	-6	90	7	2,169	5.9	2.0	23.6
呼吸器内科	32	859	-29	827	35	12,039	33.0	11.2	14.3
循環器内科	16	1,235	-30	1,206	15	10,684	29.3	10.0	8.8
小 児 科	2	304	0	306	0	1,257	3.4	1.2	4.1
外 科	28	649	7	661	23	9,414	25.8	8.8	14.4
呼吸器外科	11	359	9	369	10	3,082	8.4	2.9	8.5
整 形 外 科	61	808	-7	804	58	21,738	59.6	20.3	27.0
形 成 外 科	1	35	1	36	1	304	0.8	0.3	8.6
脳神経外科	35	521	-65	461	30	11,765	32.2	11.0	24.0
心臓血管外科	17	375	7	385	14	5,813	15.9	5.4	15.3
泌 尿 器 科	9	414	-5	407	11	3,546	9.7	3.3	8.6
産 婦 人 科	20	670	-5	678	7	5,900	16.2	5.5	8.8
眼 科	3	537	1	539	2	1,421	3.9	1.3	2.6
耳鼻咽喉科	4	168	-11	159	2	1,212	3.3	1.1	7.4
リウマチ膠原病内科	6	96	1	95	8	2,595	7.1	2.4	27.2
歯科・歯科口腔外科	2	281	0	283	0	706	1.9	0.7	2.5
合 計	293	8,191	-156	8,066	262	107,334	294.1	100	13.2

1日平均患者数は、診療日数365日で除しています。
表には、人間ドックは含んでいません。
在院日数は、延患者数/（入院+退院）×2で算定しています。
療養病棟は、含んでいません（（2）で掲載）。

(2) 療養病棟科別入院患者数

診療科名	29年度初 人	入院 人	転入 人	転出 人	退院 人	29年度末 人	延患者数 人	一日平均 人	比 率 %	在院日数 日
内 科	9	51	5	1	56	9	3,423	9.4	18.0	60.6
神 経 内 科	7		7	1	11	2	467	1.3	2.5	49.2
呼吸器内科	2		31	1	27	5	1,559	4.3	8.2	52.8
循環器内科	2		9	1	6	3	833	2.3	4.4	104.1
小 児 科	1				1		7	0.0	0.0	14.0
外 科	1		19	1	18	1	465	1.3	2.5	24.5
呼吸器外科	1		6		7		161	0.4	0.9	24.8
整 形 外 科	5	14	14		28	5	2,308	6.3	12.2	82.4
脳神経外科	24	41	57	4	90	28	9,035	24.8	47.6	94.1
心臓血管外科	2		3		3	2	249	0.7	1.3	83.0
産 婦 人 科	1		3		4		152	0.4	0.8	43.4
泌 尿 器 科			9		8	1	255	0.7	1.3	30.0
耳鼻咽喉科	1		1		2		18	0.1	0.1	12.0
リウマチ膠原病内科			2	1	1		51	0.1	0.3	25.5
合 計	56	106	166	10	262	56	18,983	52.0	100	69.8

1日平均患者数は、診療日数365日で除しています。
在院日数は、延患者数/（入院+転入+退院+転出）×2で算定しています。

(3) 科別外来患者数

診療科名	新来患者数 人	1日平均 人	再来患者数 人	1日平均 人	延患者数 人	1日平均 人	比 率 %
内 科	934	3.8	52,774	217.2	53,708	221.0	22.5
神 経 内 科	642	2.6	4,550	18.7	5,192	21.4	2.2
呼吸器内科	1,050	4.3	10,639	43.8	11,689	48.1	4.9
消化器内科	154	0.6	3,567	14.7	3,721	15.3	1.6
循環器内科	961	3.9	18,447	75.9	19,408	79.9	8.1
小 児 科	223	0.9	5,042	20.7	5,265	21.7	2.2
外 科	1,068	4.4	11,115	45.7	12,183	50.1	5.1
呼吸器外科	175	0.7	3,849	15.8	4,024	16.6	1.7
整 形 外 科	1,829	7.5	32,937	135.5	34,766	143.1	14.6
形 成 外 科	380	1.6	3,069	12.6	3,449	14.2	1.4
脳神経外科	388	1.6	5,431	22.3	5,819	23.9	2.4
心臓血管外科	301	3.0	3,400	34.3	3,701	37.4	1.5
皮 膚 科	773	3.2	3,046	12.5	3,819	15.7	1.6
泌 尿 器 科	833	3.4	8,916	36.7	9,749	40.1	4.1
産 婦 人 科	761	3.1	12,130	49.9	12,891	53.0	5.4
眼 科	1,014	4.2	9,832	40.5	10,846	44.6	4.5
耳鼻咽喉科	1,228	5.0	9,495	39.1	10,723	44.1	4.5
放 射 線 科	156	0.6	7,955	32.7	8,111	33.4	3.4
麻 酔 科	73	1.4	117	2.3	190	3.7	0.1
リウマチ膠原病内科	271	1.1	8,662	35.5	8,933	36.6	3.7
歯科・歯科口腔外科	1,357	5.6	9,327	38.2	10,684	43.8	4.5
救 急 科	12,865	35.2					
合 計	27,436	112.4	224,300	919.3	238,871	979.0	100

ただし、心臓血管外科は、火曜日、金曜日の外来診療日数99日で除しています。

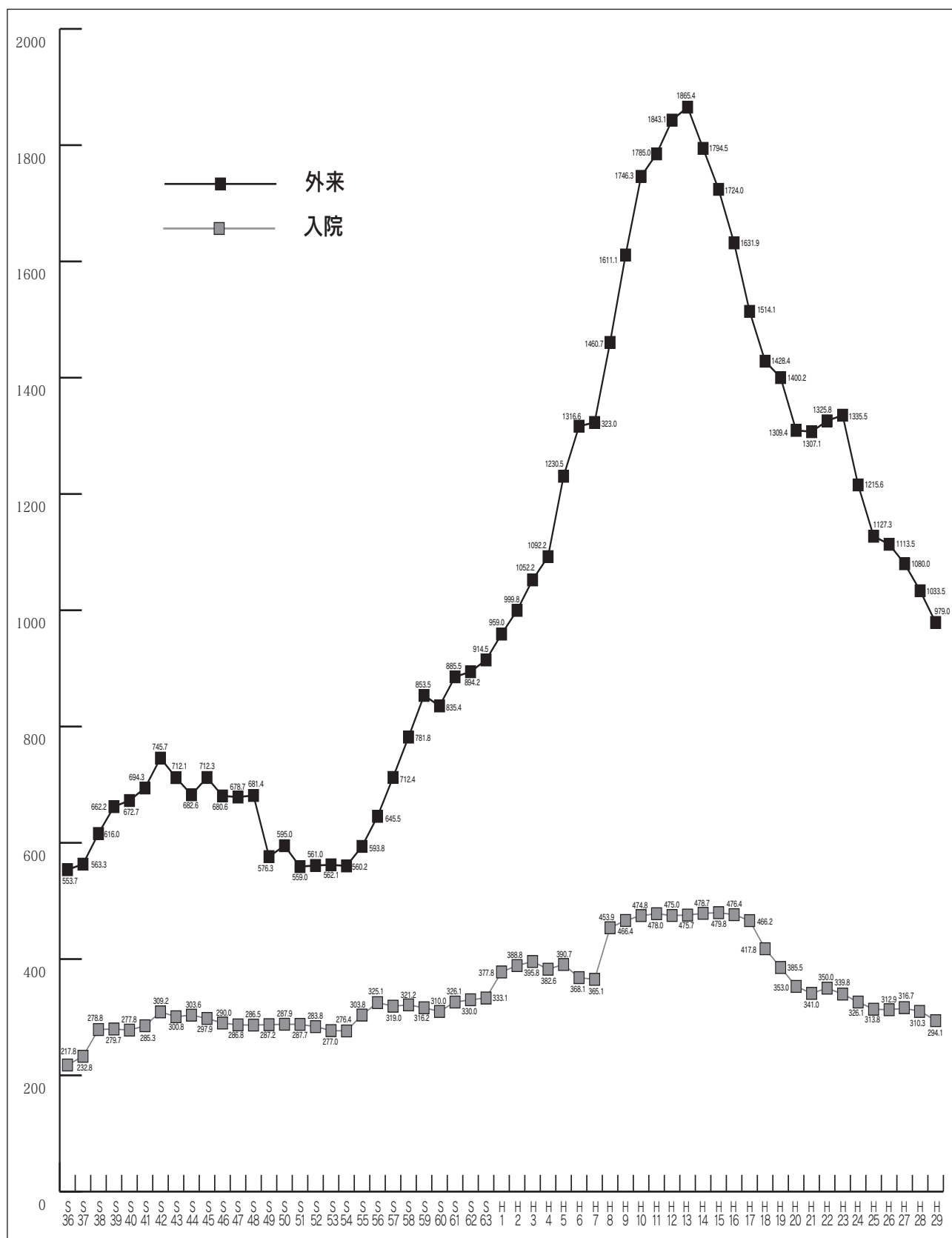
麻酔科は、火曜日の外来診療日51日で除しています。

救急科は、診療日365日で除しています。

一日平均患者数は、診療日数244日で除しています。

新来患者数は、当該診療科を初めて受診した患者数で示しています。

(4) 入院外来患者数の年次推移（一般病棟）



(5) - 1 入院地域別患者数統計表 (600床)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	780	611	523	460	604	542	465	480	611	785	770	711	7,342
六荘地区	491	619	534	752	834	692	734	714	802	744	796	726	8,438
南郷里地区	426	452	602	522	458	438	403	351	353	629	642	602	5,878
神照地区	872	940	915	673	764	732	624	525	577	761	757	984	9,124
北郷里地区	321	513	454	507	404	414	500	570	450	452	387	340	5,312
西黒田地区	241	238	180	203	245	230	190	200	151	149	289	166	2,482
神田地区	162	224	176	221	212	192	137	93	121	115	198	73	1,924
旧浅井町	816	913	772	615	594	530	446	503	492	574	772	786	7,813
旧虎姫町	214	266	269	218	252	361	394	353	262	239	231	361	3,420
旧湖北町	422	243	317	434	503	351	446	433	500	373	267	342	4,631
旧びわ町	529	488	481	226	265	302	339	364	264	233	352	334	4,177
旧高月町	729	649	355	255	356	275	444	475	356	392	564	749	5,599
旧木之本町	533	526	554	520	525	538	601	569	609	511	577	570	6,633
旧余呉町	197	135	105	287	125	115	56	61	45	42	158	177	1,503
旧西浅井町	232	200	207	260	221	222	218	266	207	186	162	158	2,539
計 長浜市	6,965	7,017	6,444	6,153	6,362	5,934	5,997	5,957	5,800	6,185	6,922	7,079	76,815
(%)	64.6	62.6	58.6	58.0	61.0	60.5	59.7	58.0	61.0	59.5	62.8	63.0	60.8
旧山東町	743	812	1,033	1,051	933	891	724	943	630	726	953	793	10,232
旧伊吹町	235	349	298	289	321	340	259	253	385	299	299	384	3,711
旧米原町	843	797	709	805	711	843	1,033	1,092	912	996	941	931	10,613
旧近江町	845	760	922	711	635	650	830	853	755	864	696	698	9,219
計 米原市	2,666	2,718	2,962	2,856	2,600	2,724	2,846	3,141	2,682	2,885	2,889	2,806	33,775
(%)	24.7	24.2	27.0	26.9	24.9	27.8	28.3	30.6	28.2	27.8	26.2	25.0	26.7
彦根市	777	1,031	1,090	1,098	1,096	784	795	839	711	934	813	952	10,920
(%)	7.2	9.2	9.9	10.3	10.5	8.0	7.9	8.2	7.5	9.0	7.4	8.5	8.6
そ の 他	250	307	349	309	215	277	293	272	265	305	376	323	3,541
(%)	2.3	2.7	3.2	2.9	2.1	2.8	2.9	2.6	2.8	2.9	3.4	2.9	2.8
県内合計	10,658	11,073	10,845	10,416	10,273	9,719	9,931	10,209	9,458	10,309	11,000	11,160	125,051
(%)	98.8	98.8	98.7	98.2	98.4	99.1	98.9	99.4	99.5	99.2	99.8	99.3	99.0
県外合計	131	136	143	195	162	93	115	65	45	84	19	78	1,266
(%)	1.2	1.2	1.3	1.8	1.6	0.9	1.1	0.6	0.5	0.8	0.2	0.7	1.0
総 合 計	10,789	11,209	10,988	10,611	10,435	9,812	10,046	10,274	9,503	10,393	11,019	11,238	126,317
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成28年度	11,050	11,134	11,026	12,600	12,352	10,925	10,899	10,584	11,228	10,901	10,584	11,442	134,725

*療養は含まれています。

*ドックは含まれていません。

*平成29年4月1日より、旧616床から、許可病床数600床(うち、一般病棟496床)にて変更届出しています。

*産後ケアは含まれていません。

(5) - 2 入院地域別患者数統計表 (496床)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	683	483	435	378	539	473	378	387	462	664	616	580	6,078
六荘地区	423	578	469	659	732	630	664	611	638	609	646	563	7,222
南郷里地区	366	371	533	479	443	395	372	332	310	588	586	509	5,284
神照地区	763	749	727	522	569	573	528	485	566	732	629	840	7,683
北郷里地区	276	482	420	469	348	318	382	413	313	352	281	234	4,288
西黒田地区	191	193	150	122	199	214	154	170	151	148	266	166	2,124
神田地区	102	162	115	101	117	116	75	36	90	84	143	34	1,175
旧浅井町	651	724	618	465	517	496	415	473	423	498	680	676	6,636
旧虎姫町	214	266	269	218	241	331	333	266	201	192	172	288	2,991
旧湖北町	407	223	281	363	377	225	364	394	481	333	248	313	4,009
旧びわ町	388	358	320	157	205	258	321	364	264	216	313	241	3,405
旧高月町	573	496	272	211	336	275	397	400	275	358	546	675	4,814
旧木之本町	427	402	376	378	401	387	466	462	509	360	442	446	5,056
旧余呉町	197	135	105	287	125	115	56	61	14	42	158	177	1,472
旧西浅井町	232	200	207	260	198	192	204	266	207	166	134	149	2,415
計 長浜市	5,893	5,822	5,297	5,069	5,347	4,998	5,109	5,120	4,904	5,342	5,860	5,891	64,652
(%)	64.8	61.4	57.4	57.1	60.2	59.7	59.7	57.5	60.6	59.2	62.4	62.4	60.2
旧山東町	628	757	913	945	830	773	586	848	577	676	853	701	9,087
旧伊吹町	179	287	221	214	281	310	228	223	354	231	243	292	3,063
旧米原町	677	701	636	762	678	773	940	1,003	814	923	885	856	9,648
旧近江町	704	560	712	444	408	488	622	671	540	638	465	479	6,731
計 米原市	2,188	2,305	2,482	2,365	2,197	2,344	2,376	2,745	2,285	2,286	2,446	2,328	28,347
(%)	24.1	24.3	26.9	26.7	24.7	28.0	27.7	30.8	28.3	25.3	26.1	24.7	26.4
彦根市	715	967	1,031	1,024	1,026	699	702	732	619	864	726	850	9,955
(%)	7.9	10.2	11.2	11.5	11.6	8.3	8.2	8.2	7.7	9.6	7.7	9.0	9.3
その他	206	276	328	282	207	247	262	242	234	266	334	292	3,176
(%)	2.3	2.9	3.6	3.2	2.3	2.9	3.1	2.7	2.9	2.9	3.6	3.1	3.0
県内合計	9,002	9,370	9,138	8,740	8,777	8,288	8,449	8,839	8,042	8,940	9,366	9,361	106,312
(%)	99.0	98.9	99.0	98.5	98.9	98.9	98.7	99.3	99.4	99.1	99.8	99.2	99.0
県外合計	94	105	94	133	100	90	115	65	45	84	19	78	1,022
(%)	1.0	1.1	1.0	1.2	1.0	1.0	1.3	0.7	0.5	0.9	0.2	0.8	1.0
総 合 計	9,096	9,475	9,232	8,873	8,877	8,378	8,564	8,904	8,087	9,024	9,385	9,439	107,334
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成28年度	9,209	9,367	9,253	10,715	10,371	9,194	9,134	8,902	9,447	9,182	8,853	9,645	113,272

* ドックは含まれていません。

* 平成29年4月1日より、旧512床から、許可病床数496床にて変更届出しています。

* 産後ケアは含まれていません。

(5)－3 入院地域別患者数統計表（療養 104床）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	97	128	88	82	65	69	87	93	149	121	154	131	1,264
六荘地区	68	41	65	93	102	62	70	103	164	135	150	163	1,216
南郷里地区	60	81	69	43	15	43	31	19	43	41	56	93	594
神照地区	109	191	188	151	195	159	96	40	11	29	128	144	1,441
北郷里地区	45	31	34	38	56	96	118	157	137	100	106	106	1,024
西黒田地区	50	45	30	81	46	16	36	30	0	1	23	0	358
神田地区	60	62	61	120	95	76	62	57	31	31	55	39	749
旧浅井町	165	189	154	150	77	34	31	30	69	76	92	110	1,177
旧虎姫町	0	0	0	0	11	30	61	87	61	47	59	73	429
旧湖北町	15	20	36	71	126	126	82	39	19	40	19	29	622
旧びわ町	141	130	161	69	60	44	18	0	0	17	39	93	772
旧高月町	156	153	83	44	20	0	47	75	81	34	18	74	785
旧木之本町	106	124	178	142	124	151	135	107	100	151	135	124	1,577
旧余呉町	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	31
旧西浅井町	0	0	0	0	23	30	14	0	0	20	28	9	124
計 長浜市	1,072	1,195	1,147	1,084	1,015	936	888	837	896	843	1,062	1,188	12,163
(%)	63.3	68.9	65.3	62.4	65.1	65.3	59.9	61.1	63.3	61.6	65.0	66.0	64.1
旧山東町	115	55	120	106	103	118	138	95	53	50	100	92	1,145
旧伊吹町	56	62	77	75	40	30	31	30	31	68	56	92	648
旧米原町	166	96	73	43	33	70	93	89	98	73	56	75	965
旧近江町	141	200	210	267	227	162	208	182	215	226	231	219	2,488
計 米原市	478	413	480	491	403	380	470	396	397	417	443	478	5,246
(%)	28.2	23.8	27.3	28.3	25.9	26.5	31.7	28.9	28.0	30.5	27.1	26.6	27.6
彦根市	62	64	59	74	70	85	93	107	92	70	87	102	965
(%)	3.7	3.7	3.4	4.3	4.5	5.9	6.3	7.8	6.5	5.1	5.3	5.7	5.1
その他	44	31	21	27	8	30	31	30	31	39	42	31	365
(%)	2.6	1.8	1.2	1.6	0.5	2.1	2.1	2.2	2.2	2.8	2.6	1.7	1.9
県内合計	1,656	1,703	1,707	1,676	1,496	1,431	1,482	1,370	1,416	1,369	1,634	1,799	18,739
(%)	97.8	98.2	97.2	96.4	96.0	99.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.7
県外合計	37	31	49	62	62	3	0	0	0	0	0	0	244
(%)	2.2	1.8	2.8	3.6	4.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
総 合 計	1,693	1,734	1,756	1,738	1,558	1,434	1,482	1,370	1,416	1,369	1,634	1,799	18,983
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

* ドックは含まれていません。

* 産後ケアは含まれていません。

(5)－4 入院地域別患者数統計表（医療 52床）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
市街地中心部	37	45	58	51	59	69	87	69	45	28	71	63	682
六 荘 地 区	61	26	19	13	44	31	25	39	64	46	66	76	510
南郷里地区	30	19	18	5	2	13	0	0	12	3	0	0	102
神 照 地 区	15	77	97	57	46	14	0	0	11	8	71	45	441
北郷里地区	45	31	34	38	55	39	40	49	38	38	50	52	509
西黒田地区	20	31	30	81	46	16	8	0	0	1	23	0	256
神 田 地 区	30	31	57	93	64	46	31	30	31	31	55	39	538
旧 浅 井 町	75	53	3	0	10	30	31	30	41	31	28	40	372
旧 虎 姫 町	0	0	0	0	0	0	7	0	0	16	10	3	36
旧 湖 北 町	15	6	6	34	64	62	13	9	19	40	19	9	296
旧 び わ 町	56	72	131	38	31	30	18	0	0	0	8	31	415
旧 高 月 町	79	62	0	0	0	0	0	0	26	3	6	12	188
旧 木 之 本 町	60	62	92	74	62	60	62	40	0	31	28	31	602
旧 余 呉 町	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	31
旧 西 浅 井 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	28	9	57
計 長 浜 市	523	515	545	484	483	410	322	266	318	296	463	410	5,035
(%)	63.0	64.4	66.7	61.9	67.3	70.6	62.5	56.6	64.9	57.3	67.6	60.0	63.8
旧 山 東 町	30	5	0	0	6	19	38	23	0	15	16	0	152
旧 伊 吹 町	43	62	77	75	40	30	31	30	31	53	28	61	561
旧 米 原 町	121	78	43	29	24	30	31	40	47	43	56	75	617
旧 近 江 町	67	107	121	163	134	62	62	60	62	71	84	93	1,086
計 米 原 市	261	252	241	267	204	141	162	153	140	182	184	229	2,416
(%)	31.4	31.5	29.5	34.1	28.4	24.3	31.5	32.6	28.6	35.2	26.9	33.5	30.6
彦 根 市	32	33	31	31	31	30	31	51	32	39	38	44	423
(%)	3.9	4.1	3.8	4.0	4.3	5.2	6.0	10.9	6.5	7.5	5.5	6.4	5.4
そ の 他	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
(%)	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
県 内 合 計	823	800	817	782	718	581	515	470	490	517	685	683	7,881
(%)	99.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.9
県 外 合 計	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
(%)	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
総 合 計	830	800	817	782	718	581	515	470	490	517	685	683	7,888
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

(5)－5 入院地域別患者数統計表（回復期リハビリ 52床）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
市街地中心部	60	83	30	31	6	0	0	24	104	93	83	68	582
六 荘 地 区	7	15	46	80	58	31	45	64	100	89	84	87	706
南郷里地区	30	62	51	38	13	30	31	19	31	38	56	93	492
神 照 地 区	94	114	91	94	149	145	96	40	0	21	57	99	1,000
北郷里地区	0	0	0	0	1	57	78	108	99	62	56	54	515
西黒田地区	30	14	0	0	0	0	28	30	0	0	0	0	102
神 田 地 区	30	31	4	27	31	30	31	27	0	0	0	0	211
旧 浅 井 町	90	136	151	150	67	4	0	0	28	45	64	70	805
旧 虎 姫 町	0	0	0	0	11	30	54	87	61	31	49	70	393
旧 湖 北 町	0	14	30	37	62	64	69	30	0	0	0	20	326
旧 び わ 町	85	58	30	31	29	14	0	0	0	17	31	62	357
旧 高 月 町	77	91	83	44	20	0	47	75	55	31	12	62	597
旧 木 之 本 町	46	62	86	68	62	91	73	67	100	120	107	93	975
旧 余 呉 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旧 西 浅 井 町	0	0	0	0	23	30	14	0	0	0	0	0	67
計 長 浜 市	549	680	602	600	532	526	566	571	578	547	599	778	7,128
(%)	63.6	72.8	64.1	62.8	63.3	61.7	58.5	63.4	62.4	64.2	63.1	69.7	64.2
旧 山 東 町	85	50	120	106	97	99	100	72	53	35	84	92	993
旧 伊 吹 町	13	0	0	0	0	0	0	0	0	15	28	31	87
旧 米 原 町	45	18	30	14	9	40	62	49	51	30	0	0	348
旧 近 江 町	74	93	89	104	93	100	146	122	153	155	147	126	1,402
計 米 原 市	217	161	239	224	199	239	308	243	257	235	259	249	2,830
(%)	25.1	17.2	25.5	23.4	23.7	28.0	31.9	27.0	27.8	27.6	27.3	22.3	25.5
彦 根 市	30	31	28	43	39	55	62	56	60	31	49	58	542
(%)	3.5	3.3	3.0	4.5	4.6	6.4	6.4	6.2	6.5	3.6	5.2	5.2	4.9
そ の 他	37	31	21	27	8	30	31	30	31	39	42	31	358
(%)	4.3	3.3	2.2	2.8	1.0	3.5	3.2	3.3	3.3	4.6	4.4	2.8	3.2
県 内 合 計	833	903	890	894	778	850	967	900	926	852	949	1,116	10,858
(%)	96.5	96.7	94.8	93.5	92.6	99.6	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	97.9
県 外 合 計	30	31	49	62	62	3	0	0	0	0	0	0	237
(%)	3.5	3.3	5.2	6.5	7.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1
総 合 計	863	934	939	956	840	853	967	900	926	852	949	1,116	11,095
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

*ドックは含まれていません。

*産後ケアは含まれていません。

(6)－1 入院年代別患者数統計表 (600床)

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0 歳	33	47	40	43	72	49	33	33	7	23	13	35	428
(%)	0.3	0.4	0.4	0.4	0.7	0.5	0.3	0.3	0.1	0.2	0.1	0.3	0.3
1 歳	14	35	46	45	31	32	5	8	3	5	2	0	226
(%)	0.1	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
2歳～ 5歳	14	54	51	58	87	49	17	49	11	31	23	11	455
(%)	151.0	0.5	0.5	0.5	0.8	0.5	0.2	0.5	0.1	0.3	0.2	0.1	0.4
6歳～ 9歳	24	27	24	23	34	21	5	46	11	16	16	21	268
(%)	175.0	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.0	0.4	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2
10歳～14歳	22	10	9	25	8	3	3	7	14	17	5	39	162
(%)	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.0	0.3	0.1
15歳～19歳	64	59	70	91	55	34	31	3	45	73	74	52	651
(%)	0.6	0.5	0.6	0.9	0.5	0.3	0.3	0.0	0.5	0.7	0.7	0.5	0.5
20歳～29歳	167	200	187	192	202	104	125	111	79	113	155	179	1,814
(%)	1.5	1.8	1.7	1.8	1.9	1.1	1.2	1.1	0.8	1.1	1.4	1.6	1.4
30歳～39歳	465	424	476	504	586	415	338	279	321	450	340	289	4,887
(%)	4.3	3.8	4.3	4.7	5.6	4.2	3.4	2.7	3.4	4.3	3.1	2.6	3.9
40歳～49歳	519	529	523	393	307	356	412	405	443	276	484	547	5,194
(%)	4.8	4.7	4.8	3.7	2.9	3.6	4.1	3.9	4.7	2.7	4.4	4.9	4.1
50歳～59歳	959	898	916	929	791	592	609	705	572	654	705	552	8,882
(%)	8.9	8.0	8.3	8.8	7.6	6.0	6.1	6.9	6.0	6.3	6.4	4.9	7.0
60歳～64歳	529	578	670	561	539	523	593	447	386	391	490	505	6,212
(%)	4.9	5.2	6.1	5.3	5.2	5.3	5.9	4.4	4.1	3.8	4.4	4.5	4.9
65歳～69歳	1,293	1,279	1,330	1,168	1,244	1,246	1,377	1,459	1,412	1,416	1,279	1,413	15,916
(%)	12.0	11.4	12.1	11.0	11.9	12.7	13.7	14.2	14.9	13.6	11.6	12.6	12.6
70歳～79歳	3,079	3,256	3,042	2,969	2,984	2,433	2,600	2,712	2,580	2,811	3,166	3,227	34,859
(%)	28.5	29.0	27.7	28.0	28.6	24.8	25.9	26.4	27.1	27.0	28.7	28.7	27.6
80歳～	3,607	3,813	3,604	3,610	3,495	3,955	3,898	4,010	3,619	4,117	4,267	4,368	46,363
(%)	33.4	34.0	32.8	34.0	33.5	40.3	38.8	39.0	38.1	39.6	38.7	38.9	36.7
合 計	10,789	11,209	10,988	10,611	10,435	9,812	10,046	10,274	9,503	10,393	11,019	11,238	126,317
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成28年度	11,050	11,134	11,026	12,600	12,352	10,925	10,899	10,584	11,228	10,901	10,584	11,442	134,725

*療養は含まれています。

*ドックは含まれていません。

*平成29年4月1日より、旧616床から、許可病床数600床（うち、一般病棟496床）にて変更届出しています。

*産後ケアは含まれていません。

(6)－2 入院年代別患者数統計表 (496床)

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0 歳	33	47	40	43	72	49	33	33	7	23	13	35	428
(%)	0.4	0.5	0.4	0.5	0.8	0.6	0.4	0.4	0.1	0.3	0.1	0.4	0.4
1 歳	14	35	46	45	31	32	5	8	3	5	2	0	226
(%)	0.2	0.4	0.5	0.5	0.3	0.4	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2
2歳～ 5歳	14	54	51	58	87	49	17	49	11	31	23	11	455
(%)	0.2	0.6	0.6	0.7	1.0	0.6	0.2	0.6	0.1	0.3	0.2	0.1	0.4
6歳～ 9歳	24	27	24	23	34	21	5	46	11	16	16	21	268
(%)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.1	0.5	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2
10歳～14歳	15	10	9	25	8	3	3	7	14	17	5	39	155
(%)	0.2	0.1	0.1	0.3	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.1	0.4	0.1
15歳～19歳	64	59	65	64	55	34	31	3	45	73	74	52	619
(%)	0.7	0.6	0.7	0.7	0.6	0.4	0.4	0.0	0.6	0.8	0.8	0.6	0.6
20歳～29歳	167	200	187	192	202	104	125	111	79	113	155	179	1,814
(%)	1.8	2.1	2.0	2.2	2.3	1.2	1.5	1.2	1.0	1.3	1.7	1.9	1.7
30歳～39歳	405	345	394	421	515	351	276	232	290	419	312	258	4,218
(%)	4.5	3.6	4.3	4.7	5.8	4.2	3.2	2.6	3.6	4.6	3.3	2.7	3.9
40歳～49歳	438	510	511	362	299	350	379	345	419	276	484	547	4,920
(%)	4.8	5.4	5.5	4.1	3.4	4.2	4.4	3.9	5.2	3.1	5.2	5.8	4.6
50歳～59歳	821	723	773	753	640	502	538	648	527	648	634	479	7,686
(%)	9.0	7.6	8.4	8.5	7.2	6.0	6.3	7.3	6.5	7.2	6.8	5.1	7.2
60歳～64歳	485	560	592	516	508	493	549	407	345	339	434	459	5,687
(%)	5.3	5.9	6.4	5.8	5.7	5.9	6.4	4.6	4.3	3.8	4.6	4.9	5.3
65歳～69歳	1,109	1,109	1,146	1,026	1,125	1,123	1,227	1,254	1,134	1,135	1,021	1,084	13,493
(%)	12.2	11.7	12.4	11.6	12.7	13.4	14.3	14.1	14.0	12.6	10.9	11.5	12.6
70歳～79歳	2,593	2,730	2,543	2,512	2,577	2,114	2,324	2,460	2,249	2,399	2,609	2,667	29,777
(%)	28.5	28.8	27.5	28.3	29.0	25.2	27.1	27.6	27.8	26.6	27.8	28.3	27.7
80歳～	2,914	3,066	2,851	2,833	2,724	3,153	3,052	3,301	2,953	3,530	3,603	3,608	37,588
(%)	32.0	32.4	30.9	31.9	30.7	37.6	35.6	37.1	36.5	39.1	38.4	38.2	35.0
合 計	9,096	9,475	9,232	8,873	8,877	8,378	8,564	8,904	8,087	9,024	9,385	9,439	107,334
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成28年度	9,209	9,367	9,253	10,715	10,371	9,194	9,134	8,902	9,447	9,182	8,853	9,645	113,272

* ドックは含まれていません。

* 平成29年4月1日より、旧512床から、許可病床数496床にて変更届出しています。

* 産後ケアは含まれていません。

(6)－3 入院年代別患者数統計表（療養 104床）

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2歳～ 5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6歳～ 9歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10歳～14歳	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
(%)	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
15歳～19歳	0	0	5	27	0	0	0	0	0	0	0	0	32
(%)	0.0	0.0	0.3	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
20歳～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳～39歳	60	79	82	83	71	64	62	47	31	31	28	31	669
(%)	3.5	4.6	4.7	4.8	4.6	4.5	4.2	3.4	2.2	2.3	1.7	1.7	3.5
40歳～49歳	81	19	12	31	8	6	33	60	24	0	0	0	274
(%)	4.8	1.1	0.7	1.8	0.5	0.4	2.2	4.4	1.7	0.0	0.0	0.0	1.4
50歳～59歳	138	175	143	176	151	90	71	57	45	6	71	73	1,196
(%)	8.2	10.1	8.1	10.1	9.7	6.3	4.8	4.2	3.2	0.4	4.3	4.1	6.3
60歳～64歳	44	18	78	45	31	30	44	40	41	52	56	46	525
(%)	2.6	1.0	4.4	2.6	2.0	2.1	3.0	2.9	2.9	3.8	3.4	2.6	2.8
65歳～69歳	184	170	184	142	119	123	150	205	278	281	258	329	2,423
(%)	10.9	9.8	10.5	8.2	7.6	8.6	10.1	15.0	19.6	20.5	15.8	18.3	12.8
70歳～79歳	486	526	499	457	407	319	276	252	331	412	557	560	5,082
(%)	28.7	30.3	28.4	26.3	26.1	22.2	18.6	18.4	23.4	30.1	34.1	31.1	26.8
80歳～	693	747	753	777	771	802	846	709	666	587	664	760	8,775
(%)	40.9	43.1	42.9	44.7	49.5	55.9	57.1	51.8	47.0	42.9	40.6	42.2	46.2
合 計	1,693	1,734	1,756	1,738	1,558	1,434	1,482	1,370	1,416	1,369	1,634	1,799	18,983
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

* ドックは含まれていません。

* 産後ケアは含まれていません。

(6)－4 入院年代別患者数統計表（医療 52床）

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
20歳～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳～39歳	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
(%)	3.6	3.9	3.7	4.0	4.3	5.2	6.0	6.4	6.3	6.0	4.1	0.0	4.6
40歳～49歳	30	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49
(%)	3.6	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
50歳～59歳	30	32	30	12	0	0	0	0	0	6	8	11	129
(%)	3.6	4.0	3.7	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	0.0	1.6
60歳～64歳	14	0	25	31	31	30	31	10	10	0	0	0	182
(%)	1.7	0.0	3.1	4.0	4.3	5.2	6.0	2.1	2.0	0.0	0.0	0.0	2.3
65歳～69歳	31	52	34	34	50	52	40	39	48	72	104	99	655
(%)	3.7	6.5	4.2	4.3	7.0	9.0	7.8	8.3	9.8	13.9	15.2	14.5	8.3
70歳～79歳	189	178	227	246	213	115	44	53	57	62	109	104	1,597
(%)	22.8	22.3	27.8	31.5	29.7	19.8	8.5	11.3	11.6	12.0	15.9	15.2	20.2
80歳～	506	488	471	428	393	354	369	338	344	346	436	438	4,911
(%)	61.0	61.0	57.6	54.7	54.7	60.9	71.7	71.9	70.2	66.9	63.6	64.1	62.3
合 計	830	800	817	782	718	581	515	470	490	517	685	683	7,888
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

(6)－5 入院年代別患者数統計表（回復期リハビリ 52床）

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
10歳～14歳	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
(%)	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
15歳～19歳	0	0	5	27	0	0	0	0	0	0	0	0	32
(%)	0.0	0.0	0.5	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
20歳～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳～39歳	30	48	52	52	40	34	31	17	0	0	0	0	304
(%)	3.5	5.1	5.5	5.4	4.8	4.0	3.2	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7
40歳～49歳	51	0	12	31	8	6	33	60	24	0	0	0	225
(%)	5.9	0.0	1.3	3.2	1.0	0.7	3.4	6.7	2.6	0.0	0.0	0.0	2.0
50歳～59歳	108	143	113	164	151	90	71	57	45	0	63	62	1,067
(%)	12.5	15.3	12.0	17.2	18.0	10.6	7.3	6.3	4.9	0.0	6.6	5.6	9.6
60歳～64歳	30	18	53	14	0	0	13	30	31	52	56	46	343
(%)	3.5	1.9	5.6	1.5	0.0	0.0	1.3	3.3	3.3	6.1	5.9	4.1	3.1
65歳～69歳	153	118	150	108	69	71	110	166	230	209	154	230	1,768
(%)	17.7	12.6	16.0	11.3	8.2	8.3	11.4	18.4	24.8	24.5	16.2	20.6	15.9
70歳～79歳	297	348	272	211	194	204	232	199	274	350	448	456	3,485
(%)	34.4	37.3	29.0	22.1	23.1	23.9	24.0	22.1	29.6	41.1	47.2	40.9	31.4
80歳～	187	259	282	349	378	448	477	371	322	241	228	322	3,864
(%)	21.7	27.7	30.0	36.5	45.0	52.5	49.3	41.2	34.8	28.3	24.0	28.9	34.8
合 計	863	934	939	956	840	853	967	900	926	852	949	1,116	11,095
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

*ドックは含まれていません。

*産後ケアは含まれていません。

(単位：人)

(7) 外来地域別患者数統計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	972	931	890	916	903	908	982	928	1,046	1,000	917	1,027	11,420
六荘地区	1,736	1,855	1,870	1,803	1,937	1,815	1,800	1,790	1,866	1,742	1,670	1,757	21,641
南郷里地区	1,165	1,182	1,298	1,305	1,342	1,285	1,204	1,197	1,230	1,207	1,145	1,263	14,823
神照地区	1,655	1,696	1,855	1,688	1,799	1,734	1,737	1,686	1,692	1,653	1,649	1,839	20,683
北郷里地区	651	696	683	647	722	652	713	772	676	658	642	676	8,188
西黒田地区	401	409	400	402	404	390	439	414	403	366	366	387	4,781
神田地区	229	254	205	231	280	208	221	241	214	215	214	216	2,728
旧浅井町	1,237	1,321	1,301	1,329	1,407	1,213	1,242	1,307	1,261	1,252	1,201	1,348	15,419
旧虎姫町	579	590	654	574	651	567	603	602	571	601	594	649	7,235
旧湖北町	743	767	821	810	768	743	780	787	802	695	784	780	9,280
旧びわ町	709	618	674	595	643	591	675	603	633	648	608	661	7,658
旧高月町	893	980	922	935	935	865	948	919	934	868	862	949	11,010
旧木之本町	703	684	662	647	734	617	748	669	686	593	567	709	8,019
旧余呉町	230	268	290	236	246	240	248	274	220	210	231	279	2,972
旧西浅井町	323	330	338	338	349	354	314	356	311	288	279	393	3,973
計 長浜市	12,226	12,581	12,863	12,456	13,120	12,182	12,654	12,545	12,545	11,996	11,729	12,933	149,830
(%)	63.6	62.1	62.4	62.7	62.5	62.4	62.4	62.7	62.7	63.4	63.2	62.6	62.7
旧山東町	1,413	1,658	1,615	1,618	1,670	1,560	1,670	1,544	1,477	1,387	1,385	1,636	18,633
旧伊吹町	529	544	562	517	641	593	601	594	661	609	519	594	6,964
旧米原町	1,332	1,467	1,509	1,461	1,544	1,478	1,469	1,589	1,639	1,349	1,393	1,478	17,708
旧近江町	1,165	1,197	1,234	1,207	1,303	1,254	1,271	1,225	1,261	1,209	1,124	1,264	14,714
計 米原市	4,439	4,866	4,920	4,803	5,158	4,885	5,011	4,952	5,038	4,554	4,421	4,972	58,019
(%)	23.1	24.0	23.8	24.2	24.6	25.0	24.7	24.8	25.2	24.1	23.8	24.1	24.3
彦根市	1,880	2,025	2,066	1,886	1,967	1,814	1,923	1,837	1,828	1,673	1,660	2,011	22,570
(%)	9.8	10.0	10.0	9.5	9.4	9.3	9.5	9.2	9.1	8.8	9.0	9.7	9.4
そ の 他	490	576	579	529	518	477	500	504	472	492	556	565	6,258
(%)	2.6	2.8	2.8	2.7	2.5	2.4	2.5	2.5	2.4	2.6	3.0	2.7	2.6
県内合計	19,035	20,048	20,428	19,674	20,763	19,358	20,088	19,838	19,883	18,715	18,366	20,481	236,677
(%)	99.1	99.0	99.0	99.0	98.9	99.1	99.0	99.2	99.4	99.0	99.0	99.2	99.1
県外合計	177	199	202	194	222	180	193	169	115	193	180	170	2,194
(%)	0.9	1.0	1.0	1.0	1.1	0.9	1.0	0.8	0.6	1.0	1.0	0.8	0.9
総 合 計	19,212	20,247	20,630	19,868	20,985	19,538	20,281	20,007	19,998	18,908	18,546	20,651	238,871
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成28年度	20,803	20,675	22,624	21,349	22,302	21,035	20,829	20,909	20,756	19,516	18,984	21,354	251,136

* ドックは含まれていません。

(8) 外来年代別患者数統計表

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0 歳	116	87	110	84	77	67	77	70	56	50	64	32	890
(%)	0.6	0.4	0.5	0.4	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.4
1 歳	82	90	89	88	70	63	62	68	54	56	46	32	800
(%)	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3
2歳～ 5歳	174	215	222	205	184	194	181	156	165	153	172	160	2,181
(%)	0.9	1.1	1.1	1.0	0.9	1.0	0.9	0.8	0.8	0.8	0.9	0.8	0.9
6歳～ 9歳	151	154	175	198	191	128	113	145	197	155	132	130	1,869
(%)	0.8	0.8	0.8	1.0	0.9	0.7	0.6	0.7	1.0	0.8	0.7	0.6	0.8
10歳～14歳	175	175	183	195	242	156	159	143	162	137	122	141	1,990
(%)	0.9	0.9	0.9	1.0	1.2	0.8	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7	0.8
15歳～19歳	175	204	216	224	340	216	200	166	222	234	243	283	2,723
(%)	0.9	1.0	1.0	1.1	1.6	1.1	1.0	0.8	1.1	1.2	1.3	1.4	1.1
20歳～29歳	565	679	649	591	681	600	579	600	533	653	644	700	7,474
(%)	2.9	3.4	3.1	3.0	3.2	3.1	2.9	3.0	2.7	3.5	3.5	3.4	3.1
30歳～39歳	975	996	986	931	1,092	1,002	985	997	1,039	1,029	979	990	12,001
(%)	5.1	4.9	4.8	4.7	5.2	5.1	4.9	5.0	5.2	5.4	5.3	4.8	5.0
40歳～49歳	1,470	1,622	1,760	1,549	1,632	1,578	1,683	1,736	1,769	1,587	1,578	1,696	19,660
(%)	7.7	8.0	8.5	7.8	7.8	8.1	8.3	8.7	8.8	8.4	8.5	8.2	8.2
50歳～59歳	2,193	2,415	2,329	2,274	2,517	2,271	2,333	2,410	2,470	2,205	2,156	2,358	27,931
(%)	11.4	11.9	11.3	11.4	12.0	11.6	11.5	12.0	12.4	11.7	11.6	11.4	11.7
60歳～64歳	1,455	1,504	1,599	1,528	1,558	1,430	1,629	1,543	1,521	1,409	1,383	1,535	18,094
(%)	7.6	7.4	7.8	7.7	7.4	7.3	8.0	7.7	7.6	7.5	7.5	7.4	7.6
65歳～69歳	2,740	2,730	2,836	2,909	2,936	2,772	2,727	2,772	2,762	2,574	2,503	2,749	33,010
(%)	14.3	13.5	13.7	14.6	14.0	14.2	13.4	13.9	13.8	13.6	13.5	13.3	13.8
70歳～79歳	5,252	5,371	5,589	5,288	5,510	5,186	5,568	5,292	5,228	4,939	5,004	5,744	63,971
(%)	27.3	26.5	27.1	26.6	26.3	26.5	27.5	26.5	26.1	26.1	27.0	27.8	26.8
80歳～	3,689	4,005	3,887	3,804	3,955	3,875	3,985	3,909	3,820	3,727	3,520	4,101	46,277
(%)	19.2	19.8	18.8	19.1	18.8	19.8	19.6	19.5	19.1	19.7	19.0	19.9	19.4
合 計	19,212	20,247	20,630	19,868	20,985	19,538	20,281	20,007	19,998	18,908	18,546	20,651	238,871
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成28年度	20,803	20,675	22,624	21,349	22,302	21,035	20,829	20,909	20,756	19,516	18,984	21,354	251,136

* ドックは含まれていません。

(9) 科別月別入院退院患者数

(単位：人)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院
内 科	54	51	61	58	76	61	51	69	62	64	61	58	54	56
血 液 内 科	3	7	3	5	3	5	1	5	3	5	6	9	2	3
内分泌代謝内科	49	43	57	52	72	55	49	63	58	58	55	49	52	53
神 経 内 科	4	8	9	4	10	12	4	5	10	5	6	12	9	8
呼 吸 器 内 科	83	77	70	71	67	67	75	67	71	75	60	52	71	66
循 環 器 内 科	74	76	87	77	106	102	91	93	102	86	95	104	118	103
小 児 科	24	23	42	35	30	33	34	37	43	41	31	34	15	15
外 科	53	53	58	58	49	59	49	48	72	68	57	61	55	56
呼 吸 器 外 科	29	33	26	24	33	30	27	33	43	41	32	36	25	26
整 形 外 科	75	71	78	79	55	70	71	63	74	75	62	57	78	67
形 成 外 科	1	1	2	2	5	4	3	3	3	4	1	2	6	5
脳 神 経 外 科	42	39	50	38	43	38	41	35	43	35	33	35	38	33
心 臓 血 管 外 科	31	36	38	35	30	27	37	31	27	38	24	28	32	28
泌 尿 器 科	38	37	31	35	22	22	28	22	38	41	40	39	45	39
産 婦 人 科	51	52	66	60	59	63	49	50	53	56	47	50	60	56
眼 科	33	35	42	38	60	60	59	59	44	41	36	41	46	45
耳 鼻 咽 喉 科	7	9	5	7	19	16	16	15	18	16	10	11	16	12
膠原病・リウマチ内科	6	9	10	4	13	7	9	14	5	8	11	9	8	7
歯 科 口 腔 外 科	23	24	25	23	22	23	17	19	21	20	25	25	26	24
小 計	628	634	700	648	699	694	661	663	729	714	631	654	702	646
健 診 セ ン タ ー	2	2	2	2	3	3	5	4	7	8	2	2	4	4
合 計	630	636	702	650	702	697	666	667	736	722	633	656	706	650
医 療 R 2	4	13	3	18	3	14	3	13	4	15	5	15	5	9
回復期リハ R 3	2	8	6	7	6	9	5	13	4	9	6	10	5	7
小 計	6	21	9	25	9	23	8	26	8	24	11	25	10	16
健診センター療養	1	1	2	2	3	3	6	5	5	6	2	2	3	3
合 計	7	22	11	27	12	26	14	31	13	30	13	27	13	19
総 合 計	637	658	713	677	714	723	680	698	749	752	646	683	719	669

	11月		12月		1月		2月		3月		合 計	
	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院
内 科	67	57	73	90	74	47	84	78	69	71	786	760
血 液 内 科	5	3	9	14	13	4	9	7	5	8	62	75
内分泌代謝内科	62	54	63	76	60	43	74	69	64	63	715	678
神 経 内 科	7	5	8	8	8	8	9	7	10	8	94	90
呼 吸 器 内 科	76	71	55	71	82	65	77	78	72	67	859	827
循 環 器 内 科	114	108	106	114	124	105	101	100	117	138	1,235	1,206
小 児 科	28	28	12	15	19	14	12	16	14	15	304	306
外 科	54	55	44	55	51	40	56	48	51	60	649	661
呼 吸 器 外 科	33	34	24	29	27	20	31	36	29	27	359	369
整 形 外 科	58	73	45	59	77	42	67	68	68	80	808	804
形 成 外 科	2	3	3	3	1	1	6	4	2	4	35	36
脳 神 経 外 科	39	34	39	37	57	40	51	51	45	46	521	461
心 臓 血 管 外 科	45	42	28	33	32	25	18	27	33	35	375	385
泌 尿 器 科	39	37	38	49	32	27	30	27	33	32	414	407
産 婦 人 科	53	57	58	57	69	56	55	62	50	59	670	678
眼 科	50	48	30	37	42	40	44	45	51	50	537	539
耳 鼻 咽 喉 科	15	16	12	13	17	14	17	13	16	17	168	159
膠原病・リウマチ内科	5	12	5	8	6	1	7	5	11	11	96	95
歯 科 口 腔 外 科	21	21	24	26	23	23	22	22	32	33	281	283
小 計	706	701	604	704	741	568	687	687	703	753	8,191	8,066
健 診 セ ン タ ー	3	3	3	3	3	3	1	1	3	3	38	38
合 計	709	704	607	707	744	571	688	688	706	756	8,229	8,104
医 療 R 2	4	12	4	10	5	9	5	12	6	13	51	153
回復期リハ R 3	4	14	3	14	3	3	6	5	5	10	55	109
小 計	8	26	7	24	8	12	11	17	11	23	106	262
健診センター療養	4	4	3	3	1	0	1	2	1	1	32	32
合 計	12	30	10	27	9	12	12	19	12	24	138	294
総 合 計	721	734	617	734	753	583	700	707	718	780	8,367	8,398

(10) 科別月別入院患者数

(単位：人)

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
診療日数	30		31		30		31		31		30		31	
	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均
内科	1,265	42.2	1,437	46.4	1,470	49.0	1,264	40.8	997	32.2	796	26.5	783	25.3
血液内科	610	20.3	543	17.5	456	15.2	358	11.6	273	8.8	142	4.7	133	4.3
腎臓代謝内科	602	20.1	825	26.6	969	32.3	874	28.2	684	22.1	624	20.8	619	20.0
神経内科	162	5.4	168	5.4	244	8.1	102	3.3	173	5.6	256	8.5	170	5.5
呼吸器内科	977	32.6	1,127	36.4	814	27.1	969	31.3	947	30.6	916	30.5	865	27.9
循環器科	684	22.8	596	19.2	753	25.1	823	26.6	795	25.7	852	28.4	863	27.9
小児科	82	2.7	169	5.5	167	5.6	154	5.0	195	6.3	152	5.1	52	1.7
外科	825	27.5	975	31.5	725	24.2	785	25.3	826	26.7	871	29.0	812	26.2
呼吸器外科	334	11.1	191	6.2	307	10.2	283	9.1	300	9.7	245	8.2	231	7.5
整形外科	1,943	64.8	1,918	61.9	1,718	57.3	1,650	53.2	1,845	59.5	1,805	60.2	2,066	66.7
形成外科	24	0.8	14	0.5	26	0.9	43	1.4	39	1.3	2	0.1	23	0.7
脳神経外科	1,033	34.4	1,071	34.6	1,047	34.9	842	27.2	918	29.6	881	29.4	974	31.4
心臓血管外科	522	17.4	517	16.7	478	15.9	547	17.7	547	17.7	365	12.2	369	11.9
泌尿器科	289	9.6	270	8.8	190	6.3	212	6.8	251	8.1	299	10.0	365	11.8
産婦人科	571	19.0	564	18.2	590	19.7	502	16.2	517	16.7	370	12.3	454	14.7
眼科	119	4.0	105	3.4	148	4.9	193	6.2	139	4.5	100	3.3	97	3.1
耳鼻咽喉科	97	3.2	64	2.1	128	4.3	127	4.1	142	4.6	116	3.9	85	2.7
膠原病・リウマチ内科	127	4.2	207	6.7	386	12.9	343	11.1	218	7.0	284	9.5	264	8.5
歯科口腔外科	42	1.4	82	2.7	41	1.4	34	1.1	28	0.9	68	2.3	91	2.9
小計	9,096	303.2	9,475	305.6	9,232	307.7	8,873	286.2	8,877	286.4	8,378	279.3	8,564	276.3
健診センター	2	0.1	2	0.1	3	0.1	5	0.2	7	0.2	2	0.1	4	0.1
合計	9,098	303.3	9,477	305.7	9,235	307.8	8,878	286.4	8,884	286.6	8,380	279.3	8,568	276.4
医 護 R 2	830	27.7	800	25.8	817	27.2	782	25.2	718	23.2	581	19.37	515	16.6
回リハ R 3	863	28.8	934	30.1	939	31.3	956	30.8	840	27.1	853	28.4	967	31.2
小計	1,693	56.4	1,734	55.9	1,756	58.5	1,738	56.1	1,558	50.3	1,434	47.8	1,482	47.8
健診センター療養	1	0.0	2	0.1	3	0.1	6	0.2	5	0.2	2	0.1	3	0.1
合計	1,694	56.5	1,736	56.0	1,759	58.6	1,744	56.3	1,563	50.4	1,436	47.9	1,485	47.9
総 合 計	10,792	359.7	11,213	361.7	10,994	366.5	10,622	342.6	10,447	337.0	9,816	327.2	10,053	324.3

月	11月		12月		1月		2月		3月		4-3月合計		直近3ヶ月	
診療日数	30		31		31		28		31		365		90	
	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均
内科	1,026	34.2	1,066	34.4	1,092	35.3	1,242	44.4	1,251	40.4	13,689	37.5	3,585	39.8
血液内科	251	8.4	218	7.0	276	8.9	348	12.4	362	11.7	3,970	10.9	986	11.0
腎臓代謝内科	745	24.9	809	26.1	758	24.5	852	30.4	858	27.7	9,219	25.3	2,468	27.4
神経内科	176	5.9	178	5.7	171	5.5	152	5.4	217	7.0	2,169	5.9	540	6.0
呼吸器内科	1,113	37.1	1,009	32.6	1,224	39.5	1,049	37.5	1,029	33.2	12,039	33.0	3,302	36.7
循環器科	928	30.9	983	31.7	1,274	41.1	1,095	39.1	1,038	33.5	10,684	29.3	3,407	37.9
小児科	115	3.8	38	1.2	45	1.5	37	1.3	51	1.7	1,257	3.4	133	1.5
外科	821	27.4	671	21.7	599	19.3	682	24.4	822	26.5	9,414	25.8	2,103	23.4
呼吸器外科	240	8.0	201	6.5	248	8.0	264	9.4	238	7.7	3,082	8.4	750	8.3
整形外科	1,844	61.7	1,376	44.39	1,606	51.8	2,012	71.9	1,955	63.1	21,738	59.6	5,573	61.9
形成外科	19	0.6	21	0.7	11	0.4	50	1.8	32	1.0	304	0.8	93	1.0
脳神経外科	907	30.2	915	29.5	1,083	34.9	1,101	39.3	993	32.0	11,765	32.2	3,177	35.3
心臓血管外科	482	16.1	539	17.4	495	16.0	448	16.0	504	16.3	5,813	15.9	1,447	16.1
泌尿器科	365	12.2	356	11.5	307	9.9	284	10.1	358	11.6	3,546	9.7	949	10.5
産婦人科	368	12.3	473	15.3	599	19.3	500	17.9	392	12.7	5,900	16.2	1,491	16.6
眼科	103	3.4	93	3.0	76	2.5	107	3.8	141	4.6	1,421	3.9	324	3.6
耳鼻咽喉科	90	3.0	63	2.0	92	3.0	104	3.7	104	3.4	1,212	3.3	300	3.3
膠原病・リウマチ内科	240	8.0	56	1.8	33	1.1	195	7.0	242	7.8	2,595	7.1	470	5.2
歯科口腔外科	67	2.2	49	1.6	69	2.2	63	2.3	72	2.3	706	1.9	204	2.3
小計	8,904	296.8	8,087	260.9	9,024	291.1	9,385	335.2	9,439	304.5	107,334	294.1	27,848	309.4
健診センター	3	0.1	3	0.1	3	0.1	1	0.0	3	0.1	38	0.1	7	0.1
合計	8,907	296.9	8,090	261.0	9,027	291.2	9,386	335.2	9,442	304.6	107,372	294.2	27,855	309.5
医 護 R 2	470	15.7	490	15.8	517	16.7	685	24.5	683	22.0	7,888	21.6	1,885	20.9
回リハ R 3	900	30.0	926	29.9	852	27.5	949	33.9	1,116	36.0	11,095	30.4	2,917	32.4
小計	1,370	45.7	1,416	45.7	1,369	44.2	1,634	58.4	1,799	58.0	18,983	52.0	4,802	53.4
健診センター療養	4	0.1	3	0.1	1	0.0	1	0.0	1	0.0	32	0.1	3	0.0
合計	1,374	45.8	1,419	45.8	1,370	44.2	1,635	58.4	1,800	58.1	19,015	52.1	4,805	53.4
総 合 計	10,281	342.7	9,509	306.7	10,397	335.4	11,021	393.6	11,242	362.6	126,387	346.3	32,660	362.9

(11) 科別月別外来患者数

(単位：人)

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
診療日数	20		20		22		20		20		22		20	
	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均
内科	4,376	218.8	4,630	231.5	4,435	201.6	4,459	223.0	4,773	217.0	4,205	210.3	4,278	203.7
血液内科	363	18.2	411	20.6	389	17.7	359	18.0	424	19.3	225	11.3	206	9.8
腎臓代謝内科	1,645	82.3	1,631	81.6	1,600	72.7	1,567	78.4	1,739	79.1	1,641	82.1	1,691	80.5
透析内科	1,532	76.6	1,689	84.5	1,629	74.1	1,613	80.7	1,615	73.4	1,578	78.9	1,613	76.8
心療内科	64	3.2	50	2.5	61	2.8	51	2.6	76	3.5	57	2.9	55	2.6
神経内科	424	21.2	456	22.8	462	21.0	440	22.0	439	20.0	417	20.9	447	21.3
呼吸器内科	868	43.4	976	48.8	931	42.3	959	48.0	971	44.1	916	45.8	1,045	49.8
消化器科	193	9.7	262	13.1	329	15.0	317	15.9	383	17.4	323	16.2	336	16.0
循環器科	1,615	80.8	1,618	80.9	1,689	76.8	1,576	78.8	1,660	75.5	1,587	79.4	1,703	81.1
小児科	448	22.4	493	24.7	521	23.7	528	26.4	487	22.1	406	20.3	415	19.8
外科	929	46.5	928	46.4	995	45.3	1,037	51.9	1,106	50.3	1,098	54.9	1,083	51.6
呼吸器外科	377	18.9	345	17.3	331	15.1	319	16.0	338	15.4	335	16.8	359	17.1
整形外科	2,860	143.0	3,054	152.7	2,960	134.6	2,891	144.6	3,138	142.6	2,908	145.4	2,992	142.5
形成外科	297	14.9	295	14.8	361	16.4	349	17.5	308	14.0	336	16.8	250	11.9
脳神経外科	513	25.7	503	25.2	477	21.7	510	25.5	550	25.0	455	22.8	442	21.1
心臓血管外科	328	41.0	319	39.9	354	39.3	304	33.8	286	31.8	343	38.1	375	41.7
皮膚科	308	15.4	349	17.5	359	16.3	322	16.1	409	18.6	332	16.6	307	14.6
泌尿器科	807	40.4	794	39.7	839	38.1	810	40.5	835	38.0	929	46.5	880	41.9
産婦人科	976	48.8	1,181	59.1	1,242	56.5	982	49.1	1,121	51.0	1,066	53.3	1,084	51.6
眼科	876	43.8	954	47.7	1,026	46.6	936	46.8	945	43.0	878	43.9	935	44.5
耳鼻咽喉科	945	47.3	907	45.4	900	40.9	931	46.6	979	44.5	687	34.4	809	38.5
放射線科	162	8.1	187	9.4	228	10.4	169	8.5	182	8.3	162	8.1	169	8.1
麻酔・ペイン	10	2.5	15	3.8	17	4.3	17	4.3	19	3.8	10	2.5	20	4.0
膠原病・リウマチ内科	627	31.4	684	34.2	674	30.6	673	33.7	764	34.7	784	39.2	819	39.0
放射線治療科	448	22.4	481	24.1	500	22.7	424	21.2	425	19.3	500	25.0	653	31.1
歯科口腔外科	825	41.3	816	40.8	1,000	45.5	915	45.8	867	39.4	861	43.1	880	41.9
小計	19,212	960.6	20,247	1,012.4	20,630	937.7	19,868	993.4	20,985	953.9	19,538	976.9	20,281	965.8
健診センター	145	7.3	229	11.5	304	13.8	281	14.1	284	12.9	254	12.7	279	13.3
合計	19,357	967.9	20,476	1,023.8	20,934	951.5	20,149	1,007.5	21,269	966.8	19,792	989.6	20,560	979.0
総合計	19,357	967.9	20,476	1,023.8	20,934	951.5	20,149	1,007.5	21,269	966.8	19,792	989.6	20,560	979.0

月	11月		12月		1月		2月		3月		4-3月合計		直近3ヶ月	
診療日数	20		20		19		19		21		244		59	
	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均
内科	4,320	216.0	4,611	230.6	4,633	243.8	4,313	227.0	4,675	222.6	53,708	220.1	13,621	230.9
血液内科	215	10.8	210	10.5	161	8.5	174	9.2	209	10.0	3,346	13.7	544	9.2
腎臓代謝内科	1,657	82.9	1,868	93.4	1,526	80.3	1,533	80.7	1,775	84.5	19,873	81.5	4,834	81.9
透析内科	1,615	80.8	1,647	82.4	1,701	89.5	1,526	80.3	1,676	79.8	19,434	79.7	4,903	83.1
心療内科	71	3.6	56	2.8	34	1.8	48	2.5	61	2.9	684	2.8	143	2.4
神経内科	407	20.4	407	20.4	406	21.4	399	21.0	488	23.2	5,192	21.3	1,293	21.9
呼吸器内科	1,019	51.0	1,043	52.2	1,030	54.2	887	46.7	1,044	49.7	11,689	47.9	2,961	50.2
消化器科	335	16.8	325	16.3	307	16.2	263	13.9	348	16.6	3,721	15.3	918	15.6
循環器科	1,567	78.4	1,603	80.2	1,539	81.0	1,498	78.9	1,753	83.5	19,408	79.5	4,790	81.2
小児科	417	20.9	408	20.4	408	21.5	413	21.8	321	15.3	5,265	21.6	1,142	19.4
外科	1,079	54.0	1,030	51.5	932	49.1	901	47.5	1,065	50.7	12,183	49.9	2,898	49.1
呼吸器外科	352	17.6	358	17.9	287	15.1	303	16.0	320	15.2	4,024	16.5	910	15.4
整形外科	2,822	141.1	2,814	140.7	2,593	136.5	2,740	144.2	2,994	142.6	34,766	142.5	8,327	141.1
形成外科	275	13.8	274	13.7	233	12.3	226	11.9	245	11.7	3,449	14.1	704	11.9
脳神経外科	438	21.9	485	24.3	474	25.0	440	23.2	532	25.3	5,819	23.9	1,446	24.5
心臓血管外科	287	41.0	294	42.0	281	35.1	230	28.8	300	33.3	3,701	37.4	811	32.4
皮膚科	314	15.7	281	14.1	260	13.7	250	13.2	328	15.6	3,819	15.7	838	14.2
泌尿器科	802	40.1	812	40.6	720	37.9	752	39.6	769	36.6	9,749	40.0	2,241	38.0
産婦人科	1,142	57.1	1,071	53.6	957	50.4	938	49.4	1,131	53.9	12,891	52.8	3,026	51.3
眼科	893	44.7	867	43.4	759	40.0	826	43.5	951	45.3	10,846	44.5	2,536	43.0
耳鼻咽喉科	964	48.2	870	43.5	914	48.1	903	47.5	914	43.5	10,723	44.0	2,731	46.3
放射線科	165	8.3	152	7.6	150	7.9	140	7.4	190	9.1	2,056	8.4	480	8.1
麻酔・ペイン	19	4.8	12	3.0	20	5.0	19	4.8	12	3.0	190	3.7	51	4.3
膠原病・リウマチ内科	815	40.8	815	40.8	720	37.9	740	39.1	818	39.0	8,933	36.6	2,278	38.6
放射線治療科	677	33.9	547	27.4	439	23.1	445	23.4	516	24.6	6,055	24.8	1,400	23.7
歯科口腔外科	898	44.9	919	46.0	846	44.5	920	48.4	937	44.6	10,684	43.8	2,703	45.8
小計	20,007	1,000.4	19,998	999.9	18,908	995.2	18,546	976.1	20,651	983.4	238,871	979.0	58,105	984.8
健診センター	268	13.4	209	10.5	201	10.6	252	13.3	168	8.0	2,874	11.8	621	10.5
合計	20,275	1,013.8	20,207	1,010.4	19,109	1,005.7	18,798	989.4	20,819	991.4	241,745	990.8	58,726	995.4
総合計	20,275	1,013.8	20,207	1,010.4	19,109	1,005.7	18,798	989.4	20,819	991.4	241,745	990.8	58,726	995.4

(12) 時間内患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成29年度計	平成28年度計
日 数 (日)	21	20	22	20	22	20	21	20	19	19	19	21	244	243
救急室対応 患 者 数	270	283	278	291	376	254	281	286	292	398	354	346	3,709	3,446
救急室対応 1日平均患者数	12.9	14.2	12.6	14.6	17.1	12.7	13.4	14.3	15.4	20.9	18.6	16.5	15.2	14.2
各科外来対応 患 者 数	36	25	30	27	28	27	29	23	25	38	60	25	373	355
各科外来対応 1日平均患者数	1.7	1.3	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4	1.2	1.3	2	3.2	1.2	1.5	1.5
患者数の内 一般	69	63	64	63	88	64	67	74	74	100	82	83	891	800
重症患者数(入院) お産													0	1
患者数の内 救 急 車	70	71	73	85	93	65	74	82	87	115	107	89	1011	917
患者数の内 交 通 事 故	4	3	7	10	11	13	11	8	9	14	6	13	109	135
合 計	306	308	308	318	404	281	310	309	317	436	414	371	4,082	3,801
1日平均患者数	14.6	15.4	14.0	15.9	18.4	14.1	14.8	15.5	16.7	22.9	21.8	17.7	16.7	15.6

(13) 休日患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成29年度計	平成28年度計
日 数 (日)	9	11	8	11	9	10	10	10	12	12	9	10	121	122
患 者 数	205	345	181	317	230	275	240	250	339	474	332	246	3,434	4,141
患者数の内 一般	22	34	17	32	24	31	24	27	33	52	43	22	361	420
重症患者数(入院) お産	1	1		1	1						2	1	7	6
患者数の内 救 急 車	31	36	31	48	37	38	37	41	39	63	41	30	472	480
患者数の内 交 通 事 故	3	9	4	5	12	8	5	13	11	19	3	3	95	91
1日平均患者数	22.8	31.4	22.6	28.8	25.6	27.5	24.0	25.0	28.3	39.5	36.9	24.6	28.4	33.9

(14) 夜間患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成29年度計	平成28年度計
日 数 (日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	365
患 者 数	570	694	595	722	655	545	574	493	520	837	663	621	7,489	8,935
患者数の内 一般	77	82	81	81	69	59	69	70	51	98	69	75	881	970
重症患者数(入院) お産	5	7	4	6	7	3	11	5	1	7	4		60	99
患者数の内 救 急 車	101	108	109	125	122	94	119	108	122	167	98	130	1403	1271
患者数の内 交 通 事 故	19	32	14	25	24	13	16	12	21	28	10		214	230
1日平均患者数	19.0	22.4	19.8	23.3	21.1	18.2	18.5	16.4	16.8	27.0	23.7	20.0	20.5	24.5

(15) 救急車利用状況（病院救急車による患者搬送状況）

搬送月	件数	搬送エリア			診 療 科										時間外 搬送件数		患者費 用負担 件数
		長浜 市内	滋賀 県内	滋賀 県外	外科	脳外	泌尿器	心外	腎臓	血内	リウマチ	産婦	救急	療養	時外	休日	
4月	4		4			1		2	1								1
5月	5	3	2		1			2					2				
6月	3	2	1			1						1	1				
7月	3	1	2					3									
8月	7	4	1	2		1		3			1		2			1	1
9月	7	2	4	1	2			3					1	1			1
10月	7	4	3				1	5					1				1
11月	3		3			1		2									1
12月	3		2	1		1		1		1							
1月	6	4	2					2	2			1	1		1		
2月	1		1					1									
3月	3		3					3									
計	52	20	28	4	3	5	1	27	3	1	1	2	8	1	1	5	5

(搬送先医療機関名)

長浜市内・・・長浜市立湖北病院・長浜赤十字病院

滋賀県内・・・滋賀医科大学医学部附属病院・彦根市立病院・近江八幡市立総合医療センター・
友仁山崎病院・彦根中央病院

滋賀県外・・・福井医科大学医学部附属病院・大垣市民病院・音羽記念病院・京都医療センター

2. ICU・CCU業務状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度総計
延 稼 働 床		110	149	114	130	89	76	140	142	139	154	113	136	1,492
入 院		5	12	7	12	7	6	8	12	11	14	12	13	119
転 入		25	24	27	19	33	27	27	24	26	27	24	30	313
退 院		2	3	1	2	2	1	3	3	4	2	2	3	28
転 出		30	31	36	30	35	36	30	31	35	36	37	41	408
平 均 患 者 数		3.7	4.8	3.8	4.2	2.9	2.5	4.5	4.7	4.5	5	4	4.4	4.1
在 室 日 数		3.5	4.3	3.2	4.1	2.3	2.2	4.1	4.1	3.7	3.9	3	3.1	3.4
占 床 率 (%)		45.8	60.1	47.5	52.4	35.9	31.7	56.5	59.2	56	62.1	50.4	54.8	51.1
科 名	入 室 内 訳													
内 科	入室患者数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	延 患 者 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎 臓 代 謝 内 科	入室患者数	2	2	2	0	0	1	4	0	2	2	1	1	17
	延 患 者 数	4	2	5	2	0	1	3	0	3	13	0	3	36
血 液 内 科	入室患者数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	延 患 者 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼 吸 器 内 科	入室患者数	1	3	0	0	2	0	0	1	0	0	1	1	9
	延 患 者 数	1	22	0	0	2	0	3	16	0	0	3	7	54
呼 吸 器 外 科	入室患者数	3	1	3	2	10	8	2	3	3	4	2	5	46
	延 患 者 数	9	0	3	2	10	7	2	3	2	2	2	22	64
循 環 器 内 科	入室患者数	3	5	6	7	3	8	7	6	7	11	10	4	77
	延 患 者 数	9	16	14	16	9	23	52	30	37	46	35	16	303
外 科	入室患者数	1	0	1	1	0	2	1	2	3	1	3	3	18
	延 患 者 数	2	0	1	1	3	5	4	1	14	12	4	3	50
整 形 外 科	入室患者数	2	0	1	2	2	0	2	0	2	1	2	3	17
	延 患 者 数	2	0	1	3	1	0	2	0	2	1	2	3	17
脳 神 経 外 科	入室患者数	5	7	6	4	6	4	4	3	5	5	3	8	60
	延 患 者 数	5	13	24	3	18	7	6	2	13	4	4	18	117
心 臓 血 管 外 科	入室患者数	12	17	14	15	15	9	15	18	14	16	11	16	172
	延 患 者 数	76	96	64	103	45	32	67	87	67	75	58	62	832
泌 尿 器 科	入室患者数	0	0	0	0	1	1	1	3	1	1	1	0	9
	延 患 者 数	0	0	0	0	1	1	1	3	1	1	1	0	9
産 婦 人 科	入室患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	延 患 者 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4
耳鼻咽喉科	入室患者数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	延 患 者 数	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
歯科口腔外科	入室患者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
	延 患 者 数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4
予 定 術 後		19	19	24	17	28	21	18	21	20	16	17	19	239
緊 急 術 後		1	3	3	0	6	4	5	5	5	7	4	10	53
入 院		5	12	7	12	7	5	8	12	11	14	12	13	118
緊 急 入 室		6	5	4	2	4	5	10	3	5	9	5	11	69
心 カ テ 総 数		3	5	6	6	2	5	4	5	5	7	10	2	60
経皮的冠動脈形成術後		1	4	5	5	2	4	3	4	2	7	7	2	46
緊 急 カ テ 数		2	4	5	5	2	3	2	4	4	7	10	2	50
予 定 カ テ 数		1	1	1	1	0	2	2	1	1	0	0	0	10
造 影 の み		2	1	1	1	0	1	1	1	3	0	3	0	14
特 殊 治 療														
C H D F		5	4	3	1	1	1	4	2	6	4	3	5	39
C H D F 延 日 数		16	26	11	6	3	8	40	14	44	50	8	16	242
H D		3	1	1	3	0	3	7	1	1	2	1	0	23
H D 延 日 数		19	10	1	7	0	4	11	11	1	3	2	0	69
低 体 温 療 法		0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	2	0	7
低 体 温 療 法 延 日 数		0	0	0	0	0	3	3	3	2	0	5	0	16
I A B P		0	2	1	0	2	1	2	3	1	3	1	0	16
I A B P 延 日 数		0	4	3	0	5	8	6	20	8	10	5	0	69
体外式ベースメーカー		4	4	4	3	3	2	6	4	9	3	5	6	53
体外式ベースメーカー延日数		4	17	24	13	6	6	19	10	32	15	19	19	199
P C P S		0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	1	0	5
P C P S 延 日 数		0	0	0	0	0	8	0	9	5	0	4	0	26
血 漿 交 換		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
血 漿 交 換 延 日 数		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
呼 吸 器 使 用		0	12	6	3	8	7	14	14	13	13	11	13	129
呼吸器使用延日数		52	68	18	15	13	22	58	59	64	54	36	50	509
呼吸器(バイパップ)		0	4	1	0	1	2	6	1	2	5	2	2	26
呼吸器(バイパップ)延日数		0	19	21	21	2	2	22	2	7	15	4	4	119

3. 手術業務状況

(1) 各科別手術実施件数（中央手術室実施分）

前年度比		外科	眼科	形成外科	呼吸器 外科	産婦人科	歯科口腔 外科	耳鼻咽喉 科	心臓血管 外科	整形外科	脳神経 外科	泌尿器科	総数
		H28 H29	H28 H29	H28 H29	H28 H29	H28 H29	H28 H29	H28 H29	H28 H29	H28 H29	H28 H29	H28 H29	H28 H29
4月	件数	28 30	65 67	8 9	10 15	17 20	46 34	13 5	33 28	86 90	13 6	20 25	339 329
	前年度比(%)	107	103	113	150	118	74	38	85	105	46	125	97
5月	件数	30 23	77 78	12 10	5 10	18 33	49 36	8 6	31 33	84 88	9 8	22 16	345 341
	前年度比(%)	77	101	83	200	183	73	7	106	105	89	73	99
6月	件数	42 30	94 99	15 11	10 8	19 31	64 44	11 14	29 29	102 70	13 9	20 13	419 358
	前年度比(%)	71	105	73	80	163	69	127	100	69	69	65	85
7月	件数	41 27	78 93	13 9	10 15	26 24	62 36	13 10	30 21	106 83	9 10	25 19	413 347
	前年度比(%)	66	119	69	150	92	58	77	70	78	111	76	84
8月	件数	42 35	92 86	20 11	14 17	29 20	49 35	16 12	30 27	88 86	9 16	25 21	414 366
	前年度比(%)	83	93	55	121	69	71	75	90	98	178	84	88
9月	件数	23 34	70 69	10 13	14 15	29 25	59 37	10 9	31 22	85 67	6 7	25 26	362 324
	前年度比(%)	148	99	130	107	86	63	90	71	79	117	104	90
10月	件数	27 41	89 84	15 12	7 6	25 27	58 40	10 12	24 31	88 91	8 7	20 27	371 378
	前年度比(%)	152	94	80	86	108	69	120	129	103	88	135	102
11月	件数	31 29	87 82	16 12	12 8	29 23	55 32	7 9	34 34	92 66	10 3	19 19	392 317
	前年度比(%)	94	94	75	67	79	58	129	100	72	30	100	81
12月	件数	29 30	73 60	10 11	16 10	26 26	47 33	9 8	37 30	78 56	11 14	24 26	360 304
	前年度比(%)	103	82	110	63	100	70	89	81	72	127	108	84
1月	件数	29 24	69 87	8 11	13 8	23 27	53 36	19 11	30 26	84 82	13 6	19 18	360 336
	前年度比(%)	83	126	138	62	117	68	58	87	98	46	95	93
2月	件数	25 25	84 84	11 10	13 8	24 27	62 38	11 13	32 23	67 95	10 8	23 15	362 346
	前年度比(%)	100	100	91	62	113	61	118	72	142	80	65	96
3月	件数	30 34	78 88	10 3	7 14	36 23	50 40	14 17	37 27	89 84	9 10	26 17	386 357
	前年度比(%)	113	11	30	200	64	80	121	73	94	111	65	92
合計	件数	377 362	956 977	148 122	131 134	301 306	654 441	141 126	378 331	1049 958	120 104	268 242	4523 4103
	前年度比(%)	96	102	82	102	102	67	89	88	91	87	90	91

(2) 外来手術件数（入院中外来を含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外 形 外 科	9	12	19	12	5	14	23	18	14	11	5	11	144
整 形 外 科	47	48	36	55	44	26	50	35	30	38	65	41	515
産 婦 人 科	5	4	3	2	4	7	7	11	4	7	10	3	67
耳 鼻 咽 喉 科	10	18	16	7	11	8	13	11	10	9	11	14	138
泌 尿 器 科	16	12	5	8	11	15	9	12	12	6	3	3	112
眼 科	12	18	19	18	20	20	10	19	15	11	10	14	186
脳 神 経 外 科	29	16	27	10	21	17	21	16	24	25	17	34	257
歯 科 口 腔 外 科	136	119	188	179	134	172	181	149	158	159	187	159	1,921
呼 吸 器 外 科	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3
形 成 外 科	48	62	65	74	49	68	64	53	44	42	29	47	645
心 臓 血 管 外 科	4	8	10	12	6	5	6	7	7	6	7	4	82
皮 膚 科	0	0	0	1	0	4	2	1	0	1	0	0	9
麻 酔 科 ・ ペ ー ン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	4	12	22	8	11	11	12	12	11	10	4	12	129
計	320	329	410	386	316	368	400	344	329	325	348	342	4,208

(3) その他内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
小 児 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼 吸 器 内 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
循 環 器 科	0	0	2	0	0	1	0	3	3	0	4	4	17
消 化 器 科	4	10	18	8	8	10	10	9	2	8	0	8	95
放 射 線 診 断 科	0	2	0	0	0	0	2	0	4	0	0	0	8
放 射 線 治 療 科	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
腎 臓 代 謝 内 科	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	4
計	4	12	22	8	11	11	12	12	11	10	4	12	129

上記(2)、(3)については、医事システムに入力のあった手術の算定件数です。
件数には点数表の手術の部に掲げられている全ての手術を含みます。

4. 健診センター利用状況

1. 稼動日数 半日コース（健診・日帰りドック） 242日（月～金曜日）
 入院ドック（一泊・専門ドック） 91日（月・水曜日）

2. 受診者人数

(1) 月 別

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般健診(協会)	65	121	127	111	121	96	103	93	79	95	108	42	1,161
一般健診	2	10	8	11	10	9	13	23	12	12	3	16	129
一般健診+付加健診(協会)	4	4	8	6	4	8	16	9	6	0	6	1	72
一般健診+追加健診(協会)	12	8	20	15	5	11	25	14	7	2	15	1	135
日帰りドック	58	68	124	117	127	105	95	110	73	72	109	101	1,159
1泊人間ドック	1	3	1	4	8	2	2	3	3	2	0	2	31
脳ドック	2	1	1	0	1	1	2	2	0	1	0	1	12
1泊+脳ドック	0	0	4	7	3	1	3	2	3	1	2	1	27
その他の健診・主婦健診	1	7	8	11	12	21	26	18	32	20	10	7	173
子宮がん健診(協会)	3	11	9	10	5	4	1	1	0	0	1	0	45
合 計	148	233	310	292	296	258	286	275	215	205	254	172	2,944

(2) 年齢層別

【男性】

(単位：人)

		10～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
一般健診(協会)	人数		72	179	154	145	20	570
	割合		12.6%	31.4%	27.0%	25.4%	3.5%	100%
一般健診	人数	1	13	25	12	11	4	66
	割合	1.5%	19.7%	37.9%	18.2%	16.7%	6.1%	100%
一般健診+付加健診(協会)	人数		2	28	16			46
	割合		4.3%	60.9%	34.8%			100%
一般健診+追加健診(協会)	人数		7	25	27	39	3	101
	割合		6.9%	24.8%	26.7%	38.6%	3.0%	100%
日帰りドック	人数	2	53	183	239	204	85	766
	割合	30.0%	6.9%	23.9%	31.2%	26.6%	11.1%	100%
1泊人間ドック	人数			1	6	10	3	20
	割合			5.0%	30.0%	50.0%	15.0%	100%
脳ドック	人数		1	2	4	2	1	10
	割合		10.0%	20.0%	40.0%	20.0%	10.0%	100%
1泊+脳ドック	人数		1	11	4	2	3	21
	割合		4.8%	52.4%	19.0%	9.5%	14.3%	100%
その他の健診	人数			1	2	6	16	25
	割合			4.0%	8.0%	24.0%	64.0%	100%
合 計	人数	3	149	455	464	419	135	1,625
	割合	20.0%	9.2%	28.0%	28.6%	25.8%	8.3%	100%

【女性】

(単位：人)

		10～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
一般健診(協会)	人数		62	179	228	109	13	591
	割合		10.5%	30.3%	38.6%	18.4%	2.2%	100%
一般健診	人数	1	12	15	14	14	7	63
	割合	1.6%	19.0%	23.8%	22.2%	22.2%	11.1%	100%
一般健診+付加健診(協会)	人数		3	9	14			26
	割合		11.5%	34.6%	53.8%			100%
一般健診+追加健診(協会)	人数		4	9	11	7	3	34
	割合		11.8%	26.5%	32.4%	20.6%	8.8%	100%
日帰りドック	人数	4	32	77	147	103	30	393
	割合	1.0%	8.1%	19.6%	37.4%	26.2%	7.6%	100%
1泊人間ドック	人数			2	9			11
	割合			18.2%	81.8%			100%
脳ドック	人数			1	1			2
	割合			50.0%	50.0%			100%
1泊+脳ドック	人数			1		3	2	6
	割合			16.7%		50.0%	33.3%	100%
その他の健診・主婦健診	人数		13	62	67	6		148
	割合		8.8%	41.9%	45.3%	4.1%		100%
子宮がん健診(協会)	人数	16	29					45
	割合	35.6%	64.4%					100%
合 計	人数	21	155	355	491	242	55	1,319
	割合	1.6%	11.8%	26.9%	37.2%	18.3%	4.2%	100%

3. 健診結果総合判定別人数

【男性】

(単位：人)

		1	2	3	4	5 + 6	合 計
一般健診(協会)	人数	9	44	121	11	385	570
	割合	1.6%	7.7%	21.2%	1.9%	67.5%	100%
一般健診	人数	1	4	18	2	41	66
	割合	1.5%	6.1%	27.3%	3.0%	62.1%	100%
一般健診+付加健診(協会)	人数		2	8	1	35	46
	割合		4.3%	17.4%	2.2%	76.1%	100%
一般健診+追加健診(協会)	人数			17	3	81	101
	割合			16.8%	3.0%	80.2%	100%
日帰りドック	人数		8	112	6	640	766
	割合		1.0%	14.6%	80.0%	83.6%	100%
1泊人間ドック	人数			1		19	20
	割合			5.0%		95.0%	100%
脳ドック	人数		1	1	1	7	10
	割合		10.0%	10.0%	10.0%	70.0%	100%
1泊+脳ドック	人数			1		20	21
	割合			4.8%		95.2%	100%
その他の健診	人数			1		24	25
	割合			4.0%		96.0%	100%
合 計	人数	10	59	280	24	1,252	1,625
	割合	60.0%	3.6%	17.2%	1.5%	77.0%	100%

【女性】

(単位：人)

		1	2	3	4	5 + 6	合 計
一般健診(協会)	人数	24	56	164	6	341	591
	割合	4.1%	9.5%	27.7%	1.0%	57.7%	100%
一般健診	人数	1	4	12	1	45	63
	割合	1.6%	6.3%	19.0%	1.6%	71.4%	100%
一般健診+付加健診(協会)	人数		1	7		18	26
	割合			3.8%	26.9%	69.2%	100%
一般健診+追加健診(協会)	人数	1	1	5		27	34
	割合	2.9%	2.9%	14.7%		79.4%	100%
日帰りドック	人数		6	62	4	321	393
	割合		1.5%	15.8%	1.0%	81.7%	100%
1泊人間ドック	人数			1		10	11
	割合			9.1%		90.9%	100%
脳ドック	人数					2	2
	割合					100.0%	100%
1泊+脳ドック	人数					6	6
	割合					100.0%	100%
その他の健診・主婦健診	人数	3	12	49	1	83	148
	割合	2.0%	8.1%	33.1%	70.0%	56.1%	100%
子宮がん健診(協会)	人数	38		5		2	45
	割合	84.4%		11.1%		4.4%	100%
合 計	人数	67	80	305	12	855	1,319
	割合	5.1%	6.1%	23.1%	90.0%	64.8%	100%

(総合判定) 1. 異常無し 2. 軽度の異常がみとめられるが日常生活に支障はない
3. 日常生活に注意を要し、経過観察を必要とする 4. 治療を要する 5. 精密検査を要する 6. 治療中

4. 1泊・日帰り人間ドック成績表（平成28年1月～平成28年12月）

【男性】

（症例数は延べ人数）

年代別 受診者数	39歳以下 29				40～49歳 144				50～59歳 233				60歳以上 293				総 計 699			
異常なし(判定1、2)	1				2				0				1				4			
判定 症例	3	4,6	5	計 (%)	3	4,6	5	計 (%)	3	4,6	5	計 (%)	3	4,6	5	計 (%)	3	4,6	5	計 (%)
肥満	9	0	0	9 (10.2)	64	0	0	64 (11.9)	74	0	0	74 (7.2)	83	0	0	83 (5.8)	230	0	0	230 (7.5)
呼吸器疾患	0	1	0	1 (1.1)	4	2	2	8 (1.5)	20	6	2	28 (2.7)	27	6	7	40 (2.8)	51	15	11	77 (2.5)
高血圧	0	0	0	0 (0.0)	10	27	0	37 (6.9)	18	68	0	86 (8.4)	19	138	0	157 (11.0)	47	233	0	280 (9.1)
高中性脂肪	4	0	2	6 (6.8)	27	0	6	33 (6.2)	36	0	22	58 (5.6)	36	0	15	51 (3.6)	103	0	45	148 (4.8)
高尿酸	7	0	3	10 (11.4)	37	0	1	38 (7.1)	43	0	11	54 (5.3)	36	0	2	38 (2.7)	123	0	17	140 (4.6)
心電図異常	0	1	0	1 (1.1)	9	3	2	14 (2.6)	16	7	8	31 (3.0)	40	26	16	82 (5.8)	65	37	26	128 (4.2)
食道疾患	2	0	2	4 (4.5)	7	1	12	20 (3.7)	28	2	26	56 (5.5)	38	6	44	88 (6.2)	75	9	84	168 (5.5)
胃疾患	2	0	2	4 (4.5)	7	1	12	20 (3.7)	28	2	26	56 (5.5)	38	6	44	88 (6.2)	75	9	84	168 (5.5)
十二指腸疾患	2	0	2	4 (4.5)	7	1	12	20 (3.7)	28	2	26	56 (5.5)	38	6	44	88 (6.2)	75	9	84	168 (5.5)
肝機能異常（脂肪肝含）	0	0	5	5 (5.7)	0	2	29	31 (5.78)	0	6	42	48 (4.7)	3	7	32	42 (3.0)	3	15	108	126 (4.1)
糖尿病	2	0	0	2 (2.3)	37	6	3	46 (8.6)	53	21	11	85 (8.3)	78	37	23	138 (9.7)	170	64	37	271 (8.8)
血液疾患	0	0	1	1 (1.1)	1	0	10	11 (12.1)	3	1	23	27 (2.6)	8	2	37	47 (3.3)	12	3	71	86 (2.8)
便潜血	0	0	2	2 (2.3)	0	1	3	4 (0.7)	0	0	16	16 (1.6)	0	1	17	18 (1.3)	0	2	38	40 (1.3)
前立腺疾患	0	0	0	0 (0.0)	0	0	0	0 (0.0)	0	0	1	1 (0.1)	0	0	7	7 (0.5)	0	0	8	8 (0.3)
その他の疾患	21	0	18	39 (44.3)	126	4	60	190 (35.4)	224	16	111	351 (34.2)	251	40	164	455 (32.3)	622	60	353	1,035 (33.7)
総 計	49	2	37	88 (100)	336	48	152	536 (100)	571	131	325	1,027 (100)	695	275	452	1,422 (100)	1,651	456	966	3,073 (100)

【女性】

（症例数は延べ人数）

年代別 受診者数	39歳以下 27				40～49歳 80				50～59歳 151				60歳以上 138				総 計 396			
異常なし(判定1、2)	2				2				2				0				6			
判定 症例	3	4,6	5	計 (%)	3	4,6	5	計 (%)	3	4,6	5	計 (%)	3	4,6	5	計 (%)	3	4,6	5	計 (%)
肥満	17	0	0	17 (27.4)	23	0	0	23 (9.5)	45	0	0	45 (8.6)	35	0	0	35 (6.3)	120	0	0	120 (8.7)
呼吸器疾患	1	0	0	1 (1.6)	2	0	3	5 (2.1)	7	1	0	8 (1.5)	6	4	2	12 (2.1)	16	5	5	26 (1.9)
高血圧	0	0	0	0 (0.0)	5	6	0	11 (4.5)	12	26	0	38 (7.3)	13	46	0	59 (10.6)	30	78	0	108 (7.8)
高中性脂肪	1	0	0	1 (1.6)	3	0	0	3 (1.2)	13	0	3	16 (3.1)	9	0	0	9 (1.6)	26	0	3	29 (2.1)
高尿酸	0	0	0	0 (0.0)	5	0	0	5 (2.1)	16	0	0	16 (3.1)	12	0	0	12 (2.1)	33	0	0	33 (2.4)
心電図異常	2	0	0	2 (3.2)	8	0	3	11 (4.5)	6	4	8	18 (3.5)	17	10	4	31 (5.5)	33	14	15	62 (4.5)
食道疾患	2	0	0	2 (3.2)	10	0	4	14 (5.8)	15	1	14	30 (5.8)	24	2	7	33 (5.9)	51	3	22	76 (5.7)
胃疾患	2	0	0	2 (3.2)	10	0	4	14 (5.8)	15	1	14	30 (5.8)	24	2	7	33 (5.9)	51	3	25	79 (5.7)
十二指腸疾患	2	0	0	2 (3.2)	10	0	4	14 (5.8)	15	1	14	30 (5.8)	24	2	7	33 (5.9)	51	3	25	79 (5.7)
肝機能異常（脂肪肝含）	0	0	2	2 (3.2)	0	0	4	4 (1.7)	2	1	6	9 (1.7)	1	10	3	14 (1.1)	3	11	19	33 (1.5)
糖尿病	1	0	0	1 (1.6)	9	0	0	9 (3.7)	21	4	1	26 (5.0)	37	2	3	42 (8.9)	68	6	4	78 (6.2)
血液疾患	0	0	7	7 (11.3)	0	0	16	16 (6.6)	0	4	14	18 (3.5)	2	1	7	10 (1.8)	2	5	40	47 (3.7)
便潜血	0	0	1	1 (1.6)	0	0	3	3 (1.2)	0	0	4	4 (0.8)	0	0	8	8 (1.4)	0	0	15	15 (1.2)
婦人科	0	0	1	1 (1.6)	0	0	1	1 (0.4)	0	0	1	1 (0.2)	0	0	0	0 (2.8)	0	0	11	11 (0.2)
乳房疾患	0	0	0	0 (0.0)	0	0	0	0 (0.0)	0	0	2	2 (0.4)	0	0	1	1 (0.0)	0	0	2	2 (0.2)
その他の疾患	15	1	7	23 (37.1)	60	5	44	109 (45)	138	16	76	230 (44.1)	120	21	86	227 (0.0)	333	43	128	504 (42.6)
総 計	43	1	18	62 (100)	145	11	86	242 (100)	305	59	157	521 (100)	324	100	135	559 (100)	817	171	314	1,302 (100)

（総合判定） 1. 異常無し 2. 軽度の異常がみとめられるが日常生活に支障はない 3. 日常生活に注意を要し、経過観察を必要とする 4. 治療を要する 5. 精密検査を要する 6. 治療中

5. 二次検査受診状況（当院での二次検査について）

(1) 二次検査対象者 1,822人／健診センター受診者 2,944人

→ ドック・健診・オプション検査で精密検査を要する(判定5の方)

(2) 受診科別人数（二次検査受診者 のべ 347人 / 二次検査対象者 のべ 2,975人）

受診科	二次検査 受診者	二次検査 対象者	受診科	二次検査 受診者	二次検査 対象者	受診科	二次検査 受診者	二次検査 対象者
外 科	61人	77人	泌尿器科	49人	284人	循環器科	15人	103人
耳鼻咽喉科	23人	376人	皮膚科	0人	1人	消化器科	94人	807人
産婦人科	34人	68人	脳神経外科	8人	49人	腎臓内科	1人	12人
眼 科	19人	591人	形成外科	0人	0人	代謝内科	7人	328人
整形外科	1人	12人	呼吸器科	31人	67人	血液内科	5人	220人

(3) 病名別人数

外 科		眼 科		間質性肺炎		1	腎結石症		1
乳房上内側部乳癌	1	黄斑変性	3	胸部異常陰影	5		腎尿管結石		1
乳房上外側部乳癌	1	近視性乱視	6	中葉症候群	1		臍管内乳頭粘液性腫瘍		2
乳房中央部乳癌	1	視神経乳頭陥凹拡大	1	洞不全症候群	1		臍頭部腫瘍		1
単径ヘルニア	1	ドライアイ	1	慢性気道感染	1		臍のう胞		1
乳腺異常石灰化像	10	脈絡膜新生血管	1	循環器科			臍のう胞性腫瘍		1
乳腺腫瘍	24	翼状片	1	完全房室ブロック	1		総胆管拡張症		1
乳腺症	5	緑内障	2	高血圧	2		大腸憩室		1
乳頭異常分泌症	1	老人性初発白内障	1	心室期外収縮	1		大腸腺腫		3
耳鼻科		泌尿器科		心房細動	1		大腸ポリープ		5
感音難聴	1	過活動膀胱	1	増幅弁逸脱症候群	1		胆のう結石症		1
嗅覚障害	1	血尿症	2	房室ブロック	1		胆のう腺筋腫症		1
頸部リンパ節腫瘍	1	健診血尿	4	慢性心不全	2		胆のうポリープ		6
甲状腺腫瘍	4	顕微鏡的血尿	6	労作性狭心症	2		中部食道癌		1
上顎洞炎	1	腎結石症	1	消化器科			バレット食道		1
滲出性中耳炎	1	腎のう胞	7	胃炎	2		脾腫		1
睡眠時無呼吸症候群	1	水腎症	3	胃潰瘍	1		非特異的腸炎		1
騒音性難聴	1	前立腺肥大症	4	萎縮性胃炎	17		びらん性胃炎		1
難聴	4	単純性腎のう胞	1	胃前庭部癌	1		びらん性十二指腸炎		1
耳鳴症	1	尿管狭窄	1	胃体部癌	1		ヘリコバクター・ピロリ胃炎		16
産婦人科		尿管結石症	1	胃底腺ポリープ	1		慢性胃炎		2
子宮筋腫	1	頻尿症	1	胃粘膜下腫瘍	1		慢性肝炎		2
子宮頸管ポリープ	6	腹圧性尿失禁	1	胃びらん	2		代謝内科		
子宮頸部異型扁平上皮	14	脳神経外科		胃ポリープ	2		脂質異常症		1
子宮頸部異形成・異型度1	2	頸動脈狭窄症	1	S状結腸ポリープ	1		耐糖能異常		1
子宮頸部びらん	1	穿通枝梗塞	1	肝血管腫	4		2型糖尿病		4
子宮内膜肥厚	1	大脳動脈閉塞症	1	管状腺癌	1		ラトケのう胞		1
子宮内膜ポリープ	2	椎骨動脈狭窄症	1	肝内結石症	1		血液内科		
腔ポリープ	1	脳腫瘍	1	肝内胆管拡張症	1		急性骨髄性白血病		1
ナボット嚢胞	1	脳動脈瘤	1	肝のう胞	2		骨髄異形成症候群		1
のう胞性卵巣腫瘍	1	分水界梗塞	1	逆流性食道炎	7		多血症		1
壁内子宮平滑筋腫	2	未破裂脳動脈瘤	1	脂肪肝	2		貧血		1
卵巣腫瘍	1	呼吸器科		十二指腸炎	2		整形外科		
卵巣のう腫	1	咽頭炎	1	十二指腸腺腫	1		骨粗鬆症		1

5. 中央材料室業務状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
滅菌回数	蒸気滅菌(回)	205	196	196	189	216	190	209	187	181	188	180	192	2329
	手術器械(台)	114	106	122	103	126	110	124	112	104	113	115	105	1354
	カート(台)	54	60	55	52	52	58	53	52	44	48	47	51	626
	プリオン対策(台)	38	30	19	34	37	22	32	23	33	27	18	36	349
	ガス滅菌(回)	29	26	30	44	35	29	31	23	31	24	24	28	331
	中央手術室(回)	19.4	16.7	17.2	16.5	18.8	18.2	20.8	13.4	19.4	15.9	14.9	17.7	208.9
	中央材料室(回)	9.6	9.3	11.8	16.5	18.8	18.2	10.2	9.6	11.9	8.12	9.1	11.3	122.3
	プラズマ滅菌(回)	69	50	62	79	82	49	57	64	80	46	46	75	759
	H L D(回)	26	28	22	44	35	29	34	32	22	28	26	25	351
滅菌関係 外来 病棟 合計	手術器械セット(組)	1338	1243	1214	1183	1428	1165	1340	1226	1216	1226	1194	1281	15054
	単品器材(組)	3096	3020	2970	2689	3007	2755	3081	2778	2804	2666	2603	2914	34383
	ガス滅菌物(組)	608	608	505	513	635	508	684	483	727	541	564	605	4591
	プラズマ滅菌物(組)	434	381	344	333	418	406	422	408	422	322	299	402	4591
	ガス滅菌物(個)	251	283	299	255	248	406	271	287	329	242	284	313	3378
	HLD洗浄・消毒(個)	741	775	734	713	969	721	894	813	768	805	786	878	9597
	ガス滅菌物(個)	14	23	28	15	23	14	17	23	22	36	16	20	251
	HLD洗浄・消毒(個)	1252	1211	908	1479	1511	1153	1675	1562	900	1376	1306	841	15174
	合計	265	306	327	270	271	330	288	310	351	278	300	333	3629
手術 予定・緊急手術 術 手術変更	外科(件)	28	11	30	26	35	34	41	29	30	23	26	33	357
	整形外科(件)	90	88	70	83	85	86	89	66	56	82	94	83	959
	脳神経外科(件)	6	9	11	9	14	7	7	3	14	8	8	9	105
	呼吸器科(件)	15	10	8	15	17	15	6	8	10	8	8	14	134
	心臓血管外科(件)	28	33	28	21	27	22	30	34	30	25	23	26	327
	産婦人科(件)	20	33	31	23	19	25	27	23	26	26	29	23	305
	泌尿器科(件)	25	16	13	19	21	26	27	19	26	18	15	17	242
	眼科(件)	67	78	98	93	86	69	84	82	60	87	84	88	976
	耳鼻咽喉科(件)	5	6	14	10	12	9	12	9	8	11	13	17	126
	歯科口腔外科(件)	34	36	44	36	35	37	40	32	33	36	38	40	441
	形成外科(件)	9	10	11	9	11	13	12	12	11	11	10	3	122
	麻酔科(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手術変更(件)	27	28	31	35	29	22	13	27	26	31	30	37	336
カートセット台数(台)		54	60	55	52	53	58	53	52	45	48	47	50	627
洗浄業務 洗浄回数	手術器械洗浄(件)	311	313	335	324	334	316	357	317	307	337	337	345	3935
	病棟カート回収器材洗浄数(個)	2606	2655	3042	2775	3362	2967	2839	2595	2382	2740	2343	2598	33107
	外来カート回収器材洗浄数(個)	14222	15198	14186	12928	12702	11194	12534	12704	12433	10555	11489	12323	153258
	手術器械(回)	232	276	245	228	278	235	253	233	254	236	232	247	2949
	病棟カート回収器材(回)	30	33	40	32	37	34	33	26	30	34	27	34	390
	外来カート回収器材(回)	80	73	90	71	85	74	76	80	79	71	75	74	928
	超音波洗浄(回)	273	305	308	265	363	296	326	424	325	354	323	292	3854

6. 薬剤科業務状況

(1) 薬剤管理指導件数

診 療 科	管理指導1		管理指導2		合計		退院時		麻薬		総合計
	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	
内 科	0	0	1	325	1	325	0	0	0	0	325
小 児 科	0	0	6	1,950	6	1,950	0	0	0	0	1,950
外 科	47	17,695	74	24,050	121	41,745	51	4,590	2	100	46,435
耳 鼻 咽 喉 科	4	1,410	41	13,325	45	14,735	9	810	0	0	15,545
産 婦 人 科	14	5,320	9	2,925	23	8,245	2	180	0	0	8,425
整 形 外 科	3	1,140	24	7,800	27	8,940	17	1,530	1	50	10,520
泌 尿 器 科	20	7,600	30	9,750	50	17,350	19	1,710	0	0	19,060
脳 神 経 外 科	79	30,020	33	10,725	112	40,745	51	4,590	0	0	45,335
神 経 内 科	16	6,080	16	5,200	32	11,280	16	1,440	0	0	12,720
心臓血管外科	54	20,520	81	26,325	135	46,845	98	8,820	0	0	55,665
形 成 外 科	0	0	2	650	2	650	0	0	0	0	650
循 環 器 内 科	328	124,640	109	35,425	437	160,065	348	31,320	0	0	191,385
呼 吸 器 内 科	95	36,100	79	25,675	174	61,775	39	3,510	3	150	65,435
呼 吸 器 外 科	62	23,560	80	26,000	142	49,560	26	2,340	4	200	52,100
腎臓代謝内科	88	33,440	52	16,900	140	50,340	71	6,390	0	0	56,730
血 液 内 科	34	12,920	26	8,450	60	21,370	14	1,260	0	0	22,630
膠原病・リウマチ	24	9,120	19	6,175	43	15,295	15	1,350	0	0	16,645
合 計	868	329,565	682	221,650	1,550	551,215	776	68,490	10	500	621,555

薬剤管理指導1 380点 退院時加算 90点
 薬剤管理指導2 325点 麻薬加算 50点

(2) 化学療法 入院・外来別件数

病棟別	患者数	払出回数	外 来 別	患者数	払出回数
3 西	3	5	外 科	596	1053
3 南	2	2	産 婦 人 科	86	142
I C U	1	1	泌 尿 器 科	59	95
4 東	60	134	呼 吸 器 内 科	301	523
4 西	2	2	呼 吸 器 外 科	279	413
5 東	170	327	消 化 器 科	1	2
5 西	233	337	血 液 内 科	127	434
6 東	0	0	耳 鼻 咽 喉 科	6	18
7 西	100	287	歯 科 口 腔 外 科	14	21
療 養 2	2	2	膠原病・リウマチ	48	180
合 計	573	1,097	合 計	1,517	2,881

7. 栄養科業務状況

(1) 給食業務状況（本館と別館）

食 種 / 月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
一般食	普通食・産褥食	9,824	9,379	10,150	9,602	9,857	8,749	8,825	8,461
	軟 菜 食	4,512	5,011	4,105	4,061	4,656	4,989	4,526	4,723
	極軟菜食・五分食	4,530	5,340	4,443	4,146	4,007	3,933	4,149	4,572
	流動食・三分食	112	106	206	204	312	118	129	206
	嚥下訓練食	506	710	333	505	839	505	358	556
	濃厚流動食	1,289	1,137	1,129	1,161	985	871	949	920
	遅 延 食	67	111	83	40	54	26	28	27
	その他(離乳食・口内炎食等)	141	173	205	163	101	55	4	46
小 計		20,981	21,967	20,654	19,882	20,811	19,246	18,968	19,511
特別治療食	非加算								
	高血圧食	292	493	630	568	603	541	513	633
	軽度肥満食	0	43	90	93	13	0	0	0
	小 計	292	536	720	661	616	541	513	633
	加算								
	腎臓食	1,624	1,684	1,813	1,754	1,135	1,407	1,692	1,709
	心臓食	2,688	2,216	2,655	2,726	2,632	2,524	2,878	2,989
	糖尿食	2,099	2,046	2,248	2,230	1,775	1,580	1,733	1,991
	肝臓食・膵臓食・潰瘍食	112	232	304	400	281	244	195	355
	マ ー ゲ ン 食	416	248	215	200	101	166	36	117
	高脂血症食	46	113	93	0	30	19	25	0
	高度肥満食	81	10	0	11	20	0	0	0
	妊娠高血圧食	0	0	0	0	0	0	0	0
	貧血食	390	142	261	120	45	35	85	94
	潰瘍性大腸炎クローン食	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計		7,456	6,691	7,589	7,441	6,019	5,975	6,644	7,255
合 計		28,729	29,194	28,963	27,984	27,446	25,762	26,125	27,399
一食平均給食数		319	314	322	301	295	286	290	304
特別治療食（加算）比率		26.0	22.9	26.2	26.6	21.9	23.2	25.4	26.5

食 種 / 月		12月	1月	2月	3月	計	一食平均	構成比
一般食	普通食・産褥食	7,821	8,214	9,037	9,487	109,406	100	32.8%
	軟 菜 食	4,147	4,487	4,570	4,722	54,509	50	16.3%
	極軟菜食・五分食	4,455	5,032	5,643	6,085	56,335	51	16.9%
	流動食・三分食	105	137	248	361	2,244	2	0.7%
	嚥下訓練食	282	180	301	288	5,363	5	1.6%
	濃厚流動食	955	1,550	1,261	1,323	13,530	12	4.1%
	遅 延 食	38	47	57	48	626	1	0.2%
	その他(離乳食・口内炎食等)	114	93	143	189	1,427	1	0.4%
小 計		17,917	19,740	21,260	22,503	243,440	222	72.9%
特別治療食	非加算							
	高血圧食	614	418	540	488	6,333	6	1.9%
	軽度肥満食	0	21	0	0	260	0	0.1%
	小 計	614	439	540	488	6,593	6	2.0%
	加算							
	腎臓食	1,807	1,496	1,893	1,867	19,881	18	6.0%
	心臓食	2,796	3,841	3,783	3,636	35,364	32	10.6%
	糖尿食	1,709	1,280	1,660	1,426	21,777	20	6.5%
	肝臓食・膵臓食・潰瘍食	205	179	172	167	2,846	3	0.9%
	マ ー ゲ ン 食	98	243	123	135	2,098	2	0.6%
	高脂血症食	0	83	191	107	707	1	0.2%
	高度肥満食	11	0	0	0	133	0	0.0%
	妊娠高血圧食	0	0	0	0	0	0	0.0%
	貧血食	17	22	0	0	1,211	1	0.4%
	潰瘍性大腸炎クローン食	0	0	0	0	0	0	0.0%
小 計		6,643	7,144	7,822	7,338	84,017	77	25.2%
合 計		25,174	27,323	29,622	30,329	334,050	305	100%
一食平均給食数		271	304	329	337	305		
特別治療食（加算）比率		26.4	26.1	26.4	24.2	25.2		

(注) 一食平均給食数＝合計欄の食数÷（暦日×3食）

(2) 栄養指導件数

指 導 内 容				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		糖 尿 病 教 室		12	10	7	10	2	6	2	8	4	6	7	2	76
	小 計			12	10	7	10	2	6	2	8	4	6	7	2	76
個 人 指 導	算 定 可	腎 臓 病	塩分6g未満	35	41	29	29	30	33	32	29	36	21	19	29	363
		心 臓 疾 患	塩分6g未満	10	7	18	18	9	10	13	15	21	24	33	30	208
		高 血 圧	塩分6g未満	3	4	6	7	8	3	3	3	5	3	7	9	61
		妊娠中毒症	塩分8g未満	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		肝 臓 病		0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	4
		糖 尿 病		45	37	47	33	47	34	22	31	26	30	41	22	415
		肥満症	BMI 30以上 or 肥満度 40以上	5	4	2	3	1	4	2	2	1	2	1	1	28
		脂質異常症	LDL140mg/dl以上 orTG150mg/dl以上 orHDL40mg/dl未満	0	3	2	1	3	3	2	3	3	1	2	1	24
		胃潰瘍・十二指腸潰瘍		5	1	2	3	5	3	0	8	3	7	2	3	42
		鉄欠乏性貧血	Hb10g/dl以下	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		脾 臓 疾 患		0	2	0	1	2	0	1	1	0	0	0	0	7
		高 尿 酸 血 症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		潰瘍性大腸炎・クローン氏病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小児アレルギー・先天性代謝異常症		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		嚥 下 困 難		2	0	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	7
	癌		0	0	0	0	1	0	0	2	1	1	0	0	5	
	低栄養		Alb3.0mg/dl以下 or医 師から栄養改善が必要 であると認められた者	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	9
	小 計			106	99	112	98	108	91	75	97	99	91	106	95	1,177
	算 定 不 可	消 化 器 疾 患		0	2	3	1	0	1	0	2	3	2	1	0	15
		耐 糖 能 異 常		0	1	0	2	2	2	1	0	0	0	1	1	10
		肥 満 症		0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
		脳 血 管 障 害		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		算 定 条 件 不 適 合		7	11	6	2	9	7	7	5	2	2	11	8	77
		健 診 セ ン タ ー		0	1	2	3	3	0	0	0	2	1	1	0	13
		そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小 計		7	15	12	8	14	10	8	8	7	5	14	10	118
そ の 他	病棟訪問（アレルギー・摂食不良等聞き取り等）		48	54	46	44	50	42	51	65	52	63	45	47	607	
	糖 尿 病 週 間									14					14	
	小 計		48	54	46	44	50	42	51	79	52	63	45	47	621	
算 定 合 計			106	99	112	98	108	91	75	97	99	91	106	95	1,177	
総 合 計			173	178	177	160	174	149	136	192	162	165	172	154	1,992	

8. 放射線科／放射線技術科業務状況

(1) 検査別利用状況

一般撮影

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭 部	42	41	29	31	38	34	37	31	35	28	23	20	389
頸 部	2	4	1	1	1	1	1	0	3	1	3	3	21
胸 部	2,434	2,475	2,433	2,361	2,387	2,256	2,283	2,306	2,309	2,506	2,239	2,530	28,519
腹 部	230	279	241	263	282	260	232	260	250	215	232	262	3,006
胸郭・肩	90	140	127	134	115	120	178	160	139	171	137	139	1,650
骨 盤	358	395	337	373	360	371	400	332	325	341	347	413	4,352
脊 椎	454	526	457	445	533	479	455	453	391	495	453	454	5,595
上 肢	258	282	285	242	265	229	197	217	178	228	286	278	2,945
下 肢	573	624	563	576	588	618	581	497	508	464	495	646	6,733
乳 房	128	129	149	164	169	136	134	172	148	110	121	108	1,668
パノラマ	113	110	141	135	120	118	138	137	132	128	131	113	1,516
合 計	4,682	5,005	4,763	4,725	4,858	4,622	4,636	4,565	4,418	4,687	4,467	4,966	56,394
1日平均	234.1	250.3	216.5	236.3	220.8	231.1	220.8	228.3	220.9	246.7	235.1	236.5	231.1

病棟ポータブル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭 部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胸 部	404	503	372	430	367	310	469	433	451	565	517	461	5,282
腹 部	102	107	77	60	76	62	104	92	93	96	85	96	1,050
胸郭・肩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
骨 盤	2	6	0	1	2	4	1	1	4	3	2	2	28
脊 椎	0	2	3	6	0	0	5	2	2	3	0	0	23
上 肢	1	1	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	6
下 肢	3	3	0	2	3	0	1	0	1	11	0	0	24
合 計	512	622	452	499	450	376	580	528	551	679	605	560	6,414

OP室ポータブル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胸 部	52	45	47	44	56	49	53	53	47	41	40	56	583
腹 部	45	49	49	43	51	46	54	48	41	49	39	46	560
胸郭・肩	1	0	0	1	3	1	4	1	0	2	1	2	16
骨 盤	25	21	17	20	24	24	25	23	18	23	20	15	255
脊 椎・頭	19	15	9	11	13	8	14	8	15	12	8	17	149
上 肢	14	7	10	12	8	5	6	8	6	7	17	13	113
下 肢	15	28	20	18	25	15	23	16	12	27	31	24	254
合 計	171	165	152	149	180	148	179	157	139	161	156	173	1,930

ポータブル合計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合 計	683	787	604	648	630	524	759	685	690	840	761	733	8,344
1日平均	34.2	39.4	27.5	32.4	28.6	26.2	36.1	34.3	34.5	44.2	40.1	34.9	34.2

造影撮影

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
泌尿器・婦人科系	15	6	14	6	5	8	11	9	11	2	6	7	100
その他造影撮影	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
合 計	15	6	14	6	6	8	11	9	11	3	6	7	102
1日平均	0.8	0.3	0.6	0.3	0.3	0.4	0.5	0.5	0.6	0.2	0.3	0.3	0.4

TV室検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
食道・胃	22	24	23	15	33	12	28	28	11	23	20	15	254
注腸	2	3	1	0	5	3	3	2	5	5	4	1	34
気管支ファイバー	10	16	18	20	18	13	16	13	3	7	11	10	155
大腸ファイバー	13	21	29	36	48	40	51	30	45	42	26	45	426
その他透視・造影	61	90	72	73	54	50	54	48	37	53	65	49	706
合計	108	154	143	144	158	118	152	121	101	130	126	120	1,575
1日平均	5.4	7.7	6.5	7.2	7.2	5.9	7.2	6.1	5.1	6.8	6.6	5.7	6.5

血管造影

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心カテ	69	83	96	80	90	84	103	113	94	87	94	113	1,106
その他	28	34	42	27	36	24	28	27	21	17	32	26	342
合計	97	117	138	107	126	108	131	140	115	104	126	139	1,448
1日平均	4.9	5.9	6.3	5.4	5.7	5.4	6.2	7.0	5.8	5.5	6.6	6.6	5.9

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
C T	1,414	1,525	1,482	1,469	1,605	1,431	1,551	1,523	1,520	1,620	1,405	1,595	18,140
1日平均	70.7	76.3	67.4	73.5	73.0	71.6	73.9	76.2	76.0	85.3	73.9	76.0	74.3
M R	579	638	683	580	670	578	590	579	545	518	576	637	7,173
1日平均	29.0	31.9	31.0	29.0	30.5	28.9	28.1	29.0	27.3	27.3	30.3	30.3	29.4
R I	49	61	69	61	55	50	41	56	42	53	38	47	622
1日平均	2.5	3.1	3.1	3.1	2.5	2.5	2.0	2.8	2.1	2.8	2.0	2.2	2.5
D E X A	168	191	201	161	180	192	179	182	192	152	179	199	2,176
1日平均	8.4	9.6	9.1	8.1	8.2	9.6	8.5	9.1	9.6	8.0	9.4	9.5	8.9
E S W L	2	5	5	1	6	4	2	5	3	0	3	0	36
1日平均	0.1	0.3	0.2	0.1	0.3	0.2	0.1	0.3	0.2	0.0	0.2	0.0	0.1
放射線治療	285	320	341	257	312	319	471	507	363	278	309	343	4,105
1日平均	14.3	16.0	15.5	12.9	14.2	16.0	22.4	25.4	18.2	14.6	16.3	16.3	16.8

健診

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭部	2	1	5	7	4	2	5	4	3	2	2	2	39
頸椎	2	1	5	7	4	2	5	4	3	2	2	2	39
胸部	144	221	298	283	291	251	277	274	203	203	249	172	2,866
腹部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パノラマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳房	26	95	83	91	118	107	120	94	62	63	61	29	949
胃透視	129	177	223	211	208	166	196	198	133	129	183	98	2,051
注腸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨塩定量	5	5	24	27	14	20	20	18	5	7	1	4	150
M R	12	25	34	36	42	23	22	26	21	17	9	21	288
C T	5	6	17	12	11	13	18	11	15	8	11	7	134
合計	325	531	689	674	692	584	663	629	445	431	518	335	6,516

(2) 科別利用件数 (外来)

(単位：件)

外 来	単 純 撮 影	造 影 撮 影	T V	泌 尿 器 ・ 婦 人 科 系	E S W L	D E X A	C T	M R	血 管 造 影	R I	放 射 線 治 療	健 診 セ ン タ ー	病 棟 ポ ー タ ブル	O P 室 ポ ー タ ブル	合 計
内科	2,671	0	4	0	0	1	2,562	257	12	0	0	0	5	0	5,512
小児	366	0	0	0	0	1	8	14	0	0	0	0	0	0	389
外科	4,139	1	68	0	0	154	1,215	222	3	76	0	282	0	0	6,160
耳鼻	327	0	9	0	0	1	396	179	0	6	0	0	0	1	919
産婦	383	0	0	15	0	18	216	308	0	0	0	0	0	0	940
眼科	395	0	0	0	0	0	69	23	0	0	0	0	0	0	487
整形	18,147	0	330	0	0	1,375	1,151	1,586	0	4	0	78	0	77	22,748
泌尿	1,121	0	89	47	35	1	766	160	1	73	0	0	0	0	2,293
皮膚	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
脳外	494	0	0	0	0	0	1,240	1,127	2	13	0	0	1	0	2,877
歯科	1,381	0	0	0	0	0	174	27	0	9	0	0	0	0	1,591
神内	77	0	0	0	0	5	282	460	0	87	0	0	0	0	911
心外	1,183	0	0	0	0	0	790	5	0	0	0	0	2	0	1,980
形成	141	0	2	0	0	0	66	18	0	5	0	0	0	3	235
呼内	6,488	0	1	0	0	20	1,637	116	0	83	0	0	1	0	8,346
呼外	2,476	0	2	0	0	0	748	127	0	91	0	0	0	0	3,444
循内	4,670	0	1	0	0	0	752	98	52	72	0	0	0	0	5,645
消内	28	0	452	0	0	0	130	113	0	0	0	0	0	0	723
健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,933	0	0	5,933
放診	38	0	0	0	0	0	921	1,088	0	33	0	0	0	0	2,080
腎内	523	0	0	0	0	80	568	214	2	5	0	0	1	0	1,393
血内	92	0	0	0	0	3	129	3	0	0	0	0	0	0	227
リハビリ	1,844	0	0	0	0	79	198	38	0	0	0	0	0	0	2,159
放治	23	0	1	0	0	0	341	102	0	0	2,969	0	0	0	3,436
救急	4	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0	0	0	11
透内	304	0	0	0	0	207	139	14	15	0	0	0	8	0	687
総合診	20	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	24
合計	47,336	1	959	62	35	1,945	14,507	6,301	87	557	2,969	6,293	18	81	81,151

(3) 科別利用件数 (入院)

(単位：件)

外 来	単 純 撮 影	造 影 撮 影	T V	泌 尿 器 ・ 婦 人 科 系	E S W L	D E X A	C T	M R	血 管 造 影	R I	放 射 線 治 療	健 診 セ ン タ ー	病 棟 ポ ー タ ブ ル	O P 室 ポ ー タ ブ ル	合 計
内科	63	0	2	0	0	0	34	6	3	0	0	0	25	0	133
小児	144	0	1	1	0	0	1	15	0	0	0	0	11	0	173
外科	532	0	158	0	0	1	176	26	25	3	0	0	673	513	2,107
耳鼻	30	0	68	0	0	0	9	10	0	0	0	0	1	0	118
産婦	100	0	0	0	0	0	15	13	1	0	0	0	42	261	432
眼科	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6
整形	2,424	0	58	0	0	101	343	90	1	1	0	0	159	715	3,892
泌尿	139	0	38	37	1	0	57	13	2	3	0	0	25	57	372
脳外	366	0	15	0	0	1	1,108	307	120	15	0	0	434	1	2,367
歯科	259	0	3	0	0	0	10	0	0	0	0	0	9	4	285
神内	46	0	3	0	0	11	52	49	1	6	0	0	36	0	204
心外	1,762	0	0	0	0	0	378	113	41	1	0	0	1,609	155	4,059
形成	9	0	0	0	0	0	5	3	0	0	0	0	0	0	17
呼内	1,807	0	143	0	0	5	321	75	8	27	0	0	1,394	1	3,781
呼外	894	0	22	0	0	0	130	14	1	4	0	0	304	135	1,504
循環	1,210	0	0	0	0	0	311	46	1,049	3	0	0	1,196	0	3,815
消化	3	0	83	0	0	0	15	2	9	0	0	0	0	0	112
麻酔	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	7	12
健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	206	0	0	206
放射	0	0	16	0	0	0	9	0	9	0	0	0	1	0	35
腎内	598	0	5	0	0	88	273	55	26	0	0	0	399	0	1,444
血内	37	0	0	0	0	3	126	6	8	0	0	0	35	0	215
リウマチ	95	0	0	0	0	17	146	13	3	2	0	0	17	0	293
放治	3	0	2	0	0	0	96	14	0	0	1,136	0	1	0	1,252
救急	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
透内	110	0	0	0	0	4	16	2	54	0	0	0	14	0	200
総合診	1	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	10	0	18
合計	10,639	0	617	38	1	231	3,642	872	1,361	65	1,136	206	6,396	1,849	27,053

(4) 月別利用患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来患者数 (人)	5,498	6,131	6,308	6,038	6,406	5,908	6,306	6,062	5,771	5,769	5,642	6,201	72,040
入院患者数 (人)	2,072	2,303	2,032	1,971	2,021	1,786	2,049	2,183	1,959	2,157	2,111	2,104	24,748
合 計 (人)	7,570	8,434	8,340	8,009	8,427	7,694	8,355	8,245	7,730	7,926	7,753	8,305	96,788
1日平均 (人)	378.5	421.7	379.1	400.5	383.0	384.7	397.9	412.3	386.5	417.2	408.1	395.5	396.7
フィルム使用枚数 (枚)	50	72	52	72	71	92	55	33	71	60	47	63	738
1日平均 (枚)	2.5	3.6	2.4	3.6	3.2	4.6	2.6	1.7	3.6	3.2	2.5	3.0	3.0

(5) 検査別前年比

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
単純撮影													
平成28年度	4,944	4,848	5,129	4,969	4,880	4,698	4,688	4,631	4,654	4,522	4,374	4,994	57,331
平成29年度	4,682	5,005	4,763	4,725	4,858	4,622	4,636	4,565	4,418	4,687	4,467	4,966	56,394
前年比(%)	94.7	103.2	92.9	95.1	99.5	98.4	98.9	98.6	94.9	103.6	102.1	99.4	98.4
血管造影													
平成28年度	113	113	156	111	96	90	108	116	126	104	103	103	1,339
平成29年度	97	117	138	107	126	108	131	140	115	104	126	139	1,448
前年比(%)	85.8	103.5	88.5	96.4	131.3	120.0	121.3	120.7	91.3	100.0	122.3	135.0	108.1
C T													
平成28年度	1,439	1,514	1,591	1,549	1,507	1,340	1,428	1,387	1,382	1,427	1,253	1,479	17,296
平成29年度	1,414	1,525	1,482	1,469	1,605	1,431	1,551	1,523	1,520	1,620	1,405	1,595	18,140
前年比(%)	98.3	100.7	93.1	94.8	106.5	106.8	108.6	109.8	110.0	113.5	112.1	107.8	104.9
M R													
平成28年度	571	559	668	627	638	593	561	604	569	523	527	647	7,087
平成29年度	579	638	683	580	670	578	590	579	545	518	576	637	7,173
前年比(%)	101.4	114.1	102.2	92.5	105.0	97.5	105.2	95.9	95.8	99.0	109.3	98.5	101.2
R I													
平成28年度	59	59	77	64	63	40	56	56	46	42	58	50	670
平成29年度	49	61	69	61	55	50	41	56	42	53	38	47	622
前年比(%)	83.1	103.4	89.6	95.3	87.3	125.0	73.2	100.0	91.3	126.2	65.5	94.0	92.8
DEXA (骨塩定量)													
平成28年度	152	173	193	146	141	158	171	184	161	113	134	194	1,920
平成29年度	168	191	201	161	180	192	179	182	192	152	179	199	2,176
前年比(%)	110.5	110.4	104.1	110.3	127.7	121.5	104.7	98.9	119.3	134.5	133.6	102.6	113.3
ESWL (体外衝撃波結石破砕)													
平成28年度	2	2	5	5	6	5	6	4	4	4	6	5	54
平成29年度	2	5	5	1	6	4	2	5	3	0	3	0	36
前年比(%)	100.0	250.0	100.0	20.0	100.0	80.0	33.3	125.0	75.0	0.0	50.0	0.0	66.7
放射線治療													
平成28年度	302	352	481	500	582	456	417	485	348	359	391	356	5,029
平成29年度	285	320	341	257	312	319	471	507	363	278	309	343	4,105
前年比(%)	94.4	90.9	70.9	51.4	53.6	70.0	112.9	104.5	104.3	77.4	79.0	96.3	81.6
ポータブル撮影													
平成28年度	749	531	575	665	737	678	561	659	746	789	705	803	8,198
平成29年度	683	787	604	648	630	524	759	685	690	840	761	733	8,344
前年比(%)	91.2	148.2	105.0	97.4	85.5	77.3	135.3	103.9	92.5	106.5	107.9	91.3	101.8
外来患者数													
平成28年度	5,790	6,099	6,798	6,322	6,383	6,003	6,177	6,218	5,788	5,583	5,447	6,092	72,700
平成29年度	5,498	6,131	6,308	6,038	6,406	5,908	6,306	6,062	5,771	5,769	5,642	6,201	72,040
前年比(%)	95.0	100.5	92.8	95.5	100.4	98.4	102.1	97.5	99.7	103.3	103.6	101.8	99.1
入院患者数													
平成28年度	2,194	1,960	2,124	2,433	2,413	2,065	1,932	2,011	2,120	2,143	1,979	2,129	25,503
平成29年度	2,072	2,303	2,032	1,971	2,021	1,786	2,049	2,183	1,959	2,157	2,111	2,104	24,748
前年比(%)	94.4	117.5	95.7	81.0	83.8	86.5	106.1	108.6	92.4	100.7	106.7	98.8	97.0
外来入院合計患者数													
平成28年度	7,984	8,059	8,922	8,755	8,796	8,068	8,109	8,229	7,908	7,726	7,426	8,221	98,203
平成29年度	7,570	8,434	8,340	8,009	8,427	7,694	8,355	8,245	7,730	7,926	7,753	8,305	96,788
前年比(%)	94.8	104.7	93.5	91.5	95.8	95.4	103.0	100.2	97.7	102.6	104.4	101.0	98.6
フィルム使用枚数													
平成28年度	61	67	83	65	49	65	41	53	49	67	56	95	751
平成29年度	50	72	52	72	71	92	55	33	71	60	47	63	738
前年比(%)	82.0	107.5	62.7	110.8	144.9	141.5	134.1	62.3	144.9	89.6	83.9	66.3	98.3

9. 中央検査技術科業務状況

(1) 院内部門別件数

(単位：件)

	一 般	血 液	化 学	免 疫	輸 血	細 菌	生 理	聴 力	病 理	平成29年度合計	対前年度比	平成28年度合計
4月	32,441	46,698	129,934	7,647	805	1,919	2,937	191	722	223,294	100.7%	221,700
5月	35,602	50,294	139,670	8,349	829	2,245	3,123	167	740	241,019	106.9%	225,564
6月	37,507	51,538	141,403	8,582	808	2,062	3,601	172	930	246,603	103.7%	237,809
7月	36,456	48,522	136,074	8,604	901	1,754	3,322	186	828	236,647	99.8%	237,119
8月	37,707	50,700	143,795	9,103	753	1,854	3,265	212	888	248,277	101.0%	245,762
9月	36,958	46,855	132,923	8,249	761	1,789	3,086	145	900	231,666	101.2%	228,865
10月	37,400	47,783	136,333	8,371	819	1,705	3,341	192	886	236,830	104.8%	226,017
11月	36,376	48,155	137,333	8,165	846	1,698	3,188	128	898	236,787	103.9%	227,961
12月	35,362	47,784	136,374	8,111	774	1,651	3,065	158	793	234,072	103.8%	225,487
1月	33,160	48,236	137,111	7,789	866	2,604	3,105	148	718	233,737	102.9%	227,183
2月	33,719	46,703	133,432	7,455	827	2,456	3,131	159	747	228,629	108.6%	210,452
3月	36,203	52,000	146,637	8,561	986	1,913	3,361	153	785	250,599	107.5%	233,213
合計	428,891	585,268	1,651,019	98,986	9,975	23,650	38,525	2,011	9,835	2,848,160	103.7%	2,747,132

(2) 委託先別件数

	A社			B社		
	平成28年度	平成29年度	対前年度比	平成28年度	平成29年度	対前年度比
4月	1,995 件	2,336 件	117.1%	634 件	608 件	95.9%
5月	2,315 件	2,477 件	107.0%	635 件	661 件	104.1%
6月	2,308 件	2,798 件	121.2%	765 件	866 件	113.2%
7月	2,219 件	2,685 件	121.0%	741 件	987 件	133.2%
8月	2,369 件	2,722 件	114.9%	689 件	875 件	127.0%
9月	2,339 件	2,306 件	98.6%	611 件	898 件	147.0%
10月	2,380 件	2,315 件	97.3%	643 件	730 件	113.5%
11月	2,182 件	2,447 件	112.1%	645 件	942 件	146.0%
12月	2,174 件	2,667 件	122.7%	754 件	892 件	118.3%
1月	2,146 件	2,116 件	98.6%	544 件	765 件	140.6%
2月	2,391 件	2,161 件	90.4%	577 件	799 件	138.5%
3月	2,531 件	2,520 件	99.6%	641 件	867 件	135.3%
合計	27,349 件	29,550 件	108.0%	7,879 件	9,890 件	125.5%

	平成28年度			平成29年度			対前年度比
	A社	B社	小 計	A社	B社	小 計	
4月	1,995 件	634 件	2,629 件	2,336 件	608 件	2,944 件	112.0%
5月	2,315 件	635 件	2,950 件	2,477 件	661 件	3,138 件	106.4%
6月	2,308 件	765 件	3,073 件	2,798 件	866 件	3,664 件	119.2%
7月	2,219 件	741 件	2,960 件	2,685 件	987 件	3,672 件	124.1%
8月	2,369 件	689 件	3,058 件	2,722 件	875 件	3,597 件	117.6%
9月	2,339 件	611 件	2,950 件	2,306 件	898 件	3,204 件	108.6%
10月	2,380 件	643 件	3,023 件	2,315 件	730 件	3,045 件	100.7%
11月	2,182 件	645 件	2,827 件	2,447 件	942 件	3,389 件	119.9%
12月	2,174 件	754 件	2,928 件	2,667 件	892 件	3,559 件	121.6%
1月	2,146 件	544 件	2,690 件	2,116 件	765 件	2,881 件	107.1%
2月	2,391 件	577 件	2,968 件	2,161 件	799 件	2,960 件	99.7%
3月	2,531 件	641 件	3,172 件	2,520 件	867 件	3,387 件	106.8%
合計	27,349 件	7,879 件	35,228 件	29,550 件	9,890 件	39,440 件	112.0%

(3) 院内・委託件数比率

	院内検査 〔件〕	委託検査 〔件〕	A社 〔件〕	B社 〔件〕	委託検査 〔％〕	委託検査 〔％〕
4月	223,294	2,944	2,336	608	98.68	1.32
5月	241,019	3,138	2,477	661	98.70	1.30
6月	246,603	3,664	2,798	866	98.51	1.49
7月	236,647	3,672	2,685	987	98.45	1.55
8月	248,277	3,597	2,722	875	98.55	1.45
9月	231,666	3,204	2,306	898	98.62	1.38
10月	236,830	3,045	2,315	730	98.71	1.29
11月	236,787	3,389	2,447	942	98.57	1.43
12月	234,072	3,559	2,667	892	98.48	1.52
1月	233,737	2,881	2,116	765	98.77	1.23
2月	228,629	2,960	2,161	799	98.71	1.29
3月	250,599	3,387	2,520	867	98.65	1.35
合計	2,848,160	39,440	29,550	9,890	98.62	1.38

(4) 生理検査種別年度比

	心電図			ホルター心電図			トレッドミル			脳波		
	平成28年度	平成29年度	対前年度比	平成28年度	平成29年度	対前年度比	平成28年度	平成29年度	対前年度比	平成28年度	平成29年度	対前年度比
外来合計	15,230	15,536	102.0%	338	294	87.0%	10	20	200.0%	235	169	71.9%
入院合計	3,550	3,599	101.4%	55	74	134.5%	0	1	0.0%	170	118	69.4%
総合計	18,780	19,135	101.9%	393	368	93.6%	10	21	210.0%	405	287	70.9%
	U C G			頸動脈エコー			腹部エコー			肺機能		
	平成28年度	平成29年度	対前年度比	平成28年度	平成29年度	対前年度比	平成28年度	平成29年度	対前年度比	平成28年度	平成29年度	対前年度比
外来合計	2,945	3,176	107.8%	511	503	98.4%	2,284	2,296	100.5%	3,543	3,500	98.8%
入院合計	1,510	1,410	93.4%	417	403	96.6%	178	205	115.2%	141	135	95.7%
総合計	4,455	4,586	102.9%	928	906	97.6%	2,462	2,501	101.6%	3,684	3,635	98.7%
	A B R			A B I			筋電図			下枝静脈エコー		
	平成28年度	平成29年度	対前年度比	平成28年度	平成29年度	対前年度比	平成28年度	平成29年度	対前年度比	平成28年度	平成29年度	対前年度比
外来合計	18	20	111.1%	1,779	2,094	117.7%	248	186	75.0%	513	569	110.9%
入院合計	32	8	25.0%	617	593	96.1%	59	62	105.1%	268	228	85.1%
総合計	50	28	56.0%	2,396	2,687	112.1%	307	248	80.8%	781	797	102.0%
										総計		
										平成28年度	平成29年度	対前年度比
										27,654	28,363	102.6%
										6,997	6,836	97.7%
										34,651	35,199	101.6%

10. リハビリテーション科／リハビリテーション技術科業務状況

(1) 理学療法患者数

(単位：件)

月	外 来	入 院	合 計	増 減	前年比
4月	414	3,754	4,168	235	106%
5月	403	3,873	4,276	524	114
6月	448	4,091	4,539	267	106
7月	453	3,675	4,128	-113	97
8月	503	3,864	4,367	-139	97
9月	453	3,558	4,011	116	103
10月	481	3,707	4,188	354	109
11月	486	3,756	4,242	329	108
12月	454	3,532	3,986	119	103
1月	445	3,743	4,188	363	109
2月	439	3,993	4,432	306	107
3月	505	4,197	4,702	183	104
計	5,484	45,743	51,227	2,544	105

(2) 作業療法患者数

月	外 来	入 院	合 計	増 減	前年比
4月	73	1,687	1,760	-51	97%
5月	67	1,765	1,832	33	102
6月	58	1,823	1,881	-171	92
7月	55	1,645	1,700	-255	87
8月	79	1,575	1,654	-334	83
9月	82	1,491	1,573	-254	86
10月	62	1,657	1,719	-133	93
11月	55	1,597	1,652	-209	89
12月	47	1,588	1,635	-219	88
1月	41	1,625	1,666	-66	96
2月	50	1,629	1,679	-162	91
3月	53	1,769	1,822	-125	94
計	722	19,851	20,573	-1,946	91

(3) 言語聴覚療法患者数

月	外 来	入 院	合 計	増 減	前年比
4月	29	1,103	1,132	156	116%
5月	20	1,123	1,143	105	110
6月	22	1,149	1,171	-58	95
7月	27	966	993	-74	93
8月	39	1,010	1,049	-126	89
9月	33	871	904	-147	86
10月	28	853	881	-198	82
11月	34	911	945	-11	99
12月	28	1,009	1,037	67	107
1月	22	1,041	1,063	108	111
2月	31	1,068	1,099	-2	100
3月	32	1,186	1,218	59	105
計	345	12,290	12,635	-121	99

11. 開放型入院患者状況

	入院患者 延人数 (人)	1日平均 患者数 (人)	病床 利用率 (%)	新規入院 患者数 (人)	退院 患者数 (人)	平均入院 在院日数 (日)	利用 登録医 (人)	共同 指導回数 (回)
4月	41	1.4	2.7	1	0	82.0	2	0
5月	5	0.2	0.3	0	2	5.0	2	0
6月	8	0.3	0.5	1	1	8.0	1	0
7月	16	0.5	1.3	4	1	6.4	2	0
8月	84	2.7	5.4	2	2	42.0	2	4
9月	92	3.1	6.1	1	1	92.0	3	0
10月	105	3.4	6.8	1	1	105.0	4	1
11月	88	2.9	5.9	0	1	176.0	3	1
12月	66	2.1	4.3	1	2	44.0	3	0
1月	40	1.3	2.6	1	0	80.0	2	0
2月	37	1.3	2.6	1	1	37.0	3	0
3月	55	1.8	3.5	1	1	55.0	3	0
合計	637	1.7	3.5	14	13	61.0	30	6

12. 訪問看護ステーション業務状況

◆訪問回数

延べ訪問回数	介護保険	7,224	78.13%
	医療保険	2,021	21.86%

◆利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受入	1	4	14	1	10	10	8	2	7	5	9	2	73
新規受入（院内）	1	3	10	1	6	6	6	0	4	4	7	2	50
新規受入（院外）	0	1	4	0	4	4	2	2	3	1	2	0	23
継続	122	121	129	123	126	131	136	136	136	135	142	143	1,580
計	123	125	143	124	136	141	144	138	143	140	151	145	1,653

◆終了状況

死亡内訳	在宅	在宅外 (病院・施設)	その他 (転居・転院・中止)
総数	16	28	9
がん	6	10	0
心疾患	0	3	0
脳血管障害	2	3	0
その他	8	12	9

◆疾患別患者数

疾病名	利用者数
循環器系疾患	23
癌	31
神経系疾患	10
脳血管系疾患	25
内分泌系疾患	15
精神疾患	9
筋骨格系疾患	20
呼吸器系疾患	23
血液・免疫機能系疾患	3
腎泌尿器系疾患	14
消化器系疾患	5
先天性奇形	3
皮膚及び皮下組織系疾患	7
計	188

◆年齢別患者数

年齢層	人数
0～10	0
11～20	1
21～30	1
31～40	3
41～50	4
51～60	5
61～70	21
71～80	48
81～90	79
91～100	23
101以上計	3

◆介護区分別患者数

介護度	人数
要支援1	3
要支援2	17
要介護1	24
要介護2	40
要介護3	27
要介護4	19
要介護5	21

男女人数	人数
男性	104
女性	84

◆緊急対応（夜間・休日）

電話のみ	712件
出動	272件

13. 疾病別（ICD）・転帰別 退院患者数（転科含）

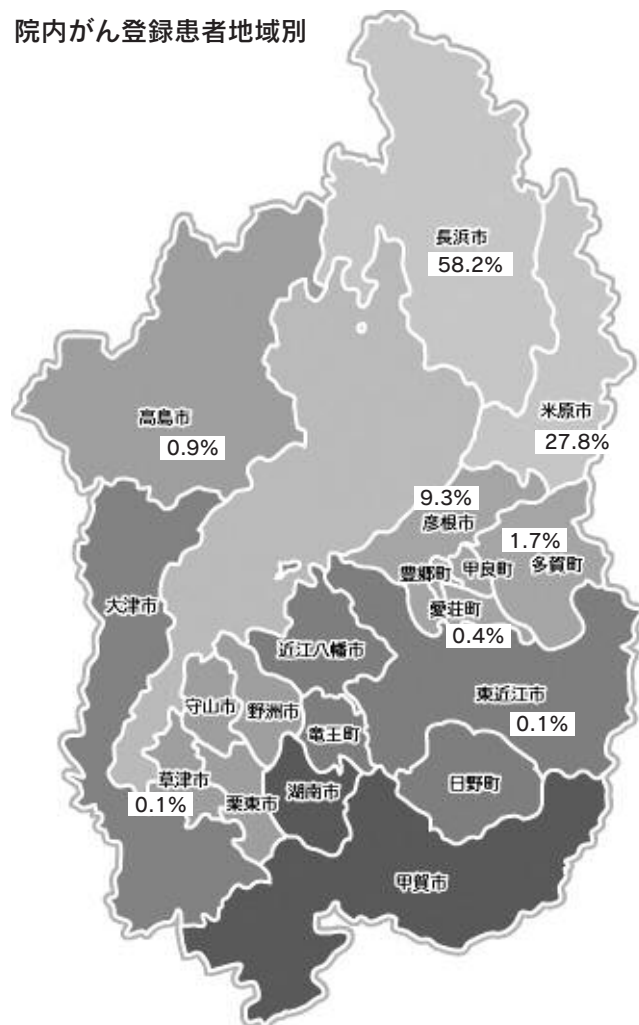
	性 別	平均 在科 日数	転 帰													総 計
			1	2	3	4	5	6	7					8		
			治癒	軽快	寛解	不変	増悪	その他	中止 (自己)	転科 (軽快)	転科 (不変)	転科 (増悪)	転科 (その他)	死 亡		
														剖検有	剖検無	
感染症および寄生虫症	男	27.0	2	45	0	8	0	3	0	1	3	2	0	0	5	69
	女	24.0	0	45	0	5	0	5	0	0	2	0	0	1	4	62
新生物	男	18.4	0	403	6	212	7	173	0	2	16	0	1	3	106	929
	女	17.8	0	440	6	122	2	52	0	8	10	0	2	1	40	683
血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	20.4	0	15	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	17
	女	22.1	0	19	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23
内分泌、栄養および 代謝疾患	男	13.4	0	92	1	3	0	21	0	8	3	0	0	0	2	130
	女	14.8	0	71	0	14	0	16	0	4	2	0	0	0	4	111
精神および行動の障害	男	2.5	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	女	2.5	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4
神経系の疾患	男	21.4	0	87	0	17	0	23	0	1	1	0	0	0	2	131
	女	29.9	0	52	1	9	0	8	0	4	1	1	0	0	2	78
眼および付属器の疾患	男	4.0	0	230	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	231
	女	3.8	0	286	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	288
耳および 乳様突起の疾患	男	5.8	0	16	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	19
	女	6.1	0	21	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	22
循環器系の疾患	男	32.2	0	821	1	33	0	188	0	23	14	4	6	2	30	1,122
	女	27.3	0	493	0	13	0	128	0	28	10	3	2	2	31	710
呼吸器系の疾患	男	15.8	1	409	1	26	0	8	0	10	18	1	0	0	56	530
	女	15.4	3	273	1	8	0	2	0	3	12	0	0	1	24	327
消化器系の疾患	男	15.1	0	312	1	7	1	3	0	3	12	0	0	0	7	346
	女	9.9	1	283	0	4	0	1	0	1	3	0	0	0	3	296
皮膚および皮下組織の疾患	男	11.1	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
	女	17.5	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	34
筋骨格系および 結合組織の疾患	男	31.0	1	143	0	2	1	15	0	1	5	2	1	0	2	173
	女	31.7	0	307	1	8	0	11	0	4	5	0	0	0	2	338
腎尿路生殖器系の疾患	男	14.9	1	223	3	61	0	32	0	8	22	1	0	0	7	358
	女	13.2	0	278	1	47	1	43	0	15	13	2	0	0	6	406
妊娠、分娩および 産じょく＜褥＞	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0
	女	14.7	0	133	0	10	1	137	0	0	0	0	0	0	0	281
周産期に発生した病態	男	5.5	0	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67
	女	4.4	0	59	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60
先天奇形、変形 および染色体異常	男	4.2	0	10	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	15
	女	11.0	0	10	0	2	0	8	0	0	0	0	0	1	0	21
病状、徴候および異常臨床所見・異 常検査所見で他に分類されないもの	男	5.5	0	15	0	2	0	4	0	1	0	0	0	0	0	22
	女	9.1	0	10	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	14
損傷、中毒および その他の外因の影響	男	54.0	0	299	0	6	0	1	0	4	5	0	1	0	4	320
	女	30.4	0	323	0	7	3	0	1	7	3	0	0	0	2	346
総 計	男	16.8	5	3,213	13	380	9	477	0	64	99	10	9	5	221	4,505
	女	16.1	4	3,138	11	254	7	418	1	74	62	6	4	6	119	4,104
	計	16.4	9	6,351	24	634	16	895	1	138	161	16	13	11	340	8,609

14. 院内がん登録 2017年症例

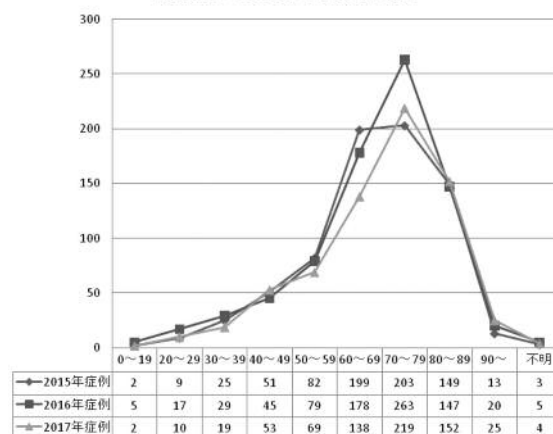
算出条件

- ・重複がんを含む
- ・2017年症例（2017年1月1日～12月31日院内がん登録の起算日ルールに基づく） n = 691
- ・2016年症例（2016年1月1日～12月31日院内がん登録の起算日ルールに基づく） n = 736
- ・2015年症例（2015年1月1日～12月31日院内がん登録の起算日ルールに基づく） n = 788

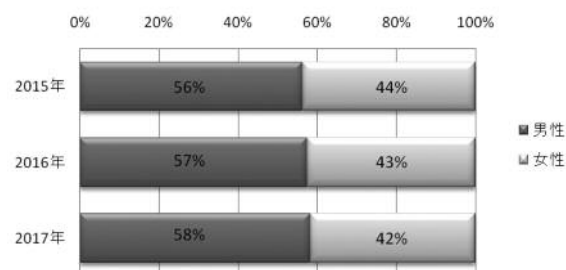
院内がん登録患者地域別



院内がん登録年代別件数



男女別件数



県外	湖北		湖東			湖西	湖南	東近江
	長浜市	米原市	彦根市	犬上郡	愛荘町	高島市	草津市	東近江
1.6%	58.2%	27.8%	9.3%	1.7%	0.4%	0.9%	0.1%	0.1%

2015年～2017年症例 自施設診断・自施設治療状況

	2015	2016	2017
自施設診断	86.3%	77.2%	84.7%
自施設治療	84.0%	77.2%	85.0%

自施設診断・自施設治療状況より、約80%のがん患者が、当院での診療で完結している状況がわかります。当院は地域完結型の医療を目指しています。

15. 医療機器等購入状況

部 署	品 名	取 得 年 月
リウマチ膠原病内科	全自動身長体重計	平成29年5月
中央検査技術科	特殊染色装置	
泌尿器科	尿管ファイバー	
泌尿器科	軟性膀胱尿道鏡	平成29年6月
中央手術室	レビテーター	
中央検査技術科	薬用冷蔵ショーケース	
眼科	視力検査機器	平成29年7月
I C U	気管支ファイバースコープ	
看護局（3西）	車いす用体重計	
中央手術室	気腹装置	
	テレスコープ	平成29年8月
病理診断科	ドライクーラー	平成29年9月
中央検査技術科	薬用冷蔵ショーケース	平成29年10月
泌尿器科	尿管ファイバー	
地域包括ケア病棟	バイオメディカルフリーザー	
泌尿器科	ペディトロール	
整形外科	ケリソンパンチ	
薬剤科	注射薬払出システム	
中央検査技術科	血圧脈波検査装置	
心臓血管外科	超音波手術器ハンドピース	
循環器内科	エキシマレーザー血管形成装置	平成29年11月
リハビリ	自転車エルゴメーター	
泌尿器科	ホロミウムレーザー	
救急センター	超音波診断装置	平成29年12月
4 東病棟	薬用冷蔵ショーケース	
各病棟	膀胱用超音波画像診断装置	
臨床工学技術科	電気メステスター	
産婦人科	ディスプレイ	
中央検査技術科	高圧蒸気滅菌器	
外科	電動自動縫合器	平成30年1月
産婦人科	ディスプレイ	
療養病棟	セントラルモニター	
歯科・歯科口腔外科	デンタルチェア	
心臓血管外科	高周波下枝静脈瘤治療装置	
救急センター	赤外線眼鏡	平成30年2月
放射線技術科	長尺用フラットパネル	
中央材料室	高圧蒸気滅菌器	
4 東病棟	分娩台	
ICU	リフト式体重計	平成30年3月
外科	開創器	
中央検査技術科	微生物感受性分析装置	
臨床工学技術科	呼気炭酸ガスモニタ	
	非侵襲的人工呼吸器	
	呼気炭酸ガスモニタモジュール	
ICU	I C U ベッド	

16. 死亡診断書発行状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内 科	8	2	5	6	4	10	7	10	9	7	7	9	84
小 児 科													0
外 科	2	4	4	4	5	3	5	7	1	3	4	1	43
耳 鼻 咽 喉 科	1				1								2
産 婦 人 科	1		1		1				2		2		7
眼 科													0
整 形 外 科	1				1		1						3
泌 尿 器 科								2	1	1	2	3	9
皮 膚 科													0
脳 神 経 外 科	2	3		2	2	4	1	2	2	3	4	1	26
歯科口腔外科							1						1
神 経 内 科	2				2	1					1		6
心臓血管外科		2		1	2			2	1	1	1	1	11
形 成 外 科													0
呼 吸 器 科	13	14	14	8	12	7	10	15	16	18	19	19	165
循 環 器 科	3	4	3	3	3	4	5	2	8	9	6	5	55
消 化 器 科													0
死 産													0
合 計	33	29	27	24	33	29	30	40	40	42	46	39	412

17. 剖検症例

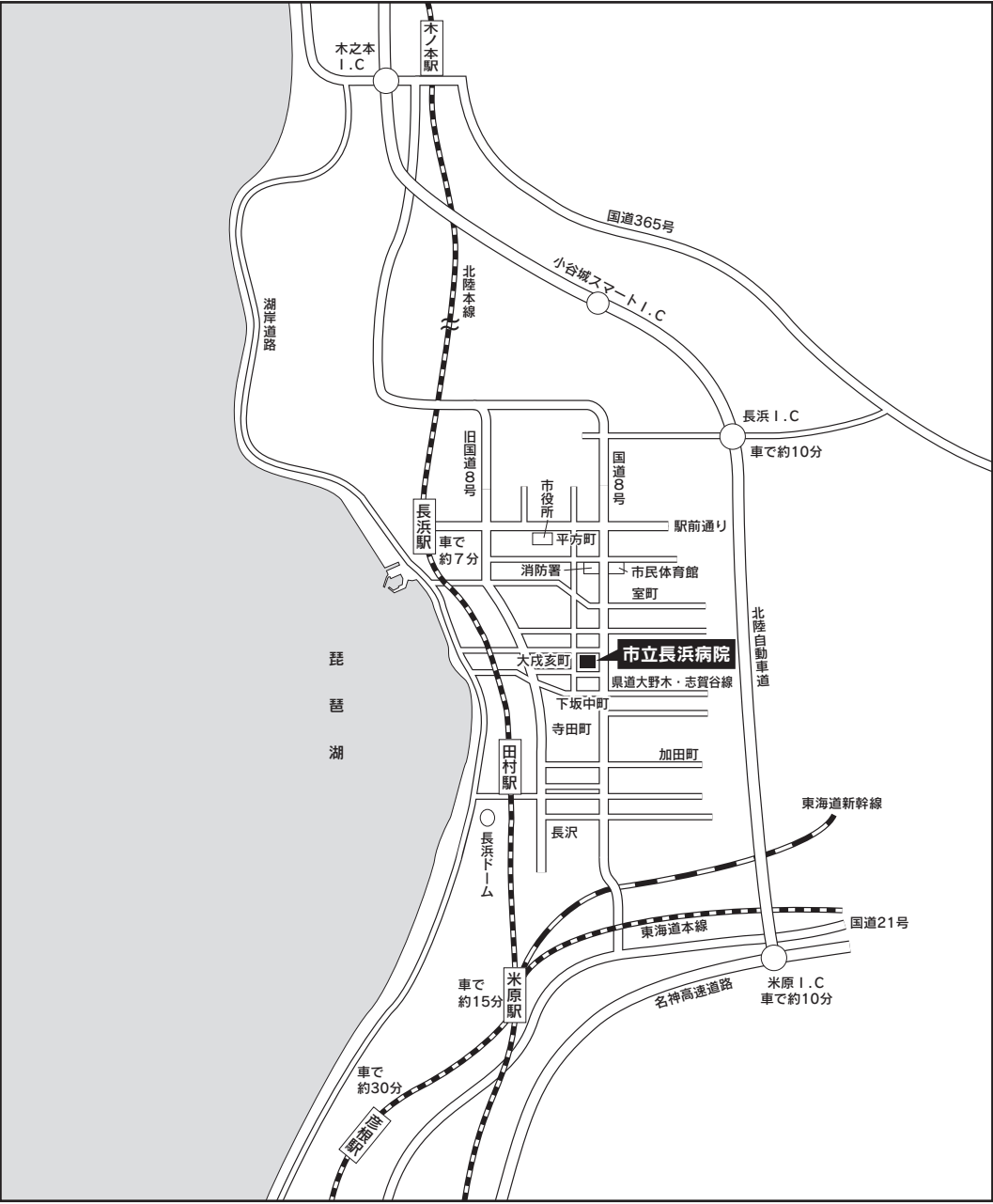
H29.1.1.～H29.12.31

剖検番号	年齢	性別	臨床診断	出所	検索部位	病理診断
AN607	75	女	肺動脈塞栓症	呼吸器内科	胸腹部	肺血栓塞栓症
AN608	81	女	肺炎	呼吸器内科	胸腹部	肺結核症
AN609	52	男	腎癌再発	呼吸器内科	胸腹部	腎癌再発
AN610	70	女	急性循環不全	循環器内科	胸腹部	全身性アミロイドーシス
AN611	86	女	偽膜性腸炎	循環器内科	胸腹部	腸管壊死
AN612	46	女	常染色体優性多発 のう胞腎	腎臓代謝内科	胸腹部	常染色体優性多発のう胞腎
AN613	92	男	肺癌	呼吸器内科	胸腹部	肺腺癌
AN614	82	男	軟部腫瘍	呼吸器外科	胸腹部	悪性線維性組織球腫
AN615	74	女	子宮頸癌再発	産婦人科	胸腹部	膀胱癌
AN616	64	女	急性大動脈解離	心臓血管外科	胸腹部	急性大動脈解離
AN617	63	男	肺癌	呼吸器内科	胸腹部	肺腺癌
AN618	74	男	急性心筋梗塞	循環器内科	胸腹部	急性心筋梗塞
AN619	86	男	上部消化管出血	総合診療科	胸腹部	肺癌

18. 院内保育所「あすなろ園」状況

月	性別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	一時保育	計	備 考
4 月	男	1	10	2	0	6	13	
	女	0	2	4	0	4	6	
	計	1	12	6	0	10	19	
5 月	男	1	10	3	0	0	14	
	女	0	3	4	0	0	7	
	計	1	13	7	0	0	21	
6 月	男	1	10	4	0	0	15	
	女	1	4	5	0	0	10	
	計	2	14	9	0	0	25	
7 月	男	1	10	4	0	0	15	
	女	1	4	5	0	0	10	
	計	2	14	9	0	0	25	
8 月	男	2	10	4	0	1	16	
	女	1	4	5	0	1	10	
	計	3	14	9	0	2	26	
9 月	男	2	10	5	0	0	17	
	女	1	4	5	0	0	10	
	計	3	14	10	0	0	27	
10 月	男	3	10	5	0	0	18	
	女	1	4	5	0	0	10	
	計	4	14	10	0	0	28	
11 月	男	3	10	4	0	0	17	
	女	2	4	5	0	0	11	
	計	5	14	9	0	0	28	
12 月	男	3	10	4	0	0	17	
	女	2	4	5	0	0	11	
	計	5	14	9	0	0	28	
1 月	男	3	10	4	0	0	17	
	女	2	4	5	0	1	12	
	計	5	14	9	0	1	29	
2 月	男	4	9	4	0	0	17	
	女	3	4	6	0	1	14	
	計	7	13	10	0	1	31	
3 月	男	7	10	4	0	0	21	
	女	5	4	6	0	0	15	
	計	12	14	10	0	0	36	
年間合計	男	31	119	47	0	7	197	
	女	19	45	60	0	7	126	
	計	50	164	107	0	14	335	
月 平 均	男	2.6	9.9	3.9	0	0.6	16.4	
	女	1.6	3.8	5.0	0	0.6	10.5	
	計	4.2	13.7	8.9	0	1.2	27.9	

※合計には一時保育児は含まない。





平成30年12月発行

平成29年度 市立長浜病院年報

編集・発行 市立長浜病院

院長 神田 雄史

滋賀県長浜市大^{おお}成^{いぬ}亥^い町313番地

TEL 0749-68-2300

FAX 0749-65-1259